

令和3年度

「授業評価アンケート」報告書

令和4年11月

学習院大学

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

# はじめに

学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員長

山本政人

本報告書は、令和3年度に実施した「学生による授業評価アンケート」の集計結果とその分析を取りまとめたものである。

本学では、授業改善の一環として「学生による授業評価アンケート」を年2回各学期末に実施しており、令和3年度はこのアンケートを全学的に実施するようになって16年目を迎えた。また、新型コロナウイルスの影響で例年通り授業内に集合形式において実施することができず、昨年度に続き2度目のWeb実施となった。

集計された「学生による授業評価アンケート」の個別データは慎重に取り扱い、授業改善に役立てていただけるよう、各授業科目の担当教員にフィードバックしている。さらに、このアンケートの結果を活用し、教育の改善に向けて、全学的に次のような取り組みを行っている。

第一に、このアンケートの結果を受けて、自部門における授業の実施方法等について、良かった点悪かった点などを評価、分析し、次年度の改善点を第3章「各部門の分析・評価」にて記載している。

第二に、このアンケートの結果を受けて、各部門がどのような授業改善を行ったのか、具体的な取り組み・工夫の例を集め、第4章「授業への取り組み例」に掲載している。これにより、個々の教員の創意工夫を大学全体で共有することができる。

大学を取り巻く環境は日々変化しており、「例年通り」のようにいかない状況が今後も続くことが考えられる。そのため、授業評価アンケートの実施方法や活用用途などその時々状況に応じて柔軟に取り組む必要がある。

また、「学生による授業評価アンケート」のことだけでなく、教員が様々な形でFDに関わることのできる制度の整備、環境の醸成を目指し、本学のFD活動の見直しを続けていきたい。

令和4年11月

## 目 次

はじめに

第1章 授業評価アンケート実施の概要	1
I. 実施の経緯	2
II. 実施の方法	3
III. 実施にかかる全体的な状況、集計結果	5
IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて	14
第2章 令和3年度の概観	15
第3章 各部門の分析・評価	30
I. 法学部	31
II. 経済学部	39
III. 文学部	50
IV. 理学部	67
V. 国際社会科学部	74
VI. 計算機センター	85
VII. 外国語教育研究センター	92
VIII. スポーツ・健康科学センター	99
IX. 基礎教養科目運営委員会	106
X. 教職課程	114
XI. 学芸員課程委員会	119
第4章 授業への取り組み例	125
第5章 資料集（質問項目別基礎データクロス表）	153
ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧	171

# 第1章

## 授業評価アンケート実施の概要

## I. 実施の経緯

ファカルティ・ディベロップメント（以下FD）が本学において意識されるようになったのは、平成15年8月の各学部・センターの有志の教員14名からなる「FD勉強会」の組織からである。ここでは、FDの定義についての確認、FDに関する他大学の情報共有等があり、これらにつき意見交換がなされた。また、各学部・学科、センターにおけるFDへの取り組み状況や、経済学部、法学部法学科、スポーツ健康科学センター及び外国語教育研究センターが実施（あるいは実施を予定）していた授業評価アンケートについての報告がなされた。

その後「FD勉強会」は「FD研究プロジェクト」と名称を変え、FDをめぐる様々な事項について意見交換がなされ、とりわけ授業評価アンケートやFDを推進していくための組織について討議された。その結果、「ファカルティ・ディベロップメント準備委員会」を経て、「学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会」（以下、「FD推進委員会」）が発足、平成16年7月、第1回の委員会が開催された。

委員会規程によれば、本学におけるFDとは「授業に関する技量及び教育効果を高めるための組織的かつ継続的な取り組みを行うこと等を通して教育の内容及び方法の改善を図ること」であるとされた。委員会では、そのために取り組むべき活動として、全学的な「学生による授業評価アンケート」の実施を最優先に議論することとなった。授業評価の主たる目的は個々の授業の改善にあるが、同時に様々なFD活動に活かすための基礎的な情報収集という意味をも持ち、また学生や社会に対する説明責任を果たすための活動としても位置付けられるためである。

その後、FD推進委員会においては、「授業評価アンケートの実施に関するガイドライン」及び、学習院個人情報保護規程をふまえた「授業評価アンケートにおける個人情報の取扱いに関するガイドライン」が纏められた。これらのガイドラインにもとづき、平成18年度、全学的な「学生による授業評価アンケート」が初めて実施された。

以降、「学生による授業評価アンケート」は、本学におけるFD活動の基礎として、改善を加えながら毎年度実施されている。

## II. 実施の方法

第1学期は7月～8月、第2学期は1月の所定の期間中に、Web アンケート形式にて実施した。LMS(ラーニングマネジメントシステム)上にシステムのログイン用 URL を記したお知らせを掲載し、回答を促した。

アンケート実施対象科目は以下のとおりであり、学部学生が履修することのできるほぼすべての科目が該当する。

第1学期：第1学期科目及び通年科目のうち学期単位で担当者が変わる科目

第2学期：第2学期科目及び通年科目

注1. 大学院・専門職大学院の科目は対象外だが、学部・大学院共通の科目は実施。

2. 総履修者数のうち本学学部生が5名以下の科目は対象外。

3. 回答者数が5名以下の科目は、集計結果の担当教員へのフィードバックを行わず、また、各種集計データに含めない。

なお、集計結果の分析に資するため、アンケート実施上の授業形態として、授業科目を「講義」「演習」「語学」に分類した。それぞれの開設部門の持つ授業形態は下表のとおりである。

部門	形態		
法学部	講義	演習	
経済学部	講義	演習	
文学部	講義	演習	
理学部	講義	演習	
国際社会科学部	講義	演習	語学
計算機センター	講義		
外国語教育研究センター	語学		
スポーツ・健康科学センター	演習		
基礎教養科目運営委員会	講義	演習	
教職課程	講義	演習	
学芸員課程委員会	講義	演習	

質問項目は、原則として「5.強く思う」～「1.全くそう思わない」の5段階の評価方式としている。(別途指定のある設問・枝問を除く)

実際に使用された設問項目を以下に掲載する。

No.	設 問
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ
(3)-2	※(3)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人を除く 私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で 5：4.5時間以上 4：3時間以上4.5時間未満 3：2時間以上3時間未満 2：90分以上2時間未満 1：90分未満
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった
(5)	この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた
(9)	この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している
(9)-2	※(9)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人のみ回答 授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5：多い 4：少ない
(10)	この授業の水準に満足している
(10)-2	※(10)で「2.あまりそう思わない」～「1.全くそう思わない」と回答した人のみ回答 授業の水準について、どのように感じましたか 5：高すぎる 4：低すぎる
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5：今回のままでよい 4：対面授業の回数を増やしてほしい 3：同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2：オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい
(15)	※自由記述欄 この授業について、①(14)の答えの理由、②そのほかの意見や気付いた点があれば記入してください（回答は任意です。200字まで。プライバシー保護のため、記入内容を担当教員へ直接伝えることはせず、大学として今後の授業改善の参考にいたします）

### Ⅲ. 実施にかかる全体的な状況、集計結果

前述の通り、授業評価アンケートは、総履修者数 5 名以下という例外を除けば、学部生が履修可能なほぼ全科目を対象科目として行われたことになる。令和 3 年度は、対象科目数 2,510、実施科目数 2,487、実施率 99.08%となった。学生の回答率（＝延べ回答者数／延べ履修者数）は 36.85%であった。

なお、令和 3 年度は、質問項目を昨年度から一部変更している。（Q14 を新設、Q15 は一部変更）

令和 4 年 3 月、授業担当者へのフィードバックとして、個々の科目についての集計結果を各教員に送付した。また、同年 5 月には昨年度と同様に本学 HP ページ上で速報 (<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/news/2022/0530-2.html>) を公開し、開設部門別・授業形態別に、昨年度と比較できる 6 項目に関する回答の平均値の経年変化及び回答率の経年変化のグラフを掲載した。

本報告書では、上記に加え、各項目を部門別・形態別・学年別・総履修者数別に集計した「基礎データクロス表」、各項目の相関係数を部門別・形態別に纏めた「相関係数表」、及び各項目の平均値の経年変化（5 年間）を部門別・形態別に纏めた「経年変化比較表」を掲載している。さらに、授業評価アンケートの結果を受けた「授業への取り組み例」も、引き続き収集し取りまとめている。

「質問項目別単純集計表」「相関係数表」及び「経年変化比較表」は第 3 章の各部門の頁末に、「授業への取り組み例」は第 4 章に、「基礎データクロス表」は第 5 章に掲載する。



## 1. 実施概要

令和3年度のアンケートは、第1学期は7月23日から8月6日まで、第2学期は1月8日から1月29日までのそれぞれ期間に、学部生が履修することのできる科目を対象としてWebアンケート形式で行われた。

部門別・形態別の実施率・回答率を示したものが**図表1**である。

令和3年度は、対象科目数2,510に対して、実施科目数2,487、実施率は99.08%となり、前年度から上昇した（前年度比+4.27%）。

一方、集計対象科目における学生の回答率（=集計対象科目の延べ回答者数／集計対象科目の延べ履修者数）は36.85%（前年度比+16.42%）となった。学生に対して回答のリマインドを複数回行う等の工夫を行った結果、回答率は昨年度と比較して上昇したものの、更なる上昇に向けた改善が必要である。

また、回答者の種類を表したのが、**図表2**である。例年通り、1年生の回答者数が最も多く、学年が進むにしたがって回答者数が減少していく傾向がある。

図表1 アンケート実施率及び集計対象科目の回答率

部門別	形態別		実施率			集計対象科目数	集計対象外科目数	回答率		
			対象科目数	実施科目数	実施率			集計対象科目履修者数	集計対象科目回答者数	回答率
部門別	計セ	講義	101	101	100.00%	87	14	4,349	1,916	44.06%
		合計	101	101	100.00%	87	14	4,349	1,916	44.06%
	外セ	語学	536	530	98.88%	431	99	10,486	4,947	47.18%
		合計	536	530	98.88%	431	99	10,486	4,947	47.18%
	スポ健	演習	112	112	100.00%	80	32	1,846	802	43.45%
		合計	112	112	100.00%	80	32	1,846	802	43.45%
	基礎教養	講義	99	99	100.00%	96	3	10,856	4,023	37.06%
		演習	5	5	100.00%	3	2	107	32	29.91%
		合計	104	104	100.00%	99	5	10,963	4,055	36.99%
	法学部	講義	142	142	100.00%	123	19	20,322	7,033	34.61%
		演習	117	115	98.29%	64	51	1,174	585	49.83%
		合計	259	257	99.23%	187	70	21,496	7,618	35.44%
	経済学部	講義	153	150	98.04%	126	24	22,428	6,980	31.12%
		演習	105	104	99.05%	30	74	584	239	40.92%
		合計	258	254	98.45%	156	98	23,012	7,219	31.37%
	文学部	講義	261	261	100.00%	222	39	12,431	5,140	41.35%
		演習	321	318	99.07%	240	78	6,123	2,789	45.55%
		合計	582	579	99.48%	462	117	18,554	7,929	42.73%
	理学部	講義	131	131	100.00%	119	12	5,856	2,279	38.92%
		演習	34	34	100.00%	30	4	1,296	583	44.98%
合計		165	165	100.00%	149	16	7,152	2,862	40.02%	
国際社会 科学部	講義	78	78	100.00%	62	16	9,519	2,004	21.05%	
	演習	48	45	93.75%	15	30	286	114	39.86%	
	語学	145	141	97.24%	69	72	1,421	542	38.14%	
	合計	271	264	97.42%	146	118	11,226	2,660	23.69%	
教職課程	講義	35	35	100.00%	28	7	1,618	700	43.26%	
	演習	58	57	98.28%	42	15	1,492	588	39.41%	
	合計	93	92	98.92%	70	22	3,110	1,288	41.41%	
学芸員	講義	20	20	100.00%	20	0	867	364	41.98%	
	演習	9	9	100.00%	1	8	9	6	66.67%	
	合計	29	29	100.00%	21	8	876	370	42.24%	
形態別	講義計	1,020	1,017	99.71%	883	134	88,246	30,439	34.49%	
	演習計	809	799	98.76%	505	294	12,917	5,738	44.42%	
	語学計	681	671	98.53%	500	171	11,907	5,489	46.10%	
全科目		2,510	2,487	99.08%	1,888	599	113,070	41,666	36.85%	

注1 総履修者数のうち本学学部生が5名以下の科目はアンケート実施対象外。

注2 アンケート実施対象科目であっても、実際の回答者数が5名以下の科目は集計対象としない。

【図表1で使用している用語の定義】

「部門別」: 学部やセンターといった授業の開設部門の単位で、11の部門に分けている。「計算機センター」「外国語教育研究センター」「スポーツ・健康科学センター」は、それぞれ「計セ」「外セ」「スポ健」という略称を用いる。なお、学部生が履修できる大学院科目については、それぞれ対応する学部を開設部門として集計。

「形態別」: 授業形態による分類で、「講義」「演習」「語学」の3種類。

「実施率」: アンケートの実施対象となった科目数に対する実施科目数の比率。

「回答率」: アンケートを実施した科目のうち、集計対象となった科目の総履修者数に対する回答者数の比率。

図表2 回答者の種類

	1年	2年	3年	4年	他大生他	無回答	合計
学部生	19,355	13,358	6,789	2,014	0	0	41,516
大学院生(博士前期課程)	62	52	0	0	0	0	114
大学院生(博士後期課程)	3	11	2	0	0	0	16
学部聴講生	0	0	0	0	2	0	2
学部研修生	0	0	0	0	0	0	0
大学院研修生	0	0	0	0	0	0	0
大学院委託生	0	0	0	0	0	0	0
科目等履修生(学部)	0	0	0	0	18	0	18
科目等履修生(大学院)	0	0	0	0	0	0	0
大学院交流生	0	0	0	0	0	0	0
他大学生(大学院生含む)	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0
合計	19,420	13,421	6,791	2,014	20	0	41,666

次に、アンケートを実施した科目のうち、それぞれの総履修者数を少ない方から多い方へと10段階に分け、さらに「形態別」に分類した状況を纏めたものが**図表3**である。令和3年度は昨年度と比べ、講義科目は25名以下(+9.55%)及び26～50名(+6.36%)の割合が増え、51～100名の割合が減った(-8.15%)。演習科目も25名以下の割合が大きく増え(+22.91%)、26～50名の割合が大きく減った(-16.12%)。語学科目も他の2科目と同様、25名以下の割合が大きく増え(+32.01%)、26～50名の割合が大きく減った(-31.61%)結果となった。これらの結果は令和元年度以前の傾向と類似しており、令和2年度が特殊な年であったこと、令和3年度の履修者割合はコロナ禍前の状況に戻りかけていることがうかがえる。

図表3 形態別・総履修者数別実施科目数

			履修者数別				
			25名以下	26～50名	51～100名	101～150名	151～200名
形態別	講義	科目数	124	210	253	94	88
		%	14.04%	23.78%	28.65%	10.65%	9.97%
	演習	科目数	325	156	21	3	0
		%	64.36%	30.89%	4.16%	0.59%	0.00%
	語学	科目数	343	157	0	0	0
		%	68.60%	31.40%	0.00%	0.00%	0.00%
合計		科目数	792	523	274	97	88
		%	41.95%	27.70%	14.51%	5.14%	4.66%

			履修者数別					
			201～250名	251～300名	301～350名	351～400名	401名以上	合計
形態別	講義	科目数	34	49	15	6	10	883
		%	3.85%	5.55%	1.70%	0.68%	1.13%	100.00%
	演習	科目数	0	0	0	0	0	505
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
	語学	科目数	0	0	0	0	0	500
		%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%
合計		科目数	34	49	15	6	10	1,888
		%	1.80%	2.60%	0.79%	0.32%	0.53%	100.00%

## 2. 部門別・形態別の平均値・標準偏差

アンケート結果を「部門別・形態別」「形態別」「学年別」「履修者数別」に分類し、各項目（主な 13 項目 +  $\alpha$ ）に対する回答の平均値・標準偏差を表にしたものを以下に示す。

**別紙 質問項目別単純集計表【第 3 章各部門頁末、第 5 章】**

### 3. 授業満足度による集計結果

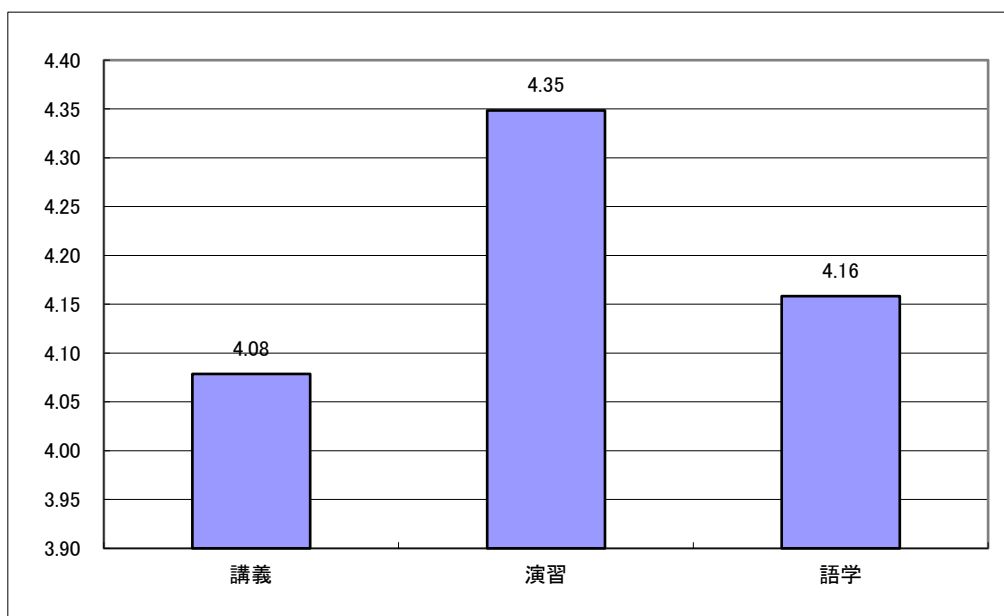
アンケート結果は、全回答を単純に集計する「回答者ベース」と、科目単位で集計する「科目ベース」の2種類の集計を行っている。これは、「回答者ベース」による集計のみでは、履修者数及び回答者数の多い大規模科目の影響を強く受けてしまうことがあるためである。

以下では、「Q13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」という質問に対する回答結果に着目し、授業に対する満足度を「授業の形態別」「学部生の学年別」の視点から概観する。

#### ・「形態別」による集計結果

「講義」「演習」「語学」という3種類の形態別に集計した結果が**図表4-1**である。この結果を過去5年間の経年変化で示した**図表4-2**から分かるように、毎年、形態別の満足度は「演習」「語学」「講義」の順で高い結果となっている。これは、比較的少人数で教員と学生の距離が近く、学生の授業への参加度が高い授業形態である「演習」に比べると、発表・グループワークなど学生の授業への直接参加の機会が少ないと思われる「講義」、反復学習が重要な初習外国語の授業を含む「語学」に対する満足度がやや低くなりがちであることが考えられる。遠隔授業中心の状況が2年目を迎えた令和3年度は、どの形態においても昨年度よりも若干の回復が見られるが、依然としてコロナ禍前の水準に戻っていないことがうかがえる。次年度以降も継続して経年の変化に注意が必要である。

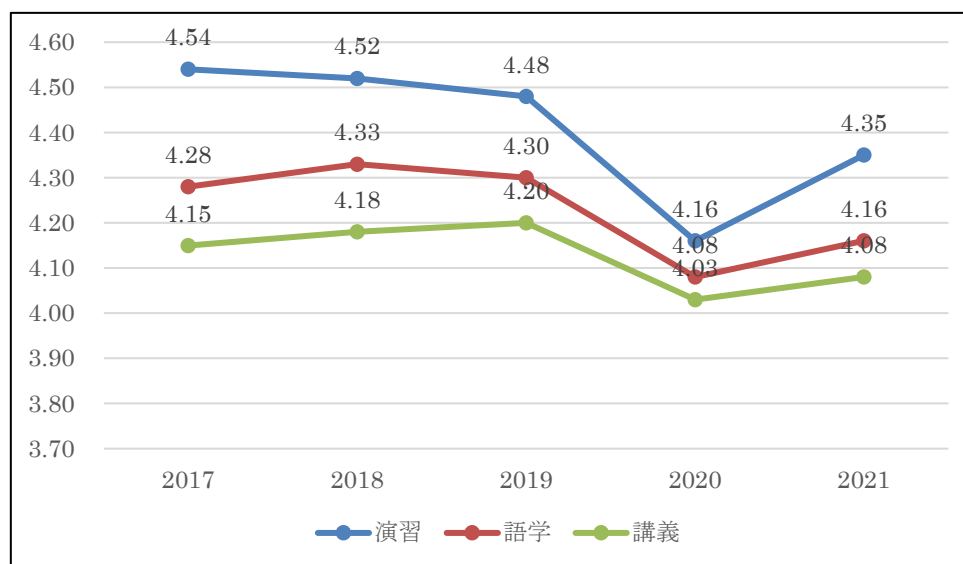
図表4-1 「13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)



講義	演習	語学
4.08	4.35	4.16

図表4-2 「13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「形態別」集計結果(科目ベース)

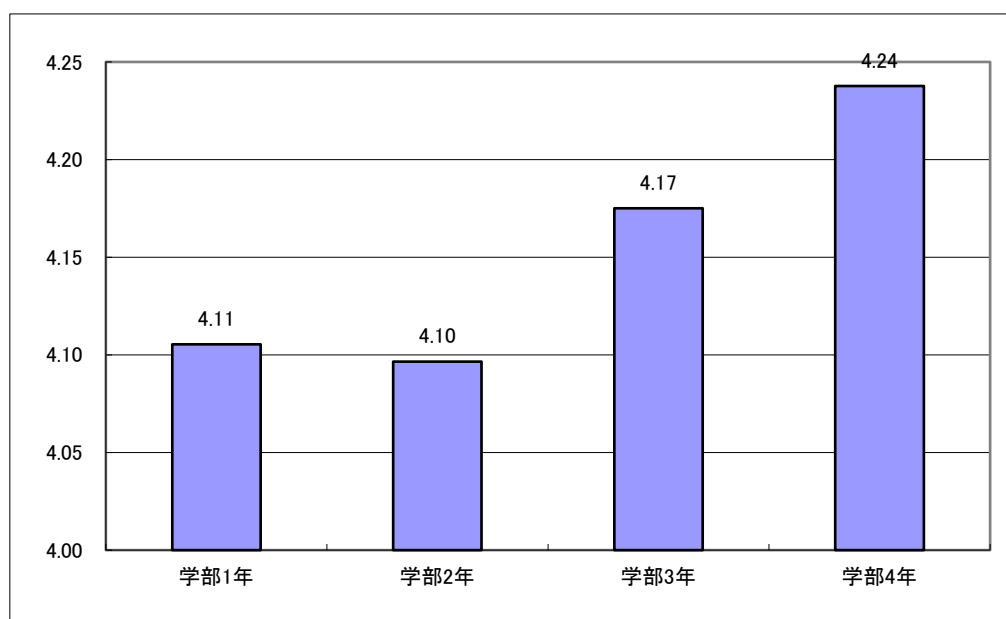
(過去5年)



・「学年別」による集計結果

学部生の回答に限定して、学年別の集計を行った結果が**図表5**である。コロナ禍前までの例年の傾向として、学年が進むにつれて評価値が高くなっていくが、令和3年度は令和2年度と同様に、学部2年生が最も低い値となっている。どの学年も4.00前後となっており、学年間で大きな違いは見らない結果となった。

図表5 「13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」の「学年別」集計結果(回答者ベース)



学部1年	学部2年	学部3年	学部4年
4.11	4.10	4.17	4.24

#### 4. シラバスの活用度

本学のシラバスは、「到達目標（授業の目的・ねらい）」、「各回の授業内容」、「授業方法」、「成績評価の方法・基準」を必須項目とし、成績評価の方法・基準を分かりやすく示せるよう、評価対象項目の複数選択、評価配分のパーセンテージ表記を行っている。

一昨年度から追加した「Q1 履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたと思う知識や能力をイメージしていた」の項目では、学生の受講前のシラバス活用度を確認している。この項目に対し、「強くそう思う」「そう思う」と答えた学生の割合は 81.21%（前年度比+1.41）であった。また、昨年度から追加した「Q4 授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」の項目に対し、「強くそう思う」「そう思う」と答えた学生の割合は 85.53%（前年度比+5.73）となり、昨年度に引き続き教員の工夫がうかがえる結果となった。これらの結果から、シラバスの活用に関しては十分になされていると言える。

シラバスは、履修科目を選択する際だけでなく、学期を通じて授業の進捗や今後の学習計画を確認したり、ひいては卒業までに身につけるべき知識・能力を整理し、学習の道のを自己管理したりするために、常に学生が自律的に学ぶガイドとなることが望まれる。シラバスの内容をブラッシュアップすることはもちろん、学生に向けてその意義をしっかりと説明し、活用を促進していく必要があるだろう。



## IV. 今後の授業評価、FD活動に向けて

令和3年度は、本学に「学生による授業評価アンケート」を導入して16年目となったが、無事にアンケートを実施でき、報告書の作成に至ったことについて、関係各位のご協力に対し、ここに改めて感謝の意を表したい。FD推進委員会は、今後も円滑な実施と情報提供に向け努めていくものである。

授業評価アンケートは、その授業の概況や基礎的な条件の到達度を検証するには重要な活動であるが、授業評価アンケートの取り組みだけでは捉えきれない、各教員の創意工夫も多数あると考えられる。このため、各教員の授業での創意工夫を共有するための「授業への取り組み例の収集・整理」を、引き続き本報告書に掲載することとした。

また、平成27年度より、授業評価アンケートの結果を活用した全学的な取り組みとして、学生による評価が高かった科目を学内の教職員が見学・聴講する「授業見学・聴講」と、その科目の担当教員による講演と参加者の意見交換からなる「FD研究会」を実施してきた。コロナ禍により集合形式での取り組みが難しくなったことから、令和3年度はFDの一環として『GPAの年度間比較と修業年限内の卒業に関わる初年次カリキュラムについての検討』をオンデマンド動画コンテンツ化し、学内への発信を行った。

現在、「学生による授業評価アンケート」の取り組みは、教員にも学生にも定着している。しかし、その真の目的は、個々の教員の努力により具体的な授業改善に結びつき、学生に届いてはじめて達成されることになる。個々の努力を大学全体で共有でき、より良い授業のための改善が継続的に行われるシステムを構築することや、Web上での実施を続ける中でアンケートの回答率を向上させることが次回以降の課題である。

これまでFD推進委員会は、授業評価アンケートの実施や大学教員へのFD研修を活動の主軸としてきたが、教員に求められる資質は常に変わることから、活動目的や内容を見つめなおすことが必要である。

FD活動を教育改善に限定するのではなく、研究活動の活性化や社会貢献に資する取り組みを含めることで、これまで以上に裾野を広げた活動を進めていきたいと考える。

## 第2章

### 令和3年度の概観

## I. 経年の変化

ここでは経年比較が可能な質問をとりあげ、令和元年度から令和3年度までの3年間の傾向を見た。この3年間では新型コロナウイルスの発生と感染拡大が、授業環境、学生の意識に大きな影響を与えたことから、それらに関連する質問(以下3問)と回答結果について、可視化を試みた。

Q02. 私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)

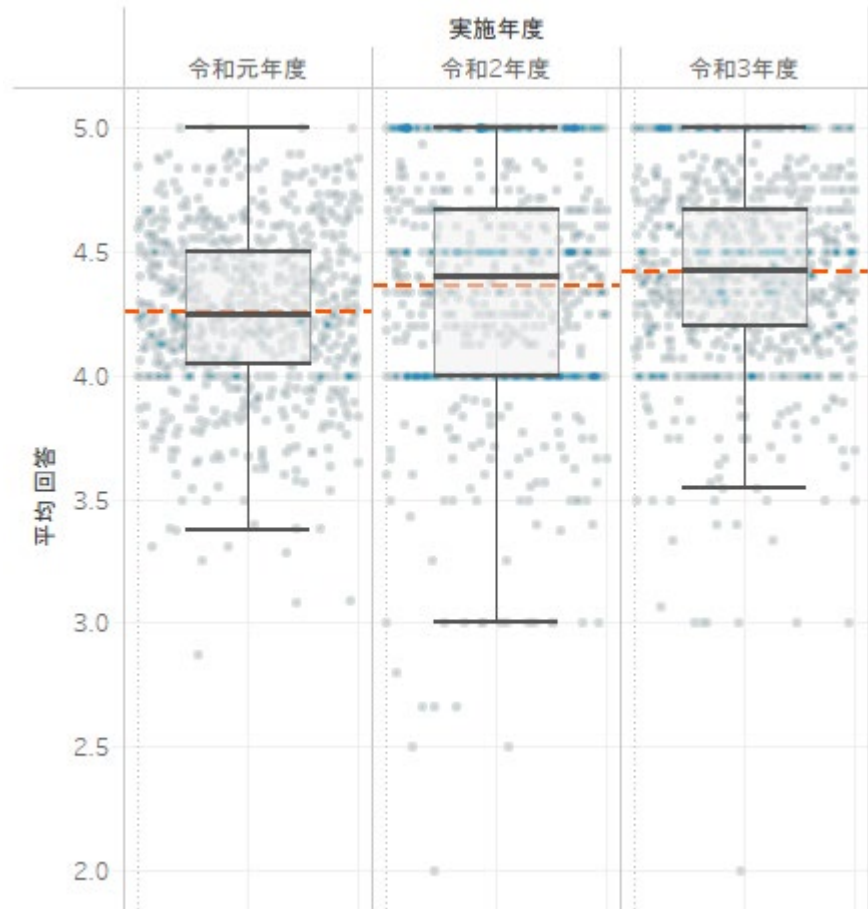
Q10. この授業の水準に満足している

Q13. 総合的に見てこの授業は高く評価できる

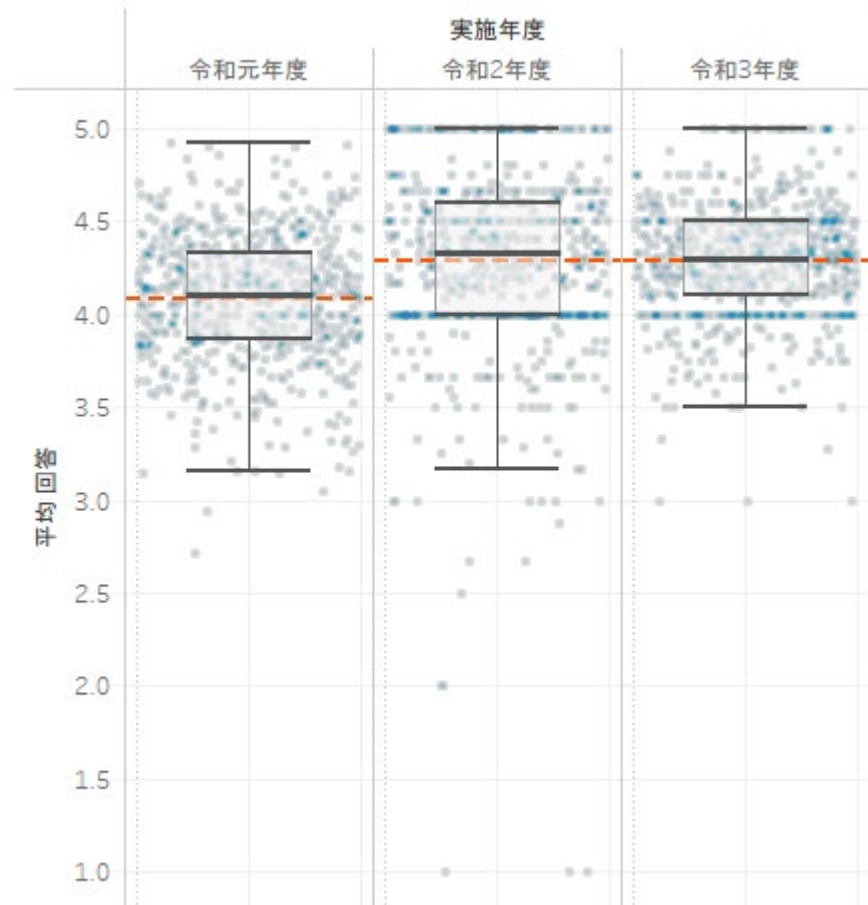
可視化には、授業科目ごと(講義コードごと)の回答値の平均を算出し、箱ひげ図により表した。値は、「5. 強くそう思う」～「1. 全くそう思わない」の5段階の尺度を点数に置き換えている。また、授業ごとの値をプロットし、全体の広がりや偏りを表すこととした。

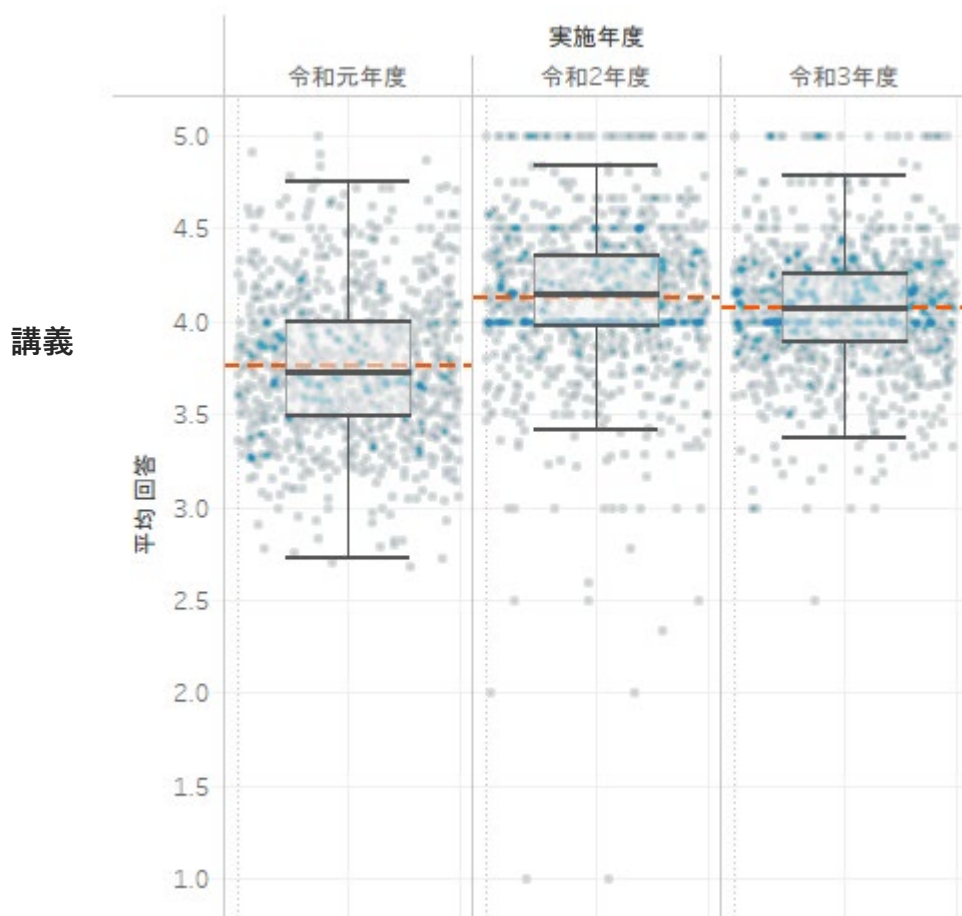
Q02. 私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）

演習



語学



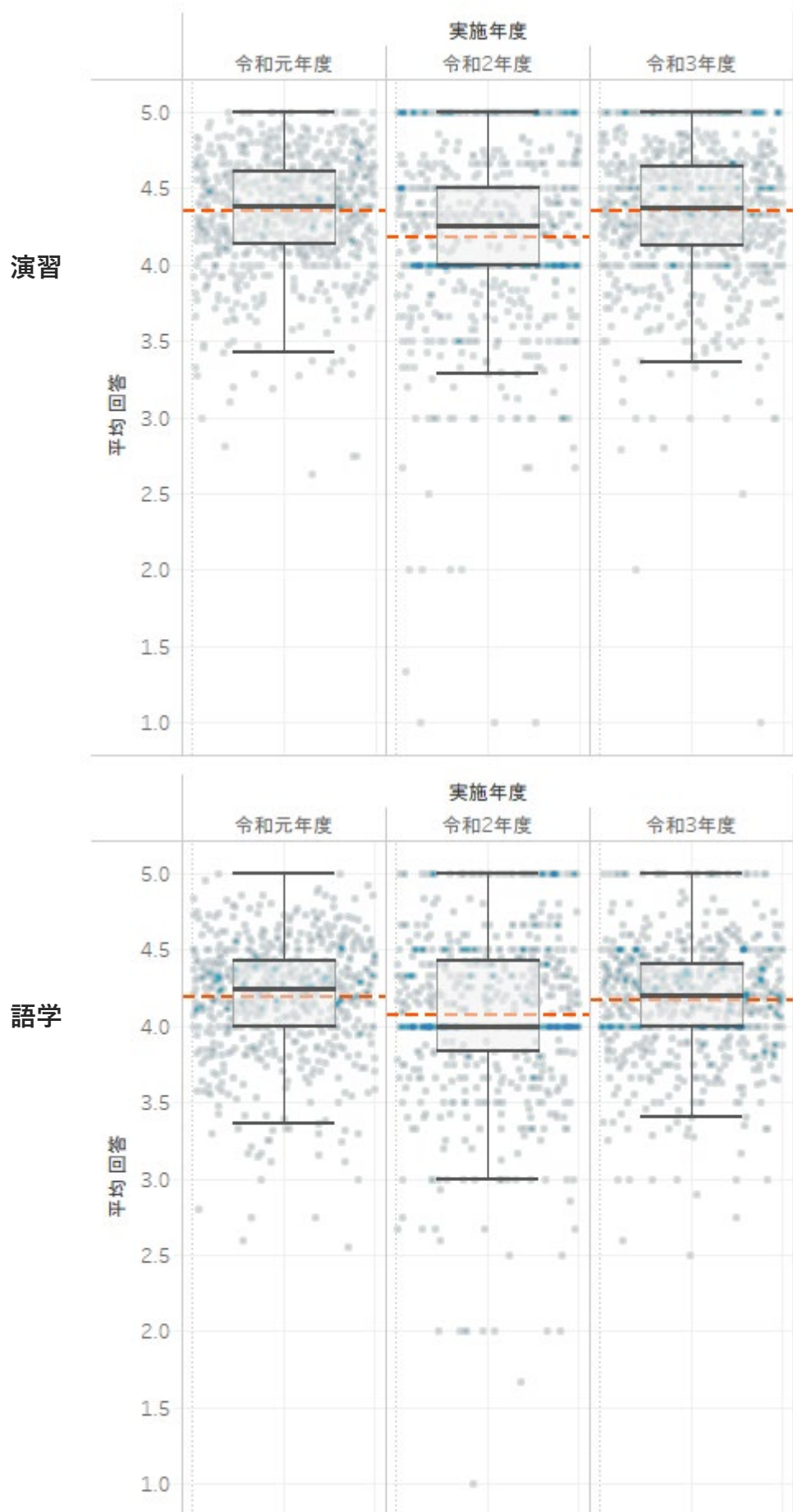


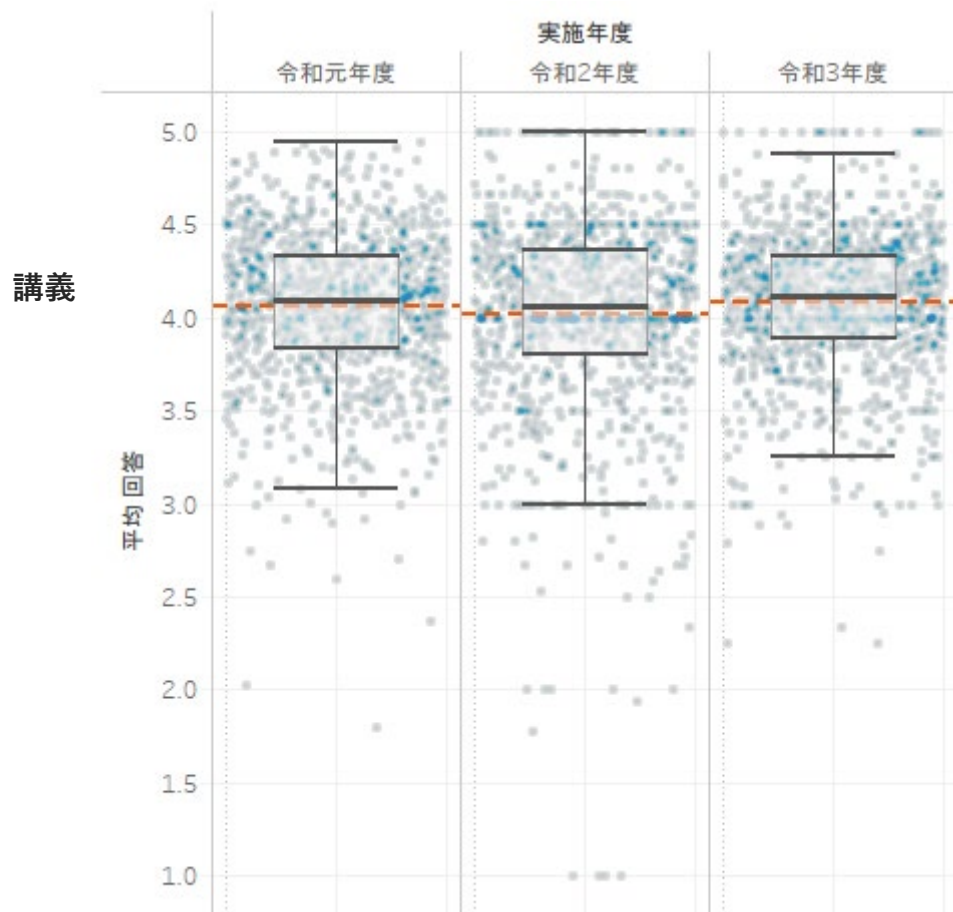
図中の点（ドット）の一つ一つは、授業科目ごと（講義コードごと）の回答値の平均をプロットしており、それぞれの授業を表している。オレンジ色の破線は平均値を示している。

箱ひげ図では、同じ値では点が重なり判読が困難になるため、ジッターを入れて処理している（点の位置をランダムにずらしてプロットしている）。便宜的に位置をずらしたもののため、横軸は意味を持たない。色が濃くなっているところは、データが集中していることを意味する。

演習および語学では、令和2年度と比較すると令和3年度では、ばらつきが小さくなっている。わずかではあるが平均値の上昇も見られる（演習：4.36→4.41、語学：4.28→4.29）。一方、講義では令和2年度と令和3年度では、ばらつきに大きな変化は見られない。平均値には下降がみられる（4.13→4.07）。演習、語学、講義のいずれにおいても令和2年度で外れ値が多い点が共通点としてあげられる。演習はいずれの年度においても、第一四分位が4.0を上回っている。以上の結果から、令和3年度は令和2年度と比較して、概ね改善されたと考えられる。

Q10. この授業の水準に満足している。

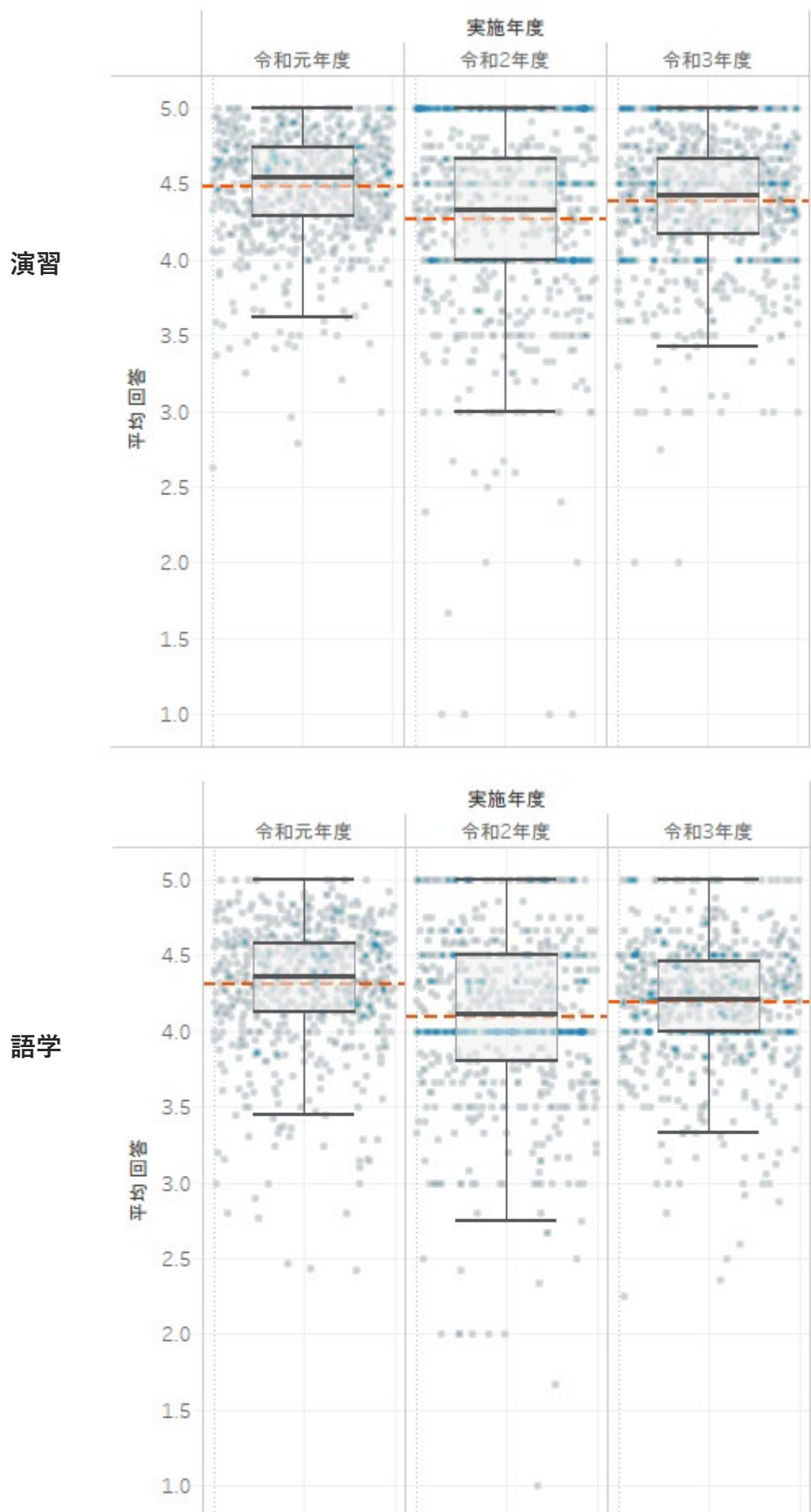




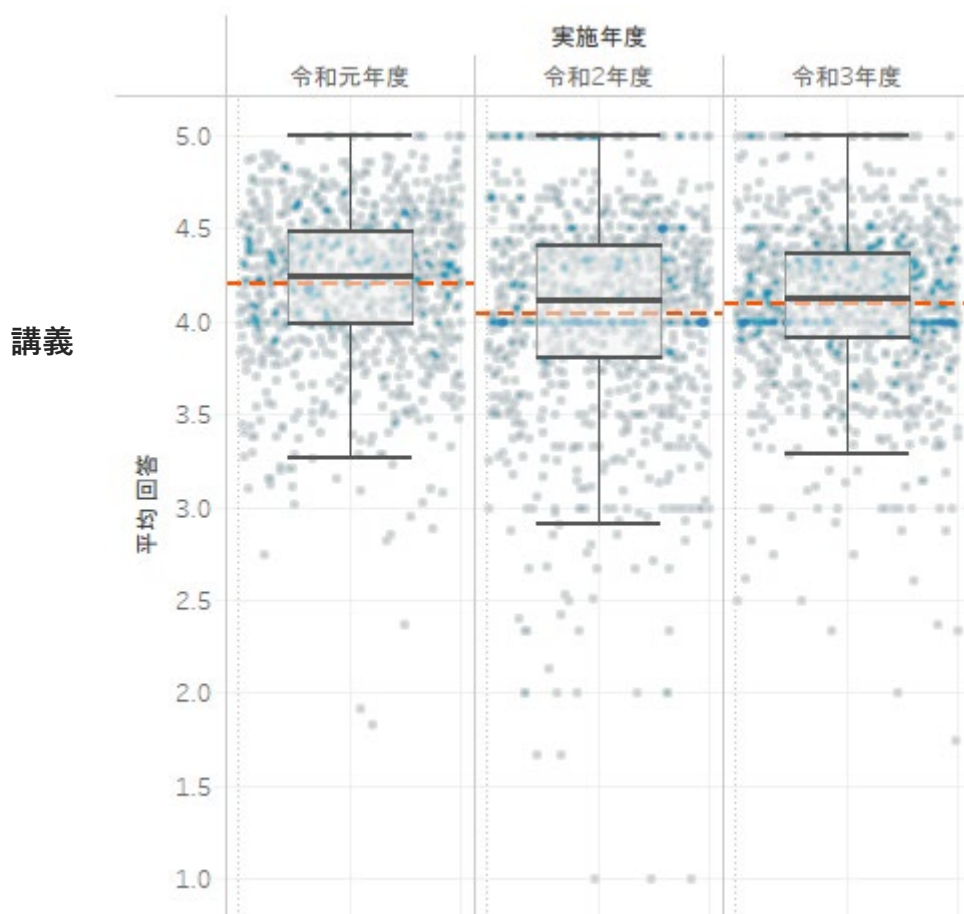
演習、語学、講義のいずれにおいても、令和2年度と比較して令和3年度では、ばらつきが小さくなっている。また、平均値と中央値に上昇がみられる（平均値 演習：4.18→4.35, 語学：4.07→4.16, 講義：4.02→4.08、中央値 演習：4.25→4.38, 語学：4.00→4.20, 講義：4.01→4.11）。講義については、令和2年度と比較して令和3年度は、最大値の低下が見られるものの(5.00→4.88)、最小値は上昇している(3.00→3.25)。

以上の結果から、この質問においても、令和3年度は令和2年度から、概ね改善されたものと考えられる。

Q13. 総合的に見てこの授業は高く評価できる







前述の2つの質問と同様に、演習、語学、講義のいずれにおいても、令和2年度と比較して令和3年度は、ばらつきが小さくなっている。更に、外れ値に該当するデータ数が少なくなっている。演習及び講義の平均値、中央値に上昇がみられる（平均 演習：4.26→4.38, 講義：4.04→4.10）。この質問においても、令和3年度は令和2年度から概ね改善されたものと考えられる。

## II. 自由記述の分析

ここでは新型コロナウイルスによる学生の学び方への影響を把握するため、自由記述回答（以下、テキストデータという）を用いて分析を行った。特に択一式の回答から得られにくい情報から、特徴を抽出することをねらいとした。しかしながら、自由記述の分析は、そもそも質問設計の段階で意図されたものではないため、考察は控え、結果の集計に留めた。

令和3年度における自由記述は、以下の2つを設けている。

- ・ Q14. この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか  
2：オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい  
3：同時配信型の授業の回数を増やしてほしい  
4：対面授業の回数を増やしてほしい  
5：今回のままでよい
- ・ Q15. ①Q14に回答した理由 ②そのほかの意見や気付いた点

Q14は4つの選択肢を持つ択一式の回答であるが、Q15と結びつくことから、合わせて関連性を見ることとした。

分析には、記述内容の分類（いわゆるアフターコーディング）と複数のラベル付与（タグ付け）を用いて、件数をまとめることとした。

### テキストデータの前処理

解析の前処理（データのクレンジング）には、文意を維持した範囲で、表記ゆれを統一した。例えば、“ジーポート”、“gポート”はg-portに、“受講生”、“受講者”は履修者に置き替得ている。Q15は一つのテキストデータに、“①Q14に回答した理由”と“②そのほかの意見や気付いた点”の回答が混在しているため、理由を示しているものは①、意見と捉えられるものは②へと分割した。どちらとも判断がつきにくいものは意見として扱った。また、Q14で「今回のままでよい」と現状を肯定しているのに、Q15で否定的な内容を記述しているものは、意見として扱っており、記述から文意を推定することが困難なものは除外した。

これら処理の結果、テキストデータの量は“①Q14に回答した理由”では、1,311件(75,738文字)、“②そのほかの意見や気づいた点”は2,396件(178,638文字)、延べ3,707件(254,373文字)となった。

### テキストデータの分類・ラベル付け

前述のテキストデータに分類するため、頻出単語とその組合せの出現回数の抽出を行った。解析には、Exploratory (version 6.11.2)を使用した。頻出単語の抽出結果は、表1-1および表1-2のような結果となった。

表 1-1 “①Q14 に回答した理由”の頻出単語と組合せ

単語 1	単語 2	出現回数
自分	ペース	42
同士	学生	22
履修	他の	21
理解	深	21
意見交換	同士	18
コロナウイルス	感染	18
理解	内容	17
学習	ペース	16
質問	出来る	16
満足	十分	16
コミュニケーション	取り	16
好き	時間	15
リスク	感染	14
講義	Zoom	13
聞	取	13
戻	巻き	13
満足	内容	13
やすい	質問	13
良い	出来る	13
られる	時間	13
られる	良い	13
空	時間	13
享受	内容	13

\*出現回数の多いもののみ抜粋

表 1-2 “②そのほかの意見や気付いた点”の頻出単語と組合せ

単語 1	単語 2	出現回数
提出	課題	33
毎回	課題	31
出来る	理解	28
配付	資料	26
ファイル	音声	26
理解	内容	25
レポート	期末	25
深	理解	21
すぎる	多	20
期末	課題	19
方法	実施	19
やすい	理解	18
丁寧	説明	18
内容	課題	17
質問	機会	17
欲しい	改善	16
説明	動画	16
レポート	課題	16
履修	講義	15
学生	教員	15
音声	動画	15
説明	課題	15
説明	教員	15
期末	テスト	15
深める	理解	15
意見	学生	15

\*出現回数の多いもののみ抜粋

上記の結果から「①Q14 に回答した理由」には 20 件の分類を設定した。「②自由記述」には、1 件のテキストデータから、複数の意味が含まれるものがあるため、最大で 3 つを限度としてラベル付けを行った。この結果、20 種類のラベルを設定した。5：今回のままでよいについては、各実施方法別に集計することが困難なため、本報告書からは割愛している。

この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか？

## 2：オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい

理由	出現回数
自分のペースで学習、復習できるから	32
同期型*である必要性を感じないから	28
機器や通信環境にトラブルがある（あった）から	16
感染対策の観点で必要だと考えるから	8
授業が時間内に終わらないから	3
回答理由の記述なし	2328

\*対面形式、同時配信形式をまとめ、便宜的に同期型と表した。

最も多かったものは「自分のペースで学習、復習できるから」で、何度も繰り返して視聴できるからという記述が多い。「同期型である必要性を感じないから」には、“聞くことが中心の授業なので、対面やオンラインである必要はなく動画視聴で十分である”等、双方向性を伴わない授業に対し、このような記述が見られる。

## 3：同時配信型の授業の回数を増やしてほしい

理由	出現回数
授業動画や資料等が分かりにくいから	26
集中力、モチベーションを維持したい、気が緩むから	15
感染対策の観点で必要だと考えるから	6
意見交換や議論ができるから	6
質問しやすいから	5
他の学生や教員と交流したい（交流できた）から	5
学習の習慣、リズムが身につくから	5
実施方法がすべて同じだったから	5
対面とオンラインで違いがないから	4
LMS やツールが使いにくいから	3
授業を受けた実感を得られないから	3
機器や通信環境にトラブルがある（あった）から	3
その他	13
回答理由の記述なし	1308

「授業動画や資料等が分かりにくいから」が最も多い。記述内容を見ると“音声だけ”、“レジュメだけ”、“文章だけ”、“のような”～だけ”という単語が26件中18件に見られ、主にオンデマンド型と推定される授業に多い。

なお、「実施方法がすべて同じだったから」という回答は、“すべてオンデマンド型の授業だったので、一回ぐらいはオンラインで実施してほしい”等の意見が含まれる。

#### 4：対面授業の回数を増やしてほしい

理由	出現回数
意見交換や議論ができるから	69
他の学生や教員と交流したい（交流できた）から	48
性質上、適していると思うから（実験実習、語学等）	29
集中力、モチベーションを維持したい、気が緩むから	27
理解しやすいから	23
機器や通信環境にトラブルがある（あった）から	18
質問しやすいから	17
発表・プレゼンしやすいから	12
実施方法がすべて同じだったから	12
授業を受けた実感を得られないから	10
授業動画や資料等が分かりにくいから	7
身体的な負担（目の痛み等）が大きいから	4
LMS やツールが使いにくいから	3
実施方法と難易度があってないから	3
その他	3
回答理由なし	6112

最も多かったのは「意見交換や議論ができるから」で、演習を中心にした授業に見られる。次いで多かったのは「他の学生や教員と交流したい（交流できた）から」で、“直接コミュニケーションをとれる機会がないのは寂しい”等のような記述が見られる。

「理解しやすいから」という回答には、明確な理由は記されていないが、直接説明を聞いたほうが分かりやすいという記述が多くみられる。「実施方法がすべて同じだったから」には、“1度ぐらいは、対面で行ってほしい”、“授業内容が難しい場合は、対面形式がよい”という趣旨の記述が見られる。

### 自由記述（そのほか気づいた点等）

テキストデータから、表 1-2 をもとにラベル付与を行った。付与に際して、授業内容や試験内容など、難易度や内容そのものに関する記述については、新型コロナウイルスの影響と直接の関係を持つことが考えにくいこと、また記述量も膨大であることから、今回は対象から除外した。

また「親切だった」「丁寧だった」等、教員のパーソナリティに関連する記述も、程度を推し測ることが困難であることから、対象から除外した。

これらから、ラベルの内容と件数は表 2 のような結果となった。

表 2 自由記述回答に付与したラベル一覧

ラベル	総計
質問への対応	133
資料の内容	94
授業実施の連絡	87
教員に不適切な姿勢や言動があった	87
授業・収録動画の時間	73
課題の量	72
課題の説明や指示, 連絡	48
課題のフィードバック	43
動画の画質・音質	41
課題提出の方法やしめきり	39
動画の更新スケジュールや公開期限	36
評価基準が不明瞭, 評価が妥当でない	33
機器やツールの操作, 通信状況等のトラブル	33
資料が多い/少ない	32
資料の公開期限やアップロード先	20
動画のアップロード先	18
シラバスどおりでない	11
試験の説明や指示, 連絡	8
試験・レポートの提出方法	6
試験結果のフィードバック	5

付与したラベルの総数は 919 件で、テキストデータの数は 868 件であった。

多かったラベルは上位から順に、質問への対応（133 件）、資料の内容（94 件）、授業実施

の連絡（88件）、教員に不適切な姿勢や言動があった（87件）、授業・収録動画の時間（73件）、課題の量（72件）で、総数の約6割はこれらで占められている。

### 自由記述に見られた記述内容

前述のラベル一覧での上位6項目における、具体的な自由記述の内容例(原文ママではない)を以下に示す。

### 質問への対応

- ・ オンデマンド形式の授業なのに、リアルタイムと変わらないくらい質問への対応が早い。
- ・ オンライン形式の授業後や Twitter の DM など、質問出来るシステムが複数ある。
- ・ 授業内で「質問などがあればチャットに書き込んで」とおっしゃっていたので、何度かチャットに送ったが、気づいてもらえなかった。
- ・ 先生に LMS についての知識が乏しく、質問等を連絡しても返答がもらえない。

### 資料の内容

- ・ レジюмеに載っている動画の URL をクリックしても、再生出来ない。
- ・ 資料を開くためのパスワードがかかっている。
- ・ ファイルのセキュリティの設定で印刷出力が許可されていない。

### 授業実施の連絡

- ・ 授業形態がオンデマンドかオンラインかが授業前日まで知らされないので困惑した。
- ・ 可能であれば LMS システムを使った連絡が欲しい。

### 教員に不適切な言動があった

- ・ 授業動画に、昨年作られたものの使い回しと思われるものがあった。
- ・ 欠席した学生に対する対応で全員が見られる LMS で行われていた。

### 授業・収録動画の時間

- ・ 授業時間が 90 分に対して 120 分近く、長い場合は 180 分くらいあった。
- ・ 授業時間が 1 時間で終わっていた。

### 課題の量

- ・ 課題の量が多く、対面であればこんなに課題は出なかったのだろうと感じた。
- ・ その日のうちに 1000 字程度の考察を提出するのは厳しすぎると感じた。



## 第3章

### 各部門の分析・評価

# I 法学部

## 1 集計データからわかること

集計では、学生回答単純集計および部門別・形態別集計の2種類が行われている。学生回答単純集計は学生の回答をすべて用いたものであるため、受講生の多い講義への評価は全体評価に対してより大きく寄与することとなる。本指標は、学生が本学（各学部）の授業をどのように経験しているかを見る上で適した指標といえる。他方で部門別・形態別集計は各講義に対して与えられた点数を集計しており、受講者数で重み付けせずすべての講義に同一のウェイトをかけて集計したものと解釈できる。それゆえ、本学（各学部）で提供される授業の質を見る上で適した指標といえる。いずれの指標を用いるかは関心によるが、以下では断りのない限り学生回答単純集計の結果をもとにその結果を確認する。

経年比較については、2020年3月より続くコロナ禍の影響で授業形態が変化していること、および、オンライン授業が主となった影響で、授業評価アンケートへの回答率が2019年度以前に比して低下していることに注意が必要である。法学部の場合、2020年度と比べて2021年度の回答率は大きく上昇したものの（16.6%→34.6%）、2019年度の水準（41.9%）には達していない。どのような学生が授業評価アンケートに回答しやすいのかは定かでないため、数値のわずかな変化を過度に強調するのは避けるのがよいだろう。

以上の点に留意して、各回答結果を確認する。

Q1（私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身に着けたいと思う知識や能力をイメージしていた）への回答の平均は4.06（講義）、4.19（演習）であった。この値は2020年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。

Q2（私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む））への回答の平均は4.02（講義）、4.45（演習）であった。この値は2020年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。

Q3（私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ）への回答の平均は3.97（講義）、4.42（演習）であった。この値は2020年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。この質問に関連して、Q3-2では1週間あたり平均でどの程度この授業のために時間を使ったかを尋ねている。とくに演習は講義と比べて学習時間はかなり多く、無回答を除いて集計すれば、約35%の学生が週3時間以上時間をとって学習している（講義は約11%）。本学部の演習は学生に相応の負荷を要求し、かつ学生もそれに対して積極的に応えていることを示唆する。

Q4（授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった）への回答の平均は4.12（講義）、4.37（演習）であった。この値は2020年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べ

ても同程度の水準である。

Q5（この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った）への回答の平均は 4.14（講義）、4.38（演習）であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。

Q6（この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた）への回答の平均は 3.93（講義）、4.43（演習）であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。

Q7（この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた）への回答の平均は 3.07（講義）、4.28（演習）であった。この値は 2020 年度（2.79）と比べやや上昇した（講義のみ比較）。オンライン授業への対応のなかで、各教員が授業方法を工夫し、履修者どうしの意見交換の機会を設けるための方策を見つけ、それを実行することで評価の改善につながった可能性がある。また、本質問については、他部門と比べると講義に関する評価はやや低く、他方演習に対する評価はやや高いというように、両者の点数の差が大きい。講義では主に学生への知識の教授、演習では参加者同士での議論というふうに、それぞれ役割分担が行われている程度が高いということかもしれない。

Q8（教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた）への回答の平均は 4.07（講義）、4.39（演習）であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。

Q9（この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している）への回答の平均は 4.02（講義）、4.32（演習）であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。付随して、授業のボリュームをどのように感じたかを尋ねた Q9-2 では、多いとした回答者が約 90%であった。

Q10（この授業の水準に満足している）への回答の平均は 4.05（講義）、4.32（演習）であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。付随して、授業の水準をどのように感じたかを尋ねた Q10-2 では、高すぎるとする回答が約 80%（講義）、70%（演習）であった。

Q11（この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした）への回答の平均は 4.11（講義）、4.39（演習）であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。

Q12（この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる）への回答の平均は 4.10（講義）、4.42（演習）であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。

Q13（総合的に見てこの授業は高く評価できる）への回答の平均は 4.08（講義）、4.41（演習）であった。この値は 2020 年度と比べ大きく変化していない（講義のみ比較）。他部門と比べても同程度の水準である。

Q14（この授業の実施方法（オンデマンド型など）について、どのように感じましたか）は、2021 年度より新たに設けられた項目であるので、やや詳しくみていく。講義については、「今回のままでよい」が全体の 75%と多数を占めるが、「対面授業の回数を増やしてほしい」とする回答が 16%、他方で「同時配信型の授業の回数を増やしてほしい」「オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい」とする回答がそれぞれ 3%、6.6%あった。演習については、「今回のままでよい」が全体の約 73%を占める一方、「対面授業の回数を増やしてほしい」という回答が約 23%であり、「同時配信型の授業の回数を増やしてほしい」「オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい」とする回答はごく少数であった。本項目への解釈は当該授業がいかなる形式で行われたかに大きく依存するため（たとえば全回対面で行われた授業と全回オンデマンドで行われた授業とでは、「今回のままでよい」の指す内容が全く異なるものとなる）、本結果から一概にいうことはできない。それゆえ、他部門との比較はできない。しかしながら法学部についていえば、講義はおおむね同時配信やオンデマンド、演習はおおむね対面で行われているという事情を踏まえれば、講義よりはむしろ演習について強く対面が望まれているとみられる。演習という授業の性質を踏まえれば、対面での実施の優先度は高いだろう。

相関係数に関する結果については、とくに授業に対する高い評価と強く相関する項目として、Q4（授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった）、Q5（この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った）、Q8（教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた）、Q9（この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している）、Q10（この授業の水準に満足している）、Q11（この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした）、Q12（この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる）が挙げられる。要するに、シラバスや授業方法についての説明が適切で、教材の質がよく、理解しやすい説明に努め、適度なボリューム・水準で、知的好奇心が刺激され、自らの知識や能力向上の実感を持てるような授業の評価がよい傾向がある、という、理解可能な結果を示しているといえる。

## 2 今後の授業改善に向けて

以上、集計結果からいえるのは以下の 2 点である。第一に、概して法学部の授業に対する学生からの評価は他部門と同程度の水準であり、また過年度と比べて下がっているといったような傾向はない。むしろ、オンライン授業への対応を模索する中で、昨年度よりも改善した項目—履修者同士の意見交換の機会の増加—もある。ひとまずはこの結果を肯定的に受け止め、授業改善に向けて各教員が引き続き努力することが望ましい。

第二に、講義と比べて演習に対する評価は概して高い。これは、意欲の高い学生が演習を履修するというセレクションによる要因も含まれているかもしれないが、法学部が掲げる

少人数教育が学生にとっても満足度の高いものとして経験されていることを示唆している。演習の質が現状と同程度に担保されるならば、演習形式の授業の拡張は、学生評価のさらなる向上につながる可能性があるといえる。



# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

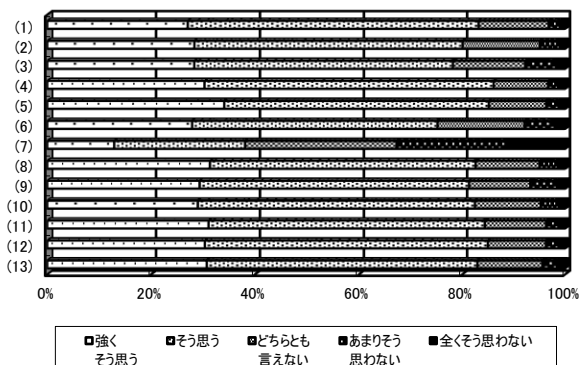
部門名 法学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	7,033	20,322	34.61%

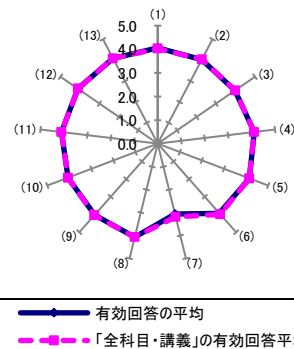
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
			5	4	3	2	1				部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く 思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,892	3,925	952	165	60	39	7,033	4.06	0.758	4.07	0.210
			26.90%	55.81%	13.54%	2.35%	0.85%	0.55%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,984	3,623	1,053	275	70	28	7,033	4.02	0.825	4.02	0.234
			28.21%	51.51%	14.97%	3.91%	1.00%	0.40%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,984	3,493	985	434	112	25	7,033	3.97	0.902	3.96	0.256
			28.21%	49.67%	14.01%	6.17%	1.59%	0.36%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	160	284	828	1,836	1,223	2,131	6,462	2.15	1.023	2.20	0.433
			2.48%	4.39%	12.81%	28.41%	18.93%	32.98%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	2,118	3,906	738	150	85	36	7,033	4.12	0.768	4.08	0.309
			30.12%	55.54%	10.49%	2.13%	1.21%	0.51%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	2,386	3,579	779	188	72	29	7,033	4.14	0.794	4.13	0.296
			33.93%	50.89%	11.08%	2.67%	1.02%	0.41%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,951	3,309	1,184	420	133	36	7,033	3.93	0.925	3.95	0.415
			27.74%	47.05%	16.83%	5.97%	1.89%	0.51%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	903	1,762	2,039	1,496	799	34	7,033	3.07	1.197	3.06	0.424	
		12.84%	25.05%	28.99%	21.27%	11.36%	0.48%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	2,192	3,588	868	253	98	34	7,033	4.07	0.838	4.03	0.334	
		31.17%	51.02%	12.34%	3.60%	1.39%	0.48%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	2,055	3,641	835	372	103	27	7,033	4.02	0.870	3.99	0.327	
		29.22%	51.77%	11.87%	5.29%	1.46%	0.38%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	405	63	-	-	-	7	475	-	-	-	-	
		85.26%	13.26%	-	-	-	1.47%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	2,025	3,736	893	249	84	46	7,033	4.05	0.816	4.02	0.305	
		28.79%	53.12%	12.70%	3.54%	1.19%	0.65%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	272	48	-	-	-	13	333	-	-	-	-	
		81.68%	14.41%	-	-	-	3.90%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	2,170	3,726	831	186	75	45	7,033	4.11	0.788	4.11	0.272	
		30.85%	52.98%	11.82%	2.64%	1.07%	0.64%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	2,124	3,826	790	190	73	30	7,033	4.10	0.779	4.10	0.263	
		30.20%	54.40%	11.23%	2.70%	1.04%	0.43%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,148	3,654	883	225	86	37	7,033	4.08	0.816	4.06	0.351	
		30.54%	51.96%	12.56%	3.20%	1.22%	0.53%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	5,225	1,100	211	465	-	32	7,033	-	-	-	-	
		74.29%	15.64%	3.00%	6.61%	-	0.46%	100.00%					

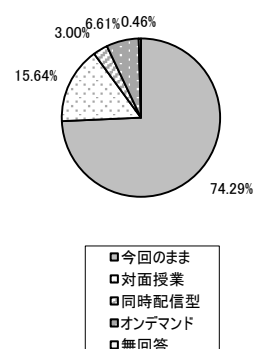
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

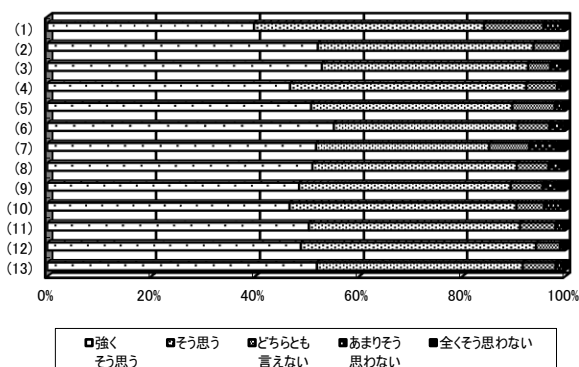
部門名 法学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	585	1,174	49.83%

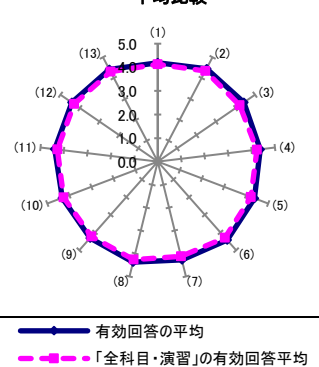
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	232	259	67	22	3	2	585	4.19	0.821	4.18	0.435
			39.66%	44.27%	11.45%	3.76%	0.51%	0.34%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	304	244	31	4	1	1	585	4.45	0.645	4.44	0.263
			51.97%	41.71%	5.30%	0.68%	0.17%	0.17%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	307	232	25	15	2	4	585	4.42	0.726	4.43	0.303
			52.48%	39.66%	4.27%	2.56%	0.34%	0.68%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	58	66	83	97	57	203	564	2.92	1.313	2.87	0.914
			10.28%	11.70%	14.72%	17.20%	10.11%	35.99%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	271	265	35	6	3	5	585	4.37	0.692	4.37	0.285
			46.32%	45.30%	5.98%	1.03%	0.51%	0.85%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	296	227	48	10	2	2	585	4.38	0.739	4.38	0.341
			50.60%	38.80%	8.21%	1.71%	0.34%	0.34%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	321	207	36	17	1	3	585	4.43	0.752	4.46	0.378
			54.87%	35.38%	6.15%	2.91%	0.17%	0.51%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	301	195	45	31	10	3	585	4.28	0.940	4.34	0.554	
		51.45%	33.33%	7.69%	5.30%	1.71%	0.51%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	298	231	36	16	3	1	585	4.38	0.765	4.39	0.433	
		50.94%	39.49%	6.15%	2.74%	0.51%	0.17%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	283	239	36	18	8	1	585	4.32	0.832	4.34	0.410	
		48.38%	40.85%	6.15%	3.08%	1.37%	0.17%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	23	2	-	-	-	1	26	-	-	-	-	
		88.46%	7.69%	-	-	-	3.85%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	270	254	31	21	3	6	585	4.32	0.779	4.33	0.407	
		46.15%	43.42%	5.30%	3.59%	0.51%	1.03%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	17	5	-	-	-	2	24	-	-	-	-	
		70.83%	20.83%	-	-	-	8.33%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	292	237	40	9	2	5	585	4.39	0.715	4.39	0.347	
		49.91%	40.51%	6.84%	1.54%	0.34%	0.85%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	284	265	27	3	3	3	585	4.42	0.655	4.42	0.272	
		48.55%	45.30%	4.62%	0.51%	0.51%	0.51%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	302	232	37	9	2	3	585	4.41	0.710	4.42	0.370	
		51.62%	39.66%	6.32%	1.54%	0.34%	0.51%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	427	136	7	14	-	1	585	-	-	-	-	
		72.99%	23.25%	1.20%	2.39%	-	0.17%	100.00%					

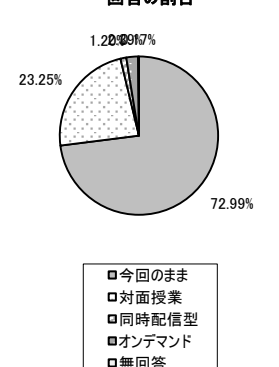
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表 部門名 法学部  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.597 (**)	1												
Q3	.469 (**)	.718 (**)	1											
Q3-2	.163 (**)	.261 (**)	.320 (**)	1										
Q4	.497 (**)	.494 (**)	.439 (**)	.129 (**)	1									
Q5	.496 (**)	.520 (**)	.450 (**)	.131 (**)	.668 (**)	1								
Q6	.391 (**)	.405 (**)	.357 (**)	.096 (**)	.548 (**)	.519 (**)	1							
Q7	.283 (**)	.302 (**)	.260 (**)	.066 (**)	.334 (**)	.313 (**)	.502 (**)	1						
Q8	.482 (**)	.493 (**)	.408 (**)	.100 (**)	.637 (**)	.713 (**)	.556 (**)	.370 (**)	1					
Q9	.452 (**)	.456 (**)	.380 (**)	.025	.554 (**)	.607 (**)	.481 (**)	.346 (**)	.667 (**)	1				
Q10	.474 (**)	.487 (**)	.391 (**)	.049 (**)	.586 (**)	.640 (**)	.506 (**)	.353 (**)	.698 (**)	.763 (**)	1			
Q11	.565 (**)	.584 (**)	.486 (**)	.141 (**)	.586 (**)	.650 (**)	.505 (**)	.335 (**)	.676 (**)	.608 (**)	.658 (**)	1		
Q12	.573 (**)	.600 (**)	.501 (**)	.151 (**)	.584 (**)	.658 (**)	.482 (**)	.315 (**)	.667 (**)	.607 (**)	.650 (**)	.814 (**)	1	
Q13	.513 (**)	.538 (**)	.437 (**)	.098 (**)	.646 (**)	.702 (**)	.543 (**)	.373 (**)	.765 (**)	.698 (**)	.760 (**)	.748 (**)	.747 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 法学部  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.485 (**)	1												
Q3	.297 (**)	.484 (**)	1											
Q3-2	-.023	.173 (**)	.323 (**)	1										
Q4	.441 (**)	.331 (**)	.209 (**)	-.027	1									
Q5	.455 (**)	.340 (**)	.195 (**)	-.061	.577 (**)	1								
Q6	.362 (**)	.308 (**)	.133 (**)	-.082	.438 (**)	.532 (**)	1							
Q7	.270 (**)	.266 (**)	.162 (**)	-.086	.307 (**)	.316 (**)	.558 (**)	1						
Q8	.483 (**)	.312 (**)	.144 (**)	-.103 (*)	.577 (**)	.675 (**)	.579 (**)	.434 (**)	1					
Q9	.471 (**)	.346 (**)	.182 (**)	-.128 (*)	.509 (**)	.560 (**)	.457 (**)	.358 (**)	.680 (**)	1				
Q9-2														
Q10	.495 (**)	.363 (**)	.200 (**)	-.103	.490 (**)	.580 (**)	.519 (**)	.386 (**)	.662 (**)	.671 (**)	1			
Q10-2														
Q11	.501 (**)	.361 (**)	.229 (**)	.014	.453 (**)	.535 (**)	.483 (**)	.382 (**)	.625 (**)	.547 (**)	.632 (**)	1		
Q12	.470 (**)	.427 (**)	.324 (**)	.014	.406 (**)	.517 (**)	.450 (**)	.312 (**)	.571 (**)	.545 (**)	.574 (**)	.713 (**)	1	
Q13	.488 (**)	.362 (**)	.214 (**)	-.025	.559 (**)	.618 (**)	.521 (**)	.393 (**)	.707 (**)	.712 (**)	.723 (**)	.727 (**)	.702 (**)	1
Q14														

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。





## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 法学部  
形態名 講義

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.935	3.97	0.246	4.03	0.767	4.05	0.238	4.06	0.758	4.07	0.210
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.64	1.100	3.70	0.363	3.70	1.093	3.79	0.438	3.61	1.067	3.65	0.377	4.03	0.873	4.03	0.335	4.02	0.825	4.02	0.234
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	0.958	4.00	0.370	3.97	0.902	3.96	0.256
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.27	1.051	2.26	0.444	2.15	1.023	2.20	0.433
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.887	4.02	0.457	4.12	0.768	4.08	0.309
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.921	4.06	0.439	4.14	0.794	4.13	0.296
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.85	1.028	3.86	0.556	3.93	0.925	3.95	0.415
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.79	1.258	2.78	0.588	3.07	1.197	3.06	0.424
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.07	1.006	4.13	0.418	4.12	0.985	4.16	0.437	4.09	0.967	4.10	0.435	3.94	0.970	3.94	0.510	4.07	0.838	4.03	0.334
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.93	0.951	3.94	0.458	4.02	0.870	3.99	0.327
	(10)	この授業の水準に満足している	3.87	1.003	3.90	0.365	3.93	0.995	3.96	0.423	4.00	0.940	4.00	0.361	3.98	0.890	3.99	0.444	4.05	0.816	4.02	0.305
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.99	0.993	4.08	0.349	4.05	0.975	4.14	0.394	4.08	0.908	4.11	0.331	4.05	0.865	4.07	0.385	4.11	0.788	4.11	0.272
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.863	4.04	0.380	4.10	0.779	4.10	0.263
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.13	0.927	4.21	0.357	4.18	0.906	4.23	0.394	4.16	0.891	4.17	0.357	3.98	0.931	3.99	0.488	4.08	0.816	4.06	0.351	

部門名 法学部  
形態名 演習

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.26	0.882	4.30	0.438	4.06	0.837	4.05	0.443	4.19	0.821	4.18	0.435
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.35	0.792	4.40	0.283	4.32	0.814	4.35	0.313	4.29	0.809	4.32	0.368	4.30	0.751	4.30	0.332	4.45	0.645	4.44	0.263
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.38	0.768	4.37	0.301	4.42	0.726	4.43	0.303
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.90	1.249	2.96	0.712	2.92	1.313	2.87	0.914
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.22	0.876	4.21	0.427	4.37	0.692	4.37	0.285
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.826	4.19	0.391	4.38	0.739	4.38	0.341
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.840	4.34	0.426	4.43	0.752	4.46	0.378
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.85	1.244	3.95	0.752	4.28	0.940	4.34	0.554
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.54	0.738	4.57	0.335	4.50	0.782	4.53	0.395	4.45	0.818	4.52	0.405	4.25	0.837	4.24	0.425	4.38	0.765	4.39	0.433
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.17	0.865	4.15	0.398	4.32	0.832	4.34	0.410
	(10)	この授業の水準に満足している	4.28	0.847	4.30	0.361	4.25	0.894	4.27	0.433	4.37	0.834	4.42	0.390	4.18	0.820	4.18	0.423	4.32	0.779	4.33	0.407
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.52	0.741	4.56	0.315	4.49	0.764	4.52	0.356	4.46	0.782	4.51	0.418	4.30	0.772	4.31	0.367	4.39	0.715	4.39	0.347
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.30	0.750	4.30	0.319	4.42	0.655	4.42	0.272
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.59	0.668	4.62	0.307	4.55	0.737	4.58	0.367	4.51	0.763	4.57	0.403	4.30	0.783	4.30	0.391	4.41	0.710	4.42	0.370	

## II 経済学部

### 1. 集計データからわかること

前年度までの経年変化は、昨年(2020年)の報告書で分析されているので、ここでは、今回の調査について、前年度からの変化を中心に分析したい。表1-1と1-2は、今回得られた令和3(2021)年度の平均から、令和2(2020)年度の平均を引いて平均値の変化を提示したものである。昨年と同様、注目する値は、質問項目に関する「(回答者ベースの)平均値」であり、「回答者ベース」とは学生回答者の単純集計である。

#### 平均値分析(表1-1、1-2)

- 1) 授業の総合的な評価を問う Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」は、講義では0.22、演習では0.1増加し、前年度から好転している。増加幅は、2021年度の標準偏差が0.847(講義)、0.550(演習)であるので、0.21~0.26標準偏差の増加であるが、前年度までの減少傾向を鑑みると大きな変化といえよう。
- 2) 他の項目も増加が多く、13項目のうち、講義においては、12項目が増加、演習では増加が11項目である。2020年度は、コロナ禍のために、大学の教育活動のほとんどすべてを激変せざるを得なかった。しかし、その1年の間に経済学部は急速にコロナ禍に対して適切に対応し、今回の評価が得られたものと考えられる。
- 3) 平均値が0.2以上増加した項目は、講義では、前出のQ13(0.22増)に加え、Q9「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」(0.24増)、Q10「この授業の水準に満足している」(0.24増)、Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」(0.23増)、Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」(0.21)の5項目であり、授業内容と指導方法が評価されている。特に、Q7は、対面授業が大前提であったコロナ禍以前の頃から設けられている質問であり、これについて評価が改善したことは、遠隔授業が主要(2021年度の対面授業は少数)であった経済学部にお

いては、各教員が、対面授業に引けを取らぬ授業運営を心掛けていたことを示している。

- 4) 演習科目についても、Q7が0.25増加しており、Q8が増加019として続いている。コロナ禍2年目を迎え、教員がZOOM等の遠隔授業用ツールを駆使するようになり、かつ、学生も対応できるようになったことが、この改善の一員であると考えられる。
- 5) 一方、演習科目については、Q3「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」とQ3-2（予習・復習など授業に費やした時間を具体的に問う質問）が、各々0.09、0.12減少していることが懸念される。この質問は、2020年度から設置された項目であるので、今後の推移動向に注意すべきと思われる。
- 6) Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」については、講義科目、演習科目共に評価が向上している。前回調査では演習科目について減少がみられたが、コロナ禍の中で、シラバスによる授業選択行動が現れるようになったとも思われる。一方、Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」については、講義が0.02の微減、演習が0.07の微増を示している。今後の動向に注意したい。
- 7) コロナ禍2年目となる2021年度は、質問Q14「この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか。5：今回のままでよい、4：対面授業の回数を増やしてほしい、3：同時配信型の授業の回数を増やしてほしい、2：オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい」を実施した。表3-1、表3-2は、経済学部への回答を抽出したものである。注目すべきは、「今回のままでよい」とする回答が約8割あることであり、コロナ禍による授業形態の激変を知る3・4年生がこの回答を選択していることである。学生にとって授業形式の急激な変化は決して好ましくなく、この2年間に定着した授業形式を有効利用することは、悪くないと思われる。全学平均に比べてこの選択率が高いことは、教員が良く工夫した遠隔授業に切り替えたことを示唆している可能性もあろう。今後、演習科目については、対面授業のみに収束すると思われるが、講義科目については、コロナ禍で得られた遠隔授業での指導方法を継承する新しい対面授業形態が望ましいのではないかと考えられる。

## 2. 項目間の相関

評価項目間の相関を精査し、そのなかから見えてくることや課題を記してみたい。表 2-1、表2-2に示した値は、2021年度の授業評価で用いられた質問項目間の相関係数である。

- 1) 講義については、Q13 の総合評価と相関が高いのは、Q4「授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」、Q5「この授業で配付された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」、Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」、Q9「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」、Q10「この授業の水準に満足している」、Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」、Q12「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」である。特に、Q5、Q8～Q12は、0.7以上である。教材や指導の理解しやすさ、内容量、授業の水準、自身の向上感が、一群となって高い総合評価を与えることが示唆されている。
- 2) Q10では授業の水準を問う質問であるが、講義科目については、Q4、Q5、Q8、Q9との相関が高い。シラバス・教材・理解しやすさ・内容量といった4要因が評価の観点であることが示唆される。演習科目も同じ傾向を示しているが、特に、Q9（学ぶ内容量）との相関係数が0.81に達している。
- 3) 一方、これまでの傾向と同じだが、講義科目、演習科目共に、Q3「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」やQ3-2(取り組み時間の具体的時間数に関する質問)は、どの項目とも高い相関をみせていない。学生の自習を促進することの難しさが明示されていると言えるであろう。引き続き、自習促進のキーポイントを模索していく必要があると思われる。
- 4) Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」について、講義科目においては、Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」との相関係数が0.6となった。演習科目では、この相関係数は0.541であり、講義科目よりも低い。経済学部では、学生が企画す

る「ゼミ説明会」が毎年あり、全てのゼミについて、ゼミ生や教員から直接、ゼミのテーマや活動を聞くことができるようになっている。このゼミ説明会が主たる授業情報源となるため、演習授業への意欲的取り組みとシラバスとの相関がやや低くなる可能性がある。しかし、講義科目、演習科目共に、Q1は、他項目との相関が低い。本学はシラバスの改善を継続的に実施しているので、今回のような講義科目でのQ1Q2との相関係数が向上した等の動向に注視していけば、一層の改善につながると思われる。

- 5) Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」も、講義科目、演習科目共に、他の質問項目との相関が低い。特に、総合評価との相関は、講義科目では0.38、演習科目では0.45である。学生間や教員との意見交換の側面は、演習では当然と考え、あまり評価しなかった可能性もある。一方、講義科目での値は低いが、ZOOM等の遠隔授業のツールを駆使して、講義科目でも意見交換を実施する教員が出てきている。以前の対面授業では困難であった授業形態が、コロナ禍を経て芽生えていると思われる。引き続き動向を注視していきたい。

### 3. 今後の授業改善に向けて

経済学部では、経済学科、経営学科共に、コロナ禍で、2020年度から殆どの教員がオンデマンド・オンライン授業を導入して、授業の工夫を進めている。昨年度同様、今回の結果からも、そうした工夫が効果をあげている様子が見て取れる。今後コロナ禍がほぼ収束しても、この2年間に教員が行った先端的な工夫を維持して、教員間で共有して行けば、さらなる授業の改善につながると思われる。

表 1-1 令和2年度と令和3年度の差 (講義)

番号	質問内容	令和3年度平均値 -令和2年度平均値
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	0.05
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	-0.02
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	0.12
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	0.09
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	0.19
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	0.13
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	0.16
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	0.23
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	0.21
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	0.24
(10)	この授業の水準に満足している	0.24
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	0.19
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	0.19
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	0.22

表 1-2 令和2年度と令和3年度の差 (演習)

番号	質問内容	令和3年度平均値 -令和2年度平均値
(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	0.49
(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	0.07
(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-0.09
(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-0.12
(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	0.08
(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	0.12
(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	0.13
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	0.25
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	0.19
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	0.08
(10)	この授業の水準に満足している	0.12
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいもの見方が得られたりした	0.10
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	0.06
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	0.11

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	0.6 (**)	1												
Q3	0.49 (**)	0.71 (**)	1											
Q3-2	0.17 (**)	0.26 (**)	0.32 (**)	1										
Q4	0.5 (**)	0.52 (**)	0.44 (**)	0.12 (**)	1									
Q5	0.47 (**)	0.5 (**)	0.44 (**)	0.13 (**)	0.68 (**)	1								
Q6	0.36 (**)	0.39 (**)	0.35 (**)	0.07 (**)	0.55 (**)	0.53 (**)	1							
Q7	0.31 (**)	0.31 (**)	0.26 (**)	0.09 (**)	0.35 (**)	0.31 (**)	0.51 (**)	1						
Q8	0.47 (**)	0.48 (**)	0.42 (**)	0.11 (**)	0.67 (**)	0.71 (**)	0.59 (**)	0.39 (**)	1					
Q9	0.46 (**)	0.48 (**)	0.39 (**)	0.07 (**)	0.58 (**)	0.6 (**)	0.49 (**)	0.35 (**)	0.68 (**)	1				
Q10	0.5 (**)	0.51 (**)	0.42 (**)	0.1 (**)	0.62 (**)	0.66 (**)	0.51 (**)	0.36 (**)	0.72 (**)	0.77 (**)	1			
Q11	0.57 (**)	0.59 (**)	0.48 (**)	0.18 (**)	0.58 (**)	0.62 (**)	0.49 (**)	0.35 (**)	0.65 (**)	0.61 (**)	0.67 (**)	1		
Q12	0.56 (**)	0.6 (**)	0.5 (**)	0.19 (**)	0.58 (**)	0.62 (**)	0.47 (**)	0.33 (**)	0.64 (**)	0.61 (**)	0.67 (**)	0.8 (**)	1	
Q13	0.51 (**)	0.54 (**)	0.44 (**)	0.12 (**)	0.67 (**)	0.7 (**)	0.55 (**)	0.38 (**)	0.78 (**)	0.7 (**)	0.78 (**)	0.73 (**)	0.74 (**)	1

6水準で有意(両側)です。

6水準で有意(両側)です。

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	0.54 (**)	1												
Q3	0.42 (**)	0.67 (**)	1											
Q3-2	0.21 (**)	0.26 (**)	0.31 (**)	1										
Q4	0.53 (**)	0.51 (**)	0.45 (**)	0.14	1									
Q5	0.55 (**)	0.45 (**)	0.48 (**)	0.1	0.69 (**)	1								
Q6	0.38 (**)	0.43 (**)	0.43 (**)	0.08	0.49 (**)	0.53 (**)	1							
Q7	0.25 (**)	0.32 (**)	0.39 (**)	0.1	0.44 (**)	0.36 (**)	0.53 (**)	1						
Q8	0.44 (**)	0.53 (**)	0.42 (**)	0.12	0.71 (**)	0.66 (**)	0.6 (**)	0.47 (**)	1					
Q9	0.47 (**)	0.51 (**)	0.39 (**)	0.12	0.57 (**)	0.6 (**)	0.5 (**)	0.44 (**)	0.69 (**)	1				
Q10	0.5 (**)	0.58 (**)	0.5 (**)	0.12	0.68 (**)	0.65 (**)	0.58 (**)	0.46 (**)	0.72 (**)	0.81 (**)	1			
Q11	0.55 (**)	0.53 (**)	0.52 (**)	0.18 (*)	0.58 (**)	0.55 (**)	0.63 (**)	0.33 (**)	0.59 (**)	0.56 (**)	0.65 (**)	1		
Q12	0.44 (**)	0.57 (**)	0.55 (**)	0.22 (**)	0.53 (**)	0.56 (**)	0.56 (**)	0.29 (**)	0.6 (**)	0.54 (**)	0.67 (**)	0.78 (**)	1	
Q13	0.55 (**)	0.58 (**)	0.44 (**)	0.11	0.66 (**)	0.62 (**)	0.64 (**)	0.45 (**)	0.7 (**)	0.7 (**)	0.78 (**)	0.7 (**)	0.67 (**)	1

6水準で有意(両側)です。

6水準で有意(両側)です。

表 3-1 Q14 経済学部集計【授業形態別】

		今回のまま でよい	対面授業の 回数を増や してほしい	同時配信型 の授業の回 数を増やし てほしい	オンデマン ド型の授業 の回数を増 やしてほし い	無回答	計
講義	経済学部 計	5,553 79.07%	852 12.13%	202 2.88%	400 5.70%	16 0.23%	7,023 100.00%
	全学計	23,398 76.87%	4,066 13.36%	1,072 3.52%	1,721 5.65%	182 0.60%	30,439 100.00%
演習	経済学部 計	383 79.63%	87 18.09%	5 1.04%	5 1.04%	1 0.21%	481 100.00%
	全学計	4,384 76.40%	962 16.77%	131 2.28%	231 4.03%	30 0.52%	5,738 100.00%
合計	経済学部 計	5,936 79.10%	939 12.51%	207 2.76%	405 5.40%	17 0.23%	7,504 100.00%
	全学計	31,681 76.04%	6,046 14.51%	1,370 3.29%	2,326 5.58%	243 0.58%	41,666 100.00%

表 3-2 Q14 経済学部集計【学年別】

		今回のまま でよい	対面授業の 回数を増や してほしい	同時配信型 の授業の回 数を増やし てほしい	オンデマン ド型の授業 の回数を増 やしてほし い	無回答	計
学部1年	経済学部 計	2,238 76.10%	439 14.93%	84 2.86%	174 5.92%	6 0.20%	2,941 100.00%
	全学計	14,443 74.62%	3,135 16.20%	597 3.08%	1,108 5.72%	72 0.37%	19,355 100.00%
学部2年	経済学部 計	2,047 79.46%	313 12.15%	70 2.72%	143 5.55%	3 0.12%	2,576 100.00%
	全学計	10,202 76.37%	1,801 13.48%	451 3.38%	791 5.92%	113 0.85%	13,358 100.00%
学部3年	経済学部 計	1,257 83.08%	157 10.38%	29 1.92%	63 4.16%	7 0.46%	1,513 100.00%
	全学計	5,343 78.70%	854 12.58%	211 3.11%	339 4.99%	42 0.62%	6,789 100.00%
学部4年	経済学部 計	394 83.30%	29 6.13%	24 5.07%	25 5.29%	1 0.21%	473 100.00%
	全学計	1,577 78.30%	234 11.62%	103 5.11%	86 4.27%	14 0.70%	2,014 100.00%





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

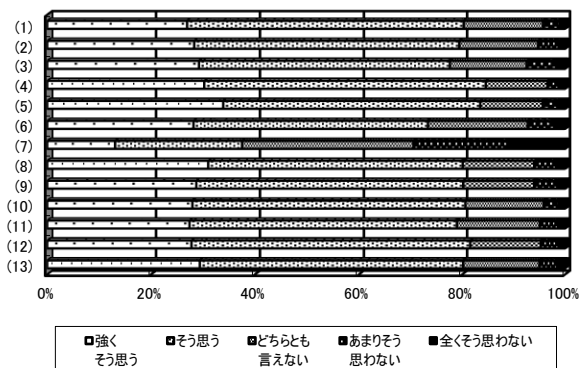
部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	6,980	22,428	31.12%

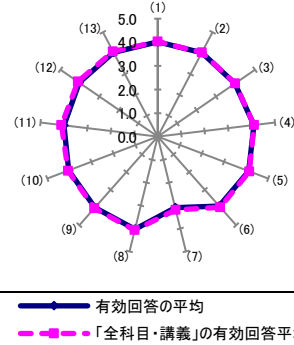
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,869	3,705	1,069	225	76	36	6,980	4.02	0.807	4.03	0.242
			26.78%	53.08%	15.32%	3.22%	1.09%	0.52%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,965	3,550	1,064	282	84	35	6,980	4.01	0.841	4.02	0.245
			28.15%	50.86%	15.24%	4.04%	1.20%	0.50%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	2,028	3,359	1,036	409	112	36	6,980	3.98	0.906	3.98	0.266
			29.05%	48.12%	14.84%	5.86%	1.60%	0.52%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	198	305	874	1,739	1,100	2,207	6,423	2.23	1.061	2.24	0.437
			3.08%	4.75%	13.61%	27.07%	17.13%	34.36%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	2,095	3,766	830	164	77	48	6,980	4.10	0.779	4.11	0.261
			30.01%	53.95%	11.89%	2.35%	1.10%	0.69%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	2,350	3,441	842	222	83	42	6,980	4.12	0.826	4.13	0.291
			33.67%	49.30%	12.06%	3.18%	1.19%	0.60%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,954	3,134	1,346	363	143	40	6,980	3.92	0.930	3.97	0.422
			27.99%	44.90%	19.28%	5.20%	2.05%	0.57%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	908	1,697	2,292	1,277	773	33	6,980	3.10	1.177	3.18	0.482	
		13.01%	24.31%	32.84%	18.30%	11.07%	0.47%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	2,149	3,405	964	299	119	44	6,980	4.03	0.880	4.05	0.354	
		30.79%	48.78%	13.81%	4.28%	1.70%	0.63%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,991	3,571	955	318	102	43	6,980	4.01	0.860	4.03	0.287	
		28.52%	51.16%	13.68%	4.56%	1.46%	0.62%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	340	70	-	-	-	10	420	-	-	-	-	
		80.95%	16.67%	-	-	-	2.38%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	1,937	3,648	1,056	196	94	49	6,980	4.03	0.816	4.04	0.306	
		27.75%	52.26%	15.13%	2.81%	1.35%	0.70%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	196	87	-	-	-	7	290	-	-	-	-	
		67.59%	30.00%	-	-	-	2.41%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,900	3,577	1,117	249	95	42	6,980	4.00	0.838	4.03	0.286	
		27.22%	51.25%	16.00%	3.57%	1.36%	0.60%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,927	3,731	952	242	89	39	6,980	4.03	0.818	4.05	0.262	
		27.61%	53.45%	13.64%	3.47%	1.28%	0.56%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	2,040	3,530	1,028	244	105	33	6,980	4.03	0.847	4.04	0.341	
		29.23%	50.57%	14.73%	3.50%	1.50%	0.47%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	5,505	838	200	396	-	41	6,980	-	-	-	-	
		78.87%	12.01%	2.87%	5.67%	-	0.59%	100.00%					

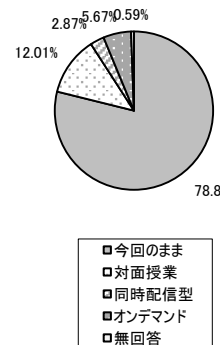
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

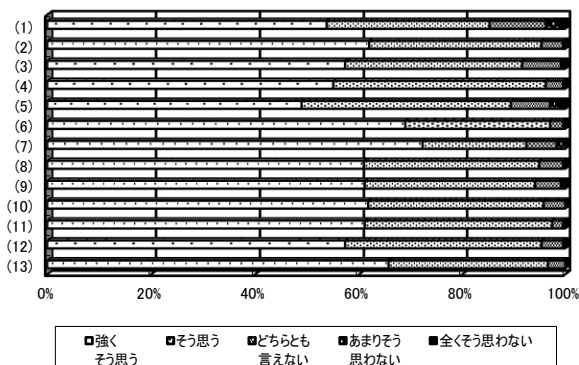
部門名 経済学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	239	584	40.92%

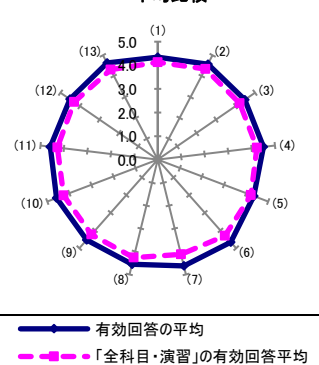
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	128	75	26	7	2	1	239	4.34	0.851	4.31	0.509
			53.56%	31.38%	10.88%	2.93%	0.84%	0.42%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	148	80	10	1	0	0	239	4.57	0.596	4.56	0.255
			61.92%	33.47%	4.18%	0.42%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	137	82	18	2	0	0	239	4.48	0.673	4.46	0.266
			57.32%	34.31%	7.53%	0.84%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	19	24	39	54	24	77	237	2.75	1.229	2.61	0.701
			8.02%	10.13%	16.46%	22.78%	10.13%	32.49%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	131	98	8	1	0	1	239	4.51	0.586	4.50	0.235
			54.81%	41.00%	3.35%	0.42%	0.00%	0.42%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	116	96	18	4	3	2	239	4.34	0.795	4.34	0.358
			48.54%	40.17%	7.53%	1.67%	1.26%	0.84%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	164	67	6	1	0	1	239	4.66	0.550	4.65	0.194
			68.62%	28.03%	2.51%	0.42%	0.00%	0.42%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	172	48	14	4	0	1	239	4.63	0.673	4.62	0.313	
		71.97%	20.08%	5.86%	1.67%	0.00%	0.42%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	145	81	11	1	0	1	239	4.55	0.605	4.55	0.264	
		60.67%	33.89%	4.60%	0.42%	0.00%	0.42%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	146	79	12	2	0	0	239	4.54	0.633	4.54	0.264	
		61.09%	33.05%	5.02%	0.84%	0.00%	0.00%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	0	2	-	-	-	0	2	-	-	-	-	
		0.00%	100.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	147	81	10	0	0	1	239	4.58	0.574	4.56	0.252	
		61.51%	33.89%	4.18%	0.00%	0.00%	0.42%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	146	87	5	1	0	0	239	4.58	0.558	4.57	0.254	
		61.09%	36.40%	2.09%	0.42%	0.00%	0.00%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	137	91	10	0	1	0	239	4.52	0.621	4.50	0.266	
		57.32%	38.08%	4.18%	0.00%	0.42%	0.00%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	157	74	8	0	0	0	239	4.62	0.550	4.61	0.242	
		65.69%	30.96%	3.35%	0.00%	0.00%	0.00%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	203	30	3	2	-	1	239	-	-	-	-	
		84.94%	12.55%	1.26%	0.84%	-	0.42%	100.00%					

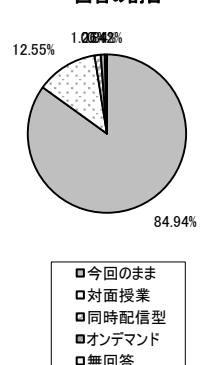
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表

部門名 経済学部  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.600 (**)	1												
Q3	.487 (**)	.706 (**)	1											
Q3-2	.166 (**)	.258 (**)	.324 (**)	1										
Q4	.496 (**)	.516 (**)	.440 (**)	.117 (**)	1									
Q5	.465 (**)	.503 (**)	.435 (**)	.133 (**)	.676 (**)	1								
Q6	.363 (**)	.394 (**)	.354 (**)	.074 (**)	.548 (**)	.534 (**)	1							
Q7	.307 (**)	.309 (**)	.264 (**)	.085 (**)	.346 (**)	.307 (**)	.507 (**)	1						
Q8	.473 (**)	.483 (**)	.415 (**)	.105 (**)	.667 (**)	.713 (**)	.588 (**)	.386 (**)	1					
Q9	.461 (**)	.479 (**)	.392 (**)	.074 (**)	.581 (**)	.601 (**)	.489 (**)	.348 (**)	.684 (**)	1				
Q10	.500 (**)	.514 (**)	.421 (**)	.100 (**)	.621 (**)	.659 (**)	.508 (**)	.360 (**)	.722 (**)	.767 (**)	1			
Q11	.566 (**)	.588 (**)	.483 (**)	.175 (**)	.584 (**)	.615 (**)	.487 (**)	.352 (**)	.654 (**)	.613 (**)	.669 (**)	1		
Q12	.555 (**)	.601 (**)	.501 (**)	.187 (**)	.579 (**)	.620 (**)	.473 (**)	.334 (**)	.640 (**)	.610 (**)	.672 (**)	.801 (**)	1	
Q13	.506 (**)	.541 (**)	.441 (**)	.120 (**)	.667 (**)	.704 (**)	.554 (**)	.377 (**)	.781 (**)	.703 (**)	.782 (**)	.731 (**)	.738 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 経済学部  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.541 (**)	1												
Q3	.416 (**)	.666 (**)	1											
Q3-2	.206 (**)	.262 (**)	.306 (**)	1										
Q4	.531 (**)	.511 (**)	.449 (**)	.136	1									
Q5	.548 (**)	.448 (**)	.477 (**)	.095	.686 (**)	1								
Q6	.377 (**)	.431 (**)	.425 (**)	.084	.492 (**)	.531 (**)	1							
Q7	.252 (**)	.318 (**)	.386 (**)	.098	.438 (**)	.357 (**)	.525 (**)	1						
Q8	.437 (**)	.527 (**)	.422 (**)	.121	.705 (**)	.662 (**)	.601 (**)	.467 (**)	1					
Q9	.474 (**)	.513 (**)	.389 (**)	.115	.573 (**)	.596 (**)	.502 (**)	.436 (**)	.693 (**)	1				
Q9-2														
Q10	.498 (**)	.582 (**)	.495 (**)	.122	.680 (**)	.650 (**)	.576 (**)	.458 (**)	.722 (**)	.809 (**)	1			
Q10-2														
Q11	.554 (**)	.529 (**)	.516 (**)	.178 (*)	.578 (**)	.545 (**)	.625 (**)	.330 (**)	.592 (**)	.564 (**)	.652 (**)	1		
Q12	.444 (**)	.573 (**)	.547 (**)	.223 (**)	.527 (**)	.557 (**)	.560 (**)	.291 (**)	.604 (**)	.541 (**)	.665 (**)	.775 (**)	1	
Q13	.549 (**)	.579 (**)	.435 (**)	.111	.663 (**)	.616 (**)	.640 (**)	.445 (**)	.695 (**)	.699 (**)	.784 (**)	.702 (**)	.673 (**)	1
Q14														

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 経済学部  
形態名 講義

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.87	0.994	3.96	0.317	3.97	0.803	4.00	0.255	4.02	0.807	4.03	0.242
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.75	1.106	3.80	0.443	3.78	1.121	3.82	0.456	3.70	1.048	3.81	0.399	4.03	0.830	4.05	0.319	4.01	0.841	4.02	0.245
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.851	4.04	0.353	3.98	0.906	3.98	0.266
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.35	1.066	2.30	0.566	2.23	1.061	2.24	0.437
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.834	4.01	0.408	4.10	0.779	4.11	0.261
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	0.964	4.01	0.551	4.12	0.826	4.13	0.291
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.80	1.054	3.85	0.635	3.92	0.930	3.97	0.422
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85	1.212	2.96	0.634	3.10	1.177	3.18	0.482
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.07	1.020	4.11	0.514	4.12	1.012	4.13	0.506	4.06	0.991	4.14	0.454	3.85	1.065	3.91	0.631	4.03	0.880	4.05	0.354
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.93	0.921	3.96	0.428	4.01	0.860	4.03	0.287
	(10)	この授業の水準に満足している	3.86	1.059	3.89	0.475	3.90	1.050	3.92	0.498	3.97	0.961	4.04	0.398	3.91	0.897	3.94	0.492	4.03	0.816	4.04	0.306
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.87	1.079	3.97	0.475	3.95	1.056	4.02	0.489	3.97	0.972	4.08	0.405	3.90	0.905	3.94	0.424	4.00	0.838	4.03	0.286
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.97	0.872	3.98	0.397	4.03	0.818	4.05	0.262
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.10	0.952	4.15	0.463	4.13	0.960	4.17	0.480	4.07	0.940	4.17	0.411	3.92	0.958	3.95	0.540	4.03	0.847	4.04	0.341	

部門名 経済学部  
形態名 演習

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単体集計 平均	学生回答 単体集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.952	4.13	0.451	3.85	0.895	3.86	0.416	4.34	0.851	4.31	0.509
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.53	0.707	4.53	0.288	4.54	0.680	4.53	0.298	4.37	0.740	4.38	0.288	4.50	0.619	4.48	0.290	4.57	0.596	4.56	0.255
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.36	0.755	4.34	0.380	4.48	0.673	4.46	0.266
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.66	1.229	2.61	0.802	2.75	1.229	2.61	0.701
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.681	4.32	0.343	4.51	0.586	4.50	0.235
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.21	0.753	4.23	0.332	4.34	0.795	4.34	0.358
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.50	0.619	4.51	0.333	4.66	0.550	4.65	0.194
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.40	0.785	4.39	0.385	4.63	0.673	4.62	0.313
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.57	0.721	4.58	0.361	4.57	0.721	4.57	0.420	4.53	0.687	4.52	0.321	4.34	0.658	4.34	0.291	4.55	0.605	4.55	0.264
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.31	0.676	4.31	0.324	4.54	0.633	4.54	0.264
	(10)	この授業の水準に満足している	4.43	0.764	4.45	0.381	4.40	0.812	4.40	0.391	4.43	0.748	4.42	0.351	4.33	0.670	4.34	0.307	4.58	0.574	4.56	0.252
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.53	0.731	4.55	0.350	4.51	0.739	4.51	0.409	4.49	0.701	4.49	0.319	4.39	0.667	4.39	0.332	4.58	0.558	4.57	0.254
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.681	4.32	0.340	4.52	0.621	4.50	0.266
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.61	0.672	4.62	0.310	4.60	0.676	4.61	0.391	4.55	0.677	4.54	0.327	4.41	0.670	4.40	0.314	4.62	0.550	4.61	0.242	

## Ⅲ 文学部

### 1 集計データからわかること

#### 実施率と回答率

2020 年度のアンケートは、コロナ禍のため、それまで教室で回答するアンケートから、オンラインによるアンケートに変更されて行われた。2021 年度も引き続きオンラインによるアンケートが実施された。

実施率は、2019 年度が 98.11%、2020 年度が 93.02%、2021 年度が 99.48%であった。99.48%という数字は、過去 6 年間の中で最も高い数値である。講義での実施率は 100%、演習での実施率は 99.07%であり、これは、教員及び関係職員の努力が結実したなどが考えられる。これからもこの水準を維持していきたい。

回答率は、2019 年度が 76.94%、2020 年度が 22.612%、2021 年度が 42.73%であった。対面での実施からオンラインでの実施に変更されたことで回答率が大幅に下がったことが如実に示されている。

2021 年度の 42.73%という数字は、2019 年度以前の回答率には及ばないものの、2020 年度と比べると倍増と言ってもよい値である。これは、アンケート実施の周知その他、教員及び職員が努力を重ねたことに加え、学生自身もオンラインに慣れてきたことによると考えられる。今後も努力と工夫を重ねて、実施率を上げていくことが課題の一つである。

回答率は、講義よりも演習のほうが 4%ほど高かった。これは、昨年度と同様の傾向である。他部門の結果を見ると、概ね、講義よりも演習の回答率が高いのだが、その差は文学部以上であることが多い。このことから、文学部の学生が講義の授業にも関心を寄せていること、講義の授業にも演習に近い要素があることなどが察せられる。

#### 質問項目別の分析

アンケートの質問項目別に、本年度の結果を見ていきたい。なお、2019 年度までの質問項目と 2020 年度以降の質問項目に違いがあること、また 2019 年度までが対面によるアンケート実施であったことに対して、2020 年度と 2021 年度はオンラインによる実施であったことなどから、ここでは昨年度との比較を中心に考察していく。

Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」

2020 年度 講義 回答者ベース 3.96 科目ベース 3.99

2021 年度 講義 回答者ベース 3.99 科目ベース 4.01

2020 年度 演習 回答者ベース 4.08 科目ベース 4.10

2021 年度 演習 回答者ベース 4.15 科目ベース 4.18

シラバスを通じて身につけたい成果をイメージしていたかということに関する項目である。講義、演習とも、回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて 2021 年度は前年度よりも向上している。文学部では以前からシラバスの活用を検討課題としており、順調にその成果が上がっていると考えられる。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」

2020 年度 講義 回答者ベース 4.10 科目ベース 4.13

2021 年度 講義 回答者ベース 4.04 科目ベース 4.07

2020 年度 演習 回答者ベース 4.37 科目ベース 4.38

2021 年度 演習 回答者ベース 4.34 科目ベース 4.36

授業への意欲を問う項目である。講義、演習とも、回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて 2021 年度は前年度よりも下まわった。ただし、2020 年度は過去五年間における最も高い数値であり、2021 年度との差も僅かであることから、ほぼ同じ水準にあると考えられる。先述の通り、2019 年度までは教室において教員がアンケートを実施していたため、回答率が異なっている。オンラインによるアンケートの回答者は熱心な学生であることが予想され、このような数値となっているとも推察される。回答率が上昇しても、この水準を維持できるように努めることが肝要である。

Q3「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」

2020 年度 講義 回答者ベース 4.06 科目ベース 4.04

2021 年度 講義 回答者ベース 3.96 科目ベース 3.96

2020 年度 演習 回答者ベース 4.32 科目ベース 4.32

2021 年度 演習 回答者ベース 4.26 科目ベース 4.28

Q3-2 とともに授業時間外の学習時間に関する項目である。2020 年度よりも下降しているが、これは Q2 と同じ理由であると推察される。

Q3-2「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習、復習、課題作成等を合わせて）は、1 週間あたり平均で 5 : 4.5 時間以上 4 : 3 時間以上 4.5 時間未満 3 : 2 時間以上 3 時間未満 2 : 90 分以上 2 時間未満 1 : 90 分未満」

2020 年度 講義 回答者ベース 2.26 科目ベース 2.27

2021 年度 講義 回答者ベース 2.08 科目ベース 2.09

2020 年度 演習 回答者ベース 2.62 科目ベース 2.56

2021 年度 演習 回答者ベース 2.61 科目ベース 2.60

2021 年度の講義と演習を合わせた数値は回答者ベースで 2.27 である。これは五学部中三番目に位置し、平均的な学習時間であると言える。

コロナ禍によって行動が制限され、大学図書館はじめ各種の施設が思うように利用できないなか、自らを律しながら学習を続けたことは評価できる。今後は、学生が各研究領域にいったいその興味をもち、さらに学習時間を増えるように導いていくように努めることが肝要である。

Q4「授業方法やシラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」

2020 年度 講義 回答者ベース 4.06 科目ベース 4.06

2021 年度 講義 回答者ベース 4.13 科目ベース 4.13

2020 年度 演習 回答者ベース 4.24 科目ベース 4.23

2021 年度 演習 回答者ベース 4.25 科目ベース 4.26

授業方法・シラバスの記載内容の変更について、教員の説明が適切になされたかということに関する項目である。2020 年度も高い数値を示していたが、2021 年度はさらに高い数値となった。講義では 86% の学生が、演習では 89% の学生が「4. そう思う」または「5. 強くそう思う」と回答している。

Q5「この授業で配布された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った」

2020 年度 講義 回答者ベース 4.18 科目ベース 4.19

2021 年度 講義 回答者ベース 4.21 科目ベース 4.21

2020 年度 演習 回答者ベース 4.23 科目ベース 4.20

2021 年度 演習 回答者ベース 4.27 科目ベース 4.27

授業で配布された教材が学習に有用であったかということに関する項目である。2020 年度も 4 ポイントを超える高い数値を示していたが、2021 年度は、講義、演習とも、回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて前年度よりも向上している。各教員がそれまでの蓄積をいかしたり、オンライン授業に合わせて有用な教材を準備したりしたことを示すものである。

Q6「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」

2020 年度 講義 回答者ベース 3.95 科目ベース 3.95

2021年度	講義	回答者ベース 4.12	科目ベース 4.13
2020年度	演習	回答者ベース 4.20	科目ベース 4.20
2021年度	演習	回答者ベース 4.31	科目ベース 4.33

教員への質問の機会に関する項目である。講義形態の授業では、懸念される課題の一つである。2020年度は回答者ベース、科目ベースともに4ポイントに届かなかったが、2021年度はともに4ポイントを越し、改善が見られた。演習ではともに4.3ポイントを超えており、教員が十分に配慮していることがわかる。

Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」

2020年度	講義	回答者ベース 3.00	科目ベース 3.09
2021年度	講義	回答者ベース 3.37	科目ベース 3.54
2020年度	演習	回答者ベース 3.69	科目ベース 3.73
2021年度	演習	回答者ベース 4.06	科目ベース 4.11

履修者同士の意見交換の機会に関する項目である。2020年度は講義、演習とも回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて3ポイント台と低い数値を示していた。2021年度は講義、演習とも回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて数値が向上した。とくに演習では、回答者ベース、科目ベースともに4ポイントを超えた。

なお、講義形態の授業においては、履修者同士の意見交換をどれほど取り入れるべきかということも教員によって考え方の違いがある。慎重に考えるべき事柄の一つである。

Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」

2020年度	講義	回答者ベース 4.10	科目ベース 4.11
2021年度	講義	回答者ベース 4.16	科目ベース 4.19
2020年度	演習	回答者ベース 4.24	科目ベース 4.23
2021年度	演習	回答者ベース 4.28	科目ベース 4.28

授業内容を理解しやすくするための教員の工夫に関する項目である。2020年度も高い数値を示していたが、2021年度は講義、演習とも回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて数値が向上した。このこと自体は望ましいことである。しかし、2019年度以前の、対面授業での水準には回復していない。

2021年度の数値の向上は、オンライン授業に合わせて、教員が努力していることを示すものである。今後は、その成果がさらに実っていくことに期待している。



Q9「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」

2020年度	講義	回答者ベース 4.03	科目ベース 4.02
2021年度	講義	回答者ベース 4.14	科目ベース 4.16
2020年度	演習	回答者ベース 4.14	科目ベース 4.13
2021年度	演習	回答者ベース 4.22	科目ベース 4.24

授業のボリュームに関する項目である。2020年度も高い数値を示していたが、2021年度は講義、演習とも回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて数値が向上した。講義では85%の学生が、演習では87%の学生が、「4 と思う」または「強く思う」と回答しており、適切なボリュームであることがわかる。

Q10「この授業の水準に満足している」

2020年度	講義	回答者ベース 4.08	科目ベース 4.09
2021年度	講義	回答者ベース 4.15	科目ベース 4.18
2020年度	演習	回答者ベース 4.20	科目ベース 4.20
2021年度	演習	回答者ベース 4.26	科目ベース 4.27

授業の水準に関する項目である。2020年度も高い数値を示していたが、2021年度は講義、演習とも回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて数値が向上した。

Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

2020年度	講義	回答者ベース 4.22	科目ベース 4.24
2021年度	講義	回答者ベース 4.23	科目ベース 4.25
2020年度	演習	回答者ベース 4.23	科目ベース 4.23
2021年度	演習	回答者ベース 4.32	科目ベース 4.33

授業による好奇心の刺激及び新しいものの見方の獲得に関する項目である。2020年度も高い数値を示していたが、2021年度は講義、演習とも回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて数値が向上した。Q10の授業水準の項目と合わせ、概ね学生が満足していることが推察される。

Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」

2020年度	講義	回答者ベース 4.14	科目ベース 4.16
2021年度	講義	回答者ベース 4.17	科目ベース 4.19
2020年度	演習	回答者ベース 4.23	科目ベース 4.22
2021年度	演習	回答者ベース 4.34	科目ベース 4.34

知識や能力の向上に関する項目である。2020年度も高い数値を示していたが、2021年度は講義、演習とも回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて数値が向上した。講義では87%の学生が、演習では91%の学生が、「4 思う」または「強く思う」と回答しており、充実感を得ていることがわかる。

#### Q13 「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

2020年度	講義	回答者ベース	4.11	科目ベース	4.13
2021年度	講義	回答者ベース	4.15	科目ベース	4.16
2020年度	演習	回答者ベース	4.25	科目ベース	4.25
2021年度	演習	回答者ベース	4.31	科目ベース	4.33

総合評価の項目である。2020年度もすべて4ポイント以上の高い数値を示していたが、2021年度は講義、演習とも回答者ベース、科目ベースそれぞれにおいて数値がさらに向上した。ただし、2019年度までは、回答者ベース、回答者ベースともに4.4ポイント以上であった。学生は、オンライン授業よりも対面授業を評価していることがわかる。

#### Q14 「この授業の実施方法（オンデマンド型など）について、どのように感じましたか」

授業方法に関する項目である。回答は以下の通りである。

「今回のままでよい」	76.6%
「対面授業の回数を増やしてほしい」	14.2%
「同時配信型の授業の回数を増やしてほしい」	3.2%
「オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい」	5.4%

実施方法には、対面授業、同時配信授業、オンデマンド授業、ハイブリッド授業等がある。アンケートの回答時期(1学期か2学期か)によっても実施方法の割合は異なっているため、どの方法がよいと学生が考えているのか一概には言えないが、少なくとも2021年度の授業方法に関しては概ね満足している。

## 2 今後の授業改善に向けて

授業評価アンケートに取り組むことで、学生は自分自身の学習の在り方を省みる機会を得る。その結果を見ることで、教員は学生の意識を知る機会を得る。授業評価アンケートに取り組むことは学生、教員ともに有意義な活動である。

アンケートにとって重要なことはいくつもある。回答率はその一つである。講義41.35%、演習45.55%、計42.73%という数値は、他部門と比較して決して低い値ではない。しかし、学生自身の振り返りや教員の学生理解のためには十分な値とは言えない。

2021年度の回答率は、2020年度に比べて大幅に上昇した。そのこと自体はたいへん喜ばしいことである。回答率をさらに上げていくことが今後の課題の一つである。

授業時間外の学習時間を増やすことも今後の課題の一つである。Q3-2で述べた通り、図書館等の施設の利用が制限されたり、行動が制限されたりした中で2.27という値は評価できる。しかし、「90分以上2時間未満」という時間は、授業内容を理解し、専門性を深めていくためには十全ではない。学習課題の設定の仕方も含めて、考えていかなければならない問題である。

オンライン授業には「通学時間が不要となる」「感染リスクが減る」などいくつかの利点がある。一方で、学習態度が易きに流れるというおそれもある。

「学生の望むこと」が、「学生のためになること」と同じであるとは限らず、大学としてはさまざまなことを視野に入れながら慎重に物事を進めていかなければならない。

対面授業であれ、オンライン授業であれ、学生の学力向上に資する授業を行うよう努めていきたい。

### 3. 学科別の分析

#### 【哲学科】

##### 1. 各部門のアンケート結果に基づく評価

###### 1-1. 集計データからわかること

<文学部のデータより>

・「経年変化 比較一覧表（実施状況）」を見る限り、例年は回答が70%台～80%台をキープしていたのに、2020年度はコロナ禍での遠隔授業の導入ゆえ、講義も演習も20%台と、大幅に減ってしまった。2021年度では40%代にまで増えたが、これではまだ半分程度の学生の考えしか教員にはわからないため、引き続き積極的に呼びかけて、回答率を上げたほうがよい。

・「経年変化比較表（設問別）」を見る限り、全体として評価自体は数値がほぼどの項目でも、2020年度より上がっている。質問の機会（6）や意見交換の機会（7）への評価、そして満足度（10）の数値が上がっているため、昨年の経験を活かして授業の仕方を工夫した教員が多かったことがうかがえる。

<哲学科のデータより>

・哲学科においては講義に関して556の回答、演習に関しては305の回答があった。2020年度の講義248、演習23という当学科での回答数と比べると、倍以上の回答が得られたことになるが、引き続き回答への呼びかけを続ける必要がある。

・質問の機会（6）は前年度4.08だったのに対し、4.29になり、また意見交換の機会（7）も前年度2.93だったのが3.49に、そして伝達の工夫（8）に関して

も、4.18から4.29に上がっている。ほとんどの項目が前年度より評価されているので、各教員による工夫が学生に伝わっているのではないか。

## 1-2. 授業改善に向けて

- ・上記のように前年度から評価が上がったとはいえ、意見交換の機会（7）だけは3.49と数値が目立って低い。講義では約30%の履修者が、演習では約15%の履修者が意見交換の不足を感じている。哲学科の場合、演習の授業であると原典を講読する授業もあるので、意見交換というのも容易ではないが、数回に1回はグループワークをする、学生に多く質問を投げかけてみるなど、教員の側からの一方的なレクチャーにならないように工夫することは可能である。

### 【史学科】

#### ■各部門のアンケート結果に基づく評価からわかること

昨年度も同様の傾向だったが、全ての項目において、講義についての設問に対する「強くそう思う」積極的な評価が他の学科に比べて10ポイント程度低く、演習に対する評価はおおむね他の学科に並ぶ、という数値になっている。ただし、「強くそう思う」と「そう思う」とを合算すると、講義についても演習についても、他の学科とあまり変わらない。

Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」、および、Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」をみると、講義・演習それぞれについて「強くそう思う」と「そう思う」とを合算した数値は、Q11についてもQ12についても講義82%前後、演習93%前後となる。「強くそう思う」評価はQ11についてもQ12についても講義28%前後、演習43~46%であるから、講義についての評価が相対的に低い構造である。

勘案したのは、Q2.「私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）」の数値である。講義に対する「強くそう思う」数値〔22.4%〕が他の学科に比較して10ポイント低い。史学科学生が演習について「意欲的に取り組んだ」「強くそう思う」数値44.3%と比較すると、非常に低い。ここから窺えることは、史学科学生の学習は〔また、教員の指導も〕、演習に非常に大きな重点を置いているために、講義に対する重視の程度が比較相対的に低い、このために講義に対する評価が低い構図になっていると判断された。

講義に対する不満の傾向をみると、水準よりも量に対する不満が強いとみられた。

量についてQ9-2「授業のボリュームについて、どのように感じましたか」をみると、「量が多い」評価が講義71.2%、演習80.0%であるのに対して、「少ない」評価が講義28.8%、演習20.0%である。講義についてみると、他の学科〔「量が多い」評価が74.5~100%〕と比較して、量が「少ない」と評価する者の割合が高い。水準についてQ10-2「授業の水準について、どのように感じましたか」をみると、「水準が高い」評価が講義72.9%、演習71.4%であるのに対して、「水準が低い」評価が講義27.1%、演習28.6%である。「高い」という

評価は講義・演習同等で、他の学科〔70.4～100%〕と比較して大きな差がない。

とはいえ、講義科目における授業内容や課題の量を単純に増やせば良いという問題でもないようにみられた。演習に比べて講義の場では、「気づき」を得る機会が相対的に低くなっているのかもしれない。この問題と関連するのはQ7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」に対する「強くそう思う」と「そう思う」との合算数値である。演習についての数値 74.9%は他学科と同じないしはやや高い数値になっている。授業形態の性質として当然の数値である。講義についての数値 34.4%〔「強くそう思う」11.1%・「そう思う」23.3%〕は 40～76%に分布する他学科と比較してかなり低い。

これらを踏まえて、講義科目について、「どのような新しい見方を示そうとしているのか」「どのような能力向上を達成しようとしているのか」という点について、履修者の認識・発見を促す必要があるようだという判断に至った。そのための手立てとして、学生自身の「気づき」を可視化して共有すること、具体的には、リアクション・ペーパーや良い答案を履修者全体に提示解説することで履修者全体に共有する、また、講義途中に感想を表明する機会を提供するソフトウェアを利用する、などの手立てを検討している。

#### 【日本語日本文学科】

##### 1 各部門のアンケート結果に基づく評価

文学部全体の回答率については、2020年度からは二倍近く増加しているが、それでも40%代である。アンケートの信頼性にいくらかの留保が求められるかもしれない。

日本語日本文学科に関しては、2020年度と比較した時には、以下の点に注意が促されると思われる。第一に、設問(1)から設問(4)までは、講義と演習においてほぼ変化が見られない。授業のために使った時間の少ないことなど、いわば学生側の意欲的な授業への取り組みについては、今後のさらなる努力が求められる。第二に、設問(5)から設問(9)までは、明らかな上昇が認められる。いずれも演習の方が講義よりも高い評価を受けているが、講義と演習のどちらにおいても上昇している。配布された教材、教員への質問の機会、履修者同士の意見交換の機会、学習内容の理解しやすい形での伝え方、授業のボリュームなどの点において、学生側の評価が高くなっているのである。それはおそらく、オンライン中心の授業形態の中での教員それぞれの努力と工夫が、学生の満足度に繋がっていることを示唆していると思われる。

#### 【英語英米文化学科】

##### ■集計データからわかること

全体的に前年度から大きな変化は認められない。学生回答単純集計の平均値は、講義、演習ともにおおむね4以上であり、それより低かったのは、Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」の講義が3.81(前年度3.84)、またQ7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設け

られていた」の講義が 3.31（前年度 3.34）であった。前年度は Q7 の演習も 3.85 と低かったが、こちらは今年度 4.11 と改善した。

Q1 に関しては、英語英米文化学科のカリキュラムでは全員必修の 3 つの入門講義や各コースで履修が求められるコース講義など、講義については学生に選択の余地が大きいと考えられる。シラバスを読まずに履修登録することが多いためであると考えられる。

Q7 については、前年度から遠隔授業が始まったためであろうが、遠隔授業も 2 年目に入った今年度は、履修者数の比較的少ない演習科目において、例えば Zoom による授業におけるブレイクアウトルームの活用など、教員による工夫が多くなされたものと推測される。

#### ■授業改善に向けて

最も注意を要すると思われるのは、Q9-2「授業のボリュームについて、どのように感じましたか」で「多い」と答えた学生が 77.1%（講義・演習の計）にのぼったこと、また Q10-2「授業の水準について、どのように感じましたか」で「高すぎる」と答えた学生が 68.5%（講義・演習の計）にのぼったことであろう。いずれも、英語英米文化学科に限った傾向ではなく、他の学科も同じ傾向を示しており、教員の期待と現実の学生の能力の間に乖離がありそうだ。授業のあり方について、またついてこられなくなった学生への支援の方法について検討する必要がある。

興味深いのは、Q14「この授業の実施方法（オンデマンド型など）について、どのように感じましたか」に対して、「今回のままでよい」と答えた学生が 72.7%にのぼり、「対面授業の回数を増やしてほしい」と答えた学生が 18.1%にとどまったことである。この数字はいずれも講義と演習の計であるが、講義と演習で数値に大きな違いはないし、学年による違いも大きくない。また、他の学科についても同じ傾向が見られる。教材を見やすく提示するなどの面で遠隔授業にも強みがあり、学生もそれを理解しているものと思われる。

ただ、すでに Q7 について見たように、遠隔授業では学生同士の横のつながりを形成しにくいという大きな欠点がある。また、大学生活は勉強ばかりでなく、課外活動や、学生同士の日常的な交流も重要であることを考えれば、遠隔授業は学生がキャンパスにくる機会を減らすことにつながりやすいという点で不都合であり、大学として今後、授業を対面式中心に戻すという方針には十分な理由がある。教員は、遠隔授業をするなかで身につけた ICT 機器活用の技術を教室での授業に転用する方法を模索することになるだろう。また、今後も一部の授業を遠隔にするのであれば、どのような授業がそれにふさわしいかの検討が必要になる。

#### 【ドイツ語圏文化学科】

##### ■各部門のアンケート結果に基づく評価

学生回答の単純集計を見ると、すべての質問項目においてドイツ語圏文化学科は文学部平均を上回る数値となっている（[ ]の前がドイツ語圏文化学科の数値、[ ]内が文学部

平均)。以下のとおりである。「Q1 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」(4.22 [4.05])、「Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んだ」(4.32 [4.16])、「Q3 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」(4.27 [4.07])、「Q4 授業方法や、シラバスの記載内容の変更についての教員からの説明は適切だった」(4.26 [4.18])、「Q5 この授業で配付された教材は、学習を進めるのに役立った」(4.36 [4.23])、「Q6 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」(4.32 [4.20])、「Q7 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」(4.10 [3.63])、「Q8 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」(4.33 [4.20])、「Q9 この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」(4.26 [4.17])、「Q10 この授業の水準に満足している」(4.31 [4.19])、「Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」(4.38 [4.26])、「Q12 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」(4.38 [4.23])、「Q13 総合的に見てこの授業は高く評価できる」(4.34 [4.21])。

このなかで文学部平均を最も大きく上回るのは、「Q7 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」(4.10 [3.63])である。「Q6 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」(4.32 [4.20])もドイツ語圏文化学科の数値が高いことと考え合わせると、ドイツ語圏文化学科においてはインタラクティブな授業展開が高程度に行われていることがうかがえる。コロナ禍1年目の令和2(2020)年度のアンケート調査でQ7の数値が3.71 [3.18]であったことを踏まえると、ドイツ語圏文化学科も文学部全体もともにQ7の数値が上がっていて、コロナ禍2年目の令和3(2021)年度に学生同士の意見交換の機会に関して大きく改善されたことがわかる。「Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んだ」(4.32 [4.16])に関しては、ドイツ語圏文化学科の数値が過去3年間で4.17 → 4.24 → 4.32と上昇しつづけており、学生が主体的に取り組むアクティブ・ラーニングを取り入れた授業がコロナ禍のなかでもうまく展開できていると言えるであろう。

ただし、「Q10-2 授業の水準について、どのように感じましたか(「高すぎる」と「低すぎる」の2択)」の数値が4.94 [4.74]であることは、ドイツ語圏文化学科が設定している水準をほとんどすべての学生が高すぎると感じていることを示している。この点について詳細な分析を行い、授業の水準(到達目標)を検討する余地があると思われる。この項目に限らず、今後さらに改善できるよう努めていきたい。

## 【フランス語圏文化学科】

### 1. 集計データからわかること

Q1からQ13までについては、前年度に比べて、学生回答の傾向に大きな変化はないように思われる。Q14の「授業の実施方法」についての質問に関し、「今回のままでよい」という回答が講義、演習ともに約80パーセントとなっていることから、令和3年度における、対

面型と遠隔型、あるいはそのハイブリッド型の授業の配置やバランスは、一定の支持を受けていたものと思われる。その一方で、「対面授業の回数を増やしてほしい」の割合を上回る遠隔授業希望者（同時配信型とオンデマンド型を合算したもの）がいることから、いまだに新型コロナウイルス感染への懸念は拭い去り難いものがあるようにも感じる。学年別では、1年生と4年生に、対面授業を希望する割合が若干高く出たのは興味深い。キャンパスの雰囲気や直に触れたい（1年生）、卒業する前に大学生活を満喫したい（4年生）という心理が反映されたものであろうか。

## 【心理学科】

### 1. 各部門のアンケート結果に基づく評価

授業に対する意欲的な取り組みの結果を見ると、講義科目に比して演習科目に対する学生の意欲が明らかに高くなっている。コロナ禍において講義科目の多くがオンライン実施だったのに対して、演習科目は対面で開講される授業が少なくなく、授業内容だけでなく、教員や他の受講者との直接的な交流が学生の意欲を高めていたのではないかと推察される。

特に講義科目において、履修者同士の意見交換の機会が不足していたと回答していた学生が多かった。オンラインやオンデマンド形式の授業では、そのような機会を設定することが容易ではないことが反映された結果であろう。遠隔授業において、学生同士がどうコミュニケーションを取ってゆけるか、そのような機会を教員がどう設定するかの工夫が求められており、後述の取り組み例のような、実際的な対話の機会を設けるよう取り組みも有意義であると考えられる。

授業のボリュームについては、90%近い学生が満足しているという結果であったが、主観的なボリューム感についての問いに対しては、「多い」と回答した学生が78.6%、「少ない」と回答した学生が21.4%であった。後者の設問については、回答者数が少ないことを踏まえる必要があるものの、学生の授業に対する実感と、実際の授業内容・授業の分量について再考する必要があるだろう。

講義科目では、Q8「教員が授業を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」という設問の結果と、授業のボリュームへの満足感、授業の水準への満足感、知的好奇心の刺激、自らの知識や能力が向上した感覚、および授業そのものの評価とに相関がみられた。多くの講義科目が遠隔で実施される中で、教員の指導上の工夫と学生の満足感とが関係していることが示唆されており、教授内容や教授方法を改善し続けることに意義があるものと考えられた。

授業方法（対面、同時配信、オンデマンド）は、77.8%の学生が現状のままでよいとの認識を示していることから、概ねそれぞれの授業内容に即した授業方法が採られているといえるのではないだろうか。



## 【教育学科】

1. 集計データ（単年度データ、過去5ヵ年経年比較表、授業形態別部門集計データ等）からわかること

教育学科については、2021年度と22年度の比較がどのような環境の変化として理解し評価すべきか早計に解釈することはできないが、2020年度と比較して、21年度は制限のある中ではあったが、20年度にできなかった、理論と実践を相互に往還する実践的内容を積極的に取り入れ、多くの講義・演習科目を対面で実施した。「質問」や「意見交換」の機会を評価する値が比較的高かったのも、感染症拡大下の中で、多くの学科教員が学生の教育実践的アプローチが損なわれないよう工夫を重ねてきたことの反映と捉えたい。他方で、昨年度との比較に限れば、文学部平均をやや下回る数値の項目もあり、これらを精査し、学生の要望や意向をふまえ、引き続き改善を進めていきたい。



# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

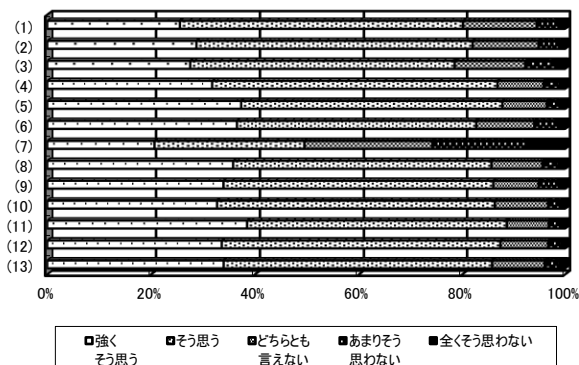
部門名 文学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	5,140	12,431	41.35%

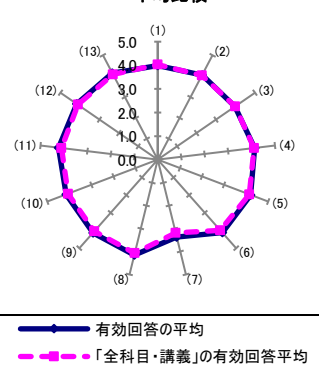
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,307	2,794	733	220	64	22	5,140	3.99	0.826	4.01	0.296
			25.43%	54.36%	14.26%	4.28%	1.25%	0.43%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	1,470	2,728	655	209	57	21	5,140	4.04	0.823	4.07	0.295
			28.60%	53.07%	12.74%	4.07%	1.11%	0.41%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,410	2,612	703	307	91	17	5,140	3.96	0.901	3.96	0.348
			27.43%	50.82%	13.68%	5.97%	1.77%	0.33%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.5時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	57	193	604	1,537	912	1,422	4,725	2.08	0.918	2.09	0.418
			1.21%	4.08%	12.78%	32.53%	19.30%	30.10%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,622	2,815	457	160	56	30	5,140	4.13	0.783	4.13	0.360
			31.56%	54.77%	8.89%	3.11%	1.09%	0.58%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,910	2,582	442	139	44	23	5,140	4.21	0.777	4.21	0.344
			37.16%	50.23%	8.60%	2.70%	0.86%	0.45%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,869	2,364	577	240	68	22	5,140	4.12	0.878	4.13	0.420
			36.36%	45.99%	11.23%	4.67%	1.32%	0.43%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,057	1,477	1,263	936	387	20	5,140	3.37	1.210	3.54	0.723	
		20.56%	28.74%	24.57%	18.21%	7.53%	0.39%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,831	2,552	507	161	66	23	5,140	4.16	0.821	4.19	0.405	
		35.62%	49.65%	9.86%	3.13%	1.28%	0.45%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,735	2,665	449	205	61	25	5,140	4.14	0.822	4.16	0.356	
		33.75%	51.85%	8.74%	3.99%	1.19%	0.49%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	189	68	-	-	-	9	266	-	-	-	-	
		71.05%	25.56%	-	-	-	3.38%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	1,669	2,739	527	128	43	34	5,140	4.15	0.764	4.18	0.347	
		32.47%	53.29%	10.25%	2.49%	0.84%	0.66%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	113	51	-	-	-	7	171	-	-	-	-	
		66.08%	29.82%	-	-	-	4.09%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,964	2,562	416	121	43	34	5,140	4.23	0.764	4.25	0.328	
		38.21%	49.84%	8.09%	2.35%	0.84%	0.66%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,720	2,756	475	131	39	19	5,140	4.17	0.756	4.19	0.303	
		33.46%	53.62%	9.24%	2.55%	0.76%	0.37%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,740	2,656	523	149	56	16	5,140	4.15	0.797	4.16	0.402	
		33.85%	51.67%	10.18%	2.90%	1.09%	0.31%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	3,909	697	182	321	-	31	5,140	-	-	-	-	
		76.05%	13.56%	3.54%	6.25%	-	0.60%	100.00%					

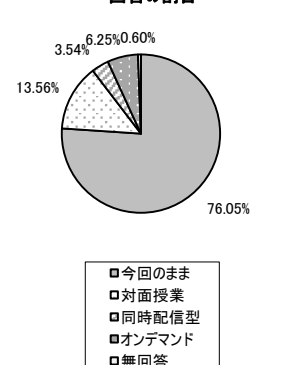
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

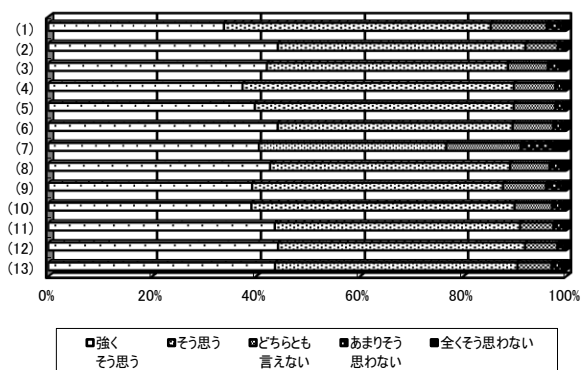
部門名 文学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,789	6,123	45.55%

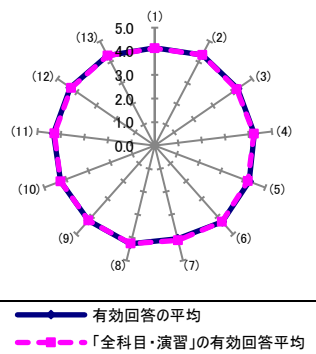
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	940	1,432	302	86	20	9	2,789	4.15	0.784	4.18	0.301
			33.70%	51.34%	10.83%	3.08%	0.72%	0.32%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,230	1,334	174	34	12	5	2,789	4.34	0.689	4.36	0.265
			44.10%	47.83%	6.24%	1.22%	0.43%	0.18%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,171	1,296	216	72	28	6	2,789	4.26	0.790	4.28	0.331
			41.99%	46.47%	7.74%	2.58%	1.00%	0.22%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	160	250	466	675	305	827	2,683	2.61	1.163	2.60	0.638
			5.96%	9.32%	17.37%	25.16%	11.37%	30.82%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,039	1,457	224	45	14	10	2,789	4.25	0.710	4.26	0.291
			37.25%	52.24%	8.03%	1.61%	0.50%	0.36%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,106	1,392	224	49	11	7	2,789	4.27	0.715	4.27	0.328
			39.66%	49.91%	8.03%	1.76%	0.39%	0.25%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,228	1,263	219	53	18	8	2,789	4.31	0.750	4.33	0.320
			44.03%	45.29%	7.85%	1.90%	0.65%	0.29%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,128	1,005	403	177	69	7	2,789	4.06	1.012	4.11	0.606	
		40.44%	36.03%	14.45%	6.35%	2.47%	0.25%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,186	1,289	213	66	24	11	2,789	4.28	0.775	4.28	0.364	
		42.52%	46.22%	7.64%	2.37%	0.86%	0.39%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,093	1,350	233	90	20	3	2,789	4.22	0.788	4.24	0.340	
		39.19%	48.40%	8.35%	3.23%	0.72%	0.11%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	86	22	-	-	-	2	110	-	-	-	-	
		78.18%	20.00%	-	-	-	1.82%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	1,085	1,411	202	60	17	14	2,789	4.26	0.735	4.27	0.333	
		38.90%	50.59%	7.24%	2.15%	0.61%	0.50%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	54	18	-	-	-	5	77	-	-	-	-	
		70.13%	23.38%	-	-	-	6.49%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,211	1,318	180	57	12	11	2,789	4.32	0.722	4.33	0.318	
		43.42%	47.26%	6.45%	2.04%	0.43%	0.39%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,231	1,330	175	39	9	5	2,789	4.34	0.688	4.34	0.299	
		44.14%	47.69%	6.27%	1.40%	0.32%	0.18%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,214	1,304	185	60	19	7	2,789	4.31	0.746	4.33	0.339	
		43.53%	46.76%	6.63%	2.15%	0.68%	0.25%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	2,172	418	78	110	-	11	2,789	-	-	-	-	
		77.88%	14.99%	2.80%	3.94%	-	0.39%	100.00%					

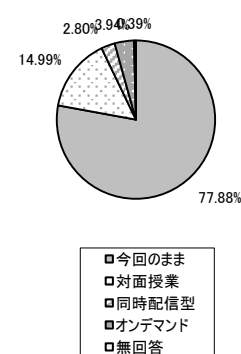
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表 部門名 文学部  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.551 (**)	1												
Q3	.412 (**)	.627 (**)	1											
Q3-2	.118 (**)	.218 (**)	.307 (**)	1										
Q4	.466 (**)	.450 (**)	.372 (**)	.095 (**)	1									
Q5	.457 (**)	.492 (**)	.380 (**)	.100 (**)	.618 (**)	1								
Q6	.370 (**)	.359 (**)	.324 (**)	.101 (**)	.534 (**)	.528 (**)	1							
Q7	.259 (**)	.331 (**)	.267 (**)	.118 (**)	.296 (**)	.272 (**)	.401 (**)	1						
Q8	.456 (**)	.493 (**)	.364 (**)	.066 (**)	.631 (**)	.680 (**)	.554 (**)	.350 (**)	1					
Q9	.453 (**)	.462 (**)	.351 (**)	.020	.569 (**)	.601 (**)	.472 (**)	.324 (**)	.659 (**)	1				
Q10	.494 (**)	.510 (**)	.376 (**)	.065 (**)	.611 (**)	.651 (**)	.495 (**)	.333 (**)	.719 (**)	.758 (**)	1			
Q11	.512 (**)	.548 (**)	.395 (**)	.084 (**)	.551 (**)	.621 (**)	.464 (**)	.291 (**)	.653 (**)	.609 (**)	.684 (**)	1		
Q12	.522 (**)	.573 (**)	.426 (**)	.102 (**)	.543 (**)	.612 (**)	.464 (**)	.309 (**)	.644 (**)	.596 (**)	.664 (**)	.773 (**)	1	
Q13	.502 (**)	.553 (**)	.391 (**)	.052 (**)	.655 (**)	.676 (**)	.548 (**)	.345 (**)	.769 (**)	.704 (**)	.781 (**)	.742 (**)	.739 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。  
\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 文学部  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.505 (**)	1												
Q3	.388 (**)	.633 (**)	1											
Q3-2	.127 (**)	.214 (**)	.320 (**)	1										
Q4	.478 (**)	.461 (**)	.346 (**)	.104 (**)	1									
Q5	.465 (**)	.466 (**)	.385 (**)	.090 (**)	.622 (**)	1								
Q6	.424 (**)	.393 (**)	.284 (**)	.038	.563 (**)	.526 (**)	1							
Q7	.332 (**)	.343 (**)	.286 (**)	.070 (**)	.371 (**)	.358 (**)	.484 (**)	1						
Q8	.457 (**)	.448 (**)	.306 (**)	.058 (*)	.646 (**)	.604 (**)	.614 (**)	.453 (**)	1					
Q9	.444 (**)	.448 (**)	.317 (**)	.011	.535 (**)	.574 (**)	.502 (**)	.386 (**)	.640 (**)	1				
Q9-2														
Q10	.467 (**)	.498 (**)	.355 (**)	.051 (*)	.595 (**)	.614 (**)	.550 (**)	.426 (**)	.689 (**)	.724 (**)	1			
Q10-2														
Q11	.477 (**)	.497 (**)	.363 (**)	.096 (**)	.530 (**)	.585 (**)	.510 (**)	.380 (**)	.602 (**)	.582 (**)	.663 (**)	1		
Q12	.486 (**)	.555 (**)	.422 (**)	.128 (**)	.535 (**)	.580 (**)	.519 (**)	.397 (**)	.616 (**)	.577 (**)	.666 (**)	.754 (**)	1	
Q13	.497 (**)	.525 (**)	.362 (**)	.050 (*)	.621 (**)	.650 (**)	.600 (**)	.443 (**)	.760 (**)	.697 (**)	.784 (**)	.728 (**)	.742 (**)	1
Q14														

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。  
\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 文学部  
形態名 講義

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.84	1.020	3.91	0.369	3.96	0.814	3.99	0.296	3.99	0.826	4.01	0.296
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.73	1.053	3.80	0.415	3.82	1.057	3.92	0.466	3.76	1.009	3.87	0.436	4.10	0.813	4.13	0.327	4.04	0.823	4.07	0.295
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.880	4.04	0.412	3.96	0.901	3.96	0.348
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.3時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.26	1.049	2.27	0.634	2.08	0.918	2.09	0.418
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.841	4.06	0.430	4.13	0.783	4.13	0.360
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.18	0.844	4.19	0.435	4.21	0.777	4.21	0.344
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	1.043	3.95	0.652	4.12	0.878	4.13	0.420
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	1.266	3.09	0.854	3.37	1.210	3.54	0.723
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.14	0.975	4.22	0.451	4.20	0.959	4.30	0.443	4.21	0.929	4.31	0.416	4.10	0.876	4.11	0.497	4.16	0.821	4.19	0.405
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.896	4.02	0.468	4.14	0.822	4.16	0.356
	(10)	この授業の水準に満足している	4.02	0.941	4.09	0.412	4.09	0.954	4.20	0.428	4.14	0.890	4.23	0.365	4.08	0.824	4.09	0.433	4.15	0.764	4.18	0.347
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.13	0.961	4.21	0.397	4.19	0.935	4.29	0.381	4.26	0.862	4.35	0.353	4.22	0.795	4.24	0.366	4.23	0.764	4.25	0.328
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.800	4.16	0.357	4.17	0.756	4.19	0.303
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.20	0.894	4.27	0.426	4.25	0.880	4.35	0.395	4.27	0.859	4.37	0.381	4.11	0.853	4.13	0.468	4.15	0.797	4.16	0.402	

部門名 文学部  
形態名 演習

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.01	0.945	4.06	0.341	4.08	0.829	4.10	0.378	4.15	0.784	4.18	0.301
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.27	0.798	4.29	0.297	4.27	0.812	4.28	0.285	4.16	0.821	4.17	0.298	4.37	0.683	4.38	0.306	4.34	0.689	4.36	0.265
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.32	0.728	4.32	0.367	4.26	0.790	4.28	0.331
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.3時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.62	1.218	2.56	0.728	2.61	1.163	2.60	0.638
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.700	4.23	0.350	4.25	0.710	4.26	0.291
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.23	0.796	4.20	0.435	4.27	0.715	4.27	0.328
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.883	4.20	0.526	4.31	0.750	4.33	0.320
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.69	1.225	3.73	0.898	4.06	1.012	4.11	0.606
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.42	0.795	4.47	0.346	4.39	0.797	4.44	0.332	4.39	0.781	4.40	0.366	4.24	0.818	4.23	0.512	4.28	0.775	4.28	0.364
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.870	4.13	0.496	4.22	0.788	4.24	0.340
	(10)	この授業の水準に満足している	4.24	0.843	4.27	0.352	4.19	0.871	4.23	0.344	4.25	0.819	4.25	0.370	4.20	0.748	4.20	0.404	4.26	0.735	4.27	0.333
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.37	0.816	4.41	0.337	4.34	0.823	4.39	0.336	4.36	0.784	4.37	0.344	4.23	0.787	4.23	0.428	4.32	0.722	4.33	0.318
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.23	0.746	4.22	0.415	4.34	0.688	4.34	0.299
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.44	0.756	4.49	0.319	4.41	0.761	4.46	0.315	4.41	0.764	4.42	0.354	4.25	0.780	4.25	0.446	4.31	0.746	4.33	0.339	

## IV 理学部

### 1) 集計データからわかること

Q1 では、シラバスなどにより、履修登録時に授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていたかどうか問われている。理学部の科目ベースでの平均値は 3.94 であり、他学部の値（法 4.11 経 4.09 文 4.10 国社 4.00）に比べて若干低い値を示している。この傾向は従来と同様である。理学部では必修科目がかなりの割合を占めており、授業を選択する必要性がより少ないため、平均値が他学部に比べて低くなると推測される。一方、経年変化では科目ベース平均値は講義と演習の双方とも過去 3 年間で上昇しており、学生が授業内容を事前に把握しようとする傾向が強くなっていることが伺える。

Q2 は授業への取り組みに対する意欲についての設問である。科目ベースでの平均値は講義が 4.00（法 4.02 経 4.02 文 4.07 国社 4.03）、演習が 4.30（法 4.44 経 4.56 文 4.36 国社 4.28）であり他学部と同程度である。講義の平均点について過去 5 年間の推移をみると、昨年度は一昨年度以前の水準から大きく伸びて最高となったが、今年度は昨年度に比べるとわずかに減少している。一方、演習では同レベルを維持している。

Q3 は、授業に対して毎週一定の時間を確保して取り組んだかどうかについての設問である。講義では科目ベース平均値で、昨年度の 4.17 から 3.98 へと減少している。同様に、演習でも昨年度の 4.43 から 4.31 へと減少している。設問 Q3-2 に示されている、一週あたりの授業に使った平均時間に関する科目ベースのポイント数は、講義で 2.73 から 2.58 に、演習で 4.06 から 3.65 に減少している。特に演習においてはポイント数が大幅に減少している。その主な要因は、4.5 時間以上の学習時間が昨年度は回答者ベースで 40.65%であったものが、今年度は 26.33%にまで落ち込んでいることにある。2020 年度に比べて対面授業の割合が増え、遠隔授業での課題などに充てる時間が減少したことと関係があるものと考えられる。しかしながら、演習においては、授業に取り組んだ時間の減少にもかかわらず、相関が高いはずの Q2 の授業に対する取り組む意欲については例年と同程度であり、減少傾向はみられない。理学部における演習では実験実習が多くを占めており、対面授業の良さが改めて評価されたことを反映しているかもしれない。

Q4 は、授業方法やシラバスの記載内容の変更についての説明が十分であったかどうかの設問である。科目ベースでの平均値は、講義で 3.98、演習で 4.02 であり、昨年度とほぼ同じであった。

Q5では、授業で配布した教材の学習効果が問われている。科目ベースでの理学部の平均値は4.04であり、昨年度4.02からの変動はない。しかしながら、標準偏差の値を比較すると、昨年度の0.478から0.375に減少していることが大きく異なる。詳細をみると、昨年度では「5. 強くそう思う」が31.31%、一方「2. あまりそう思わない」と「1. 全くそう思わない」の両方で7.37%となっていた。これに対して、今年度では前者が29.77%、後者が5.62%である。有効性を強く感じている学生の割合がわずかながら減少しているものの、有効性について否定的である学生の割合も減少していることから、遠隔授業が始まったばかりの昨年度に比べて教材の改善がなされたことによる効果の表れと考えられる。

Q6は、教員への質問の機会が設けられていたかについて問われている。科目ベースの平均値で、講義3.94・演習4.21であり、昨年度の3.87と4.02と比較するとほぼ同じか少し増加している。遠隔授業の場合でもLMSなどを用いて教員への質問ができることから、顕著な変化は現れなかったのではないかと推測される。

Q7は、学生どうしの意見交換の機会が設けられていたかについての設問である。特に、理学部の科目ベースの演習の平均値は、昨年度の3.36から今年度は4.13へと大きく増加している。対面授業の割合の増加による効果とみてよいであろう。

Q8では、教員が学習内容を理解しやすい形で伝えていたかが問われている。理学部の科目ベースの平均値でみると、過去5年において同じ水準を保っている。しかしながら、講義については「2. あまりそうは思わない」「1. 全くそう思わない」の合計が約8%もあり、他学部と比べると突出して高い。

Q9は、授業の学習量についての満足度の設問である。科目ベースでの平均値で、講義については昨年度の3.90に対して今年度は3.91と同じであった。一方、演習においては昨年度の3.73から3.98へと大きく増加している。この演習における傾向は、Q3の学習に割り当てた時間数の減少に示されるように、遠隔形式による課題などの負担が多少軽減されたことを反映しているかもしれない。

Q10は、授業の水準への満足度についての設問である。科目ベースの平均値で、講義においては昨年度と同じ3.90を維持しており、過去5年間で見ても3.7~3.9の間を推移している。このことから、講義の水準に関しては、対面でも遠隔でもほぼ変わりはないと学生は判断していると解釈される。また、演習に関しては、科目ベースの平均値で過去5年における最低値であった昨年度の3.81から従来のレベルの4.06に戻っている。理学部の場合、特に実験においては、遠隔授業で水準を維持することは難しいことがデータから裏付けされている。

Q11 は授業による知的好奇心の満足度や新しいものの見方の獲得について、Q12 は授業による知識や能力の向上について問われている。これらの設問も Q10 と同様にある種の授業の水準への満足度といってもよく、それらの間の相関はかなり高い (Q10-Q11 : 0.658、Q10-Q12 : 0.650、Q11-Q12 : 0.814)。Q11 に関しては、講義と演習の双方において、科目ベース平均値の過去 5 年の推移は Q10 とほぼ同じである。Q12 については昨年度のデータとの比較しかできないが、昨年度から若干の増加が認められた。

Q13 は、授業に対する総合評価である。科目ベース平均値で講義は 3.96、演習は 4.16 である。講義と演習の両方が昨年度からの増加を示した。しかしながら、講義の方は従来水準にまでは戻っておらず、遠隔授業が継続されていることによる影響が示唆される。

Q14 は、授業の実施方法についての要望である。現状維持を希望する学生は、講義で 74.6%、演習で 77.0% を占める。今年度の授業形式の割合は、講義において対面 : 遠隔 = 4 : 6、演習において対面 : 遠隔 = 9 : 1 であった。このことを踏まえると、演習では対面形式が強く望まれていることが明確となっている。一方、講義においては、まだ半数以上の授業が遠隔形式で行われていることから、遠隔形式のままでもよいと考えている学生が意外にも多くいることが判明した。

## 2) 今後の授業改善に向けて

2020 年度は課題量の多さが学生の負担になっていることが指摘されていた。2021 年度は、理学部では講義において 4 割、演習において 9 割が対面形式で実施されるようになったため、Q3 が示すように課題による負担は軽減されているようである。このことから、対面授業を希望する学生が多いであろうと予想された。しかしながら、Q14 のアンケート結果からは、約半数の学生が遠隔形式での講義を希望していることが伺える。オンデマンド形式の場合は理解できなかつたところを繰り返し学習できるとの意見が複数回答されていた。今後は、そのようなオンデマンド授業などで用いた手法をうまく取り込むことにより、理解度の向上につなげられるかもしれない。

Q10、11、12 の結果は、講義の水準に満足している割合が過去 5 年間でほぼ変わらないことを示しており、授業内容の質については授業形式にかかわらず保たれているとみなせる。その一方で、理学部においては授業が分かりにくいと感じている学生の割合はまだ多いことが Q8 から示されており、授業内容を分かりやすく伝えるための改善について引き続き努力が必要とされている。





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

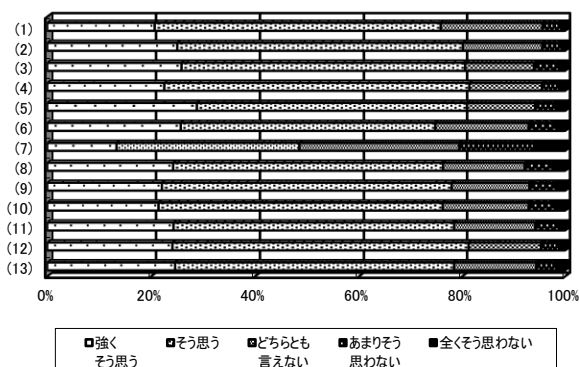
部門名 理学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,279	5,856	38.92%

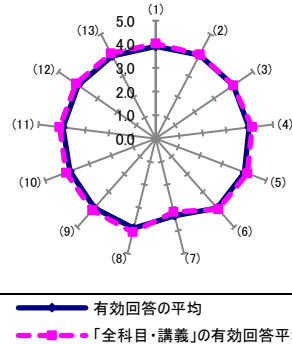
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	469	1,250	448	84	17	11	2,279	3.91	0.783	3.92	0.260
			20.58%	54.85%	19.66%	3.69%	0.75%	0.48%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	567	1,247	350	86	15	14	2,279	4.00	0.785	4.00	0.286
			24.88%	54.72%	15.36%	3.77%	0.66%	0.61%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	586	1,240	303	114	24	12	2,279	3.99	0.830	3.98	0.328
			25.71%	54.41%	13.30%	5.00%	1.05%	0.53%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	93	184	385	553	233	681	2,129	2.55	1.100	2.58	0.641
			4.37%	8.64%	18.08%	25.97%	10.94%	31.99%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	510	1,332	319	77	26	15	2,279	3.98	0.778	3.98	0.310
			22.38%	58.45%	14.00%	3.38%	1.14%	0.66%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	653	1,181	300	93	40	12	2,279	4.02	0.862	4.02	0.388
			28.65%	51.82%	13.16%	4.08%	1.76%	0.53%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	582	1,111	411	125	36	14	2,279	3.92	0.892	3.94	0.378
			25.54%	48.75%	18.03%	5.48%	1.58%	0.61%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	302	797	699	331	136	14	2,279	3.35	1.071	3.36	0.401	
		13.25%	34.97%	30.67%	14.52%	5.97%	0.61%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	549	1,178	359	126	53	14	2,279	3.90	0.908	3.90	0.419	
		24.09%	51.69%	15.75%	5.53%	2.33%	0.61%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	501	1,267	343	119	39	10	2,279	3.91	0.854	3.91	0.343	
		21.98%	55.59%	15.05%	5.22%	1.71%	0.44%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	127	29	-	-	-	2	158	-	-	-	-	
		80.38%	18.35%	-	-	-	1.27%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	483	1,235	377	117	43	24	2,279	3.89	0.865	3.90	0.350	
		21.19%	54.19%	16.54%	5.13%	1.89%	1.05%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	125	32	-	-	-	3	160	-	-	-	-	
		78.13%	20.00%	-	-	-	1.88%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	551	1,226	358	106	26	12	2,279	3.96	0.830	3.97	0.334	
		24.18%	53.80%	15.71%	4.65%	1.14%	0.53%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	545	1,292	318	81	26	17	2,279	3.99	0.793	4.00	0.320	
		23.91%	56.69%	13.95%	3.55%	1.14%	0.75%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	558	1,219	362	90	38	12	2,279	3.96	0.845	3.96	0.379	
		24.48%	53.49%	15.88%	3.95%	1.67%	0.53%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	1,700	323	88	151	-	17	2,279	-	-	-	-	
		74.59%	14.17%	3.86%	6.63%	-	0.75%	100.00%					

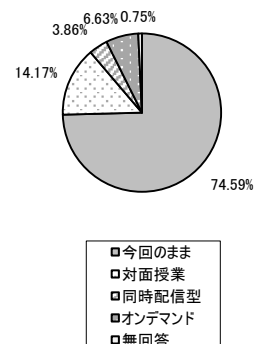
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

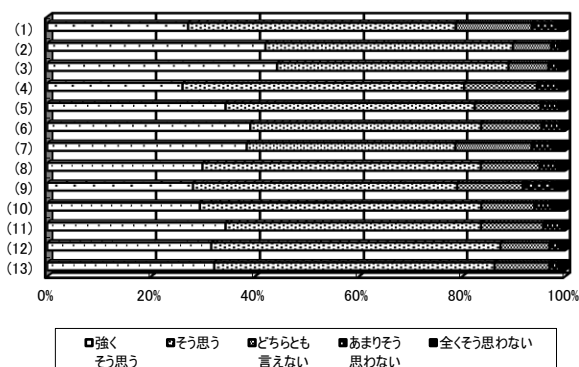
部門名 理学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	583	1,296	44.98%

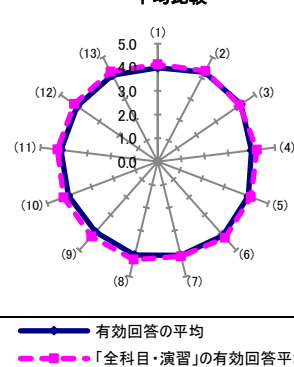
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	158	301	86	30	8	0	583	3.98	0.865	4.00	0.286
			27.10%	51.63%	14.75%	5.15%	1.37%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	244	278	43	10	6	2	583	4.28	0.760	4.30	0.256
			41.85%	47.68%	7.38%	1.72%	1.03%	0.34%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	257	260	45	12	7	2	583	4.29	0.793	4.31	0.272
			44.08%	44.60%	7.72%	2.06%	1.20%	0.34%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	148	53	65	62	46	188	562	3.52	1.455	3.65	0.850
			26.33%	9.43%	11.57%	11.03%	8.19%	33.45%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	151	315	82	25	7	3	583	4.00	0.827	4.02	0.321
			25.90%	54.03%	14.07%	4.29%	1.20%	0.51%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	199	279	74	21	7	3	583	4.11	0.845	4.11	0.318
			34.13%	47.86%	12.69%	3.60%	1.20%	0.51%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	227	259	68	23	4	2	583	4.17	0.836	4.21	0.314
			38.94%	44.43%	11.66%	3.95%	0.69%	0.34%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	223	234	86	24	14	2	583	4.08	0.953	4.13	0.434	
		38.25%	40.14%	14.75%	4.12%	2.40%	0.34%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	173	311	66	20	9	4	583	4.07	0.829	4.08	0.308	
		29.67%	53.34%	11.32%	3.43%	1.54%	0.69%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	163	296	74	37	11	2	583	3.97	0.913	3.98	0.349	
		27.96%	50.77%	12.69%	6.35%	1.89%	0.34%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	42	6	-	-	-	0	48	-	-	-	-	
		87.50%	12.50%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	171	316	60	20	15	1	583	4.04	0.875	4.06	0.310	
		29.33%	54.20%	10.29%	3.43%	2.57%	0.17%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	32	3	-	-	-	0	35	-	-	-	-	
		91.43%	8.57%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	199	286	70	21	4	3	583	4.13	0.809	4.15	0.318	
		34.13%	49.06%	12.01%	3.60%	0.69%	0.51%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	183	324	55	13	5	3	583	4.15	0.746	4.18	0.254	
		31.39%	55.57%	9.43%	2.23%	0.86%	0.51%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	187	315	62	12	6	1	583	4.14	0.764	4.16	0.303	
		32.08%	54.03%	10.63%	2.06%	1.03%	0.17%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	449	82	12	37	-	3	583	-	-	-	-	
		77.02%	14.07%	2.06%	6.35%	-	0.51%	100.00%					

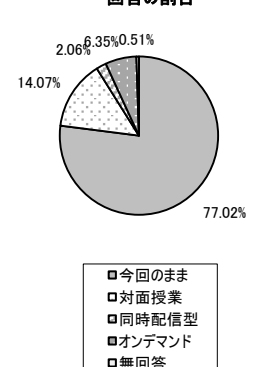
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表 部門名 理学部  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.518 (**)	1												
Q3	.401 (**)	.645 (**)	1											
Q3-2	.185 (**)	.224 (**)	.348 (**)	1										
Q4	.426 (**)	.462 (**)	.364 (**)	.116 (**)	1									
Q5	.397 (**)	.468 (**)	.361 (**)	.100 (**)	.606 (**)	1								
Q6	.331 (**)	.384 (**)	.285 (**)	.109 (**)	.512 (**)	.544 (**)	1							
Q7	.316 (**)	.306 (**)	.214 (**)	.072 (**)	.364 (**)	.317 (**)	.472 (**)	1						
Q8	.421 (**)	.481 (**)	.361 (**)	.082 (**)	.609 (**)	.718 (**)	.538 (**)	.378 (**)	1					
Q9	.417 (**)	.458 (**)	.359 (**)	.105 (**)	.541 (**)	.557 (**)	.448 (**)	.363 (**)	.647 (**)	1				
Q10	.460 (**)	.498 (**)	.355 (**)	.114 (**)	.563 (**)	.629 (**)	.482 (**)	.392 (**)	.701 (**)	.736 (**)	1			
Q11	.514 (**)	.497 (**)	.360 (**)	.093 (**)	.512 (**)	.576 (**)	.431 (**)	.340 (**)	.616 (**)	.572 (**)	.631 (**)	1		
Q12	.500 (**)	.548 (**)	.405 (**)	.168 (**)	.540 (**)	.583 (**)	.433 (**)	.349 (**)	.611 (**)	.567 (**)	.643 (**)	.769 (**)	1	
Q13	.477 (**)	.534 (**)	.398 (**)	.096 (**)	.629 (**)	.703 (**)	.543 (**)	.393 (**)	.773 (**)	.672 (**)	.755 (**)	.686 (**)	.709 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 理学部  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.506 (**)	1												
Q3	.454 (**)	.653 (**)	1											
Q3-2	.192 (**)	.344 (**)	.450 (**)	1										
Q4	.502 (**)	.417 (**)	.399 (**)	.234 (**)	1									
Q5	.441 (**)	.456 (**)	.377 (**)	.241 (**)	.633 (**)	1								
Q6	.420 (**)	.445 (**)	.383 (**)	.212 (**)	.549 (**)	.597 (**)	1							
Q7	.443 (**)	.416 (**)	.358 (**)	.163 (**)	.453 (**)	.464 (**)	.636 (**)	1						
Q8	.431 (**)	.489 (**)	.371 (**)	.203 (**)	.634 (**)	.695 (**)	.629 (**)	.561 (**)	1					
Q9	.440 (**)	.413 (**)	.322 (**)	.135 (**)	.531 (**)	.560 (**)	.502 (**)	.461 (**)	.668 (**)	1				
Q9-2														
Q10	.483 (**)	.424 (**)	.349 (**)	.159 (**)	.544 (**)	.532 (**)	.522 (**)	.485 (**)	.646 (**)	.688 (**)	1			
Q10-2														
Q11	.507 (**)	.522 (**)	.403 (**)	.264 (**)	.494 (**)	.544 (**)	.511 (**)	.484 (**)	.564 (**)	.557 (**)	.622 (**)	1		
Q12	.511 (**)	.544 (**)	.529 (**)	.299 (**)	.577 (**)	.557 (**)	.530 (**)	.467 (**)	.597 (**)	.539 (**)	.586 (**)	.742 (**)	1	
Q13	.500 (**)	.503 (**)	.414 (**)	.217 (**)	.594 (**)	.645 (**)	.646 (**)	.543 (**)	.754 (**)	.681 (**)	.711 (**)	.694 (**)	.715 (**)	1
Q14														

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 理学部  
形態名 講義

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.66	1.063	3.70	0.341	3.83	0.878	3.84	0.293	3.91	0.783	3.92	0.260
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.83	1.069	3.84	0.348	3.80	1.086	3.83	0.370	3.61	1.042	3.64	0.359	4.10	0.769	4.10	0.276	4.00	0.785	4.00	0.286
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.17	0.779	4.17	0.286	3.99	0.830	3.98	0.328
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.73	1.157	2.73	0.713	2.55	1.100	2.58	0.641
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	0.886	3.95	0.398	3.98	0.778	3.98	0.310
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.931	4.01	0.506	4.02	0.862	4.02	0.388
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.88	0.989	3.87	0.491	3.92	0.892	3.94	0.378
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.98	1.158	3.02	0.521	3.35	1.071	3.36	0.401
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	3.95	1.066	3.98	0.481	3.89	1.069	3.94	0.465	3.87	1.043	3.92	0.478	3.91	0.989	3.91	0.561	3.90	0.908	3.90	0.419
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.87	0.910	3.90	0.407	3.91	0.854	3.91	0.343
	(10)	この授業の水準に満足している	3.70	1.091	3.73	0.439	3.63	1.120	3.66	0.495	3.77	1.026	3.82	0.438	3.89	0.903	3.90	0.447	3.89	0.865	3.90	0.350
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.89	1.062	3.94	0.426	3.84	1.061	3.89	0.411	3.86	1.010	3.91	0.410	3.95	0.869	3.95	0.389	3.96	0.830	3.97	0.334
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	0.865	3.95	0.355	3.99	0.793	4.00	0.320
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.03	0.980	4.06	0.438	3.97	0.977	4.02	0.403	3.96	0.960	4.02	0.446	3.92	0.929	3.92	0.478	3.96	0.845	3.96	0.379	

部門名 理学部  
形態名 演習

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.85	0.999	3.86	0.236	3.83	0.917	3.86	0.361	3.98	0.865	4.00	0.286
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.44	0.800	4.42	0.274	4.36	0.919	4.35	0.377	4.07	0.907	4.10	0.301	4.24	0.761	4.28	0.310	4.28	0.760	4.30	0.256
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.42	0.755	4.43	0.298	4.29	0.793	4.31	0.272
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	1.142	4.06	0.724	3.52	1.455	3.65	0.850
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.89	0.816	3.86	0.359	4.00	0.827	4.02	0.321
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.838	4.05	0.350	4.11	0.845	4.11	0.318
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.879	4.02	0.415	4.17	0.836	4.21	0.314
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.21	1.216	3.36	0.755	4.08	0.953	4.13	0.434
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.22	0.889	4.23	0.306	4.15	0.957	4.14	0.409	4.07	0.885	4.09	0.260	3.87	0.902	3.93	0.493	4.07	0.829	4.08	0.308
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.71	0.959	3.73	0.441	3.97	0.913	3.98	0.349
	(10)	この授業の水準に満足している	3.97	1.026	3.95	0.364	3.97	1.032	3.94	0.438	4.00	0.931	4.03	0.323	3.76	0.874	3.81	0.400	4.04	0.875	4.06	0.310
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.21	0.944	4.19	0.352	4.15	1.041	4.13	0.512	4.14	0.890	4.14	0.302	3.96	0.819	4.00	0.375	4.13	0.809	4.15	0.318
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.850	4.02	0.398	4.15	0.746	4.18	0.254
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.29	0.869	4.29	0.307	4.24	0.894	4.21	0.390	4.16	0.865	4.17	0.272	3.85	0.867	3.92	0.412	4.14	0.764	4.16	0.303	

# V 国際社会科学部

## 1. 集計データからわかること

### A. 講義科目

講義科目の令和3（2021）年度のアンケートの実施率は100%となり前年度（94.44%）より大きく改善した。一方アンケートの回答率は21.05%であり、前年度（12.89%）よりは改善されたものの、2019年度（40.93%）、2018年度（44.97%）と比べて大幅に低下したままであった。コロナ禍でのオンライン・アンケートにおける回答率の低下は今年度も続いていると考えられる。

講義科目の全学平均値（以下、全学平均）との比較では、シラバスの理解度（Q1）（4.08）は、全学平均（4.03）を若干上回る結果となった。また、教員への質問の機会（Q6）（4.15）は全学平均（4.02）を大きく上回った。

加えて、講義科目の意欲度（Q2）（4.03）、継続的学習度（Q3）（3.99）、各授業の全学習時間（Q3-2）（2.21）、授業方法やシラバスに関する教員からの説明の適切さ（Q4）

（4.19）、配布された教材の評価（Q5）（4.13）、知識や能力の向上（Q12）（4.09）、授業に関する履修者同士の意見交換の機会（Q7）（3.32）は全学平均とおおむね同程度となった。また、授業の理解のしやすさ（Q8）（4.04）、授業内容の量の適切さ（Q9-1）（4.00）、授業の水準（Q10-1）（4.02）、知的好奇心・新しい視点の獲得（Q11）（4.06）、総合評価（Q13）（4.02）に関しては全学平均を若干下回った。

前年度との比較においては、14項目中3項目（Q2、Q3、Q3-2）をのぞく全ての項目で前年度値を上回った。しかしながら、今年度も回答率が21.05%と低く、代表性に留意する必要がある。

表 V-1 国際社会科学部 講義科目の授業評価アンケート平均値 (科目ベース)

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	—	—	3.87	3.9	3.99	3.99	4.08	4.03	△
Q2 意欲度	3.81	3.85	3.74	3.76	4.12	4.1	4.03	4.04	▼
Q3 継続的学習度	—	—	—	—	4.12	4.07	3.99	3.97	▼
Q3-2 授業全学習時間	—	—	—	—	2.42	2.35	2.21	2.21	▼
Q4 授業方法、シラバス等の説明	—	—	—	—	3.95	4.03	4.10	4.09	△
Q5 教材	—	—	—	—	3.98	4.11	4.13	4.15	△
Q6 質問機会	—	—	—	—	3.84	3.89	4.15	4.02	△
Q7 履修者同士の意見交換の機会	—	—	—	—	2.82	2.92	3.32	3.29	△
Q8 授業の理解しやすさ	4.01	4.14	4.12	4.15	3.84	4.01	4.04	4.08	△
Q9-1 授業内容の量の適切さ	—	—	—	—	3.87	3.98	4.00	4.04	△
Q10-1 授業の水準	3.8	3.97	3.97	4.05	3.88	4	4.02	4.07	△
Q11 知的好奇心、新しい視角	3.88	4.09	4.07	4.14	3.96	4.08	4.06	4.12	△
Q12 知識や能力の向上	—	—	—	—	3.96	4.08	4.09	4.12	△
Q13 総合評価	4.02	4.18	4.12	4.2	3.85	4.03	4.02	4.08	△
アンケート実施率	98.57%		100.00%		94.44%		100.00%	99.71%	
回答率	44.97%	51.83%	40.93%	51.47%	12.89%	23.83%	21.05%	34.49%	

## B. 演習科目

今年度の演習科目のアンケートの実施率は 93.75% となり前年度の実施率 (78.26%) から大幅に改善した。その一方でアンケートの回答率は 39.86% であり、前年度の回答率 (41.94%) と同様の低い水準であった。またこれらの値は全学水準 (実施率 98.76%、回答率 44.42%) より低めであった。

全学との比較では、シラバス等を通じた目標理解 (Q1) (3.75) および教材の適切さ (Q5) (3.84) における評価が低かった。シラバスの改善や教材の使用意図などをより明確にすることで学生との相互理解を図ることが望まれる。また学習時間 (Q3-2) (2.65) は全学を上回る値であったことから、上記の Q1 および Q5 を改善することでより一層の学習効果と理解が進むものと思われる。

さらに、前年度との比較では学習時間 (Q3-2) (2.65) および授業に関する履修者同士の意見交換の機会 (Q7) (4.28) が前年度値を上回り、授業運営の工夫により改善した可能性が示唆される。反対に教材への評価 (Q5) (3.84) は前年度より低下したことから、今後、対面やハイブリッド授業が増えることを考慮すると、授業形態を考慮した適切な教材の選択が必要となることが推測される。

表 V-2 国際社会科学部 演習科目の授業評価アンケート平均値（科目ベース）

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		前 年 比
	国際社会 科学部	全学	国際社会 科学部	全学	国際社会 科学部	全学	国際社会 科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	—	—	3.94	4.11	3.55	4	3.75	4.17	△
Q2 意欲度	4.36	4.36	4.19	4.26	4.31	4.3	4.28	4.38	▼
Q3 継続的学習度	—	—	—	—	4.04	4.26	4.03	4.25	▼
Q3-2 授業全学習時間	—	—	—	—	2.46	2.64	2.65	2.52	△
Q4 授業方法、シラバス等の説明	—	—	—	—	3.98	4.13	4.09	4.27	△
Q5 教材	—	—	—	—	3.97	4.18	3.84	4.23	▼
Q6 質問機会	—	—	—	—	4.29	4.06	4.31	4.34	△
Q7 履修者同士の意見交換の機会	—	—	—	—	4.15	3.56	4.28	4.18	△
Q8 授業の理解しやすさ	4.58	4.51	4.41	4.46	4.13	4.18	4.19	4.31	△
Q9-1 授業内容の量の適切さ	—	—	—	—	3.92	4.07	4.01	4.27	△
Q10-1 授業の水準	4.36	4.31	4.27	4.35	4.04	4.11	4.13	4.30	△
Q11 知的好奇心、新しい視角	4.39	4.43	4.34	4.41	4.08	4.16	4.11	4.32	△
Q12 知識や能力の向上	—	—	—	—	4.15	4.15	4.14	4.33	▼
Q13 総合評価	4.48	4.52	4.41	4.48	4.06	4.16	4.02	4.35	▼
アンケート実施率	97.78%		95.65%		78.26%		<b>93.75%</b>	<b>98.76%</b>	
回答率	83.86%	83.20%	84.35%	83.75%	41.94%	30.11%	39.86%	<b>44.42%</b>	

### C. 英語科目

今年度の英語科目のアンケートの実施率は 97.24% となり前年度の実施率（81.33%）から大幅に改善した。その一方でアンケートの回答率は 38.14% であり、前年度の回答率（38.87%）と同様の低い水準であった。またこれらの値は全学水準（実施率 98.53%、回答率 46.1%）より低めであった。

全学との比較では、学習時間（Q3-2）（2.72）と授業に関する履修者同士の意見交換の機会（Q7）（4.40）が特に高く評価された。オンライン授業が中心であっても、国際社会科学部における英語科目の授業運営の工夫が高評価につながっている可能性が示唆される。

前年度との比較においては特に授業の理解しやすさ（Q8）（4.19）と総合評価（Q13）（4.15）の評価が下がった。しかし前年度も今年度もアンケート回答率が 38% 台と例年の半分以下であり、データの代表性に疑問が残ることから単純な比較は難しいと考える。

表 V-3 国際社会科学部 英語科目の授業評価アンケート平均値 (科目ベース)

	2018年度		2019年度		2020年度		2021年度		前年比
	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	国際社会科学部	全学	
Q1 シラバス等を通じた目標理解	—	—	3.98	3.92	3.94	4	3.98	4.04	△
Q2 意欲度	4.37	4.18	4.27	4.08	4.43	4.27	4.38	4.26	▼
Q3 継続的学習度	—	—	—	—	4.38	4.31	4.38	4.25	△
Q3-2 授業全学習時間	—	—	—	—	2.78	2.43	2.72	2.32	▼
Q4 授業方法、シラバス等の説明	—	—	—	—	4.12	4.06	4.02	4.11	▼
Q5 教材	—	—	—	—	4.18	4.14	4.14	4.18	▼
Q6 質問機会	—	—	—	—	4.42	4.09	4.34	4.16	▼
Q7 履修者同士の意見交換の機会	—	—	—	—	4.48	3.59	4.40	3.91	▼
Q8 授業の理解しやすさ	4.39	4.37	4.37	4.33	4.34	4.1	4.19	4.18	▼
Q9-1 授業内容の量の適切さ	—	—	—	—	4.14	4.08	4.06	4.12	▼
Q10-1 授業の水準	4.17	4.16	4.24	4.19	4.23	4.08	4.14	4.14	▼
Q11 知的好奇心、新しい視点	4.12	4.11	4.25	4.16	4.16	4	4.11	4.09	▼
Q12 知識や能力の向上	—	—	—	—	4.21	4.05	4.19	4.14	▼
Q13 総合評価	4.32	4.33	4.34	4.3	4.29	4.08	4.15	4.16	▼
アンケート実施率	99.28%		99.32%		81.33%		97.24%		98.53%
回答率	83.34%	83.90%	83.31%	84.10%	38.87%	33.56%	38.14%	46.10%	

## 2. 今後の授業改善に向けて

2021年度は一部の授業に限り、対面授業を再開した年であった。国際社会科学部では多くの授業がオンラインであったが、講義・演習・語学それぞれで部分的に対面授業が取り入れられた。そのため今年度の授業評価が対面・オンライン、どちらの授業形態を念頭に置いたものかは判断が難しい。また、前年度に引き続き今年度もアンケートの回答率がコロナ前の2019年度までと比較して大幅に低下した。そのため得られたアンケート結果の代表性には疑問が残る。

上記をふまえた上で今年度の結果を見ると、多くの項目においておおむね全学平均値に近い評価が得られており、オンライン・対面のそれぞれの授業形態に合わせて適切な教育を行う努力がなされたことが推測される。次年度はさらに対面・オンライン・ハイブリッドが混在することが予想される。それぞれの良さを活かしながら、授業形態に合わせた授業設計・授業運営を行うことが求められると考える。





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

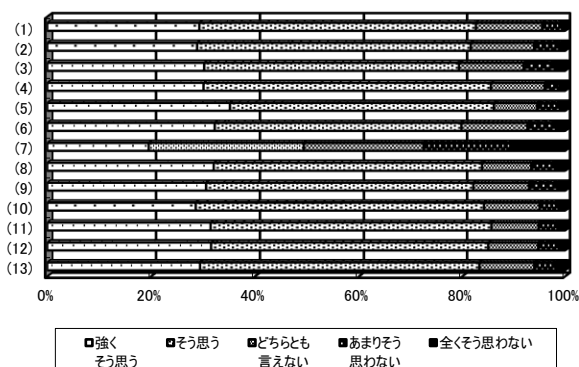
部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	2,004	9,519	21.05%

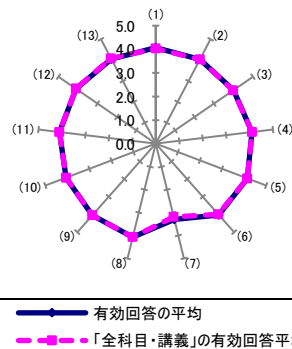
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	科目ベース					
			5	4	3	2	1		無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	580	1,057	255	78	11	23	2,004	4.07	0.790	4.08	0.240	
			28.94%	52.74%	12.72%	3.89%	0.55%	1.15%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	572	1,047	244	99	21	21	2,004	4.03	0.840	4.03	0.310	
			28.54%	52.25%	12.18%	4.94%	1.05%	1.05%	100.00%					
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	600	976	249	124	37	18	2,004	4.00	0.919	3.99	0.332	
			29.94%	48.70%	12.43%	6.19%	1.85%	0.90%	100.00%					
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	39	109	271	521	295	590	1,825	2.25	1.016	2.21	0.379	
			2.14%	5.97%	14.85%	28.55%	16.16%	32.33%	100.00%					
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	596	1,099	206	58	22	23	2,004	4.11	0.782	4.10	0.337	
			29.74%	54.84%	10.28%	2.89%	1.10%	1.15%	100.00%					
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	698	1,012	167	88	20	19	2,004	4.15	0.826	4.13	0.347	
			34.83%	50.50%	8.33%	4.39%	1.00%	0.95%	100.00%					
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	639	943	254	113	33	22	2,004	4.03	0.910	4.05	0.416	
			31.89%	47.06%	12.67%	5.64%	1.65%	1.10%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	388	592	458	338	209	19	2,004	3.31	1.256	3.32	0.635		
		19.36%	29.54%	22.85%	16.87%	10.43%	0.95%	100.00%						
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	634	1,025	189	93	38	25	2,004	4.07	0.878	4.04	0.409		
		31.64%	51.15%	9.43%	4.64%	1.90%	1.25%	100.00%						
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	607	1,023	215	112	28	19	2,004	4.04	0.875	4.00	0.348		
		30.29%	51.05%	10.73%	5.59%	1.40%	0.95%	100.00%						
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	105	28	-	-	-	7	140	-	-	-	-		
		75.00%	20.00%	-	-	-	5.00%	100.00%						
(10)	この授業の水準に満足している	566	1,101	214	74	25	24	2,004	4.07	0.808	4.02	0.345		
		28.24%	54.94%	10.68%	3.69%	1.25%	1.20%	100.00%						
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	66	27	-	-	-	6	99	-	-	-	-		
		66.67%	27.27%	-	-	-	6.06%	100.00%						
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	624	1,076	182	74	29	19	2,004	4.10	0.822	4.06	0.333		
		31.14%	53.69%	9.08%	3.69%	1.45%	0.95%	100.00%						
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	624	1,059	192	80	24	25	2,004	4.10	0.821	4.09	0.263		
		31.14%	52.84%	9.58%	3.99%	1.20%	1.25%	100.00%						
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	582	1,067	211	83	36	25	2,004	4.05	0.854	4.02	0.378		
		29.04%	53.24%	10.53%	4.14%	1.80%	1.25%	100.00%						
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	1,383	299	146	157	-	19	2,004	-	-	-	-		
		69.01%	14.92%	7.29%	7.83%	-	0.95%	100.00%						

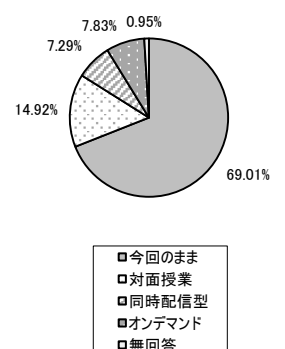
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

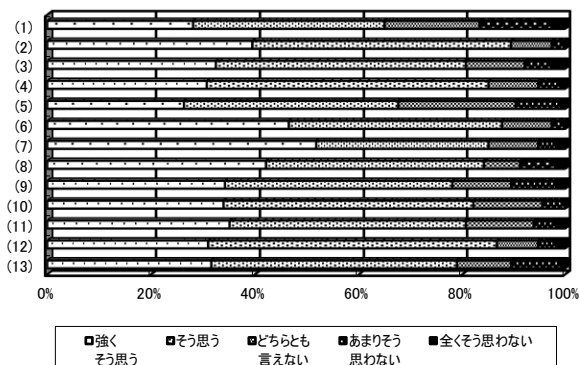
部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	114	286	39.86%

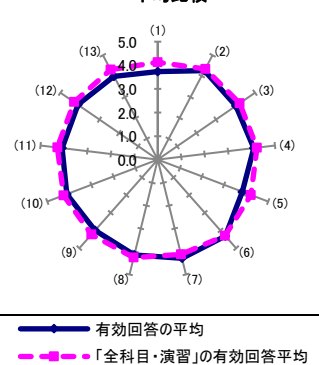
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5 強く 思う	4 そう 思う	3 どちらとも 言えない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	32	42	21	16	3	0	114	3.74	1.097	3.75	0.537
			28.07%	36.84%	18.42%	14.04%	2.63%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	45	57	9	3	0	0	114	4.26	0.717	4.28	0.323
			39.47%	50.00%	7.89%	2.63%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	37	55	13	6	3	0	114	4.03	0.945	4.03	0.377
			32.46%	48.25%	11.40%	5.26%	2.63%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	4	7	15	25	7	47	105	2.59	1.077	2.65	0.577
			3.81%	6.67%	14.29%	23.81%	6.67%	44.76%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	35	62	11	5	1	0	114	4.10	0.809	4.09	0.372
			30.70%	54.39%	9.65%	4.39%	0.88%	0.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	30	47	26	10	1	0	114	3.83	0.949	3.84	0.494
			26.32%	41.23%	22.81%	8.77%	0.88%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	53	47	11	3	0	0	114	4.32	0.756	4.31	0.371
			46.49%	41.23%	9.65%	2.63%	0.00%	0.00%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	59	38	11	4	2	0	114	4.30	0.911	4.28	0.609	
		51.75%	33.33%	9.65%	3.51%	1.75%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	48	48	8	8	2	0	114	4.16	0.955	4.19	0.505	
		42.11%	42.11%	7.02%	7.02%	1.75%	0.00%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	39	50	13	10	2	0	114	4.00	0.987	4.01	0.461	
		34.21%	43.86%	11.40%	8.77%	1.75%	0.00%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	8	3	-	-	-	1	12	-	-	-	-	
		66.67%	25.00%	-	-	-	8.33%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	38	54	15	5	0	2	114	4.12	0.803	4.13	0.425	
		33.33%	47.37%	13.16%	4.39%	0.00%	1.75%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	3	2	-	-	-	0	5	-	-	-	-	
		60.00%	40.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	40	52	15	5	2	0	114	4.08	0.904	4.11	0.482	
		35.09%	45.61%	13.16%	4.39%	1.75%	0.00%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	35	63	9	4	2	1	114	4.11	0.828	4.14	0.387	
		30.70%	55.26%	7.89%	3.51%	1.75%	0.88%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	36	54	12	11	1	0	114	3.99	0.945	4.02	0.470	
		31.58%	47.37%	10.53%	9.65%	0.88%	0.00%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	58	50	1	5	-	0	114	-	-	-	-	
		50.88%	43.86%	0.88%	4.39%	-	0.00%	100.00%					

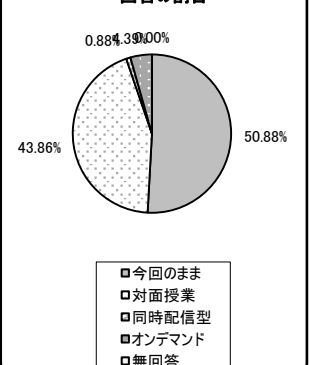
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

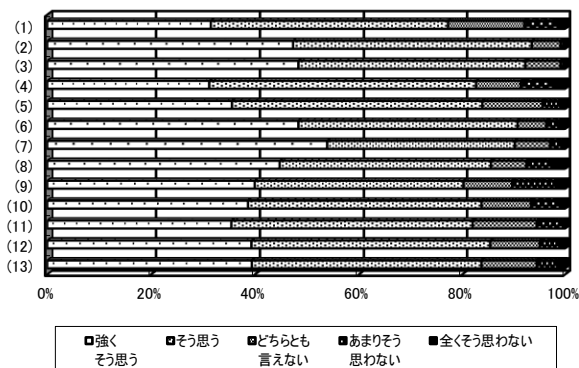
部門名 国際社会科学部

	合計	総履修者数	回答率
回答数	542	1,421	38.14%

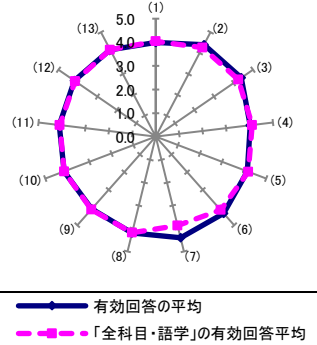
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまり そう 思わない	全く そう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	170	247	80	36	7	2	542	3.99	0.921	3.98	0.325
			31.37%	45.57%	14.76%	6.64%	1.29%	0.37%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	255	249	30	3	2	3	542	4.40	0.655	4.38	0.290
			47.05%	45.94%	5.54%	0.55%	0.37%	0.55%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	262	238	37	3	2	0	542	4.39	0.673	4.38	0.258
			48.34%	43.91%	6.83%	0.55%	0.37%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	36	68	84	111	56	182	537	2.77	1.221	2.72	0.636
			6.70%	12.66%	15.64%	20.67%	10.43%	33.89%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	169	279	47	35	12	0	542	4.03	0.926	4.02	0.410
			31.18%	51.48%	8.67%	6.46%	2.21%	0.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	192	261	63	19	5	2	542	4.14	0.823	4.14	0.356
			35.42%	48.15%	11.62%	3.51%	0.92%	0.37%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	261	229	30	14	6	2	542	4.34	0.791	4.34	0.354
			48.15%	42.25%	5.54%	2.58%	1.11%	0.37%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	292	197	37	13	3	0	542	4.41	0.768	4.40	0.327	
		53.87%	36.35%	6.83%	2.40%	0.55%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	242	221	37	27	14	1	542	4.20	0.954	4.19	0.477	
		44.65%	40.77%	6.83%	4.98%	2.58%	0.18%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	216	218	51	46	10	1	542	4.08	0.998	4.06	0.434	
		39.85%	40.22%	9.41%	8.49%	1.85%	0.18%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	33	23	-	-	-	0	56	-	-	-	-	
		58.93%	41.07%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	209	244	52	31	5	1	542	4.15	0.880	4.14	0.425	
		38.56%	45.02%	9.59%	5.72%	0.92%	0.18%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	16	18	-	-	-	2	36	-	-	-	-	
		44.44%	50.00%	-	-	-	5.56%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	191	251	67	28	2	3	542	4.12	0.841	4.11	0.303	
		35.24%	46.31%	12.36%	5.17%	0.37%	0.55%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	213	250	52	21	6	0	542	4.19	0.843	4.19	0.359	
		39.30%	46.13%	9.59%	3.87%	1.11%	0.00%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	213	240	58	22	8	1	542	4.16	0.879	4.15	0.408	
		39.30%	44.28%	10.70%	4.06%	1.48%	0.18%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	312	190	5	32	-	3	542	-	-	-	-	
		57.56%	35.06%	0.92%	5.90%	-	0.55%	100.00%					

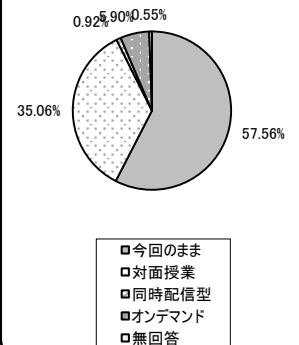
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表

部門名 国際社会学部  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.495 (**)	1												
Q3	.396 (**)	.712 (**)	1											
Q3-2	.074 (**)	.161 (**)	.273 (**)	1										
Q4	.383 (**)	.340 (**)	.277 (**)	.104 (**)	1									
Q5	.389 (**)	.379 (**)	.275 (**)	.053	.600 (**)	1								
Q6	.236 (**)	.267 (**)	.262 (**)	.048	.467 (**)	.426 (**)	1							
Q7	.241 (**)	.266 (**)	.210 (**)	-.017	.371 (**)	.336 (**)	.524 (**)	1						
Q8	.363 (**)	.344 (**)	.242 (**)	.030	.595 (**)	.649 (**)	.420 (**)	.414 (**)	1					
Q9	.333 (**)	.327 (**)	.224 (**)	-.007	.474 (**)	.556 (**)	.334 (**)	.337 (**)	.617 (**)	1				
Q10	.348 (**)	.360 (**)	.260 (**)	.056 (*)	.513 (**)	.598 (**)	.362 (**)	.366 (**)	.645 (**)	.681 (**)	1			
Q11	.446 (**)	.482 (**)	.349 (**)	.074 (**)	.491 (**)	.576 (**)	.349 (**)	.320 (**)	.592 (**)	.543 (**)	.606 (**)	1		
Q12	.472 (**)	.485 (**)	.399 (**)	.078 (**)	.480 (**)	.552 (**)	.355 (**)	.303 (**)	.561 (**)	.534 (**)	.601 (**)	.770 (**)	1	
Q13	.384 (**)	.408 (**)	.300 (**)	.074 (**)	.559 (**)	.654 (**)	.408 (**)	.400 (**)	.723 (**)	.660 (**)	.756 (**)	.699 (**)	.706 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 国際社会学部  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.449 (**)	1												
Q3	.263 (**)	.564 (**)	1											
Q3-2	-.010	.187	.386 (**)	1										
Q4	.428 (**)	.215 (*)	.066	.056	1									
Q5	.484 (**)	.364 (**)	.301 (**)	-.050	.574 (**)	1								
Q6	.410 (**)	.270 (**)	.137	.131	.514 (**)	.530 (**)	1							
Q7	.300 (**)	.190 (*)	.196 (*)	.141	.333 (**)	.385 (**)	.620 (**)	1						
Q8	.394 (**)	.223 (*)	.162	.097	.518 (**)	.615 (**)	.677 (**)	.535 (**)	1					
Q9	.441 (**)	.275 (**)	.209 (*)	.012	.488 (**)	.624 (**)	.498 (**)	.492 (**)	.638 (**)	1				
Q9-2														
Q10	.474 (**)	.213 (*)	.151	-.083	.510 (**)	.594 (**)	.487 (**)	.418 (**)	.713 (**)	.715 (**)	1			
Q10-2														
Q11	.458 (**)	.268 (**)	.205 (*)	-.033	.425 (**)	.511 (**)	.339 (**)	.261 (**)	.611 (**)	.546 (**)	.718 (**)	1		
Q12	.393 (**)	.267 (**)	.178	.013	.370 (**)	.487 (**)	.358 (**)	.396 (**)	.608 (**)	.537 (**)	.653 (**)	.814 (**)	1	
Q13	.458 (**)	.265 (**)	.169	-.088	.557 (**)	.669 (**)	.623 (**)	.445 (**)	.756 (**)	.636 (**)	.774 (**)	.726 (**)	.649 (**)	1
Q14														

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 国際社会学部  
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.372 (**)	1												
Q3	.273 (**)	<b>.597 (***)</b>	1											
Q3-2	.040	.248 (**)	.322 (**)	1										
Q4	.346 (**)	.285 (**)	.257 (**)	.020	1									
Q5	.295 (**)	.322 (**)	.291 (**)	.085	<b>.622 (**)</b>	1								
Q6	.248 (**)	.264 (**)	.274 (**)	-.001	<b>.521 (**)</b>	<b>.592 (**)</b>	1							
Q7	.239 (**)	.239 (**)	.256 (**)	-.056	<b>.454 (**)</b>	<b>.517 (**)</b>	<b>.712 (**)</b>	1						
Q8	.293 (**)	.254 (**)	.219 (**)	.029	<b>.616 (**)</b>	<b>.610 (**)</b>	<b>.682 (**)</b>	<b>.612 (**)</b>	1					
Q9	.330 (**)	.268 (**)	.259 (**)	-.013	<b>.523 (**)</b>	<b>.508 (**)</b>	<b>.448 (**)</b>	<b>.417 (**)</b>	<b>.596 (**)</b>	1				
Q10	.335 (**)	.315 (**)	.283 (**)	.000	<b>.526 (**)</b>	<b>.578 (**)</b>	<b>.502 (**)</b>	<b>.451 (**)</b>	<b>.645 (**)</b>	<b>.731 (**)</b>	1			
Q11	<b>.434 (**)</b>	.332 (**)	.301 (**)	.077	<b>.459 (**)</b>	<b>.580 (**)</b>	<b>.438 (**)</b>	<b>.426 (**)</b>	<b>.560 (**)</b>	<b>.578 (**)</b>	<b>.671 (**)</b>	1		
Q12	.374 (**)	.366 (**)	.350 (**)	.097	<b>.448 (**)</b>	<b>.572 (**)</b>	<b>.436 (**)</b>	<b>.400 (**)</b>	<b>.487 (**)</b>	<b>.552 (**)</b>	<b>.647 (**)</b>	<b>.769 (**)</b>	1	
Q13	.332 (**)	.316 (**)	.272 (**)	.027	<b>.590 (**)</b>	<b>.632 (**)</b>	<b>.566 (**)</b>	<b>.543 (**)</b>	<b>.698 (**)</b>	<b>.694 (**)</b>	<b>.740 (**)</b>	<b>.690 (**)</b>	<b>.686 (**)</b>	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部  
形態名 講義

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.89	1.015	3.87	0.262	4.02	0.778	3.99	0.268	4.07	0.790	4.08	0.240
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.72	1.082	3.78	0.350	3.83	1.070	3.81	0.298	3.74	1.030	3.74	0.302	4.17	0.756	4.12	0.300	4.03	0.840	4.03	0.310
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.813	4.12	0.356	4.00	0.919	3.99	0.332
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.3 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.38	0.983	2.42	0.403	2.25	1.016	2.21	0.379
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.99	0.857	3.95	0.395	4.11	0.782	4.10	0.337
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.971	3.98	0.558	4.15	0.826	4.13	0.347
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.90	0.951	3.84	0.486	4.03	0.910	4.05	0.416
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.76	1.261	2.82	0.572	3.31	1.256	3.32	0.635
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	3.98	1.027	3.96	0.431	4.07	1.012	4.01	0.381	4.11	0.947	4.12	0.313	3.90	1.036	3.84	0.612	4.07	0.878	4.04	0.409
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.95	0.930	3.87	0.468	4.04	0.875	4.00	0.348
	(10)	この授業の水準に満足している	3.85	1.021	3.80	0.402	3.91	1.030	3.80	0.409	3.99	0.936	3.97	0.310	3.95	0.886	3.88	0.485	4.07	0.808	4.02	0.345
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.87	1.059	3.84	0.340	3.94	1.057	3.88	0.320	4.09	0.923	4.07	0.291	4.05	0.882	3.96	0.402	4.10	0.822	4.06	0.333
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.04	0.866	3.96	0.361	4.10	0.821	4.09	0.263
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.01	0.963	4.00	0.377	4.07	0.963	4.02	0.319	4.14	0.898	4.12	0.305	3.94	0.931	3.85	0.500	4.05	0.854	4.02	0.378	

部門名 国際社会科学部  
形態名 演習

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.91	1.075	3.94	0.546	3.58	0.936	3.55	0.625	3.74	1.097	3.75	0.537
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.05	0.884	4.05	0.295	4.37	0.781	4.36	0.305	4.18	0.860	4.19	0.357	4.33	0.760	4.31	0.452	4.26	0.717	4.28	0.323
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	0.813	4.04	0.518	4.03	0.945	4.03	0.377
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.3 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.48	1.273	2.46	0.841	2.59	1.077	2.65	0.577
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	0.970	3.98	0.507	4.10	0.809	4.09	0.372
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.02	0.852	3.97	0.532	3.83	0.949	3.84	0.494
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.31	0.919	4.29	0.511	4.32	0.756	4.31	0.371
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.15	0.937	4.15	0.786	4.30	0.911	4.28	0.609
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.25	0.920	4.25	0.448	4.58	0.742	4.58	0.398	4.40	0.789	4.41	0.343	4.15	0.978	4.13	0.708	4.16	0.955	4.19	0.505
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.92	1.026	3.92	0.641	4.00	0.987	4.01	0.461
	(10)	この授業の水準に満足している	4.04	0.901	4.04	0.406	4.37	0.789	4.36	0.338	4.27	0.817	4.27	0.333	4.04	0.937	4.04	0.682	4.12	0.803	4.13	0.425
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.04	0.998	4.02	0.412	4.39	0.831	4.39	0.394	4.33	0.824	4.34	0.377	4.10	0.823	4.08	0.460	4.08	0.904	4.11	0.482
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.15	0.751	4.15	0.416	4.11	0.828	4.14	0.387
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.17	0.943	4.16	0.455	4.49	0.753	4.48	0.414	4.40	0.766	4.41	0.310	4.08	0.904	4.06	0.664	3.99	0.945	4.02	0.470	



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 国際社会科学部  
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	3.96	1.072	3.98	0.385	3.94	0.848	3.94	0.395	3.99	0.921	3.98	0.325	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.22	0.868	4.21	0.314	4.38	0.785	4.37	0.268	4.26	0.807	4.27	0.338	4.43	0.633	4.43	0.270	4.40	0.655	4.38	0.290
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.39	0.709	4.38	0.323	4.39	0.673	4.38	0.258
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 3:4.5時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.85	1.135	2.78	0.696	2.77	1.221	2.72	0.636
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.773	4.12	0.283	4.03	0.926	4.02	0.410
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.18	0.767	4.18	0.340	4.14	0.823	4.14	0.356
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.42	0.664	4.42	0.275	4.34	0.791	4.34	0.354
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.47	0.745	4.48	0.283	4.41	0.768	4.40	0.327
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.34	0.861	4.33	0.446	4.39	0.920	4.39	0.530	4.37	0.880	4.37	0.480	4.33	0.708	4.34	0.256	4.20	0.954	4.19	0.477
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.13	0.870	4.14	0.406	4.08	0.998	4.06	0.434
	(10)	この授業の水準に満足している	4.04	0.971	4.03	0.412	4.16	0.986	4.17	0.430	4.23	0.889	4.24	0.427	4.22	0.704	4.23	0.357	4.15	0.880	4.14	0.425
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.02	1.001	4.03	0.395	4.12	0.988	4.12	0.440	4.25	0.875	4.25	0.416	4.14	0.772	4.16	0.333	4.12	0.841	4.11	0.303
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.20	0.822	4.21	0.357	4.19	0.843	4.19	0.359
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.25	0.901	4.24	0.422	4.32	0.917	4.32	0.494	4.34	0.866	4.34	0.476	4.28	0.748	4.29	0.340	4.16	0.879	4.15	0.408	



## VI 計算機センター

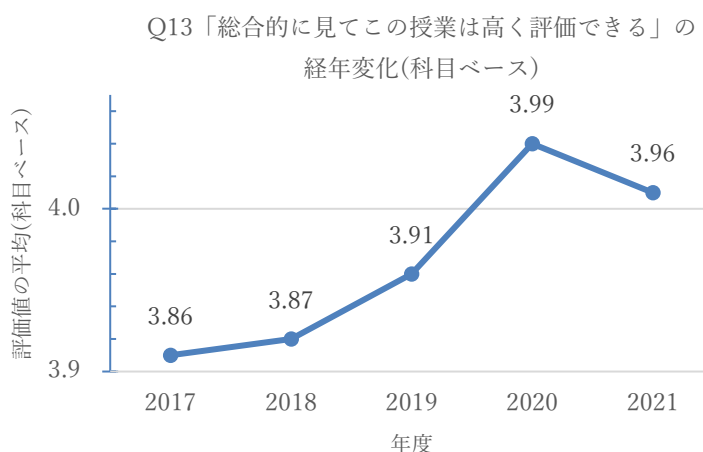
計算機センターでは、情報科目として「初等情報処理 1・2」、「データ科学 1・2」、「プログラミング 1・2」、「コンピュータ科学 1・2・3・4」、「数値解析」及び「計算機 I・II」、「画像情報 1・2」の 14 科目、102 クラスを提供しており、うち「初等情報処理 1・2」は合わせて 78 クラスを占める。更に、「初等情報処理 1」を必修としている学部・学科も多いことから、履修者数では「初等情報処理 1・2」が占める割合は更に大きい。このことから、アンケートの集計結果には、「初等情報処理 1・2」についての結果が支配的に影響しているものと考えられる。

以上のような科目の特徴をふまえて、本年度の授業評価アンケートの集計結果について、2017 年度～2021 年度の 5 年間の経年変化を考慮しつつ分析した後、今後の改善点について検討する。

### 1. 集計データからわかること

計算機センター開講科目における授業評価アンケートの回答率は、2019 年度までは 70% 後半から約 80%程度を推移していた。2020 年度と 2021 年度はオンラインによる実施になったことから、それぞれ 34%、44%と大きく回答率が下がったために、2019 年度前の回答と単純な比較はできないことに留意しつつ、評価の推移について検討する。

**Q13 総合評価：**授業の総合評価については、大学全体の授業形態が講義の授業に対する平均的評価と顕著な違いがある。大学全体では、2019 年度の 4.48 から 2020 年度は 4.16 に評価が大きく下がった。これは遠隔授業中心の授業となり、対応が不十分でなかったためであると予想できる。一方で、計算機センターでは右のグラフの示すように、大学



全体の傾向とは逆に 2020 年度に評価が上昇している。計算機センターでは 2020 年度から「初等情報処理 1・2」について、動画を含む標準教材を開発し、担当教員に提供を行った。ほぼ全員の教員が標準教材を利用してオンライン授業を実施し、授業内容の標準化をかな



りの程度推進することができた。標準教材はオンデマンド学習が可能であるように作成され、教員の裁量で反転学習の教材として利用できる。学生は、自分がわからない箇所を繰り返し学習することが可能で、特に Microsoft Office の利用法の習得においては、従来の授業時間内の演習形式に比較して、学習効果が大きいことが期待できる。このことが、2020 年度以降の相対的な評価向上に結びついているものと考えられる。ただし、2021 年度にはやや評価が下降しており、2020 年度と比べて 2021 年度には回答率が上がったことが影響していると考えられる。また、依然として全学の平均値 4.17 と比べると 3.96 と低い値である。これは、2021 年度まで「初等情報処理 1」の単位取得が学内のコンピューターを使う権利と紐付けられていたことから、義務的かつ受身的な態度で授業を履修している学生がいることが以前から懸念として挙げられており、これが相対的な低評価の一因であると考えられる。

**Q2 意欲的か：** 計算機センターの部門別平均 4.00 (標準偏差 0.271) は、大学全体の講義の平均 4.19 (標準偏差 0.308) よりも低いものの、2019 年度の 3.80 (標準偏差 0.358) と比べると 2020 年度の 4.08 (標準偏差 0.295) とともに改善されている。これは、初等情報処理がオンデマンド授業となったことにより、対面授業時にはわからない点があった学生も、自分のペースで授業が受けられるようになったことも一因であると考えられる。事前学習や復習を含めた取り組みに対する問いであるために、学習時間 (Q3) との相関もやや強い (相関係数 0.657)。

**Q5 教材：** 前述のように 2020 年度から初等情報処理については標準教材として動画による操作解説やスライド等の教材を全担当教員に提供している。部門別平均 4.11 (標準偏差 0.333) は昨年度の 4.17 (標準偏差 0.412) よりやや低下している。2020 年度は標準教材の動画や資料を導入したことで全体平均よりも高い評価が得られたが、2021 年度は全体平均 4.18 (標準偏差 0.331) よりもやや低くなってきている。これは、他の部門でも遠隔授業が 2 年目に入り教材が充実してきたことと、「初等情報処理 1・2」の授業がもっぱらオンデマンドで提供されていることも影響していると考えられる。この設問への回答は、教員の工夫 (Q8)、授業水準 (Q10)、総合評価 (Q13) とともにやや強い相関がある (それぞれ相関係数 0.702, 0.610, 0.644)。

**Q6 質問機会：** 部門別平均 3.89 (標準偏差 0.362) であり、2020 年度の 3.78 (標準偏差 0.479) よりも改善されているものの、依然として全体平均の 4.14 (標準偏差 0.415) よりやや低い。「初等情報処理 1・2」はオンデマンド中心の授業形態であったが、質問の受け付け方については各教員の裁量に委ねていたために、質問しやすい方法が取られていなかった可能性がある。LMS の掲示板等での質問は、文字として残ってしまうために質問に抵抗を感じる学生もおり、匿名で気軽に質問できる一層の工夫が必要であろう。

**Q7 履修者間の意見交換：**部門別平均 2.88(標準偏差 0.483)であり、2020 年度の 2.54(標準偏差 0.417)よりもやや改善されているものの、全体平均の 3.69(標準偏差 0.743)と比較してかなり低い評価であった。Q6 のケースと同様に、「初等情報処理 1・2」がオンデマンド中心の授業形態であり、学生が時間を共有する機会がなかったことがもっとも大きな要因であると考えられる。同じ教員が担当する授業で LMS の掲示板等の手段での質問や意見交換の機会を設けていても、学科によって大きく評価が分かれるケースもあり、積極的に意見交換をしたいという意欲をもって授業に臨んでいるか否かも評価に影響を与えていることが考えられるものの、一般的には他の設問との相関は非常に低く、今後は学生間の意見交換がしやすい授業環境について工夫をする必要がある。

**Q8 教員の工夫：**Q5、Q9、Q10、Q13 の評価には比較的強い相関があることがわかる(それぞれ、相関係数 0.702, 0.627, 0.675, 0.714)。もっともクラス数の多い「初等情報処理 1・2」がオンデマンド授業中心であったことから、教材への評価がそのまま教員の工夫や授業評価に直結していると考えられる。2019 年度以前は評価の部門別平均が約 3.8 台で推移していたが、2020 年度と 2021 年度はそれぞれ 4.02、3.97 と改善している。これは標準教材を導入したことにより、教材そのものに対する評価に加えて、標準教材により個々の教員が標準教材を補う工夫をする余地ができたことが功を奏していると考えられる。

**Q9 学ぶ量、Q10 授業水準：**部門別平均はそれぞれ 3.90 と 3.96 であり、全体平均の 4.12 と 4.15 よりそれぞれやや低い。学ぶ量については 90%以上の学生が多いと感じているが、75%以上の学生がこの量に満足していると回答しており、学生は教材の量の多さを負担ではなく学習機会が増えたと捉えていると考えられる。一方で、授業水準については約 85%の学生が高すぎると感じている。Q9、Q10 とともに総合評価の Q13 と強い相関があり、特に Q10 と Q13 の相関係数は 0.732 と高い。やはり、コンピューターの操作が苦手な学生と、操作が得意な学生との間で授業の印象に大きな差が生じているようである。学ぶ量については、遠隔のオンデマンド授業形態であったことから、課題が多くなりがちであり、そのことも影響していると考えられる。

**Q11 知的好奇心、Q12 能力の向上：**部門別平均はそれぞれ 3.89 と 4.14 であり、全体平均はそれぞれ 4.16 と 4.18 である。知的好奇心(Q11)については全体平均より低いものの能力の向上(Q12)については全体平均とほぼ同じであり、もっともクラス数の多い初等情報処理については、操作の習得が中心となるため、新しい能力の向上が好奇心とは結びついておらず、スキル習得の場として捉えている学生が多いことがうかがえる。Q11 と Q12 とともにこの 2年間を含めて過去 5 年間で評価は下がることなく毎年少しずつ評価は改善している。

## 2. 今後の授業改善に向けて

例年の傾向であるが、概して学生の授業への評価が全学平均よりもやや低い。これは、情報科目の中でもっとも履修者の多い「初等情報処理 1」の履修が、学内 PC を利用する権利取得のための要件となっているために、あまり必要性を感じていないにもかかわらず義務的に「初等情報処理 1」を履修する学生が多かったことが一因であると考えられる。2022 年度から「初等情報処理 1・2」を廃止し、「初等情報処理 1」の後継授業として「情報リテラシー」を開講した。学内 PC を利用する権利の取得は別途 e-Learning による認定として通常の授業とは分離した。

これまで「初等情報処理 1」を履修する学生のコンピューター操作のスキルには、大きな個人差がある上に、実際にコンピューターを操作しながら授業を進める形態であることから、授業に一度ついていけなくなると、その後授業内容がわからないままに、ただ義務的・受身的に授業に出席するという状態に陥りやすかった。学生のコンピューターへの習熟度は、入学時にすでに大きな開きがあり、すべての学生に満足のいくレベルの授業を行うことはいっそう難しくなりつつある。遠隔授業が中心となった 2020 年度からオンデマンドの動画教材を含む標準教材の開発を開始しており、今後対面授業になっても、学生は必要に応じて動画教材により自分のペースで繰り返し学習できる環境を整えることができた。

人工知能やデータサイエンスに関連する人材育成の社会的な要請および、学生の関心の高まりに対応して、2022 年度から情報カリキュラムを大幅に改変し、データサイエンスの入門科目として、Python プログラミングや機械学習に関連する科目を新設した。



# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

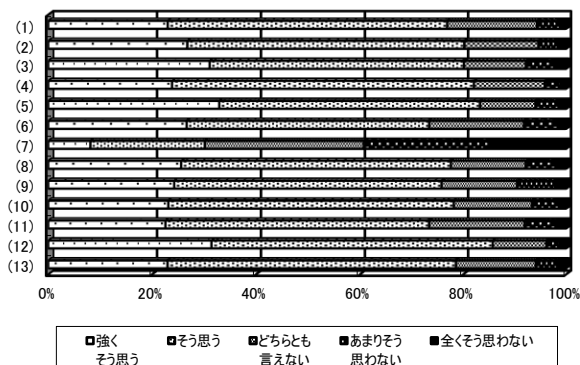
部門名 計算機センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	1,916	4,349	44.06%

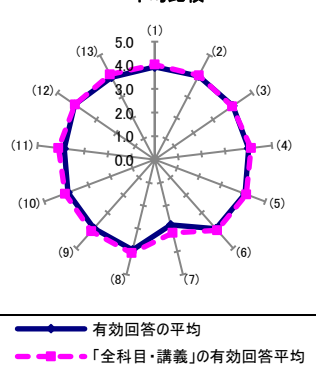
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く 思う	そう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	439	1,028	334	86	22	7	1,916	3.93	0.827	3.93	0.257
			22.91%	53.65%	17.43%	4.49%	1.15%	0.37%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	511	1,020	275	73	30	7	1,916	4.00	0.841	4.00	0.271
			26.67%	53.24%	14.35%	3.81%	1.57%	0.37%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	594	938	230	108	42	4	1,916	4.01	0.925	3.99	0.344
			31.00%	48.96%	12.00%	5.64%	2.19%	0.21%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.5時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	54	138	287	432	279	572	1,762	2.37	1.099	2.29	0.569
			3.06%	7.83%	16.29%	24.52%	15.83%	32.46%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	454	1,109	262	59	21	11	1,916	4.01	0.774	4.02	0.251
			23.70%	57.88%	13.67%	3.08%	1.10%	0.57%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	628	960	206	87	27	8	1,916	4.09	0.860	4.11	0.333
			32.78%	50.10%	10.75%	4.54%	1.41%	0.42%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	508	891	351	129	28	9	1,916	3.90	0.919	3.89	0.362
			26.51%	46.50%	18.32%	6.73%	1.46%	0.47%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	155	420	584	467	283	7	1,916	2.84	1.165	2.88	0.483	
		8.09%	21.92%	30.48%	24.37%	14.77%	0.37%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	487	990	277	113	37	12	1,916	3.93	0.900	3.97	0.363	
		25.42%	51.67%	14.46%	5.90%	1.93%	0.63%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	462	982	280	140	42	10	1,916	3.88	0.932	3.90	0.371	
		24.11%	51.25%	14.61%	7.31%	2.19%	0.52%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	166	14	-	-	-	2	182	-	-	-	-	
		91.21%	7.69%	-	-	-	1.10%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	441	1,050	290	102	25	8	1,916	3.93	0.843	3.96	0.367	
		23.02%	54.80%	15.14%	5.32%	1.30%	0.42%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	108	17	-	-	-	2	127	-	-	-	-	
		85.04%	13.39%	-	-	-	1.57%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	430	968	354	117	37	10	1,916	3.86	0.901	3.89	0.315	
		22.44%	50.52%	18.48%	6.11%	1.93%	0.52%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	600	1,037	199	49	25	6	1,916	4.12	0.790	4.14	0.263	
		31.32%	54.12%	10.39%	2.56%	1.30%	0.31%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	438	1,060	296	81	32	9	1,916	3.94	0.838	3.96	0.323	
		22.86%	55.32%	15.45%	4.23%	1.67%	0.47%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	1,607	185	66	49	-	9	1,916	-	-	-	-	
		83.87%	9.66%	3.44%	2.56%	-	0.47%	100.00%					

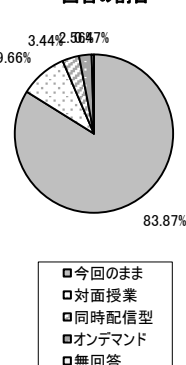
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表

部門名 計算機センター  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.476 (**)	1												
Q3	.325 (**)	.657 (**)	1											
Q3-2	.053	.237 (**)	.350 (**)	1										
Q4	.402 (**)	.396 (**)	.297 (**)	.008	1									
Q5	.365 (**)	.342 (**)	.247 (**)	-.104 (**)	.580 (**)	1								
Q6	.349 (**)	.346 (**)	.282 (**)	.028	.482 (**)	.424 (**)	1							
Q7	.185 (**)	.231 (**)	.187 (**)	.053	.242 (**)	.178 (**)	.357 (**)	1						
Q8	.377 (**)	.345 (**)	.246 (**)	-.086 (**)	.587 (**)	.702 (**)	.475 (**)	.253 (**)	1					
Q9	.392 (**)	.319 (**)	.207 (**)	-.160 (**)	.498 (**)	.556 (**)	.399 (**)	.218 (**)	.627 (**)	1				
Q10	.420 (**)	.404 (**)	.268 (**)	-.102 (**)	.563 (**)	.610 (**)	.433 (**)	.249 (**)	.675 (**)	.733 (**)	1			
Q11	.451 (**)	.489 (**)	.378 (**)	-.007	.479 (**)	.513 (**)	.445 (**)	.293 (**)	.549 (**)	.514 (**)	.587 (**)	1		
Q12	.416 (**)	.480 (**)	.384 (**)	.023	.491 (**)	.546 (**)	.428 (**)	.200 (**)	.548 (**)	.496 (**)	.587 (**)	.691 (**)	1	
Q13	.448 (**)	.463 (**)	.322 (**)	-.071 (*)	.586 (**)	.644 (**)	.487 (**)	.264 (**)	.714 (**)	.661 (**)	.732 (**)	.696 (**)	.694 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 計算機センター  
形態名 講義

		2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単集計平均	学生回答単集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.75	1.065	3.80	0.358	3.93	0.839	3.94	0.298	3.93	0.827	3.93	0.257
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.93	1.056	3.94	0.302	3.95	1.074	3.94	0.341	3.74	0.998	3.78	0.345	4.06	0.808	4.08	0.295	4.00	0.841	4.00	0.271
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.11	0.831	4.11	0.298	4.01	0.925	3.99	0.344
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 3:45 時間以上 4:3 時間以上 4:5 時間未満 3:2 時間以上 3 時間未満 2:90 分以上 2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.31	1.047	2.32	0.588	2.37	1.099	2.29	0.569
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.783	4.01	0.382	4.01	0.774	4.02	0.251
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.17	0.839	4.17	0.412	4.09	0.880	4.11	0.333
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.77	1.015	3.78	0.479	3.90	0.919	3.89	0.362
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.51	1.150	2.54	0.417	2.84	1.165	2.88	0.483
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	3.84	1.126	3.83	0.531	3.84	1.133	3.83	0.622	3.82	1.116	3.86	0.553	4.02	0.890	4.02	0.463	3.93	0.900	3.97	0.363
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.898	3.95	0.341	3.88	0.932	3.90	0.371
	(10)	この授業の水準に満足している	3.74	1.140	3.70	0.518	3.74	1.153	3.70	0.597	3.79	1.055	3.84	0.452	3.94	0.832	3.95	0.389	3.93	0.843	3.96	0.367
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	3.64	1.122	3.69	0.379	3.65	1.124	3.70	0.468	3.73	1.030	3.80	0.405	3.83	0.865	3.87	0.316	3.86	0.901	3.89	0.315
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.11	0.778	4.13	0.310	4.12	0.790	4.14	0.263
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3.85	1.058	3.86	0.473	3.87	1.041	3.87	0.535	3.84	1.036	3.91	0.482	3.99	0.825	3.99	0.412	3.94	0.838	3.96	0.323	

## Ⅶ 外国語教育研究センター

### 1. 集計データからわかること

外国語教育研究センターの令和3年度の授業評価アンケートの実施率は98.88%となっており、回答率については、47.18%であった。令和2年度が28.24%という結果であったことと比べると令和3年度は少し持ち直したように見受けられるが、依然としてウェブでの実施であったためか、対面で行っていた時期と比べるとまだまだ少ないと言わざるを得ない。以下、各項目に関して分析結果を示す。

Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」

この項目の科目ベースの平均値は、前年度の4.02から4.05となったが、大きな変化は特になかったと言えよう。履修登録時に、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージした上で授業に臨むと、学びの姿勢や学習効果も変わってくると考えられるため、より高い教育効果が期待できることから、次年度はより高い数値を得られるよう、引き続きシラバスなどを通して授業のねらいや目標や内容の周知徹底を図りたい。

Q2「私はこの授業に意欲的に取り組んでいる」

この項目は、令和2年度には平均値4.25であったが、令和3年度も同様に4.25となった。引き続き、教材や課題を工夫し、学生自身が授業に意欲的に取り組んでいることを自覚できる環境づくりを進めていく必要がある。

Q3-1「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」

Q3-2「私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で5：4.5時間以上 4：3時間以上4.5時間未満 3：2時間以上3時間未満 2：90分以上2時間未満 1：90分未満」

Q3-1に関しては、科目ベースの平均値は4.22であった。昨年度より新たに追加された質問項目であるが、昨年度は4.29であり、少々減少している。

Q3-2に関しては、科目ベースの平均値は2.26であった。昨年度は2.37となっているので比較すると0.11ポイント低い結果となっている。語学は日々の積み重ねが重要であるため、引き続き、課題や小テストなどにより、学生自身が普段から語学学習に取り組むよう教員が工夫することが必要であろう。

Q4「授業方法やシラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった」

この項目の科目ベースの平均値は 4.12 であった。昨年度は 4.04 であったため、今年度の全体平均と比較すると 0.08 ポイント上昇した結果となっている。授業方法やシラバスの記載内容の変更が生じた場合は、その周知方法等を含め熟考した上で、学生に対し適切なタイミングで適切な説明を行い、引き続き学生が安心して学べる授業運営に努めたい。

Q5「この授業で配布された教材（「動画や音声の外部リンク等も含む」）は、学習を進めるのに役立った」

この項目の科目ベースの平均値は 4.19 であった。昨年度は 4.13 であったため、少し上昇したと言えよう。令和2年度に培ったノウハウが今年度に生かされた結果であると思われるが、今後も教員間でも情報共有を積極的に行いながら、各教員が学生の興味や学習意欲を掻き立て、学生の主体的な学習を促すような教材作成に努めたい。

Q6「この授業に対する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」

この項目の科目ベースの平均値は 4.13 であった。昨年度は 4.04 であったため、少し上昇したと言えよう。これは、令和2年度に引き続き令和3年度も学生にとっても慣れない遠隔授業ではあったが、学生の不安を取り除きつつ、各教員が積極的に質問の機会を設け、学生とのコミュニケーションを密に図るよう努めた結果であるといえよう。

Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」

この項目の科目ベースの平均値は 3.83 であった。昨年度は 3.44 であったことから、こちらはかなり上昇している。令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により遠隔での授業が基本となり、履修者同士がなかなか会えないということもあって、特に意識して各教員が LMS のチャット機能や掲示板を活用して履修者同士の意見交換の機会を積極的に提供していたことが要因として挙げることができよう。

Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」

この項目の科目ベースの平均値は 4.18 であり、昨年度の 4.06 を上回っているが、対面授業の頃の数値と比較すると、まだ差があることは否めない。しかしながら、ここ5年間いづれも 4.0 以上の数値を維持していることから、今後も教員の話し方や授業スタイル、教材等を工夫し、より適切な授業運営を心がけていく必要があるだろう。

Q9「この授業のボリューム（学ぶ内容の量）に満足している」

この項目の科目ベースの平均値は 4.12 であった。昨年度の 4.07 と比較すると上昇していることは確かである。



Q10「この授業の水準に満足している」

この項目に関しては 4.14 であり、昨年度の 4.05 より上昇している。遠隔授業が多く行われていたにもかかわらず、各授業担当者における授業改善の取り組みの成果が反映された結果といえよう。今後も習熟度別クラスなどを今後さらに定着させ、より学生のレベルにあった授業を提供することで改善を試みたい。また、学生のレベルや理解度をよく把握し、学生のレベルにあったテキストを選択したり、教材、指導法を工夫したりすることなどが求められる。

Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.09 で、前年度の 4.03 より少し上昇した。初修外国語の場合、基礎的な発音練習や会話練習、文法練習に時間が割かれることが多く、知的好奇心が刺激される段階まではなかなか達しにくいことも影響していると思われる。そのような状況の中で、学生の知的好奇心を刺激し、新しいものの見方に触れる機会を作るためには、その言語が使用されている国の様子や文化的特徴を示している映画やビデオ、写真等を活用していくことが一つの手段となるであろう。ビジュアルな情報を用いることにより、学生が訪れたことがない文化圏であっても、学生の興味、関心を高めることが可能となり、実際に訪れるきっかけになることもあると思われるからである。

Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」

この項目の科目ベースの平均値は 4.14 であった。昨年度は 4.03 であることから、昨年度より肯定的な回答が多く、概ね学生に知的満足感を与えることができているといえよう。引き続き、学生の学びや成長を促進するような教材や指導法の工夫を図りたい。

Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」

この項目は、科目ベースの平均値が 4.16 で、昨年度の 4.04 より上昇していることから好ましい状況であると評価できる。

これまで述べてきたことから、総合的に評価が高い授業とは、授業の水準やボリューム（学ぶ内容の量）が適切であり、教員の説明が適切で理解しやすく、知的好奇心が刺激され、かつ自らの知識や能力の向上が感じられる授業であるといえる。このような授業を提供できるようにするには、学生のレベルや理解度を考慮しながら、学生の学習意欲を向上させ、達成感や知的満足感も得られるような教材作成や授業スタイルのより一層の工夫が求められるだろう。

## 2. 今後の授業改善に向けて

外国語教育研究センターが提供している語学科目では、全般的に学生からの評価は肯定的であると考えてよいと思われる。高い数値を示す項目が大半を占めてはいるが、まだ改善の余地がある項目も見受けられる。従って、今後も継続して授業をより良いものにしていくための、教員の努力と授業環境の整備が求められるだろう。

外国語教育研究センターが開講する英語クラスに関しては、令和3年度より経済学部を除く法学部、文学部、理学部の3学部の英語授業において、少人数クラス編成、習熟度別クラス編成という新しい英語プログラムを開始したところである。これにより学生のレベルに合ったよりきめ細やかな指導を行うことが可能になった。この新英語プログラムによって、新しい学習内容や学習方法を取り入れながら、学生の英語力をさらに高めることができるよう、新英語プログラムのより一層の定着を目指したい。

令和3年度も令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、授業形態の変更など余儀なくされたが、対面による授業も少しずつ増えることで、学生が意欲的に外国語学習に取り組めるような学習環境を整えるとともに学生の学習をしっかりと支援した。外国語教育研究センターでは、今後も授業評価アンケートの結果を有効的に活用し、授業内容や方法の改善に役立てながら、学生のより一層の語学学習の活性化を目指し、引き続きさらなる外国語教育の充実化を図っていきたいと考えている。



# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

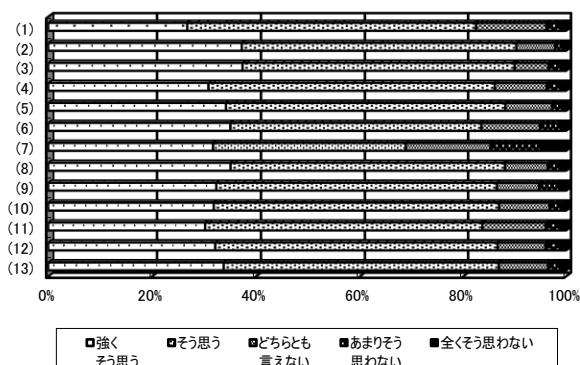
部門名 外国語教育研究センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	4,947	10,486	47.18%

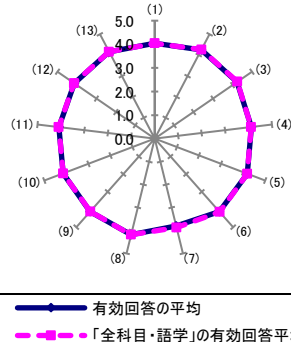
形態名 語学

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,320	2,747	674	149	42	15	4,947	4.05	0.775	4.05	0.284
			26.68%	55.53%	13.62%	3.01%	0.85%	0.30%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	1,838	2,617	371	74	33	14	4,947	4.25	0.712	4.25	0.253
			37.15%	52.90%	7.50%	1.50%	0.67%	0.28%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,844	2,592	324	130	41	16	4,947	4.23	0.753	4.22	0.282
			37.28%	52.40%	6.55%	2.63%	0.83%	0.32%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	100	274	800	1,342	777	1,467	4,760	2.26	1.008	2.26	0.493
			2.10%	5.76%	16.81%	28.19%	16.32%	30.82%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,518	2,721	496	146	42	24	4,947	4.12	0.768	4.12	0.327
			30.69%	55.00%	10.03%	2.95%	0.85%	0.49%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,686	2,661	446	100	36	18	4,947	4.19	0.737	4.19	0.294
			34.08%	53.79%	9.02%	2.02%	0.73%	0.36%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,726	2,386	560	202	50	23	4,947	4.12	0.839	4.13	0.399
			34.89%	48.23%	11.32%	4.08%	1.01%	0.46%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	1,563	1,827	811	481	244	21	4,947	3.81	1.132	3.83	0.707	
		31.59%	36.93%	16.39%	9.72%	4.93%	0.42%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,728	2,612	408	126	52	21	4,947	4.19	0.773	4.18	0.370	
		34.93%	52.80%	8.25%	2.55%	1.05%	0.42%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,595	2,672	403	199	62	16	4,947	4.12	0.815	4.12	0.315	
		32.24%	54.01%	8.15%	4.02%	1.25%	0.32%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	165	88	-	-	-	8	261	-	-	-	-	
		63.22%	33.72%	-	-	-	3.07%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	1,568	2,712	484	116	43	24	4,947	4.15	0.754	4.14	0.296	
		31.70%	54.82%	9.78%	2.34%	0.87%	0.49%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	83	69	-	-	-	7	159	-	-	-	-	
		52.20%	43.40%	-	-	-	4.40%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,487	2,636	605	146	51	22	4,947	4.09	0.793	4.09	0.324	
		30.06%	53.28%	12.23%	2.95%	1.03%	0.44%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,583	2,685	457	155	44	23	4,947	4.14	0.776	4.14	0.322	
		32.00%	54.28%	9.24%	3.13%	0.89%	0.46%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,666	2,621	471	126	49	14	4,947	4.16	0.774	4.16	0.344	
		33.68%	52.98%	9.52%	2.55%	0.99%	0.28%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	3,587	828	162	342	-	28	4,947	-	-	-	-	
		72.51%	16.74%	3.27%	6.91%	-	0.57%	100.00%					

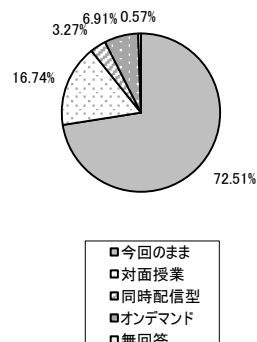
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表

部門名 外国語教育研究センター  
形態名 語学

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.525 (**)	1												
Q3	.394 (**)	.704 (**)	1											
Q3-2	.116 (**)	.217 (**)	.278 (**)	1										
Q4	.505 (**)	.471 (**)	.406 (**)	.112 (**)	1									
Q5	.486 (**)	.512 (**)	.430 (**)	.099 (**)	.650 (**)	1								
Q6	.397 (**)	.415 (**)	.355 (**)	.073 (**)	.566 (**)	.567 (**)	1							
Q7	.275 (**)	.327 (**)	.261 (**)	.056 (**)	.345 (**)	.336 (**)	.505 (**)	1						
Q8	.450 (**)	.484 (**)	.395 (**)	.072 (**)	.649 (**)	.677 (**)	.635 (**)	.412 (**)	1					
Q9	.417 (**)	.464 (**)	.371 (**)	.014	.534 (**)	.596 (**)	.493 (**)	.338 (**)	.644 (**)	1				
Q10	.444 (**)	.493 (**)	.402 (**)	.049 (**)	.559 (**)	.636 (**)	.521 (**)	.345 (**)	.663 (**)	.753 (**)	1			
Q11	.521 (**)	.523 (**)	.428 (**)	.102 (**)	.566 (**)	.612 (**)	.518 (**)	.364 (**)	.654 (**)	.592 (**)	.640 (**)	1		
Q12	.503 (**)	.531 (**)	.445 (**)	.116 (**)	.561 (**)	.636 (**)	.513 (**)	.334 (**)	.650 (**)	.588 (**)	.657 (**)	.774 (**)	1	
Q13	.496 (**)	.544 (**)	.440 (**)	.084 (**)	.647 (**)	.686 (**)	.590 (**)	.411 (**)	.760 (**)	.673 (**)	.739 (**)	.734 (**)	.749 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 外国語教育研究センター  
形態名 語学

		2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度				
		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.86	1.003	3.91	0.352	4.02	0.788	4.02	0.334	4.05	0.775	4.05	0.284
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.06	0.927	4.07	0.315	4.12	0.927	4.13	0.327	4.00	0.898	4.03	0.329	4.25	0.733	4.25	0.319	4.25	0.712	4.25	0.253
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.30	0.723	4.29	0.348	4.23	0.753	4.22	0.282
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 3:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.42	1.025	2.37	0.539	2.26	1.008	2.26	0.493
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.824	4.04	0.421	4.12	0.768	4.12	0.327
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.840	4.13	0.400	4.19	0.737	4.19	0.294
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.04	0.957	4.04	0.511	4.12	0.839	4.13	0.399
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40	1.298	3.44	0.930	3.81	1.132	3.83	0.707
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.31	0.882	4.33	0.455	4.34	0.880	4.36	0.418	4.29	0.864	4.32	0.418	4.07	0.905	4.06	0.496	4.19	0.773	4.18	0.370
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.06	0.870	4.07	0.390	4.12	0.815	4.12	0.315
	(10)	この授業の水準に満足している	4.06	0.940	4.08	0.402	4.14	0.921	4.15	0.374	4.14	0.882	4.17	0.366	4.05	0.837	4.05	0.402	4.15	0.754	4.14	0.296
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.02	0.987	4.05	0.432	4.07	0.976	4.10	0.399	4.10	0.898	4.13	0.373	3.97	0.873	3.98	0.422	4.09	0.793	4.09	0.324
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.03	0.861	4.03	0.423	4.14	0.776	4.14	0.322
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.28	0.870	4.30	0.436	4.31	0.866	4.33	0.409	4.27	0.848	4.29	0.398	4.04	0.898	4.04	0.467	4.16	0.774	4.16	0.344	

## VIII スポーツ・健康科学センター

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、令和2年度と比較すると対面形式での授業を多く実施できた1年であった。文学部・理学部の1~2年生が必修単位として履修するスポーツ・健康科学Ⅰおよびスポーツ・健康科学Ⅱにおいては、1つのコマに複数種目のクラスが混在している。コロナ禍以前は雨天時には複数クラス同時にトレーニングルームや体育館を使用することが通常であったが、感染症対策の観点から、雨天時の教場について工夫する必要があった。そこで、3回に1回は遠隔授業にすることとした。この対策を講じたことで、雨天時の教場での密集を回避することができ、3回に1回の遠隔授業では、各教員が対面授業の進捗に合わせて講義を行うことができた。

コロナ禍以前は、授業評価アンケートの回答率は80%前後であったが、令和2年度は29.47%と非常に低いものとなっていた。令和3年度については43.5%となり、昨年度よりは向上した。これは、アンケートの実施方法がオンラインに変わったものの、対面授業に参加する学生が増え、アンケートへの回答に協力するよう呼びかけを行えたことが要因として窺える。しかし、半数以下の回答率では、授業に対する評価も履修者全体の意見を反映できていない可能性も考えられる。以上のような点も含めて、今年度の分析を行いたいと思う。

### 1. 項目別

Q1「私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた」については、平均値4.27であり、「強くそう思う」「そう思う」と回答した学生は86.16%であった。本センターで開講している授業において扱っているスポーツ種目は一般的にも馴染みのあるものが多く、学生もイメージが付きやすかったのではないかと考える。

Q2「私は、この授業に意欲的に取り組んだ」については、平均値4.46であった。90.78%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しており、授業実施者としても嬉しく思う。また、ほとんどを遠隔授業で実施した昨年度は、平均値4.00であったことから、やはりスポーツ・健康科学科目において対面実技を実施することの価値を感じられる結果となった。

Q3「私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ」については、平均値4.11であったが、取り組んだ時間については60.53%の学生が2時間未満であった。対面での実技に加え、3回に1回の遠隔授業では、各教員が対面実技を補う形で教材を作成しており、それらに関連した課題を行わせていた。しかし、いずれも短い時間で集中して行

えるような課題であったためこのような結果になったと考えられる。

Q4「授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった」は、平均値 4.35 であり、昨年度より 0.53 ポイント向上した。ほとんどを遠隔授業で実施した昨年度と比較すると、対面での説明ができた本年度の方が学生に的確に伝わったと考えられる。また、WebClass にも変更点等を記載しておくことで、口頭での説明を補う形で良い方向に作用したとも考えられる。

Q5「この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った」については、平均値 4.18 であり、82.92%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答していた。講義動画で学んだことを実技動画の中や私生活において実践するという形式の教材を目指して作成していたため、このような評価が得られて嬉しく思う。

Q6「この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」については、平均値が 4.35 であり、昨年度と比較すると 1.21 ポイント向上した。対面授業が再開できたことに加え、3回に1回の遠隔授業では、オンデマンド教材ではなく zoom を用いたリアルタイムでの授業を実施する教員もいたため、双方向型の授業が増え即時フィードバックがしやすくなったことが要因と考えられる。

Q7「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」については、平均値 4.28 であり、昨年度と比較すると 2.02 ポイント向上した。Q6の結果と同様、双方向型の授業が増えたことが要因と考えられる。また、実技の授業では個人種目・チーム種目問わず、授業を通して他の学生とコミュニケーションを図る機会が多いと感じる。ここでも、スポーツ・健康科学科目において対面実技を実施することの価値を感じられる結果となった。

Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」については、平均値 4.46 と高い評価を受けている。93.52%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答している。ほとんどが遠隔授業となった昨年度も比較的高い評価であったが、それよりもさらに高い評価を受ける結果となった。対面授業が主となり、各教員がそれぞれしっかりと努力した結果であると思われる。

Q9「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」については、平均値 4.48 であり、昨年度と比較すると 0.56 ポイント向上した。93.77%の学生が「強くそう思う」「そう思う」と回答しているが、満足していない履修者5名のうち4名が量が少なかったと回答している。コロナ禍での体育実技ということで、接触が多いスポーツにおいてはゲ

ームを減らしたり、内容を調整したりと授業内容を工夫する必要があったことがこうした結果に繋がっていると考えられる。

Q10「この授業の水準に満足している」については平均値 4.49 であり、こちらも昨年度と比較すると 0.61 ポイント向上した。「あまりそう思わない」と回答した履修者は 0.5% の 4 名であったが、その中では水準が低すぎるという回答が多かった。Q9 の授業のボリュームについてもそうであったが、コロナ禍の体育実技でもボリュームや水準を確保できるような工夫について、次年度以降改善していきたいと思う。

Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」については、平均値 4.31 であった。実技を行えなかった昨年度よりは向上する結果となったが、コロナ禍以前よりはまだまだ低い状況となっている。昨年度まで活用したオンデマンド教材では、科学的なトレーニング方法の紹介や、効果的な技能習得方法の提示(様々な練習ドリルの紹介)、スポーツ種目にまつわる歴史やルールの解説など、学生に興味や関心を持たせる内容も多く作成した。予習や復習に使用できる動画も多いため、実技に加えて上手く活用しながら、学生の学びを促進できるよう工夫したいと思う。

Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」については、平均値 4.38 で昨年度より 0.64 ポイント向上した。実技が実施できたことで、技術が向上していく過程を実感できたことが結果に繋がっていると考えられる。

Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」については、平均値 4.52 で昨年度より 0.71 ポイント向上した。ここでも、スポーツ・健康科学科目において対面実技を実施することの価値を感じられる結果となったが、これに満足せず、各教員が授業改善に意欲的に取り組めるよう、講習会や実技研修等に取り組んでいきたいと思う。

## 2. 相関係数から

相関係数が 0.65 以上の項目は、Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」と Q9「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」、Q8「教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」と Q10「この授業の水準に満足している」、Q9「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」と Q10「この授業の水準に満足している」、Q9「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」と Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q10「この授業の水準に満足している」と Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」、Q11「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」と Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる」、Q12「この授業によって、自らの知識や能力が向上した



と感じる」と Q13「総合的に見てこの授業は高く評価できる」であった。

令和3年度は実技がほとんど実施できなかった令和2年度と比較すると、履修者の評価は全体的に高まったと思う。演習形態の授業における実技実施の重要性と価値を改めて実感させられる結果となった。しかし、コロナ禍で取り組んだ動画コンテンツの作成は、今後実技と併用してLMSを活用していくことのメリットも感じさせた。今後は、コロナ禍前にただ戻すだけにならないよう、遠隔授業のメリットも活かしながら、令和4年度以降の授業運営に活かしていこうと思う。



# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

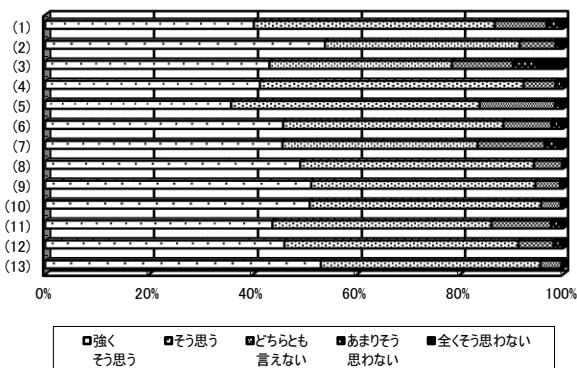
部門名 スポーツ・健康科学センター

	合計	総履修者数	回答率
回答数	802	1,846	43.45%

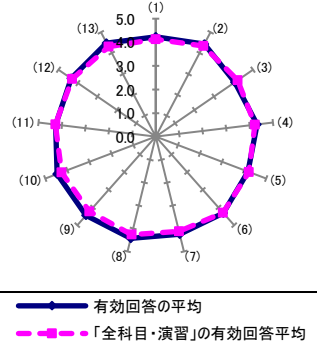
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	320	371	80	22	4	5	802	4.23	0.778	4.27	0.298
			39.90%	46.26%	9.98%	2.74%	0.50%	0.62%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	428	300	55	8	4	7	802	4.43	0.711	4.46	0.255
			53.37%	37.41%	6.86%	1.00%	0.50%	0.87%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	343	280	94	38	40	7	802	4.07	1.091	4.11	0.390
			42.77%	34.91%	11.72%	4.74%	4.99%	0.87%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	11	4	18	229	205	250	717	1.69	0.792	1.68	0.392
			1.53%	0.56%	2.51%	31.94%	28.59%	34.87%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	328	405	49	12	0	8	802	4.32	0.658	4.35	0.240
			40.90%	50.50%	6.11%	1.50%	0.00%	1.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	284	381	116	11	2	8	802	4.18	0.743	4.18	0.262
			35.41%	47.51%	14.46%	1.37%	0.25%	1.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	363	338	74	15	3	9	802	4.32	0.750	4.35	0.300
			45.26%	42.14%	9.23%	1.87%	0.37%	1.12%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	363	300	103	22	7	7	802	4.25	0.847	4.28	0.414	
		45.26%	37.41%	12.84%	2.74%	0.87%	0.87%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	390	360	43	2	0	7	802	4.43	0.607	4.46	0.229	
		48.63%	44.89%	5.36%	0.25%	0.00%	0.87%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	407	345	38	5	0	7	802	4.45	0.618	4.48	0.231	
		50.75%	43.02%	4.74%	0.62%	0.00%	0.87%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	1	4	-	-	-	0	5	-	-	-	-	
		20.00%	80.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	404	356	30	4	0	8	802	4.46	0.596	4.49	0.242	
		50.37%	44.39%	3.74%	0.50%	0.00%	1.00%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	1	3	-	-	-	0	4	-	-	-	-	
		25.00%	75.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(11)	この授業によって知的な好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	348	337	92	16	3	6	802	4.27	0.771	4.31	0.288	
		43.39%	42.02%	11.47%	2.00%	0.37%	0.75%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	365	359	54	13	2	9	802	4.35	0.702	4.38	0.279	
		45.51%	44.76%	6.73%	1.62%	0.25%	1.12%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	421	338	32	1	2	8	802	4.48	0.607	4.52	0.265	
		52.49%	42.14%	3.99%	0.12%	0.25%	1.00%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	618	156	2	18	-	8	802	-	-	-	-	
		77.06%	19.45%	0.25%	2.24%	-	1.00%	100.00%					

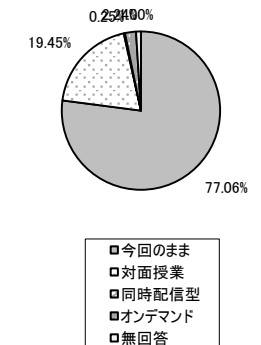
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表

部門名 スポーツ・健康科学センター  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.543 (**)	1												
Q3	.316 (**)	.470 (**)	1											
Q3-2	.115 (*)	.133 (**)	.160 (**)	1										
Q4	.486 (**)	.503 (**)	.376 (**)	.107 (*)	1									
Q5	.376 (**)	.388 (**)	.352 (**)	.091 (*)	.561 (**)	1								
Q6	.382 (**)	.448 (**)	.365 (**)	.084	.552 (**)	.491 (**)	1							
Q7	.383 (**)	.444 (**)	.302 (**)	.117 (*)	.426 (**)	.363 (**)	.623 (**)	1						
Q8	.397 (**)	.517 (**)	.336 (**)	.053	.564 (**)	.486 (**)	.632 (**)	.501 (**)	1					
Q9	.410 (**)	.493 (**)	.304 (**)	.103 (*)	.541 (**)	.428 (**)	.539 (**)	.459 (**)	.691 (**)	1				
Q10	.455 (**)	.545 (**)	.345 (**)	.110 (*)	.573 (**)	.418 (**)	.575 (**)	.482 (**)	.691 (**)	.797 (**)	1			
Q11	.450 (**)	.494 (**)	.354 (**)	.140 (**)	.477 (**)	.405 (**)	.485 (**)	.435 (**)	.543 (**)	.546 (**)	.579 (**)	1		
Q12	.441 (**)	.513 (**)	.313 (**)	.128 (**)	.489 (**)	.413 (**)	.520 (**)	.439 (**)	.555 (**)	.551 (**)	.605 (**)	.658 (**)	1	
Q13	.446 (**)	.573 (**)	.334 (**)	.096 (*)	.529 (**)	.401 (**)	.548 (**)	.491 (**)	.649 (**)	.676 (**)	.739 (**)	.612 (**)	.670 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 スポーツ・健康科学センター  
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
			学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単集計 平均	学生回答 単集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	4.13	1.037	4.23	0.415	3.87	0.860	3.86	0.418	4.23	0.778	4.27	0.298	
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.48	0.810	4.53	0.296	4.45	0.850	4.50	0.322	4.40	0.846	4.46	0.325	3.99	0.772	4.00	0.347	4.43	0.711	4.46	0.255
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.04	0.797	4.04	0.356	4.07	1.091	4.11	0.390
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で 3:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.62	0.802	1.62	0.397	1.69	0.792	1.68	0.392
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.82	0.877	3.82	0.337	4.32	0.658	4.35	0.240
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.19	0.783	4.19	0.254	4.18	0.743	4.18	0.262
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.13	1.132	3.14	0.434	4.32	0.750	4.35	0.300
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.24	1.143	2.26	0.560	4.25	0.847	4.28	0.414
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.68	0.601	4.72	0.229	4.68	0.627	4.70	0.239	4.64	0.650	4.68	0.270	4.12	0.649	4.12	0.229	4.43	0.607	4.46	0.229
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.92	0.845	3.92	0.364	4.45	0.618	4.48	0.231
	(10)	この授業の水準に満足している	4.48	0.760	4.53	0.248	4.48	0.806	4.51	0.276	4.55	0.710	4.60	0.287	3.86	0.863	3.85	0.420	4.46	0.596	4.49	0.242
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.39	0.892	4.45	0.351	4.40	0.862	4.46	0.321	4.39	0.874	4.46	0.385	3.80	0.858	3.81	0.370	4.27	0.771	4.31	0.288
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.73	0.885	3.74	0.400	4.35	0.702	4.38	0.279
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.69	0.609	4.74	0.243	4.66	0.619	4.68	0.251	4.62	0.680	4.67	0.302	3.81	0.799	3.81	0.341	4.48	0.607	4.52	0.265	

## IX 基礎教養科目運営委員会

本章では、「総合基礎科目」のうち、外国語科目、スポーツ・健康科学科目、情報科目を除く、「基礎教養科目」について分析する。

### 1. 集計データからわかること

令和3（2021）年度の「基礎教養科目」開設科目数は104科目、内訳として講義形態が99科目、演習形態が5科目となっており、アンケート実施率は講義形態、演習形態共に100.00%であった。総履修者数は、10,963名であるが、このうちアンケート回答者数は4,055名に留まり、回答率は36.99%という結果となった。前年度の回答率19.67%と比較すると17.32ポイント上昇しているが、これは、アンケート実施期間が前年度に比べて長期間に及んでいることが影響していると考えられる。

また、「基礎教養科目」の回答率36.99%という値は全科目平均の36.85%を上回っており、概ね平均的な範囲に留まっているといえよう。

以下、質問項目別に分析するが、前述のとおり、基礎教養科目は演習形態の科目が5科目（集計対象科目は3科目）のみであるため、すべて講義形態のものを引用する。

Q1 私は、履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

肯定を意味する「強くそう思う」「そう思う」という回答の合計比率（以下、「肯定の割合」と略す）は85.09%であり、講義形式全体の80.76%と比較しても高い数値となっていることから、基礎教養科目としては、授業内容をイメージしやすいシラバスとなっていることが窺える。また、大学全体でみると、81.21%と前年度の79.80%から上昇し、講義形式、演習形式の差も少なくなっていることから、シラバスの記載方法について、改善の傾向がみられることが窺える。

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）

学生の授業への意欲度については、肯定の割合が84.04%となり、令和2（2020）年度の85.23%から若干下降したが、この値は、アンケート実施形態をWEBアンケートに変更する以前の60%前後に比べて高くなっている。前年度はアンケートの実施形態がWEBアンケートとなったことで、回答者数が前年の3割程度に大きく減少しており、回答者の傾向が受講に意欲的であった学生に偏っている可能性が考えられたが、今年度は従来の6割強に回復したうえで、肯定の割合が高い数値を維持しており、学生が意欲的に取り組んでいることが

窺える。

Q3 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

Q3-2 私がこの授業に使った時間（受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて）は、1週間あたり平均で

従来は授業時間外学習時間を問う設問であったが、遠隔授業の実施を鑑み、受講時間全体を含めた学習時間を問う設問となっているが、3時間以上が4.55%である一方、2時間未満は49.90%となっている。遠隔授業の実施に伴い、課題に取り組む時間が増大しているとの声が寄せられていたが、大学設置基準上必要とされている予習・復習時間の目安が3倍とされている点を鑑みると、必ずしも授業に費やした時間が過大とはなっておらず、逆に不足しがちであることが窺える。

Q4 授業方法や、シラバスの記載内容（計画、準備学習、成績評価の方法・基準など）の変更についての教員からの説明は適切だった

授業実施方法の変更について、説明が適切であったと肯定的に捉える割合は88.42%であり、講義形式全体の85.04%を上回る結果となった。概ね適切な説明がなされたといえよう。

Q5 この授業で配布された教材（動画や音声の外部リンク等も含む）は、学習を進めるのに役立った

遠隔授業の実施に伴い授業内容の理解における教材の質が重要となる中で、肯定の割合は90.23%と、講義形式全体の84.98%を上回り、適切な教材が用いられた授業が実施されていたことが窺える。

Q6 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた

遠隔授業の実施にあたり、一方的な教材の提供だけではなく、学生からの相談に速やかに応じる体制が確保されていることが必要な条件となるが、肯定の割合は79.50%と講義形式全体の76.44%を上回る結果となった。大学全体では演習形式に比べて、講義形式で肯定的な回答の割合が低くなる傾向の中、基礎教養科目では講義形式でも一定の機会が設けられていることが窺える。

Q7 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

Q6の教員への質問の機会と同様、遠隔授業の実施にあたり、履修者同士の意見交換の機会を設けることが求められているが、大学全般で演習形式や語学の授業に比べて、講義形式の肯定の割合は低くなっている。その中でも基礎教養科目では46.36%と講義形式全体の42.50%と比較すれば高い値となっているものの、改善の必要があると考えられる。

Q8 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

学習内容の理解しやすさについては、講義形式全体の平均 82.18% (令和 2 年度 78.26%) を上回り、肯定の割合は 88.44% (令和 2 年度 87.24%) となっている。両年度とも講義形式全体の平均より高い値を示している点において、授業の開講形態に遠隔授業が導入されても傾向に大きな変化はなく、むしろ理解度が上がっている可能性が示唆されている。

Q9 この授業のボリューム (学ぶ内容の量) に満足している

Q9-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか

授業のボリュームについては、肯定の割合が 86.85% と講義形式全体の 81.75% を上回り満足度の高さが窺える。一方で否定的な回答の内訳としては「多い」が 72.15%、「少ない」が 23.42% であるが、否定的な回答の割合が全体の 3.93% と高くないことから、授業全体のボリュームを調整するのではなく、「多い」と感じる学生をラーニング・サポートセンターにてフォローするといった配慮が必要であるといえる。

Q10 この授業の水準に満足している

Q10-2 授業の水準について、どのように感じましたか

授業の水準の満足度について、肯定の割合は 88.10% であり、令和 2 (2020) 年度のレベルの適切度と比較すると 84.96% から増大する結果となっている。また、講義形式全体の平均 82.33% を上回っているため、水準の妥当性に対する満足度は比較的高いことを示す結果となっている。

なお、否定的な回答をした学生の内訳は「高すぎる」という回答が 65.91%、「低すぎる」という回答が 27.27% と、従来、半々に近かった比率から変化が生じているため、今後の傾向に注視していく必要がある。

Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

知的好奇心の刺激については、講義形式全体の平均 83.23% を上回り、肯定の割合は 90.43% とかなり高い数値であった。

Q12 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

自らの知識や能力が向上したと感じる満足度についても、講義形式全体の平均 84.45% を上回り、肯定の割合は 88.71% であった。

Q13 総合的に見てこの授業は高く評価できる

授業への総合的評価についての肯定の割合は 88.52% であり、対前年度 (令和 2 年度 87.24%) から増大しており、令和元年度が 84.34% であった点も含めて考慮すると、近年は 80% を超える高水準を維持していると評価できる。

Q14 この授業の実施方法（オンデマンド型など）について、どのように感じましたか

対象となる講義形式の科目 99 科目中、遠隔授業 93 科目、対面授業 6 科目となっており、大半の授業が遠隔授業で実施される中でも現状の維持を望む割合が 81.18%とかなり高い数値であった。これはアンケート実施時期が、第 1 学期 7 月 23 日～8 月 6 日、第 2 学期 1 月 8 日～29 日と、共に感染者数が増加傾向にある時期に実施されたことで、遠隔授業の継続を望む学生が多かったことも考えられるが、一方で遠隔授業の実施により、繰り返し教材を見返すことが出来る等のメリットもあり、遠隔授業の実施にあたっての工夫により、満足度が高いことも窺える。

## 2. 今後の授業改善に向けて

授業評価アンケートは今回で 16 回目の実施となったが、前年に引き続き、全設問において肯定の割合が高い結果となった。これは長引くコロナ禍における授業形態の制限にもかかわらず、例年同様の授業の水準を維持しようとした各担当教員における授業実施方法の工夫の努力が結果としてあらわれたものと考えられ、各授業担当者に感謝したい。

なお、例年半数程度に留まっていた回答率が毎年の課題となっているが、令和 3（2021）年度については令和 2（2020）年度の 19.67%から上昇し 36.99%という結果となり、大きく改善している。しかしながら、対面形式の授業内で実施していた令和元年度以前の 3 年間の 56～57%台から大きく下降している。これは、対面形式での授業実施が困難になったことに伴い、アンケートの実施方法を WEB 形式に変更したことで回答数が大きく減少したものの、回答期間の変更により、改善が見られたものである。次年度の実施方法は回答期間を更に長く設定することに加え、授業時間内に回答時間を設けることを予定しており、更なる改善が見込まれる。

また、アンケート結果は、単年度の動きのみで判断せず中期的な推移を捉える必要があるが、こうした結果をふまえ、従来の平成 28 年度の GPA 制度導入に伴う「棄権」の廃止や、平成 30（2018）年度新入学生以降のキャップ制の導入等、履修や成績評価に関する諸制度の改正に伴う学生の意識の変化に加えて、授業実施方法の改善や遠隔授業が教育効果に及ぼす影響を引き続き注視していきたい。





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

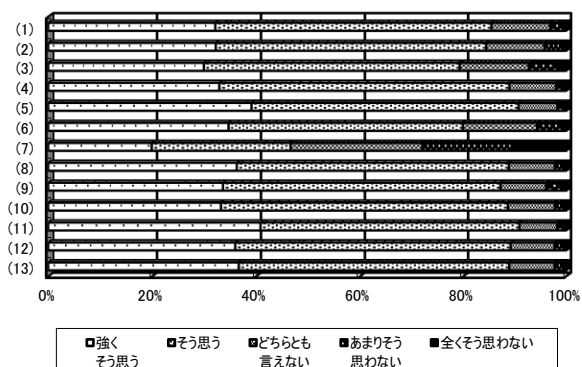
部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回答率
回答数	4,023	10,856	37.06%

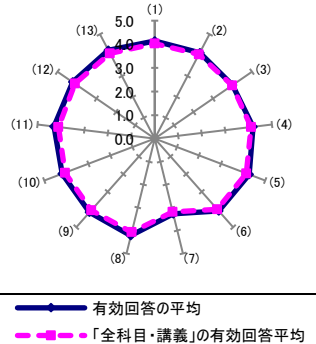
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	1,288	2,135	457	107	18	18	4,023	4.14	0.751	4.14	0.240
			32.02%	53.07%	11.36%	2.66%	0.45%	0.45%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	1,291	2,090	452	141	29	20	4,023	4.12	0.792	4.09	0.272
			32.09%	51.95%	11.24%	3.50%	0.72%	0.50%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	1,201	1,977	539	225	66	15	4,023	4.00	0.898	3.96	0.295
			29.85%	49.14%	13.40%	5.59%	1.64%	0.37%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5時間以上 4: 3時間以上4.5時間未満 3: 2時間以上3時間未満 2: 90分以上2時間未満 1: 90分未満	35	134	454	1,107	748	1,239	3,717	2.03	0.910	2.03	0.333
			0.94%	3.61%	12.21%	29.78%	20.12%	33.33%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	1,317	2,240	362	58	22	24	4,023	4.19	0.700	4.20	0.235
			32.74%	55.68%	9.00%	1.44%	0.55%	0.60%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	1,565	2,065	302	56	13	22	4,023	4.28	0.689	4.25	0.236
			38.90%	51.33%	7.51%	1.39%	0.32%	0.55%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	1,389	1,809	577	195	32	21	4,023	4.08	0.867	4.08	0.388
			34.53%	44.97%	14.34%	4.85%	0.80%	0.52%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	797	1,068	1,015	702	418	23	4,023	3.28	1.257	3.37	0.693	
		19.81%	26.55%	25.23%	17.45%	10.39%	0.57%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	1,453	2,105	358	65	23	19	4,023	4.22	0.720	4.21	0.278	
		36.12%	52.32%	8.90%	1.62%	0.57%	0.47%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	1,347	2,147	353	132	26	18	4,023	4.16	0.767	4.14	0.278	
		33.48%	53.37%	8.77%	3.28%	0.65%	0.45%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	114	37	-	-	-	7	158	-	-	-	-	
		72.15%	23.42%	-	-	-	4.43%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	1,329	2,215	365	68	20	26	4,023	4.19	0.707	4.17	0.295	
		33.04%	55.06%	9.07%	1.69%	0.50%	0.65%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	58	24	-	-	-	6	88	-	-	-	-	
		65.91%	27.27%	-	-	-	6.82%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	1,635	2,003	293	56	15	21	4,023	4.30	0.696	4.26	0.249	
		40.64%	49.79%	7.28%	1.39%	0.37%	0.52%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	1,440	2,129	343	72	18	21	4,023	4.22	0.712	4.20	0.233	
		35.79%	52.92%	8.53%	1.79%	0.45%	0.52%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	1,468	2,093	353	70	20	19	4,023	4.23	0.719	4.21	0.288	
		36.49%	52.03%	8.77%	1.74%	0.50%	0.47%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	3,266	468	131	133	-	25	4,023	-	-	-	-	
		81.18%	11.63%	3.26%	3.31%	-	0.62%	100.00%					

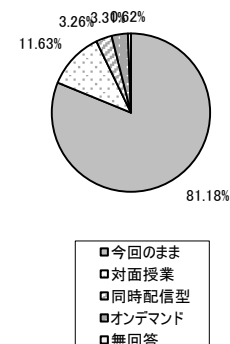
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

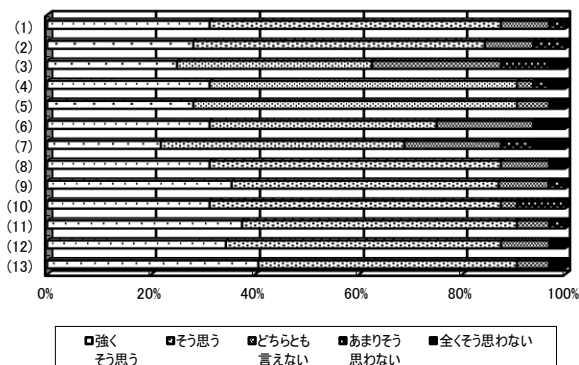
部門名 基礎教養

	合計	総履修者数	回答率
回答数	32	107	29.91%

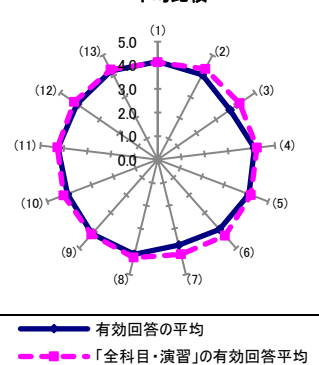
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース			
			5	4	3	2	1	無回答		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	10	18	3	1	0	0	32	4.16	0.723	4.14	0.426
			31.25%	56.25%	9.38%	3.13%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	9	18	3	2	0	0	32	4.06	0.801	4.05	0.434
			28.13%	56.25%	9.38%	6.25%	0.00%	0.00%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	8	12	8	3	1	0	32	3.72	1.054	3.61	0.893
			25.00%	37.50%	25.00%	9.38%	3.13%	0.00%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	0	0	4	8	5	11	28	1.94	0.748	2.04	0.370
			0.00%	0.00%	14.29%	28.57%	17.86%	39.29%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	10	19	1	1	1	0	32	4.13	0.871	4.09	0.570
			31.25%	59.38%	3.13%	3.13%	3.13%	0.00%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	9	20	2	0	1	0	32	4.13	0.793	4.11	0.374
			28.13%	62.50%	6.25%	0.00%	3.13%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	10	14	6	0	2	0	32	3.94	1.045	3.92	0.698
			31.25%	43.75%	18.75%	0.00%	6.25%	0.00%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	7	15	6	2	2	0	32	3.72	1.085	3.72	0.721	
		21.88%	46.88%	18.75%	6.25%	6.25%	0.00%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	10	18	3	0	1	0	32	4.13	0.833	4.14	0.449	
		31.25%	56.25%	9.38%	0.00%	3.13%	0.00%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	11	16	3	1	0	1	32	4.19	0.749	4.19	0.392	
		34.38%	50.00%	9.38%	3.13%	0.00%	3.13%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	1	0	-	-	-	0	1	-	-	-	-	
		100.00%	0.00%	-	-	-	0.00%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	10	18	1	3	0	0	32	4.09	0.856	4.13	0.510	
		31.25%	56.25%	3.13%	9.38%	0.00%	0.00%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	2	0	-	-	-	1	3	-	-	-	-	
		66.67%	0.00%	-	-	-	33.33%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	12	17	2	1	0	0	32	4.25	0.718	4.25	0.496	
		37.50%	53.13%	6.25%	3.13%	0.00%	0.00%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	11	17	3	0	1	0	32	4.16	0.847	4.17	0.500	
		34.38%	53.13%	9.38%	0.00%	3.13%	0.00%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	13	16	2	0	1	0	32	4.25	0.842	4.26	0.418	
		40.63%	50.00%	6.25%	0.00%	3.13%	0.00%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	23	0	2	7	-	0	32	-	-	-	-	
		71.88%	0.00%	6.25%	21.88%	-	0.00%	100.00%					

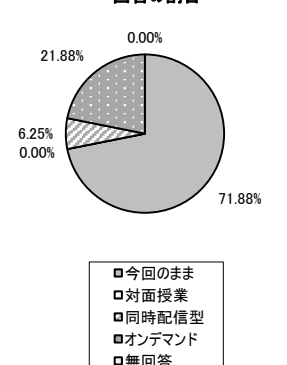
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表 部門名 基礎教養  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.545 (**)	1												
Q3	.385 (**)	.631 (**)	1											
Q3-2	.067 (**)	.160 (**)	.254 (**)	1										
Q4	.463 (**)	.444 (**)	.349 (**)	.072 (**)	1									
Q5	.469 (**)	.473 (**)	.393 (**)	.048 (*)	.639 (**)	1								
Q6	.370 (**)	.349 (**)	.300 (**)	.054 (**)	.537 (**)	.514 (**)	1							
Q7	.280 (**)	.302 (**)	.254 (**)	.038	.320 (**)	.253 (**)	.445 (**)	1						
Q8	.450 (**)	.467 (**)	.363 (**)	.020	.609 (**)	.681 (**)	.576 (**)	.372 (**)	1					
Q9	.432 (**)	.451 (**)	.335 (**)	-.023	.547 (**)	.586 (**)	.472 (**)	.331 (**)	.651 (**)	1				
Q10	.467 (**)	.498 (**)	.369 (**)	.025	.585 (**)	.629 (**)	.500 (**)	.344 (**)	.707 (**)	.748 (**)	1			
Q11	.486 (**)	.497 (**)	.356 (**)	.041 (*)	.521 (**)	.626 (**)	.432 (**)	.275 (**)	.634 (**)	.607 (**)	.673 (**)	1		
Q12	.501 (**)	.521 (**)	.401 (**)	.031	.515 (**)	.593 (**)	.427 (**)	.308 (**)	.617 (**)	.589 (**)	.654 (**)	.739 (**)	1	
Q13	.495 (**)	.519 (**)	.378 (**)	.036	.608 (**)	.654 (**)	.512 (**)	.338 (**)	.708 (**)	.681 (**)	.763 (**)	.720 (**)	.733 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表 部門名 基礎教養  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.874 (**)	1												
Q3	.313	.442 (*)	1											
Q3-2	-.329	-.317	.000	1										
Q4	.634 (**)	.683 (**)	.461 (**)	-.350	1									
Q5	.583 (**)	.648 (**)	.275	-.447	.864 (**)	1								
Q6	.525 (**)	.621 (**)	.510 (**)	-.178	.895 (**)	.788 (**)	1							
Q7	.305	.392 (*)	.549 (**)	.132	.585 (**)	.567 (**)	.781 (**)	1						
Q8	.663 (**)	.810 (**)	.335	-.268	.868 (**)	.855 (**)	.862 (**)	.647 (**)	1					
Q9	.608 (**)	.717 (**)	.322	-.231	.766 (**)	.812 (**)	.812 (**)	.636 (**)	.879 (**)	1				
Q9-2														
Q10	.601 (**)	.697 (**)	.388 (*)	-.191	.590 (**)	.695 (**)	.692 (**)	.620 (**)	.752 (**)	.814 (**)	1			
Q10-2														
Q11	.667 (**)	.645 (**)	.394 (*)	-.278	.774 (**)	.849 (**)	.752 (**)	.549 (**)	.755 (**)	.723 (**)	.800 (**)	1		
Q12	.591 (**)	.699 (**)	.304	-.251	.804 (**)	.883 (**)	.850 (**)	.682 (**)	.932 (**)	.906 (**)	.780 (**)	.835 (**)	1	
Q13	.569 (**)	.598 (**)	.227	-.320	.704 (**)	.869 (**)	.678 (**)	.503 (**)	.782 (**)	.771 (**)	.772 (**)	.853 (**)	.893 (**)	1
Q14														

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 基礎教養  
形態名 講義

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.936	3.98	0.291	4.10	0.780	4.12	0.225	4.14	0.751	4.14	0.240
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.65	1.113	3.68	0.449	3.72	1.090	3.69	0.370	3.65	1.041	3.68	0.358	4.14	0.791	4.17	0.237	4.12	0.792	4.09	0.272
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.831	4.13	0.274	4.00	0.898	3.96	0.295
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.18	0.982	2.22	0.459	2.03	0.910	2.03	0.333
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.14	0.767	4.14	0.305	4.19	0.700	4.20	0.235
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.27	0.757	4.29	0.293	4.28	0.689	4.25	0.236
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.10	0.958	4.08	0.518	4.08	0.867	4.08	0.388
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.10	1.295	3.10	0.796	3.28	1.257	3.37	0.693
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.18	0.919	4.23	0.440	4.32	0.825	4.31	0.317	4.26	0.817	4.28	0.292	4.17	0.809	4.18	0.367	4.22	0.720	4.21	0.278
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.845	4.12	0.356	4.16	0.767	4.14	0.278
	(10)	この授業の水準に満足している	4.09	0.916	4.10	0.392	4.21	0.850	4.17	0.339	4.13	0.844	4.15	0.273	4.13	0.788	4.15	0.325	4.19	0.707	4.17	0.295
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.18	0.931	4.22	0.358	4.29	0.863	4.27	0.278	4.24	0.828	4.26	0.280	4.29	0.739	4.30	0.262	4.30	0.696	4.26	0.249
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.19	0.752	4.22	0.271	4.22	0.712	4.20	0.233
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.21	0.883	4.26	0.393	4.31	0.815	4.29	0.303	4.27	0.806	4.28	0.267	4.20	0.797	4.20	0.332	4.23	0.719	4.21	0.288	

部門名 基礎教養  
形態名 演習

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.16	0.723	4.14	0.426
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.25	1.047	4.33	0.552	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.06	0.801	4.05	0.434
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	3.72	1.054	3.61	0.893
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:45時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	1.94	0.748	2.04	0.370
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.13	0.871	4.09	0.570
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.13	0.793	4.11	0.374
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	3.94	1.045	3.92	0.698
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	3.72	1.085	3.72	0.721
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.48	0.820	4.53	0.430	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.13	0.833	4.14	0.449
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.19	0.749	4.19	0.392
	(10)	この授業の水準に満足している	4.17	0.943	4.25	0.526	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.09	0.856	4.13	0.510
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.35	0.936	4.41	0.460	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.25	0.718	4.25	0.496
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.16	0.847	4.17	0.500
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.48	0.737	4.52	0.295	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	0.00	0.000	4.25	0.842	4.26	0.418	

## X 教職課程

教職課程開設科目は、教員免許取得を希望する学生が自発的に履修するものである。また、教職課程開設科目と履修単位数等は、教育職員免許法等に基づいて規定されており、その授業内容も文部科学省の課程認定行政の指導・助言によって、近年では法的拘束力（「教職課程コア・カリキュラム」）が強まってきている。授業形態も、教育学・心理学の基礎理論領域を担当する授業は、講義形式でかつ履修者も比較的多い形態をとらざるを得ない。加えて、近年の教員政策的重点事項として「(教員としての) 実践的指導力の育成」強化が指示されており、教科教育法の授業を中心に模擬授業や場面指導などの具体的かつ実践的な内容及び方法を取り入れていかなければならない。こうした資格取得のために法律等で定められている授業内容・方法・形態等の制約があり、なかなか履修学生の要望に沿って柔軟に対応するということができにくくなってきているのが実情である。

教職科目については、資格取得に関わるため、例年、履修者の出席状況は他部門と比較して相対的に良いといえる。しかし、2021 年度に関してはコロナ禍にあつて遠隔方式の授業が多く、そのためか授業評価アンケートの回答者数必ずしも多いとは言えない結果であった。そういう特徴を前提として考察するならば、意欲的に取り組んでいるか（問2）といえ、専門科目の学習活動と比較すると数値の差は僅かではあるもののやや劣ることが続いてきている。また、予習・復習等の授業外の学習時間の確保（問3）なども、履修者にとっては、専門分野の学習に加えての履修であるために、各専門分野の学習に比べればこれも数値的には僅かな差ではあるがやや劣る傾向にあることが続いてきている。

他方で、講義形態をとる授業科目において、「履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」（問7）への回答結果は、若干良い数値を表している。遠隔方式を強いられている授業担当教員の創意工夫が行われていることをうかがわせる結果であった。教職課程としては、毎年度『学習院大学教職課程年報』を発行し、その中で毎号「授業研究」欄を設け、非常勤講師も含め各担当教員の創意工夫の報告と共有化を図ってきている。こうした地道な努力を今後も継続し、授業内容の改善及び授業時間内での確実なる定着の工夫など、一層の改善努力をしていきたいと考えている。

なお、教育職員免許法の一部改正が施行され、2022（令和4）年度入学者から、新たに「ICT活用の理論と実践」科目（2単位）が必修となった。初等中等教育学校においては、コロナ禍による遠隔授業の興隆ともあいまって、すでに児童生徒一人に1台のタブレットを活用した授業が盛んとなってきている。そうした学校現場の急速な新動向に対応すべく、養成教育においても履修学生の専門分野の如何を問わず ICT 活用関連の指導技術の育成が急務の課題となってきている。また、2022（令和4）年度からは、教職課程全体の「自己点検・評価活動」が義務化された。本学教職課程も今回の授業評価アンケート結果を活用しつつ、そうした教員養成の新動向に対応すべく、すでにその一部を実行に移しつつある。



# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

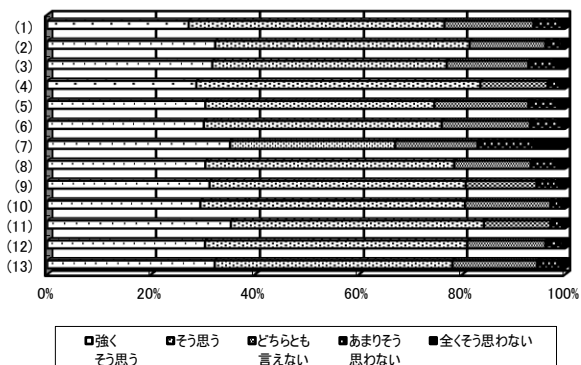
部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回答率
回答数	700	1,618	43.26%

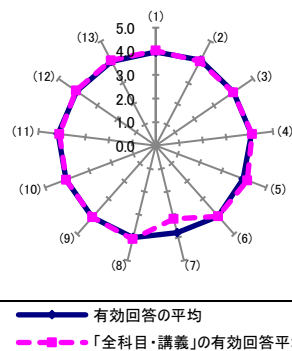
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					計	科目ベース				
			5	4	3	2	1		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						無回答
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	190	344	121	39	4	2	700	3.97	0.849	4.06	0.313
			27.14%	49.14%	17.29%	5.57%	0.57%	0.29%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	226	343	103	22	5	1	700	4.09	0.808	4.17	0.265
			32.29%	49.00%	14.71%	3.14%	0.71%	0.14%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	222	316	111	38	12	1	700	4.00	0.922	4.04	0.217
			31.71%	45.14%	15.86%	5.43%	1.71%	0.14%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	15	26	92	204	120	192	649	2.15	0.983	2.16	0.326
			2.31%	4.01%	14.18%	31.43%	18.49%	29.58%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	200	382	91	18	6	3	700	4.08	0.770	4.14	0.258
			28.57%	54.57%	13.00%	2.57%	0.86%	0.43%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	213	309	128	40	10	0	700	3.96	0.919	4.09	0.376
			30.43%	44.14%	18.29%	5.71%	1.43%	0.00%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	211	321	120	44	4	0	700	3.99	0.881	4.04	0.435
			30.14%	45.86%	17.14%	6.29%	0.57%	0.00%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	246	222	112	76	43	1	700	3.79	1.208	3.60	0.863	
		35.14%	31.71%	16.00%	10.86%	6.14%	0.14%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	213	336	104	36	11	0	700	4.01	0.895	4.11	0.391	
		30.43%	48.00%	14.86%	5.14%	1.57%	0.00%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	218	345	96	31	8	2	700	4.05	0.854	4.12	0.378	
		31.14%	49.29%	13.71%	4.43%	1.14%	0.29%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	23	11	-	-	-	5	39	-	-	-	-	
		58.97%	28.21%	-	-	-	12.82%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	206	357	116	16	4	1	700	4.07	0.775	4.15	0.356	
		29.43%	51.00%	16.57%	2.29%	0.57%	0.14%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	7	10	-	-	-	3	20	-	-	-	-	
		35.00%	50.00%	-	-	-	15.00%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	246	340	90	17	3	4	700	4.16	0.771	4.26	0.336	
		35.14%	48.57%	12.86%	2.43%	0.43%	0.57%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	212	353	106	23	4	2	700	4.07	0.797	4.15	0.303	
		30.29%	50.43%	15.14%	3.29%	0.57%	0.29%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	225	320	115	32	6	2	700	4.04	0.864	4.13	0.362	
		32.14%	45.71%	16.43%	4.57%	0.86%	0.29%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	536	92	24	41	-	7	700	-	-	-	-	
		76.57%	13.14%	3.43%	5.86%	-	1.00%	100.00%					

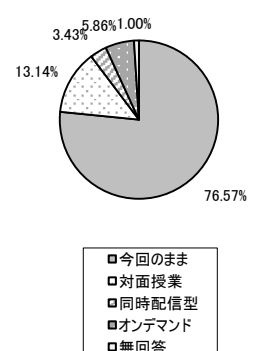
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合







# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

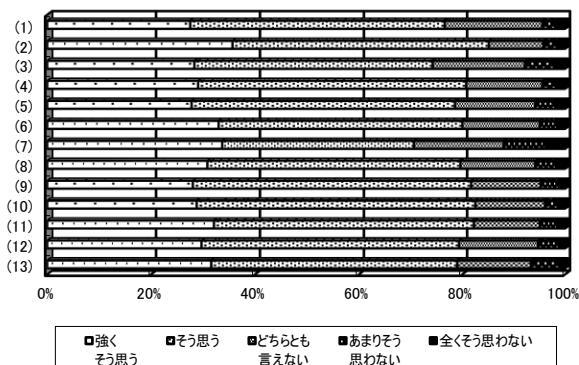
部門名 教職課程

	合計	総履修者数	回答率
回答数	588	1,492	39.41%

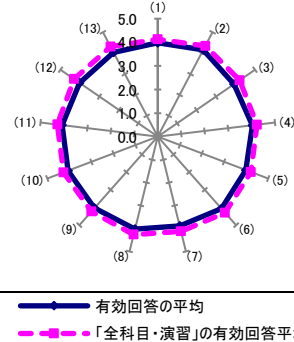
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	161	287	111	16	10	3	588	3.98	0.854	4.05	0.316
			27.38%	48.81%	18.88%	2.72%	1.70%	0.51%	100.00%				
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	209	290	62	17	8	2	588	4.15	0.824	4.24	0.304
			35.54%	49.32%	10.54%	2.89%	1.36%	0.34%	100.00%				
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	166	269	105	34	12	2	588	3.93	0.935	4.02	0.354
			28.23%	45.75%	17.86%	5.78%	2.04%	0.34%	100.00%				
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5:4.5 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	22	29	69	161	102	157	540	2.24	1.101	2.23	0.531
			4.07%	5.37%	12.78%	29.81%	18.89%	29.07%	100.00%				
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	169	301	86	17	9	6	588	4.04	0.833	4.10	0.336
			28.74%	51.19%	14.63%	2.89%	1.53%	1.02%	100.00%				
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	162	296	91	23	11	5	588	3.99	0.873	4.06	0.410
			27.55%	50.34%	15.48%	3.91%	1.87%	0.85%	100.00%				
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	193	275	88	20	9	3	588	4.06	0.868	4.14	0.387
			32.82%	46.77%	14.97%	3.40%	1.53%	0.51%	100.00%				
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	197	216	102	48	22	3	588	3.89	1.080	3.90	0.666	
		33.50%	36.73%	17.35%	8.16%	3.74%	0.51%	100.00%					
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	180	285	85	24	10	4	588	4.03	0.879	4.11	0.443	
		30.61%	48.47%	14.46%	4.08%	1.70%	0.68%	100.00%					
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	164	314	79	21	7	3	588	4.04	0.816	4.10	0.365	
		27.89%	53.40%	13.44%	3.57%	1.19%	0.51%	100.00%					
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5:多い 4:少ない	8	19	-	-	-	1	28	-	-	-	-	
		28.57%	67.86%	-	-	-	3.57%	100.00%					
(10)	この授業の水準に満足している	168	314	79	16	7	4	588	4.06	0.799	4.11	0.333	
		28.57%	53.40%	13.44%	2.72%	1.19%	0.68%	100.00%					
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5:高すぎる 4:低すぎる	2	19	-	-	-	2	23	-	-	-	-	
		8.70%	82.61%	-	-	-	8.70%	100.00%					
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	188	294	75	20	9	2	588	4.08	0.848	4.15	0.359	
		31.97%	50.00%	12.76%	3.40%	1.53%	0.34%	100.00%					
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	174	291	90	24	7	2	588	4.03	0.850	4.11	0.331	
		29.59%	49.49%	15.31%	4.08%	1.19%	0.34%	100.00%					
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	185	278	84	33	6	2	588	4.03	0.881	4.11	0.408	
		31.46%	47.28%	14.29%	5.61%	1.02%	0.34%	100.00%					
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5:今回のままでよい 4:対面授業の回数を増やしてほしい 3:同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2:オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	428	90	26	38	-	6	588	-	-	-	-	
		72.79%	15.31%	4.42%	6.46%	-	1.02%	100.00%					

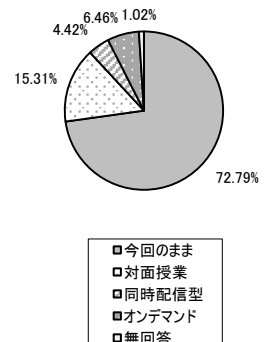
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表

部門名 教職課程  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.599 (**)	1												
Q3	.369 (**)	.610 (**)	1											
Q3-2	-.051	.128 (**)	.202 (**)	1										
Q4	.429 (**)	.485 (**)	.434 (**)	-.026	1									
Q5	.422 (**)	.500 (**)	.414 (**)	.038	.614 (**)	1								
Q6	.358 (**)	.400 (**)	.346 (**)	-.041	.488 (**)	.443 (**)	1							
Q7	.169 (**)	.250 (**)	.160 (**)	-.031	.229 (**)	.089 (*)	.446 (**)	1						
Q8	.382 (**)	.470 (**)	.360 (**)	.009	.622 (**)	.729 (**)	.490 (**)	.164 (**)	1					
Q9	.389 (**)	.517 (**)	.422 (**)	-.023	.580 (**)	.632 (**)	.463 (**)	.262 (**)	.701 (**)	1				
Q10	.440 (**)	.556 (**)	.438 (**)	-.008	.619 (**)	.668 (**)	.498 (**)	.234 (**)	.710 (**)	.795 (**)	1			
Q11	.407 (**)	.536 (**)	.446 (**)	.065	.585 (**)	.625 (**)	.501 (**)	.250 (**)	.675 (**)	.655 (**)	.720 (**)	1		
Q12	.453 (**)	.569 (**)	.472 (**)	.050	.590 (**)	.635 (**)	.453 (**)	.249 (**)	.644 (**)	.667 (**)	.694 (**)	.801 (**)	1	
Q13	.394 (**)	.515 (**)	.424 (**)	-.015	.620 (**)	.708 (**)	.501 (**)	.173 (**)	.767 (**)	.741 (**)	.779 (**)	.729 (**)	.745 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 教職課程  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.613 (**)	1												
Q3	.446 (**)	.611 (**)	1											
Q3-2	.121 (*)	.240 (**)	.302 (**)	1										
Q4	.454 (**)	.478 (**)	.359 (**)	.074	1									
Q5	.483 (**)	.563 (**)	.418 (**)	.112 (*)	.636 (**)	1								
Q6	.355 (**)	.367 (**)	.298 (**)	.081	.569 (**)	.514 (**)	1							
Q7	.311 (**)	.284 (**)	.147 (**)	.105 (*)	.396 (**)	.409 (**)	.549 (**)	1						
Q8	.472 (**)	.491 (**)	.341 (**)	.096	.614 (**)	.684 (**)	.580 (**)	.558 (**)	1					
Q9	.382 (**)	.475 (**)	.354 (**)	.075	.564 (**)	.664 (**)	.536 (**)	.448 (**)	.701 (**)	1				
Q9-2														
Q10	.448 (**)	.527 (**)	.401 (**)	.123 (*)	.596 (**)	.674 (**)	.524 (**)	.490 (**)	.746 (**)	.783 (**)	1			
Q10-2														
Q11	.504 (**)	.489 (**)	.387 (**)	.054	.569 (**)	.635 (**)	.468 (**)	.437 (**)	.666 (**)	.587 (**)	.669 (**)	1		
Q12	.456 (**)	.534 (**)	.443 (**)	.054	.526 (**)	.652 (**)	.445 (**)	.397 (**)	.586 (**)	.640 (**)	.672 (**)	.792 (**)	1	
Q13	.447 (**)	.507 (**)	.384 (**)	.083	.559 (**)	.698 (**)	.516 (**)	.462 (**)	.727 (**)	.729 (**)	.771 (**)	.775 (**)	.766 (**)	1
Q14														

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。





## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 教職課程  
形態名 講義

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.71	1.062	3.90	0.376	3.83	0.838	3.97	0.318	3.97	0.849	4.06	0.313
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.71	1.030	3.78	0.293	3.75	1.120	3.97	0.431	3.70	0.997	3.90	0.393	4.07	0.833	4.15	0.231	4.09	0.808	4.17	0.265
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.86	1.034	3.97	0.399	4.00	0.922	4.04	0.217
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.37	1.056	2.43	0.471	2.15	0.983	2.16	0.326
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.88	0.907	4.01	0.379	4.08	0.770	4.14	0.258
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.84	1.019	4.11	0.520	3.96	0.919	4.09	0.376
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.68	1.122	3.85	0.613	3.99	0.881	4.04	0.435
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.04	1.458	3.04	1.041	3.79	1.208	3.60	0.863
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.03	1.033	4.19	0.555	4.02	1.100	4.29	0.579	4.05	1.068	4.32	0.511	3.74	1.005	3.99	0.519	4.01	0.895	4.11	0.391
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.84	0.980	4.03	0.421	4.05	0.854	4.12	0.378
	(10)	この授業の水準に満足している	3.98	0.906	4.08	0.393	3.98	1.018	4.22	0.527	4.02	0.979	4.27	0.489	3.82	0.890	4.03	0.451	4.07	0.775	4.15	0.356
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.04	0.964	4.15	0.400	4.05	1.028	4.29	0.468	4.12	0.953	4.37	0.440	4.02	0.904	4.21	0.374	4.16	0.771	4.26	0.336
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.97	0.891	4.16	0.371	4.07	0.797	4.15	0.303
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.04	0.956	4.18	0.491	4.06	1.042	4.30	0.524	4.07	1.008	4.33	0.503	3.79	0.971	4.02	0.498	4.04	0.864	4.13	0.362	

部門名 教職課程  
形態名 演習

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差	学生回答単体集計平均	学生回答単体集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
「全員」回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	3.89	1.050	3.97	0.321	4.07	0.774	4.08	0.281	3.98	0.854	4.05	0.316
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.17	0.916	4.23	0.287	4.17	0.988	4.18	0.276	4.05	0.885	4.10	0.310	4.27	0.679	4.29	0.254	4.15	0.824	4.24	0.304
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.99	0.912	3.99	0.378	3.93	0.935	4.02	0.354
	(3-2)	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)、1週間あたり平均で 5:45 時間以上 4:3 時間以上4.5 時間未満 3:2 時間以上3 時間未満 2:90 分以上2 時間未満 1:90 分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.40	1.172	2.47	0.621	2.24	1.101	2.23	0.531
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.21	0.732	4.21	0.273	4.04	0.833	4.10	0.336
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.731	4.22	0.323	3.99	0.873	4.06	0.410
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	0.945	4.05	0.444	4.06	0.868	4.14	0.387
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.65	1.225	3.67	0.730	3.89	1.080	3.90	0.666
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.37	0.867	4.46	0.328	4.50	0.776	4.47	0.241	4.34	0.847	4.37	0.336	4.21	0.778	4.18	0.326	4.03	0.879	4.11	0.443
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.24	0.703	4.23	0.260	4.04	0.816	4.10	0.365
	(10)	この授業の水準に満足している	4.35	0.840	4.41	0.276	4.43	0.759	4.41	0.214	4.25	0.838	4.29	0.318	4.23	0.690	4.23	0.266	4.06	0.799	4.11	0.333
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.34	0.854	4.39	0.306	4.40	0.844	4.39	0.275	4.33	0.869	4.35	0.303	4.26	0.750	4.23	0.392	4.08	0.848	4.15	0.359
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.28	0.700	4.26	0.315	4.03	0.850	4.11	0.331
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.35	0.847	4.44	0.344	4.45	0.790	4.42	0.241	4.34	0.827	4.36	0.320	4.25	0.774	4.24	0.281	4.03	0.881	4.11	0.408	

## Ⅺ 学芸員課程委員会

### ① アンケート結果に基づく評価

2021年度は、コロナ禍の影響が2020年度に比べれば軽減したものの、講義科目はオンラインが基本であり、演習科目（学芸員実習）では、定員の関係で2つの実習室に分かれての実施となるなどの問題があった。アンケートも2020年度には行えなかった演習科目でも実施できたが回答率は低かった。結果として、2019年度以前と同様の分析を行うのは難しく、限定を付けた上での評価となる。

### 講義科目

アンケートの回答率が、講義科目では常に80%を越えていた回答率が41.98%と、前年度の35.87%からはやや回復したものの、数字そのもの有意とする。また演習科目については、前年度のデータがなく、前年度における質問項目の変化と合わせて、今年度も結果の有意性については留保せざるを得ない。

たとえば、質問（2）「授業への意欲的な取り組み」が、例年ほぼ3.8～3.9であるのが2020年度で4.06と2021年度（以下年度の注記を略す）で4.02（回答者ベース・以下同）と高い値を示しているのは、アンケートに回答したのが意欲的な学生であったことを示す可能性がある。

そのような前提の上で、値が変動しているものについては、オンライン授業の影響とそれへの対応が反映していると考えられる。たとえば、（7）「履修者同士の意見交換の機会」は、2.31から3.06へと改善されており、教員による対応が行われてはいるが、いまだに低い値となっている一方、（6）「教員への質問の機会」の提供は、比較的改善が容易で、チャットの利用などで従来なかった方法を用いることもでき、3.28から3.97への大きな変化には、教員の対応が功を奏したと考えられる。いずれも講義科目でのインタラクティブィティの確保に関わる問題である。

（5）「配付された教材」についての評価が4.05、4.19と高いのは、従来のコピーによるペーパーベースの資料に対してカラーのPDFで配付され、とくに美術系の教材において、相対的に良質の画像を授業の後も参照できるようになったのが一因と考えられる。逆に（8）「学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた」は、2019年度までは4.25～4.35と高い値を示していたが、3.90から4.16へと改善したものの、オンラインのミーティングソフトとプレゼンテーション用ソフト、またオンデマンドの動画などで授業形態が一面化した影響があると思われる。

このような状態のなかでも、（11）「知的好奇心の刺激と新しいものの見方の獲得」が4.17から4.23、（12）「知識や能力の向上」が4.12から4.18、（13）「総合的に高く評

価できる」が 3.92 から 4.13 となるなど、全体的な評価が相対的に高かったことは、教員の努力が学生に通じたものと思われる。

#### 演習科目

演習科目（学芸員実習）については、2020 年度にオンラインによるアンケートへの対応ができなかったため、前年度との比較はできない。回答率も 66.67%で、講義科目よりは高いものの、従来の 90%程度から見れば低く、全体的な傾向を見るには不十分をいわざるを得ない。

ほぼ 4.7 台を維持していた（10）授業の満足度が、4.33 へ、4.8 程度だった（12）総合評価が 4.5 へと低下したのは、学芸員実習で重要な部分を占める、美術作品や歴史資料などの扱い・調査・展示などのモノとの接触が、コロナ禍によってやや不自由なものとなったことに加えて、人数制限の関係で実習室を二つに分けて行った。ここが阻害されたことが、オンライン授業の併用以上に影響したものと思われる。この条件下での結果としては、人数の調整など感染対策を工夫しながらの実施で、満足度を維持できたと評価したい。

#### ② 授業への取り組み例

学芸員課程の開設科目は、学芸員資格取得を希望する学生が自主的に履修するものであるが、館園実習（博物館・美術館等での実習）に至る 4 年間の履修の流れは体系化されている。これを学生に周知するため、本課程専用のガイドを作成し、課程全体について、また館園実習については、二度のガイダンスを設定しているが、2020 年度はオンデマンドで実施となり、周知度・理解度が若干低下したことが、その後の書類提出の状況などから推定された。2021 年度も、4 月はオンデマンドで行ったが内容を工夫し、11 月はオンライン同時配信で説明を重ねることによって改善した。

オンデマンド・同時配信の授業については、前年の経験をもとに、おおむね順調に行えるようになった。演習科目（学芸員実習）についても、実習室の広さを勘案してクラスを二分割して、オンデマンドと対面を交代制で行ったり、同時に 2 部屋を使用して、Zoom でコミュニケーションを取りつつ教員が往復して指導するなど、内容に応じたフレキシブルな対応を行った。館園実習については、受入を中止する館や、実習時間を短縮して文科省ガイドラインの 30 時間を下回る館が増え、本学史料館の受け入れ人数を増やして対応したことを特記しておきたい。

なお、アンケート結果が示した講義科目でのインタラクティブィティの向上を含めて、より効果的な LMS やオンラインミーティングシステムの活用を追求する必要がある。学芸員課程の教育内容も、美術作品の扱いや植物の飼育など対象との物理的な接触から、VR などデジタル技術を駆使した展示まで幅を広げつつある。これに対応するため、教材を整備し教授法を研究しつつ魅力ある授業運営に努めていきたい。



# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

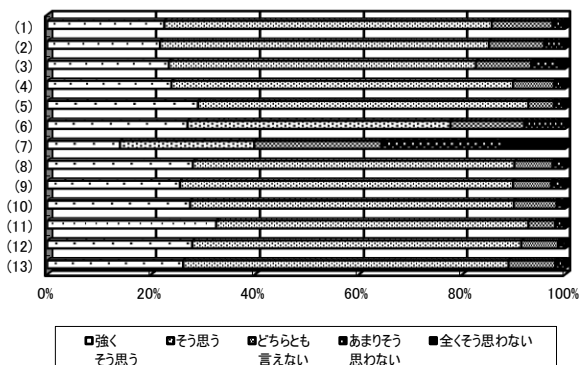
部門名 学芸員

	合計	総履修者数	回答率
回答数	364	867	41.98%

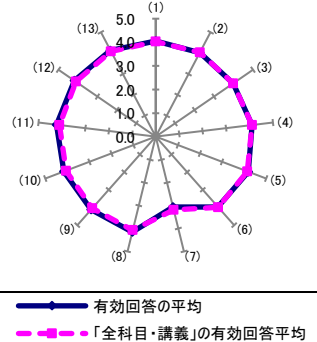
形態名 講義

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース						計	科目ベース				
			5	4	3	2	1	無回答		計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない							
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	82	230	43	8	1	0	364	4.05	0.674	4.09	0.235	
			22.53%	63.19%	11.81%	2.20%	0.27%	0.00%	100.00%					
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	79	231	39	14	1	0	364	4.02	0.710	4.05	0.165	
			21.70%	63.46%	10.71%	3.85%	0.27%	0.00%	100.00%					
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	85	215	39	20	4	1	364	3.98	0.814	4.01	0.239	
			23.35%	59.07%	10.71%	5.49%	1.10%	0.27%	100.00%					
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含ませて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	0	15	44	104	82	94	339	1.97	0.872	2.01	0.384	
			0.00%	4.42%	12.98%	30.68%	24.19%	27.73%	100.00%					
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	87	240	29	6	2	0	364	4.11	0.651	4.13	0.179	
			23.90%	65.93%	7.97%	1.65%	0.55%	0.00%	100.00%					
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	105	231	18	7	1	2	364	4.19	0.637	4.23	0.226	
			28.85%	63.46%	4.95%	1.92%	0.27%	0.55%	100.00%					
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	98	184	52	29	0	1	364	3.97	0.857	4.03	0.428	
			26.92%	50.55%	14.29%	7.97%	0.00%	0.27%	100.00%					
(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	51	94	89	86	44	0	364	3.06	1.241	3.22	0.757		
		14.01%	25.82%	24.45%	23.63%	12.09%	0.00%	100.00%						
(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	102	226	27	9	0	0	364	4.16	0.656	4.22	0.229		
		28.02%	62.09%	7.42%	2.47%	0.00%	0.00%	100.00%						
(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	93	234	27	9	1	0	364	4.12	0.663	4.16	0.204		
		25.55%	64.29%	7.42%	2.47%	0.27%	0.00%	100.00%						
(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	5	5	-	-	-	0	10	-	-	-	-		
		50.00%	50.00%	-	-	-	0.00%	100.00%						
(10)	この授業の水準に満足している	99	225	30	5	1	4	364	4.16	0.645	4.20	0.173		
		27.20%	61.81%	8.24%	1.37%	0.27%	1.10%	100.00%						
(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	3	2	-	-	-	1	6	-	-	-	-		
		50.00%	33.33%	-	-	-	16.67%	100.00%						
(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	118	219	19	6	1	1	364	4.23	0.645	4.29	0.212		
		32.42%	60.16%	5.22%	1.65%	0.27%	0.27%	100.00%						
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	101	230	26	5	0	2	364	4.18	0.612	4.22	0.177		
		27.75%	63.19%	7.14%	1.37%	0.00%	0.55%	100.00%						
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	95	228	33	7	0	1	364	4.13	0.643	4.19	0.231		
		26.10%	62.64%	9.07%	1.92%	0.00%	0.27%	100.00%						
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	267	64	24	8	-	1	364	-	-	-	-		
		73.35%	17.58%	6.59%	2.20%	-	0.27%	100.00%						

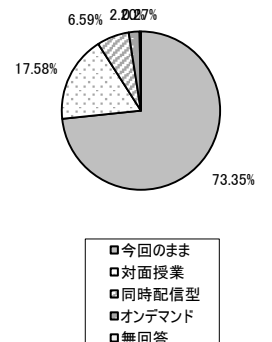
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合





# 学習院大学 令和3(2021)年度 授業アンケート 集計結果

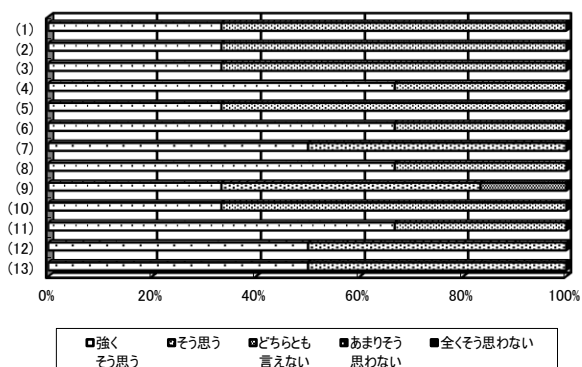
部門名 学芸員

	合計	総履修者数	回答率
回答数	6	9	66.67%

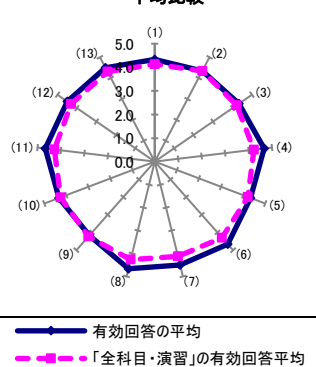
形態名 演習

回答対象	番号	質問内容	回答者ベース					無回答	計	科目ベース			
			5	4	3	2	1			学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別形態別平均	部門別形態別標準偏差
			強く そう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	2	4	0	0	0	0	6	4.33	0.516	4.33	-
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ (事前の準備や復習等を含む)	2	4	0	0	0	0	6	4.33	0.516	4.33	-
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	2	4	0	0	0	0	6	4.33	0.516	4.33	-
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5: 4.5 時間以上 4: 3 時間以上4.5 時間未満 3: 2 時間以上3 時間未満 2: 90 分以上2 時間未満 1: 90 分未満	0	0	0	3	1	2	6	1.75	0.500	1.75	-
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	4	2	0	0	0	0	6	4.67	0.516	4.67	-
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	2	4	0	0	0	0	6	4.33	0.516	4.33	-
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	4	2	0	0	0	0	6	4.67	0.516	4.67	-
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	3	3	0	0	0	0	6	4.50	0.548	4.50	-
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4	2	0	0	0	0	6	4.67	0.516	4.67	-
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	2	3	1	0	0	0	6	4.17	0.753	4.17	-
	(9)-2	授業のボリュームについて、どのように感じましたか 5: 多い 4: 少ない	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-
	(10)	この授業の水準に満足している	2	4	0	0	0	0	6	4.33	0.516	4.33	-
	(10)-2	授業の水準について、どのように感じましたか 5: 高すぎる 4: 低すぎる	0	0	-	-	-	0	0	-	-	-	-
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4	2	0	0	0	0	6	4.67	0.516	4.67	-
(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	3	3	0	0	0	0	6	4.50	0.548	4.50	-	
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	3	3	0	0	0	0	6	4.50	0.548	4.50	-	
(14)	この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか 5: 今回のままでよい 4: 対面授業の回数を増やしてほしい 3: 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい 2: オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	6	0	0	0	-	0	6	-	-	-	-	

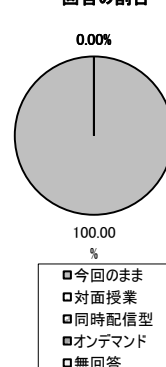
「全員回答(1~13)」における有効回答の割合



「全員回答(1~13)」の有効回答における平均比較



「授業実施方法(14)」における回答の割合



相関係数表

部門名 学芸員  
形態名 講義

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.510 (**)	1												
Q3	.293 (**)	.593 (**)	1											
Q3-2	.082	.168 (**)	.284 (**)	1										
Q4	.325 (**)	.400 (**)	.337 (**)	.131 (*)	1									
Q5	.318 (**)	.352 (**)	.339 (**)	.149 (*)	.494 (**)	1								
Q6	.257 (**)	.302 (**)	.261 (**)	.098	.393 (**)	.410 (**)	1							
Q7	.273 (**)	.305 (**)	.201 (**)	.138 (*)	.268 (**)	.246 (**)	.532 (**)	1						
Q8	.404 (**)	.406 (**)	.217 (**)	.061	.425 (**)	.624 (**)	.452 (**)	.408 (**)	1					
Q9	.324 (**)	.374 (**)	.302 (**)	.094	.473 (**)	.581 (**)	.435 (**)	.326 (**)	.602 (**)	1				
Q10	.388 (**)	.417 (**)	.277 (**)	.109	.536 (**)	.647 (**)	.448 (**)	.340 (**)	.696 (**)	.726 (**)	1			
Q11	.504 (**)	.454 (**)	.256 (**)	.104	.321 (**)	.452 (**)	.308 (**)	.341 (**)	.560 (**)	.507 (**)	.584 (**)	1		
Q12	.499 (**)	.508 (**)	.374 (**)	.160 (*)	.422 (**)	.547 (**)	.444 (**)	.339 (**)	.556 (**)	.605 (**)	.675 (**)	.695 (**)	1	
Q13	.403 (**)	.507 (**)	.368 (**)	.110	.560 (**)	.616 (**)	.487 (**)	.408 (**)	.690 (**)	.654 (**)	.793 (**)	.645 (**)	.712 (**)	1

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。

相関係数表

部門名 学芸員  
形態名 演習

	Q1	Q2	Q3	Q3-2	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9	Q10	Q11	Q12	Q13
Q1	1													
Q2	.250	1												
Q3	.250	1.000 (**)	1											
Q3-2	.577	.333	.333	1										
Q4	.500	.500	.500	1.000 (**)	1									
Q5	.250	1.000 (**)	1.000 (**)	.333	.500	1								
Q6	.500	.500	.500	1.000 (**)	1.000 (**)	.500	1							
Q7	.000	.707	.707	.577	.707	.707	.707	1						
Q8	.500	.500	.500	1.000 (**)	1.000 (**)	.500	1.000 (**)	.707	1					
Q9	.343	-.172	-.172	.577	.172	-.172	.172	.243	.172	1				
Q9-2														
Q10	.250	.250	.250	.577	.500	.250	.500	.707	.500	.857 (*)	1			
Q10-2														
Q11	.500	.500	.500	1.000 (**)	1.000 (**)	.500	1.000 (**)	.707	1.000 (**)	.172	.500	1		
Q12	.000	.707	.707	.577	.707	.707	.707	1.000 (**)	.707	.243	.707	.707	1	
Q13	.707	.000	.000	1.000 (**)	.707	.000	.707	.333	.707	.728	.707	.707	.333	1
Q14														

\*\* 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

\* 相関係数は5%水準で有意(両側)です。



## 学習院大学 令和3(2021)年度 授業評価アンケート 経年変化比較表

部門名 学芸員  
形態名 講義

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.822	4.11	0.226	3.99	0.757	4.03	0.210	4.05	0.674	4.09	0.235
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	3.78	0.931	3.85	0.346	3.80	0.966	3.86	0.289	3.80	0.924	3.87	0.305	4.06	0.841	4.08	0.290	4.02	0.710	4.05	0.165
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.08	0.862	4.01	0.347	3.98	0.814	4.01	0.239
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.5時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.30	1.109	2.06	0.617	1.97	0.872	2.01	0.384
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.80	0.941	3.97	0.514	4.11	0.651	4.13	0.179
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.05	0.833	4.18	0.376	4.19	0.637	4.23	0.226
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.28	1.263	3.51	0.741	3.97	0.857	4.03	0.428
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.31	1.237	2.51	0.953	3.06	1.241	3.22	0.757
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.34	0.749	4.37	0.185	4.40	0.755	4.44	0.225	4.35	0.724	4.40	0.197	3.90	0.886	4.06	0.403	4.16	0.656	4.22	0.229
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.94	0.873	4.08	0.361	4.12	0.663	4.16	0.204
	(10)	この授業の水準に満足している	4.25	0.760	4.24	0.181	4.30	0.742	4.33	0.191	4.27	0.717	4.32	0.184	3.94	0.844	4.08	0.369	4.16	0.645	4.20	0.173
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.31	0.847	4.38	0.257	4.45	0.736	4.50	0.196	4.45	0.706	4.51	0.208	4.17	0.746	4.26	0.358	4.23	0.645	4.29	0.212
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.12	0.783	4.23	0.333	4.18	0.612	4.22	0.177
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.34	0.750	4.38	0.218	4.39	0.719	4.44	0.227	4.38	0.713	4.44	0.222	3.92	0.919	4.08	0.440	4.13	0.643	4.19	0.231	

部門名 学芸員  
形態名 演習

			2017年度				2018年度				2019年度				2020年度				2021年度			
			回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース		回答者ベース		科目ベース	
回答対象	番号	質問内容	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差	学生回答 単統集計 平均	学生回答 単統集計 標準偏差	部門別 形態別 平均	部門別 形態別 標準偏差
「全員」 回答	(1)	私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた	-	-	-	-	-	-	-	-	4.49	0.643	4.49	0.242	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-
	(2)	私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)	4.23	0.710	4.27	0.348	4.46	0.631	4.46	0.224	4.50	0.628	4.52	0.277	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-
	(3)	私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-
	(3)-2	私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を含めて)は、1週間あたり平均で 5:4.5時間以上 4:3時間以上4.5時間未満 3:2時間以上3時間未満 2:90分以上2時間未満 1:90分未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	1.75	0.500	1.75	-
	(4)	授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.67	0.516	4.67	-
	(5)	この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-
	(6)	この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.67	0.516	4.67	-
	(7)	この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.50	0.548	4.50	-
	(8)	教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた	4.73	0.536	4.74	0.309	4.93	0.302	4.93	0.094	4.83	0.379	4.84	0.219	0.00	0.000	0.00	0.000	4.67	0.516	4.67	-
	(9)	この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.17	0.753	4.17	-
	(10)	この授業の水準に満足している	4.55	0.697	4.54	0.389	4.75	0.462	4.76	0.170	4.76	0.458	4.78	0.243	0.00	0.000	0.00	0.000	4.33	0.516	4.33	-
	(11)	この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした	4.71	0.517	4.71	0.159	4.86	0.352	4.87	0.102	4.80	0.462	4.81	0.201	0.00	0.000	0.00	0.000	4.67	0.516	4.67	-
	(12)	この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	0.000	0.00	0.000	4.50	0.548	4.50	-
(13)	総合的に見てこの授業は高く評価できる	4.73	0.536	4.73	0.179	4.88	0.326	4.89	0.117	4.80	0.437	4.81	0.242	0.00	0.000	0.00	0.000	4.50	0.548	4.50	-	

## 第4章

### 授業への取り組み例



# I 法学部

## 法学部演習科目全体

法学部では、積極的な学生の発言や、学生・教員間、学生間のコミュニケーションが肝要となる演習科目を念頭に、臨時の委員を配置し、法学部の管理する演習室にハイブリッド環境を整備し、希望する教員が使えるようにした。とりわけ、対面参加を希望する学生が多くいることが想定される一方で、デルタ株の流行やワクチン接種の遅れ、濃厚接触者となる相当の可能性といった事情もあり、遠隔参加を希望する又は遠隔参加せざるを得ない学生も相当数出てくることが予想され、遠隔参加学生にも対面参加者と同等の演習参加環境を提供する必要性が強く意識された。既に令和2年度の段階で、教員の自主努力により演習用のハイブリッド環境を整備していたが、その経験をもとにした改善すべき事項として、ハイブリッド機器設置の手間の省力化、遠隔参加者と共有しやすい板書のための装置・高性能のマイク・スピーカーの必要性が意識された。

そこで、令和3年度には法学部の管理する演習室においてPC機能・カメラ機能・スピーカー機能を備えたスマートボードと大型のモニターを導入した（なお、法学部管理の当該演習室にはプロジェクターや操作卓が設置されておらず新規の設置は費用・時間の面から得策ではなかった）。これにより、授業前後の教員による機器設置の手間がほぼなくなった。また、教員や学生がデジタルホワイトボードに書き込み、それをzoomで画面共有するだけで対面参加者・遠隔参加者双方に臨場感のある板書を提供することが可能となった。令和2年度には教員が私物のタブレットを持ち込んで手元でzoom上の板書を行ったり、学生が板書をしたい場合には、ハードのホワイトボードに板書をしてそれを別のカメラで映写したりするなどの方法をとっていたが、その手間がなくなった。

なお、対面参加学生全員がPCを持ち込むのであれば、各自のPCを介して板書すること自体は可能だが、学生の多くはPCを持ち込んでおらず、またそのような方法では対面参加の臨場感も得られないことが予想されたためスマートボードを導入することにした。また、教務課に準備していただいた一部の演習教室ではプロジェクターもWifi環境もなく有線接続のmeeting owlのみで対応する必要があったが、それだと対面参加学生が遠隔参加者の顔を見ることができず学生同士のコミュニケーションの機会確保の面で足りない面があった。スマートボードやモニターの設置によりその点も改善された。

運用開始後、教員にアンケートをとった結果、利用教員からの評価はよかった。よい点として、機器の設置が極めて容易であること、遠隔参加学生の顔を対面参加学生がみられること、スマートボードでの板書機能が挙げられた。このことから、当初想定された教員のニーズにこたえることができたと思われる。その一方で、利用しなかった教員が挙げる利用しなかった理由としては、学生が全員対面参加したことやそもそも遠隔授業しかなかった

ことが挙げられ、ハイブリッド授業の必要性がなかった場合がほとんどであった。

#### 授業アンケートの結果を受けた改善・2021年度に新たに行った工夫事例

1. 「授業の水準」について「高すぎる」という回答が100%であったが、同時に授業について「知的好奇心が刺激された」「自らの能力が向上したと感じる」「総合的に高く評価できる」とする回答も100%であったため、授業の難易度と評価とは乖離しないものと思われた。授業の水準について何らかの対応を要求されるが、端的に下げることが適切ではないと考え、テキストをより解説の充実したものとして自学の機会を増やし、またレジユメの共有を講義当日より前にすることで予習が可能となるようにした。(公共哲学演習)
2. コロナ禍のため遠隔授業が原則となったことを契機として、例年の授業に用いていたパワーポイントに音声をつけてオンデマンド教材とし(60分)、それを事前に学生に学習させた上で、同時配信によりその内容への質問と、教材の中で課した課題をディスカッションする(30分)という一種の反転授業を実施した。ただし、音声付きパワーポイント教材は、本学の学習管理システムが許容する容量を超過してしまうため、教員の私費により外部ストレージを契約して学生に提供した。(特殊講義(商取引法))

## II 経済学部

### I. 遠隔授業や対面授業、ハイブリッド授業で実施した授業方法（資料配布方法も含む）

#### 【科目ごとの事例】

- 日本経済史： 原則対面、補助的にZOOMで同時配信
- 経済学特殊講義(イノベーションと企業の歴史)： 原則対面、補助的にZOOMで同時配信
- 演習(3年生)： 対面(学生の個別事情によりZOOM参加も可)
- 入門演習： 対面(学生の個別事情によりZOOM参加も可)
- 日本経済史(上級Ⅰ)： オンデマンド、manaba上でレポート提出と添削
- 国際経済学： 2020年度までに引き続き、manabaにて資料を提供しつつ、講義スライドに音声を入力し別撮りした動画と合わせ、動画編集ソフトで編集したものをYouTubeにて限定公開する、オンデマンド式で実施している。比較的人数が多い講義に関しては、このような方法をとった。
- 統計学入門Ⅰ・Ⅱ： 遠隔授業では、Webclass で講義ノートを配布した。課題もwebclass で出題した。
- マクロ経済学、日本経済論Ⅱ： 2020・2021年度ともに遠隔授業
- 経済学特殊講義(コロナ危機と日本経済)： 一部オンラインを含む対面授業
- マクロ経済学(上級Ⅱ)： オンライン授業
- キャリア・デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ： オンデマンド(Webclassを利用した音声ファイルと教材の配布、課題の提出)。Zoomによる同時配信型授業を実施し、Zoomにて資料を共有しながら進行したクラスもある。
- インターンシップと仕事経験： オンライン(zoomを利用したオンライン授業、Webclassを利用した教材の配布、課題の提出)
- 経済原論： 遠隔授業で行われます。授業中学生はZoomのコメント欄でいつでも質問することができます。各パートの終わりには、Manabaシステムを通じてオンラインテストが実施されます。詳細な回答はテスト終了後学生にお送りします。毎週定期的にオンラインでの質疑応答セッションを設け、質問に答えています。
- 生産システム1・2、経営科学入門1： Zoomにより授業の同時配信。Manabaにより授業資料の配布、授業後1週間の授業動画アーカイブ配信、レポート、小テスト、掲示板による質疑応答。経営科学入門1は、2020年度は対面とオンラインのハイブリッド。
- 経営戦略： 履修者約300人の大教室での講義のため、遠隔で実施した。講義では、毎回の講義資料の配布のほか、補助資料の配布やビデオ動画の配信を行い、最近の事例等の紹介を含めて立体的な情報提供を心がけた。また、遠隔ではあるが、できるだけ学生へ

質問を投げかけオンライン上で議論も行った。講義資料はmanabaにて配布。学生の集中力を高めるため、講義資料では主要なキーワードはブランクにして、授業の中でメモを取らせるようにした。

- 経営学特殊講義（デプスインタビューによる深層心理分析）、演習、入門演習： ハイブリッドだが体調不良者に限定してリモートを実施。グループワーク主体のアクションラーニングを行い、リモート参加者がでた場合、チームがリモート者の映ったPCを囲んで議論を実施。
- マーケティング： 365名履修の完全リモート授業を実施。
- 経営組織論I・II： 2020、2021年度とも、履修者数が300～400人台のため、manabaを活用したオンデマンド型で実施しています。毎回の授業教材として文章のファイルと音声のファイルをmanabaに用意し、それを指定した期日までに受講させ、合わせてmanaba上に用意した小テストを毎回受験させることで、学習を促し、理解度を確認するようにしています。成績は、小テストの結果、教材の閲覧・小テスト受験による出欠確認、期末のまとめ小テストの結果、並びに期末のレポートにより評価しています。
- 産業事情（現代企業論）： 実務家をゲスト講師として招いて多様な業界・企業の概要・就職・仕事・キャリアについてご講義いただき、という内容・形式の授業ですが、2020、2021年度は全て、ZOOM同時配信型で実施しました（毎回ゲスト講師にご来校いただき、会議室からZOOMを通じて同時配信型でご講義いただきました）。同時配信型では、ZOOMへの参加（入退室）情報で出欠を確認し、対面では教室にて配布する出席票で出欠を確認しております。資料配布、期末レポート提出については、同時配信型、対面のいずれにおいても、manabaを利用しています。

#### 【授業の種類・履修者数や特性に合わせた事例】

- 学部演習、大学院演習・授業： 緊急事態宣言の発出期間中など、慎重な感染症対策上が求められる状況下では、ZOOMを利用した同時配信型で実施しました。必要な資料の配布、学生の提出物の受理（輪読のレジメ、ケースディスカッションの回答、プロジェクトのレポート）は全てmanabaを通じて実施し、指定テキストの配布は各学生自宅宛郵送にて実施しました。その後、事態が改善した状況下では、対面授業の割合を増し、特に、ディスカッションやプレゼンテーションなど対面がより望ましい内容の授業の際に、対面で実施しました。ただし、資料の配布、学生の提出物の受理はmanabaを活用し続けました。また、大学院の授業の一つでは海外在住の履修者が入国できなかったため、全ての授業をZOOM同時配信型で実施しました。
- 入門演習、演習（2・3年生）： 基本対面授業だが、学生の事情に合わせてオンラインとのハイブリッド。
- 演習科目： 対面を原則としつつも、事情により対面に来られないZoomとWebカメラ、会

議スピーカーを用いたハイブリッド型で実施している（科目：演習（4年生）・入門演習）。また、演習（4年生）に関しては報告ファイルのやりとり、Zoomアドレスの連絡やファイルの共有を全てSlackで行なっている。受講者の反応も早く、ダイレクトメッセージも送れることから、とても重宝している。

- 多人数講義： オンデマンド方式。PDFの資料はmanabaで配布し、パワーポイントを録画した動画ファイルをgoogle driveで配布している。ともに、ダウンロードしてそれぞれのペースで学ぶように指導している。（2021年度まではこの方式のみ。2022年度はオンデマンド方式に加えて、学期に数回、小テストと復習のセッションを対面で行っている。）
- 少人数講義： 原則として対面で行っている。濃厚接触者になったなどで欠席の学生には、Zoomを通して参加してもらおう。授業で使う資料は、電子ファイルにして欠席者に送るようにしている。
- Webclass, Zoomなど標準的となった手法に加え、google driveでの配布も併用している。
- 授業で紹介した新聞記事のリンクをZOOMのチャットで送付するようにしている。
- 学生同士のコミュニケーションを促すために、SLACKというアプリを利用します。初回の授業でその授業専用のSLACKワークスペースを立ち上げ、履修している学生各自を招待します。そして学期末まで、全員掲示板、グループ分けした後のグループ毎の掲示板、個人間のダイレクトメッセージ、ファイル共有などの授業関連のコミュニケーションがパソコンまたはスマートフォンから可能になります。授業専用のオンラインコミュニティとして運営し、情報発信、情報交換、資料の管理、グループワーク、質疑応答を行います。Zoom, Manaba, G-portなどがサポートしない特定の授業の履修者限定オンラインコミュニティを運営することによってより有意義な学習を提供します。学生の孤立といった問題への対策にもなります。米国上場企業が提供するSLACKというサービスは世界中に数多くの企業や学校に導入されており、無料版でもセキュリティと機能の両面で優れていると思います。

## II. 授業の質の向上のため工夫していること。その結果得られた知見

- 授業の最後に、質問の時間を設けるようにしている。ハイブリッドの授業のため、特にZOOMで視聴している学生の顔が見えづらいので、できるだけコミュニケーションをとるように努めている。
- Zoomでの質問は必ず「皆様宛」とさせることで、学生からの質問の質が格段に向上した
- 授業Zoomを録画して授業後1週間アーカイブ配信することで、授業の内容を復習したいやる気のある学生の学習の助けとなっている
- オンライン授業でもブレイクアウトルームをつかって学生同士のディスカッションの時間を設けることで、学生にとって刺激になっている
- iPadなどで必要な計算過程を書き込みながら進めることで、ハイブリッドでも質を落と

すことなく授業を進めることができる。

- レポートの内容や試験の結果を見る印象としては、対面授業よりもオンライン授業のほうが学生の内容理解が深いのではないかと感じることも多い。
- 学部演習や大学院演習・授業では、学生の発言を促すため、できるだけ学生の発言内容の良い面を評価するように努めています。また、議論が混乱しないよう、議論の枠組みを確認するように促すことに努めています。
- 遠隔授業用の資料作成に大いに時間を費やすことで、対面授業の内容を維持できた。
- 日本経済史および経済学特殊講義(イノベーションと企業の歴史)の授業では、学会の最近の知見を取り入れるなど、学生にとって理解しやすいさまざまな事例を参照することにより、歴史的事実を多様な視点から説明するように留意している。
- オンデマンド教材と対面での小テストの組み合わせ： 基礎ミクロ経済学は履修者が300名を超え、密を避ける状況では全員が同じ教室で学ぶことはできない。そこで、オンデマンド方式で教材を学ぶことにしたが、理解度の確認がオンデマンドではなかなか難しい。そこで、学生を学籍番号で半分に分割し、半数ずつ対面で小テストを受けてもらうことにした。小テスト後、対面で解答を解説することで、つまづきやすい箇所を重点的に説明することができるようになった。また、対面ということで、より気軽に質問できる機会にもなっている。
- 全ての科目で学生の講義内容の振り返りおよび出席管理・理解度の確認を目的として、毎回課題の提出を必須としている。
  - (1) キャリア・デザインⅠ・Ⅱ・Ⅲについては、課題の提出と共に質問がある場合には質問の提出を求めている。翌週の講義の冒頭において、提出された課題の講評ならびに質問に対する解説を行っている。講義内容についてだけでなく、日々の学生生活の中で生じる問題についての質問も多く寄せられている。
  - (2) とくに1年生においては、コロナ禍での生活や他の学生の様子がわからないことに対する不安感が強く、他の受講生からの質問やそれに対する講師のコメントを共有することにより、自身の抱いていた負の感情を共有できることについての安心感や、学生生活に希望を感じることができたといったコメントが多い。
  - (3) 2～3年生においては、本来先輩や友人から提供されるインターンシップや就職、就職活動に関する情報の入手が困難となったが、受講生からの質問ならびに講師のコメントを通して、学生がこの時期にやっておくべきことについての理解や、やっておくべきことがうまくいかない場合の負の感情、ならびにその対策を共有することにより、就職や就職活動に対する理解や心構えだけでなく、感情のコントロール、具体的な行動を促進する効果が得られている。
  - (4) 講師の想像を超える環境の中で生活を送る学生の問題やリアルな感情について、匿名を担保される質問であるからこそ吐露することができ、またそれを、講義を通し

てほぼオンタイムで共有できることの効果について実感している。

- 授業（キャリアデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ）を、講義 + 個人ワーク + グループワーク + 全体発表（共有）というスタイルで参加型の授業設計にて実施したが、授業の中で各人への質問をZoomの投票機能を用いて実施（学生からのリアクション）したことにより、次の知見が得られた。
  - ・ 少人数（4，5名）でのグループディスカッションをする際に、瞬時にグループ分けができることから時間を効率的に使える。
  - ・ Zoomの投票機能を活用することで各人の考え（選択した答え）を全員で瞬時に共有できる。
  - ・ 学生側は授業の進行を気にせずにチャット機能を用いて自由に質問できる。

懸念事項：

- ・ 通信環境への配慮から学生はビデオOFFでの参加としているが、Zoomに入っているだけで実際には受講していないと思われる学生が散見される。
- ・ 遠隔で受講できるが故に電車内など移動しながら受講している学生が散見される。
- 授業（経済原論）の質の向上のため工夫していること、主に次の3点です。
  - (1) 授業準備： 抽象的な理論を理解してもらうために、計算例を積極的に使っています。理論が実際にどのように適用されるかを理解できるように、実証事例が紹介されています。
  - (2) 授業中： 質問しやすい環境づくりに配慮しています。生徒の質問にタイムリーに答え、質問の手段を複数用意することで、生徒はわからないことを積極的に聞くことができます。また、質問を通して、みんなが内容をより理解できるように、授業の難易度やペースを随時調整しています。
  - (3) 授業後： 課題に対するフィードバックや質疑応答により、理解できていない点を洗い出し、タイムリーに学修不安に対する助言指導を行います。
- 授業方法の工夫から得られた効果としては、一定の頻度で学生へ質問を投げかけたことが、双方向のやりとりを可能にし、（一部の学生に限られていたが）学生の参加意欲を高めたことが挙げられる。実際、授業の回を重ねるごとに発言数も多くなってきた。（経営戦略）
- 2020，2021年度、講義ノートを用いてzoomで講義をした。Webclass のチャットで質問コーナーを設けたものの、内容について学生同士で話し合うことが困難であり、遠隔授業の難しさを実感した。（統計学入門Ⅰ・Ⅱ）
- 授業（演習2年）では、主に遠隔授業で「やさしいPython」をテキストとして、Pythonを学んだ。優れたテキストを用いたこともあり、学生は自然にPythonによるプログラミングを身に付けた。プログラミングの学習については、遠隔授業（Zoom）で、各自のPCを用いて学ぶ方法がベストであると言える。
- 授業（演習3年）では、前半、「データサイエンティスト育成講座」を用いて、Pythonに

よるデータ分析を学んだ。後半、signate データ分析コンペティションに参加した。複数の学生が、このコンペティションで好成績をあげた。どちらの内容も、各自のPCで操作しながら学ぶのが適している。プログラミングやPCを用いつ内容は、大学のシステムを用いて学んでも、大学外では変えないという場合がある。その意味で、各自のPCを用いた学習が重要である。

- 毎回小テストを実施することで学習を促すように努めています。また、manaba掲示板に毎回のクラス毎に質問のスレッドを用意し、質問を促すともに、迅速・丁寧な回答を心がけています。（経営組織論I・II）
- 同時配信型で実施した際には、ZOOMのチャット機能を通じて、講義中に質問するよう促しており、またチャットの投稿先を全員ではなくホスト（教員）にすることを認めることで質問しやすい環境を整えたことで、活発な質疑応答が毎回行われました。対面型では、教室でできるだけ質問しやすい雰囲気醸成するように努めております。また、期末レポートはmanabaの「アンケート」にフォームを用意し、毎回の授業直後から期末まで随時入力・加筆・修正できる仕組みを用意し、期末レポートを提出しやすい環境を整えました。（産業事情）
- オンデマンドで実施する以上、対面講義と同じことを実施しても教育効果があまり得られないと考えており、繰り返し見られる動画で講義が提供できることを活かし、字幕やBGM、効果音などを加えつつ、詳しい計算方法などを別ウインドウで表示し、関連するニュースや新聞記事とリンクさせるなど、対面講義でできないことを取り入れ、動画視聴を飽きさせない工夫をしている。（国際経済学）
- 経済学特殊講義（コロナ危機と日本経済）は、2021年度、久々の対面授業ができたので、学生ができるだけ意見が述べられるような設問を授業中に行った。
- ハイブリッド式のグルーワーク&アクションラーニングは参加者の意欲を高め、いつも活発となっている。リモートオンリーの大規模授業（マーケティング）では一方的に講義をしていると飽きるため、講義途中にYouTubeで検索したCMそれもなるべく関心をひきやすいCMを流し、それを用いて講義の補足を行っている。学生の関心は高いようである。また途中で質問を投げかけ、チャットで答えて、もらうなどしており一方的な講義より良いようである。

### III. コロナ禍がほぼ収束して、対面授業への変更が可能となった場合でも、活用できると思われる遠隔授業手法について

- 演習などで、manaba上に関連資料や関連資料にアクセスできるようなリンク先をできるだけ多く掲載し、興味のある学生によりアドバンスな知見を伝えるのは有効であると考えられる。



- LMSを使った練習問題。授業後に解答することで理解度を確認できる。
- 遠隔授業の場合は、コロナ前の授業よりも詳細な資料を作成したので、対面授業となってもそれを使用することができた。
- 対面授業に切り替えた後もSLACKを利用して、学生同士の情報共有を促します。
- 対面授業への変更が可能になって場合でも、Web会議システムやWebサービスなどの授業中にリアルタイムで匿名質問を募集するツールを活用したいと思います。実名で質問することが難しい学生もいることがわかり、匿名での質問を許可したところ、学生の質問意欲が大幅に向上しました。この遠隔授業手法は、対面授業にも非常に有効だと思います。
- Zoomでの同時配信は学生にとって授業への参加形態の柔軟性が高く、授業のアーカイブ配信は学生にとって学習の効果を高めていると思います。また、zoomなどのチャットでの質問機会があることで、学生は対面のときよりも質問がしやすいようで、良い質問が出ているように感じています。ただし、試験に関しては対面に戻ることが絶対に必要だと感じています。オンライン試験では学生同士の見せ合い、馴れ合いをどうしても助長してしまいますので、公平性に欠け、教員にとっても確認のための無駄な時間を割かれます。教員側のストレスも甚大です。オンライン授業が当たり前になったことで、学生がラップトップPCを持ち歩くことが常態化し、授業でできることの幅が広がっているのも事実です。対面に戻っても、学生にはぜひ一人一台、ラップトップを持ち歩くことを習慣にしてほしい。
- 対面であってもZoomを併用するなどして授業の内容を録画し、YouTubeにて限定配信すること。欠席した学生だけでなく、出席した学生の復習にとっても有用である。
- 地方に出張し、リモートで講義が行える場合、その地方を講義に絡めて紹介し、講義を展開できることは学生の関心を高めることになると思われる。
- 事前にオンデマンド型で課題説明をある程度あたえておいて、課題を提出してもらい、その理解を踏まえて教室では詳細解説する形が（それが可能な授業内容のときに限るが）、学生の理解が深まっている感触を得やすかったし、今後も活用したい。学生達は、自分達の提出した課題内容を確認することができ、自分の理解レベルを相対的に把握しやすいし、特にまじめな学生から納得感を得やすいように感じた。
- コロナ禍を経て教員も学生もオンラインで講義を受ける経験をし、必要なハードウェア・ソフトウェアも普及したため、コロナ後も授業の性質や学生のオンライン講義の満足度を考慮しながら、オンデマンドで講義を提供する手法をオプションとして維持すべきだと考える。もちろん、動画や資料を提供して学生とのインタラクションがないことは問題なので、必要な質問の受付や議論は対面やZoom等で行うことは前提条件である。教員の出張、あるいは病気等により対面講義時には休講にせざるを得ない場合でも、オンデマンドであれば講義の提供が出来るため、教育と研究の両立に繋がるという良い面もある。また、Zoom等を用いることにより、遠隔地や外国にいる人々を容易にゲ

スト講師に招聘できるようになったが、コロナ後も引き続きオンラインによるゲスト講師の招聘を認めるべきであると考えます。

- 前期に演習（4年生）を実施したが、事情に応じてZoom参加を認めることにより、就職活動等により対面参加できず、従来であれば欠席となっていた受講者も、オンラインであれば参加できる場合が多かった。結果的にはほぼ毎回全員が出席できている。演習科目に関しては出校し対面参加することの教育効果がより高いと考えているが、今後もハイブリッドでの実施体制を残すことにより、やむない事情により出校できないが、出席意思がある学生に受講手段与えることができるのは、良いことであると考えます。ただし、ハイブリッド型は講義と講義の合間の短い時間で教員が一人で準備と片付けをするのは大変であり、講義時間を削ってしまう場合もあるため、教室での準備・片付けに関して補助人員が提供されると、より効率的な授業運営ができるのではないかと考えている。
- Zoomのブレイクアウトルーム（小部屋でのグループディスカッション）は対面授業になっても使用したい機能である。しかし、各自がPCを持参して対面授業でブレイクアウトルームを使用しようとする恐らくハウリングを起こしてしまうことから対面では活用できず悩ましいところである。
- 内容によっては、遠隔授業による方法が対面授業より優れている場合がある。しかしながら、学生同士のコミュニケーション、特に、初対面の学生同士、学生対教員のコミュニケーションは遠隔授業では制約があり、特に1，2年生の授業の多くは対面にすることが重要である。対面授業を遠隔で受講させることは、例外的措置と考えたほうが良いのではないだろうか。
- 対面授業に移行した場合でも、資料の配布や学生の提出物の受理、小テストの実施などにおいてはmanabaを活用したいと考えております。
- 産業事情など、ゲスト講師を招く場合に、ゲストのご都合によっては（例えば、地方・海外在住のゲスト講師など）同時配信型を活用したいと考えています。実際、2022年度第1学期の産業事情の授業でも、対面授業を原則として実施しておりますが、一回は、地方からZOOM同時配信型でご講義いただきました。

以上

## Ⅲ 文学部

### 【哲学科】

- ・コロナ以前はリアクションペーパーを回収しても、その内容を紹介する時間は授業内であまり設けなかった。遠隔授業で学生同士の意見交換をする機会が減ってしまったので、その機会を補うために授業内で時間をかけてリアクションペーパーの内容を紹介するようにしたら、学生の反応もよくなった。
- ・対面授業では紙媒体で資料を配るので、配布できる資料の量に限りがあったが、WebClass 上であれば、多くの資料を提示することができるのでそれを利用して、資料の提供を充実させている。
- ・Zoom の遠隔授業でも、スライドを学生が読んだり、文章の内容を一緒に考えたり、質問をして答えてもらったりしている。授業後も質問に応じて、なるべく一方通行の授業にはしないように心がけている。

### 【史学科】

コロナ禍への対応として、「遠隔授業から対面授業への復帰」という命題を追求しており、特に演習科目については、全面的に対面〔遠隔とのハイブリッド化を含む〕授業を実現した。

卒業論文に向けて段階的に修練を積んでゆく過程編成を採っていること、卒論執筆に不可欠となる先行研究の蒐集、関連史料の蒐集、という条件を保障するために、2020 年度の早い段階から演習科目の対面化に取り組んでいる。2021 年度には文献調査などのために学内に立ち入るといった条件について、1 年次から 4 年次の全学年について実現した。

講義科目についても、段階的に対面授業・対面試験の実現を推進している。オミクロン株への懸念のために学年末試験対面試験の受験を断念した学生も出たことから、試験回数を増加することによって 1 回の試験欠席で被る影響を軽減することも試行している。学生間のコミュニケーションの希薄化に対する対策として、授業中に学生のコメントを投稿させて参加者に画像〔教室・遠隔〕の形で見せる WEB サービスの利用を試みた教員もあった。

学生の理解度が遠隔授業を原因として低下するわけではなく、学習への集中度が向上する場合も認められるという判断を共有しているが、その一方で、学生相互の交流が希薄化することの悪い影響を懸念している。このため、1 年生の研修旅行や 2 年生以上のゼミ合宿・旅行を再開するなどの形で、学生の交流を深める学科経営を再興することを模索している。

### 【日本語日本文学科】

2021 年度は、演習については、対面授業の導入はまだ少なかったが、オンラインとの併用が進めた場合には、極端に出席率が低い授業が見られた。今年度は、演習は対面という意識が浸透したためか、この点は是正されている。Zoom を使った演習でも、ネット環境さえ

整っている教室であれば、ある程度の水準での授業内容が確保できることは確認してきた。演習の対面授業化はさらに進んでいるが、やはり対面授業でのやり取りでなければ得られない醍醐味といったものは、意図的に演出する努力も求められるかもしれない。演習の履修人数をあえて制限して、少しでも授業への参加の機会を増やす試みも行なうなど、創意工夫を凝らしたい。発表者がたまたま一人の時に、促すまでもなく学生が次々に発言し、目の覚めるような議論のやり取りで盛り上がったことがあり、印象に残っている。

相対的に、講義科目の評価は厳しいものを感じられる。ただ、オンライン授業であっても、チャットやWebClassのタイムラインを活用した質問や意見の交換は、大いに授業を補完し深める場となり得るようだ。すべての学生の書き込みに対して、教員が応答を行なって、それが共有されるような場を作るといった工夫は、学生の授業参加を促す意味合いでも有効かもしれない。資料の配布が紙からネット配信になることで、かなり大量の資料となる場合も生まれるが、学生たちの反応はおおむねよさそうだ。

#### 【英語英米文化学科】

##### 1) 授業の双方向性の確保

遠隔授業において、教員が課題を出すだけでなく、学生に毎回の授業コメントを書かせ、LMSの掲示板に提出させる教員や、やはりLMSに各授業科目の質問コーナーを設け、寄せられた質問に答えるようにしている教員が少なくない。時間はかかるものの、学生との個人的なつながりが強まり、質問と回答は他の学生も見ることができると、学習効果がより深まっていると感じられる。

また、「現代研究コース入門講義Ⅰ」など、Zoomによる同時配信型の授業では、投票機能を使ったアンケートやクイズをおこなうことにより、授業の双方向性を保っている。

##### 2) ルーブリックの使用

授業計画と評価の関連性に透明性をもたせる目的で、「アカデミック・ライティング」と「アカデミック・プレゼンテーション」の授業にルーブリックを継続的に用いている。これらの科目の担当者（専任教員と非常勤講師）は前年度中に、メール上の会議と対面式会議をおこない、全担当教員の合意の上で、それぞれのルーブリックを作成する。各授業科目は、第1回の授業時にルーブリックを学生に提示し、どのようなことが、どこまでできるようになると、どのような評価が得られるかを示す。

##### 3) 反転授業によるアクティブ・ラーニングの試み

学生の意欲的な取り組みを促進する目的で、「反転授業」を用いたアクティブ・ラーニングに取り組む教員もいる。

#### 【ドイツ語圏文化学科】

##### 1) 基礎教育の充実

ドイツ語圏文化学科では、学生が自らの興味に応じて3年次から3つのコース（言語・情

報コース、文学・文化コース、現代地域事情コース)のうちいずれかを選択し、専門の勉強を始める。3つのコースに進む前の段階として、1・2年次は、基礎的なドイツ語力を付けるカリキュラムが組まれている。その中心となるのは、日本人教員が担当する初級・中級文法のクラスが週2コマ(1年生)、3コマ(2年生)、ドイツ語母語話者と日本人の教員がティームティーチングをするコミュニケーション主体のクラスが週3コマ用意されている。これらの授業はいずれも基本的に1クラス25名以下(再履修者がいても30人以下)に押さえられており、きめ細かい指導を行っている。

1年次の第1学期には、令和2(2020)年度から、「アカデミック・スキルズ入門」という科目を新規開講し、口頭発表の仕方、文献検索の仕方、レポート作成といったアカデミック・スキルの指導を行うことで初年次教育を充実させてきた。1年次に、基礎ゼミナールの形で学部4年間に必要な基本的な技能と知識を教授することで、学生の授業に対する総合的な満足度は高まってきていると考えられる。

1年次の第2学期から2年次にかけては、1学期完結の形で「現代地域事情入門ゼミナール」、「言語・情報コース入門ゼミナール」、「文学・文化コース入門ゼミナール」を必修としている。これらは基本的に1クラス25人以下の体制で、「アカデミック・スキルズ入門」で基礎を学習したディスカッション、グループワーク、口頭発表の仕方を実践的に学ぶとともに、ドイツの現代地域事情、言語・情報、文学・文化の基礎的な知識を身に着ける機会となっている。このように1年半にわたって3つ分野の入門ゼミナールを受講することで、文化学、言語学、文学の基礎知識を得ることができ、3年次に専門コースを選択する際に役立つように制度設計している。

## 2) アクティブ・ラーニングの実践

ドイツ語圏文化学科のゼミナールではリアクションペーパーを導入し、学生の学習状況を把握し、質問等にきめ細かく答えられる態勢になっている。また、あらかじめ課題に関するレポートを提出させて授業中はその内容に対する討議を行う「反転学習」や、Zoomのグループセッションやresponのアンケート機能を用いたインタラクティブな授業を実践している。これらの実践により、「履修者同士の意見交換の機会」や「教員への質問の機会」や「意欲的な取り組み」の点において、学生から高い評価を得ることができていると言えるであろう。

また、毎年5月に、1年生と3年生を対象にした文献検索等のガイダンスを大学図書館に依頼し実施している。令和3年(2021)度は新型コロナウイルスの影響で前年に引き続きオンラインとなったが、それぞれの学年で必要な到達目標を勘案し、教員と図書館職員との打ち合わせをした上で実施した。これにより、1年生は基本的な文献の検索、3年生は卒業論文・卒業研究執筆に必要な専門文献を検索し入手する技術が身につくようにしている。

## 3) 卒業論文・卒業研究のきめ細やかな指導体制

卒業論文指導は、3年次の7月に行われる第1回ガイダンスのあと、半年以上の準備期間を経て、4年生の4月から本格的に始まる。令和3年(2021)度、令和4年(2022)度は各

教員とも、オンラインでの指導も取り入れつつ、充実した指導を行っている。

#### 4) コロナ禍における工夫

「現代地域事情入門ゼミナール」は、対面授業を基本としている。しかし、学生同士のディスカッションが主となる授業時には、グループセッションがしやすく感染リスクがないという特性を活かして ZOOM によるオンライン授業を随時取り入れている。また対面で行う授業のなかには、受講生のさまざまな事情を最大限配慮してハイブリッド型の授業運営を行うことを基本としているものもある。受講形態の柔軟化の実践である

#### 【フランス語圏文化学科】

対面授業を拡充していく全体方針のもと、新入生向けの入門演習という授業においては、対人距離に配慮したうえでグループワークを積極的に取り入れた。また、なかなか海外に行くことが困難な状況において学生のモチベーションを維持するため、Zoom を利用したパリのオンラインツアーを行い、好評を得た。

#### 【心理学科】

心理学科では、英語論文の講読を中心とした「心理学演習」、実際に心理学実験を体験し、心理学の研究スキルを習得する「心理学実験演習」、そして専門領域について学ぶ「専門科目ゼミナール」といった科目が設置されており、これらはいずれもディスカッションや実験がその学びの中核となる科目である。しかし、前年度はコロナ禍の影響を受けたために、対面実施が行えずに実体験から学ぶことが難しかった科目も少なくなかった。令和 3 年度においては、感染状況を鑑みつつ、対面での授業実施を試みた科目も増えたため、実際に手を動かし作業することを通じて学ぶ機会を提供できた。また、上述の演習科目と学生の意欲との関連に結びつくことであるが、学生たちにとって対面授業が仲間たちと共に学ぶ機会となっており、グループワークやディスカッションなどへの学生のコミットメントも高かったように思われる。

講義中心の授業では、遠隔形式（オンライン、オンデマンド）であるために、学生からの質疑を扱うなど学生相互の意見交換やコミュニケーションをとる機会が設けにくいという問題が生じやすい。それを補うために、WebClass 等のオンラインツールを用いて質問やコメントを受け、配信授業の中で学生にフィードバックしたり、Zoom 等で直接に教員に対して質疑応答ができる時間を設けたりといった工夫をしている授業も見られた。上記 Q8 の結果に見られるように、教員が学生の理解を深められるような働きかけの工夫が有効であるといえるだろう。

#### 【教育学科】

2021 年度は、教員側の説明や工夫、授業の分量など、平均値を下回る数値もみられた。枝番号は評価数自体が少なく、前年度等と軽々には比較できないが、対面を基本とした授業へ

の転換が進む中で、講義・演習、連携して取り組まれてきた学科行事等を通常に近い形で再開する取組や調整を進めつつ、留意すべき諸項目についても、学科及び各教員による改善に取り組んでいく。このことは、「対面」を希望する数値が比較的高かった本学科学生の期待に応えることにもなると思われる。

① 教育学科では、学科会議において丁寧な報告・意見交換を続け、遠隔による授業とともに、困難な環境下にあつて、学生の学習、研究活動の一層の活性化を促してきた。完全にはないが、2022年度に入り、教育に関する理論的・実践的アプローチの双方を生かす形で、対面型授業の再開と改善、学生の主体的参加を保障する学科行事等の再開など、学科として計画・調整をすすめている。

② 必修科目に位置付ける「教育学理論」・「初等教育学」などの理論的な科目で教育・人間・公教育に関する思想を学び、模擬授業等とあわせて、「自然体験実習」・「社会体験実習」などの実践的科目、学校・教師・子どもにアプローチするフィールド研究などを通して、理論と実践の往還を実感できる内容構成としてきた。2020、21年度は、学科会議等で報告や意見交換を行いつつ、状況に応じた変更を重ねたが、2022年度は、自然体験学習の実施、学科行事としてのオリエンテーション合宿、スポーツ大会など、前年度以上に学生参加の機会を増やす形で実施、あるいは調整を進めている。

③ 教育と現代社会に関する科目、新しい実践の創造に関する科目、表現と体験に関する科目を配置し、学生の興味・関心に即して、個々に学習・研究が深化されていくように配慮し、映像記録やグループ討議、リアクションペーパーを活用した授業等が、積極的に取り組まれてきた。2020年以来、制限の多い環境が続いたが、2022年度に入り、模擬授業や参加体験型アクティビティが教室の内外で活発に取り組まれ、校外でのフィールドワークも実施されるなど、学生の主体的な参加の機会が数多く組み込まれ、旧に復する形での実績を認めることができる。

④ 学生の進路については、小学校等の教員、企業、公務員、そして大学院への進学など、学生の状況を教員間で情報共有しながら、丁寧に対応している。

⑤ 2020、21年度は、遠隔システムを活用し、講義、演習、個々の指導など、柔軟な対応をすすめてきた。2022年度は、前年度以上に、教育学科の特色である、理論的・実践的アプローチの双方を生かした講義、演習、学科行事等の実施を目指し、調整を進めている。

## IV 理学部

### 取り組み例 1

対面で授業を行っているが、授業で使用する資料を事前に WebClass にアップロードし、プリントを紙媒体で配布しないで済むようにしている。重要な部分は空白の枠だけにしておき、授業を聞いて内容を書き込まないと完成しないものになっている。

### 取り組み例 2

理学部の各学科において6月頃に1年生と懇談する機会を設け、学生生活の様子に加え授業の様子や授業に対する要望などを聞いている。その際出た意見や話題を、教員が教授会等で共有し、授業の改善に役立てている。



## V 国際社会科学部

### 事例①

在外研修後の令和3年度（2021年度）は、個人的には、オンライン授業元年であったこと、また、新しい科目 Self-directed Learning I & II, Economics in the World, Advertising and the Media を担当したため、新しい試みばかりであったとも言える。しかし、その中でも、令和元年まで担当していた科目の評価アンケートからシラバスの重要性に注目し、学期初めにシラバスを丁寧に説明し、また、ことあるごと、特に課題に関しては、その狙いと比重を、シラバスを見せ、学生が理解しやすいように工夫をした。また、シラバスにたどり着くにいくつもクリックしなくてはならないことから、簡易版を作成し、Moodle で直接閲覧できるようにして、学生の理解が深まるようにした。オンラインによる授業に集中できる授業環境の配慮は限られてはいたが、画面共有や、ブレイクアウトルームの多用、また、90 分の中で、様々な活動を行うことによって、集中が途切れないようにした。wifi 接続が弱い学生に対しては、課題やスライドが全て、Moodle で確認できるようにし、また、頻繁にアナウンスをクラス全体に送ることで、学生が遅れて行かないように、工夫をした。これは5月末より対面に戻った教室の授業でも引き続き行っている。

### 事例②

以下の質問項目において教育効果を高めるにあたって、2021 年度は遠隔授業を余儀なくされるという制約に直面したが、Zoom による Q&A セッションを設けることによって当該項目の教育効果を高めた。参加率を高めるべく各回の質疑応答に対してボーナスポイントを付与したところ毎回履修者の約5分の1が参加し一定の効果が得られたものと考えてるが、一方で全く参加しない学生もいるため、遠隔授業の限界を感じた。

Q2：私はこの授業に意欲的に取り組んだ（事前の準備や復習等を含む）

Q3：私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

Q6：この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた

Q11：この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

Q12：この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

### 事例③

技術経営論では、Zoom のブレイクアウト機能で、ランダムでのグループ分けをした上で、画面共有機能を使ってグループ討論の結果をパワーポイントにまとめ、クラス全体で発表

してもらおうということをやってみた。また、他学生の意見を画面に順次追加してゆくこともできた。通常、履修登録者が本授業のように200名程度の規模になると、対面授業でのグループ討論は難しいのが現状だが、Zoomだと比較的スムーズに行えるように感じた。ただ、本当にグループで真剣に取り組んでいるのかどうか見えにくい、というのが課題だろう。

#### 事例④

授業評価アンケートでは教員とのやり取りや学生同士の交流を求める声が多かったため、zoomによるリアルタイム授業を増やし、チャット機能も使い質疑応答の機会も増やした。また slack や Moodle で授業資料を事前に共有し質問やコメントの機会を設けた。提出された質問等は全体で共有し、様々なかたちで学生がディスカッションに参加できるように工夫した。またオフィスアワーを例年より長く設定し、学生の質問や相談にのった。今後はハイブリッド授業を積極的に行うことで対面・遠隔両方での授業参加を推奨する予定である。また、講義の様子を録画し学生と共有することで学生自身が事後的に個別学習をする機会を提供し、理解を深める予定である。

#### 事例⑤

「国際開発論」と「アフリカ経済論」の講義でカバーする内容が多すぎる、講義のスピードが速いという評価が例年多いため、以下の工夫を行ってきた。

- ① 授業の最初に行う前回の授業のリアクションシートへのフィードバックの時間を短縮し、一部のコメントは配布資料に書いたり、質問への補足説明は授業時間外で Moodle 上にて共有したりする。
- ② ディスカッション後のディスカッション内容の共有の時間に挙手してくれる受講生が非常に多く、全て当てると時間を取られるため、これまで発表したことがない受講生だけ挙手してもらい彼らに優先的に発言してもらう。
- ③ ①②によって授業の内容について話す時間を増やし、授業中は内容についてゆっくり説明できるように気を付ける。
- ④ 講義で話す内容（スライド数）を減らす。

## VI 計算機センター

- 「初等情報処理1」とその後継科目である「情報リテラシー」は、クラス数が多く、多数の教員により授業を行っている。授業内容や評価のばらつきをなくし標準化するために、共通の標準教材となる動画、資料、および理解度確認のための小テストを作成しLMSで提供した。この授業は、学生間のスキルや知識の差が大きいため、PC操作に慣れていない学生にとっては、授業についていくのが困難である一方で、すでにスキルのある学生には退屈な授業になりがちである。また、授業の進行に影響をあたえることを気にして質問を控え、ますます授業についていけなくなる学生もいる。そのような学生は、動画による標準教材の提供によって、オンデマンド教材として必要に応じて自分のペースで学習することができ、教員は、対面授業になっても反転学習の教材として利用できる。
- オンデマンド中心の授業では、LMSに掲示板を設けてもなかなか積極的な質問がでてこない。そのため、毎回の授業で質問やコメントを提出してもらい、次回の授業では学生からの質問を匿名で配布資料に掲載し、質問に回答することで、学生の疑問や考えを共有するようになった。他の学生の理解度もわかることから、学生からの積極的な質問が増え、オンデマンド授業でも活発な意見交換をすることができた。
- 教材の作成にあたっては、スマートフォンやタブレットPC等の様々な画面の大きさでも閲覧しやすいようにPDF形式のファイルではなく、HTML形式のファイルとしてLMS上に教材を提供した。

## Ⅶ 外国語教育研究センター

外国語教育研究センターでは、令和2年12月に、センターが開講する外国語科目を担当する教員に対して令和2年度の遠隔授業に関するアンケートを実施し、各教員の具体的な取り組みや工夫を「アイデア集」としてセンター独自に取りまとめ下記のように教員間で共有できるようにした。令和3年度については引き続き新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、外国語教育研究センターの多くの授業でこれらと同様の取り組みが行われたが、感染対策を十分にした上で対面での授業も行われた。また、後で述べるようにITの技術を駆使した新しい取り組みも一部の授業で行われた。

### 【オンデマンドによる授業】

- ・毎週教科書に関する課題をLMS 上に出しそれを期限までに提出させた後、学生の解答をいくつか選び、コンピュータ画面上に表示しながら解説を行っているが、その解説を動画でキャプチャーできるソフトを使って録画し、その動画ファイルをGoogle Drive にまずアップロードし、それを共有するためのURL リンクを取得してから、それをLMS 上に載せる。学生から回収した課題をすべて添削し返却する時間的余裕はないので、提出された課題の中から共通して間違っているものを抜き出して、解説するようにしている。学生はその動画を見て、自分の解答を添削することになる。その後、単語テストを非同期で行う。また、シャドーイングなどの練習を行うクラスは、Moodle の録音機能を用いて録音させ、個別に発音指導や評価を行う。録音させた音声はAI によって文字化されるため、学生はその文字を見ながら自分の録音音声を聞き、その活動を振り返る。
- ・オンデマンド形式で、一部の学生が授業解説を一切確認しないで課題だけ提出していることが分かったので、解説を確認しないと課題ができない様に工夫した。
- ・オンデマンド形式で、各自でやった課題について添付ファイルで表示してチャットで質問や意見交換をさせると、学生の発言内容が全て残っているので、対面で机間巡視しながら各グループの様子を見るよりも把握しやすいことがわかったが、タイピングが苦手な学生にはハンデがあった。
- ・オンデマンド形式では、学生がパソコンを開かないと学習が始まらないため、一斉メールを毎週始業時に出したりしたが、学生一人一人の学習目標を立てさせて自律学習者として自覚を促し自らが目標達成するべく学習に取り組むことに成功した者はかなりの力がついたことを実感しているが、自分はそれほど学習するつもりはなく、先生の熱意についていけないと脱落して辞めてしまった者もいて、学生の顔が見えないと教員のやり方に調整がつけにくいことを痛感した。
- ・教科書のビデオ解説動画を配信した。動画作成の際には、学生の集中力を考え、あまり長くなりすぎないように要点を簡潔にわかりやすく、コンパクトに伝えるよう努めた。
- ・教科書で扱ったトピックについて考えたことを英語で書き、それをWebClass の機能を用いてピア・レビューさせた。ルーブリックを用いた評価だけでなく、書かれている英文のよい点や

改善点についてコメント欄にコメントしてもらった。ピア・レビューの当初の目的は、他の人が書いた文章を批判的および分析的に読む練習を積むことで、自分の書いた文章に対する客観的な視点を養い、読者を意識した読みやすい英文が書けるようになることであった。遠隔授業においては、他の学生の取り組みを見ることで孤独感が和らぎ、自分一人で勉強しているのではなく、他の履修者も同じ課題と一緒に頑張っているという安心感につながり、それと同時に、自分のレベルがどのくらいなのかを理解し他の履修者から良い刺激をもらう機会にもなったようだ。

- ・教員が一方的に教科書の内容の解説をするのではなく、学生に各パラグラフの解説を割り当て、掲示板に投稿してもらった。単に全訳をのせるだけでなく、パラグラフの要点、重要な語句や文法事項についても解説をしてもらった。担当でない履修者は、投稿された解説を読み、パラグラフの担当者が挙げているわからない点について答えたり、担当者が勘違いをしている部分や他にも重要と思われる点、気づいた点や提案、質問等を投稿させたりした。この方式は教員が履修者の理解度を図る上でも役立ったし、学生同士の学びや気づきを促す上でも役立ったと思う。学生は教科書の解説を任されることで、一定の責任が生じ、第3者でも分かりやすい解説を書こうと努力をするようになり、より教科書の内容に対する理解が深まったようだ。また、自分の解説を投稿または発表する前にわからない表現や文法事項を丁寧に調べるという習慣も身についたようである。
- ・パワーポイントの資料に音声をつける形でオンデマンド授業を行い、またその週の学習内容をドリルにして毎週掲載しました。ドリル機能を重視して manaba にしたのですが、間違えたところを正解が解るまでトライするなど、全問正解でも期間をおいて繰り返し解く学生も多く、語学学習にはドリル問題が合っていると思いました。
- ・顔を合わせて対面授業を行うことができない状況下において、学生間の繋がりを作りながら、活気のある有意義な授業を行うことを心掛けた。具体的には、WebClass の掲示板を活用し、履修者同士が英語で頻繁に意見や感想などを交換する場を設けた。具体的には、学生が他の履修者の課題内容を読み、感想やコメントを投稿することができる取り組み（課題）を加え、学生のモチベーションの維持を意識した。
- ・課題の提出先として、教員のみに一方向的に提出するのではなく、掲示板に英語で課題内容を投稿するという形式により、履修者が取り組み内容をすべて共有できるようにした。一人で学ぶ中でやる気の低下や不安が生じることがないように配慮した。結果として、学生は毎回の取り組みに対して、ある程度の緊張感を持って取り組んでいる様子が見られた。
- ・テキストを用いた授業に加え、以下のような課題を柔軟に行うことで、履修者が楽しみながら英語を学習できるように心掛けた。

[英作文の課題例 1] 自分が気に入っている製品について広告文を英語で作成する（広告主・会社側の立場に立って、消費者に気に入っている製品を宣伝する）

[英作文の課題例 2] 夏休み期間中の有意義な経験（読書、映画鑑賞、旅行など）を通して認識が変わったことや新たに発見したことに焦点を当て、詳しく英語で説明を行う

[リスニング課題例 1] 関心のあるトピックを選び、オンライン動画ニュースサイト（英語版）を利用して視聴し、内容の要約と各自の見解をまとめる

[リスニング課題例 2] 海外向けの日本を紹介する英語教養番組 Japanology Plus (NHK ワールド JAPAN) を視聴し、内容の要約と感想をまとめる

[リスニング課題例 3] 現在の社会的状況の中で他の履修者と共有したいと思う「英語の歌」について、楽曲の文化的・歴史的背景や歌詞の意味や解説などを含めて解説付きで紹介する

- manaba を利用してオンデマンド型の授業を行いました。ユニット毎にまとめの英作文を「掲示板」に投稿し、ピア・エディティングをするという活動を行ったところ、学生が思いのほか積極的に参加してくれました。ただ、個別の添削がしづらく、フィードバックに時間と手間がかかるのが難点でした。
- I was able to provide my students with a very effective and focused, 4-skill English lessons based on a variety of TED and TED-ED talks using narrated PowerPoint movies. Activities included cloze listening, pronunciation practice, discussion questions and weekly reaction paper writing assignments. In addition, students were required to join the extensive reading website ReadOasis.com and read a minimum of 200,000 words. Prints were made available for download for each lesson.
- Using Moodle, I am able to have students communicate with one another in writing or by leaving recorded messages for one another, summarize their discussions during Zoom breakout meetings, and submit presentation videos if they have been absent. Students can also have online chats in smaller groups than whole-class Zoom chats allow. I also find it useful to have resources on the Moodle site explaining to students how to use various Zoom functions such as screen sharing and collaboration using the Whiteboard.

#### 【Zoomによる授業】

- Zoomで行なった「少人数の」リーディングの授業などでは、テキストを画面に表示して説明を書き込みながら解説し、関連資料・音声・動画なども必要に応じて提示することができ、準備には時間がかかるが通常の対面授業と遜色のない、部分的にはより効果的な授業ができたと感じている。また輪読の際、学生全員が顔を出して発表したことも対面に近い状態で互いの学習意欲を刺激し、よい効果を与えたのではないかと考えている。
- I found it useful to give students materials and activities on WebClass before having a short (30 minutes) Zoom meeting. The WebClass activities included listening practice, vocabulary quizzes, and other focused language practice that prepared them for the Zoom meeting. I sometimes also used the BBS and Wiki functions to brainstorm discussion ideas before meeting on Zoom. I could give feedback on Zoom, too.
- In the Zoom meetings, students usually spent most of the time in breakout rooms, discussing the topics introduced on WebClass, or doing speaking activities from the textbook. I usually changed the breakout rooms once every 5-10 minutes to either repeat an activity with new people, or start a new activity. This also meant that students didn't get stuck with an uncooperative partner for too long (although most students were very cooperative and tried very hard).

- I tried to make sure I visited the breakout rooms to speak to every student every week (I could usually do this, but occasionally I missed one or two students - in that case, I made sure I spoke to them first next week). This way, I avoided long lectures (as most of the input was given on WebClass prior to the Zoom meeting) and maximized the amount of time students could spend speaking, as well as the amount of time I could spend speaking to students one-on-one.
- 毎年中央棟 CALL 教室でパソコンや書画カメラを利用していたので、遠隔 (Zoom オンライン) になっても、授業の構成や質に変化はありませんでした。よかった点は教室だとパソコンの立ち上げに時間がかかりますが、Zoom だとその時間が必要なく、また、遅れて来る学生がいても、オンラインの場合、教員も学生も気が散ることがなかった点です。oral の試験もオンラインで一人一人時間を指定し、待合室に入ってもらって、効率よくできました。普段黒板に書いてもらう練習問題の解答も同様です。チャットや画面共有の方が、物理的に人が動く時間を減らすことができるので、授業時間を有効に利用できました。
- 私の Zoom の授業では、頻繁に発言を促したり、ブレーキングアウトセッションをつくり、3-4 人のグループワークをして問題解決、サマリーライティングを行ったりし、それを manaba に upload して、教員がコメントを返しています。シャドーイングをするときにも小グループに分け、音が正しく拾えているか確認しています。他大学では、power point を使ってプレゼンテーションをし、フロアからの意見交換をしています。以上は、効果的であったと考えております。
- 遠隔授業で初級の場合、自分で音声を聞いて音読を提出させる機会を設けたので対面授業では得られない効果があった。

#### 【Zoom とオンデマンドの併用による授業】

- 私は今年度、第 1 学期はオンデマンドのみ、第 2 学期はオンデマンド+30 分 Zoom (希望者のみ発音練習) としました。オンデマンドでの発音学習は心配していましたが、学生の発音が全体的に良かったのが印象的でした。また第 2 学期は Zoom で発音をチェックするようにしたところ、希望者のみ参加としたので人数は少なかったものの、参加した学生さんの発音レベルはかなり高いものとなっていました。
- Zoom とオンデマンドを併用しました。学生は毎週、オンデマンド教材で 45 分間は自習して、45 分は Zoom 参加するという形です。クラスを半分に分け、1 グループは前半 45 分に Zoom, もう一つのグループは後半 45 分に Zoom としましたので、教員は 90 分間 Zoom で話しています。学生に聞いたところ、Zoom の方がちゃんとできるのでよい、という意見が大半でした。自分では試していないのですが、発音練習については、学生に録音させて提出させるのが効果的と聞きました。テスト問題について、ドイツ語の作文は (機械翻訳を使う人がいるので) ちょっと工夫が必要だと思います。遠隔の場合、遅刻者や欠席者がほとんどなく、その点はメリットだと思いました。
- 授業は WebClass のチャットを通してリアルタイムで行いました。チャットでもリアルタイムはよかったと言う声、そして授業内容がずっと文字で残るので助かるという声もありました。

数回 Zoom も行いましたが、「先生の顔が見られてよかった」という声が複数ありました。オンデマンドであっても教員の顔を見せるのは必要ではないかと思います。

- ドイツ語のテキストを、ネイティブの発音を真似して録音させ、それを 2 週間に 1 回提出させました。学生は何度も自分の録音を聞いて、確認したようです。飛躍的に発音がよくなった学生が複数いました。次年度は、発音のよしあしを評点に反映させるようにしてみようかと思っています。
- 毎週課題を出し、添削をして返却しましたが、学生からは時間を決めて学習を進めることができたと感想をもらっています。時々、Zoom で授業が進められるとよいかと思いました。テキストの内容に関する動画サイトも紹介し、学生からは好評でした。毎回の授業のハンドアウトを作成し、最後に感想・質問コーナーをつけました。時々、学生からテキスト内容に関する感想や、英語の勉強方法に関する質問があり、返答をしました。学生の考えや、課題がわかりました。また、テキスト以外の速読教材を送り、Rapid Reading として時間を計り、内容に関する感想を書いてもらいました。これは、学生が英語を読む時に何が問題であるかよくわかったようです。
- パワポスライド+各ページに音声（他の授業でよく用いられている PDF + 音声別途形式は学習しづらかったとの声）。⇒音声があることで分かりやすく学習しやすかったとの声多数。文法説明に偏らないように冒頭に文化紹介+他の受講者の感想や質問を紹介するページを設けた点も好評（感想などを共有することで、一人で学習しているという孤独感を与えないようにするため）。最後に行ったアンケートによればこの授業形態におおむね満足している学生が多かった様子。
- ブレイクアウトセッション（グループワーク）を活用した Zoom 授業および録画配信は、対面に近い形との声が多かった。（添削の必要がある）課題は出しづらかったが、Zoom のチャット機能で全員が一斉に入力した作文をその場で添削するという方法は効果的だった。
- For LABO class I used online graded readers in the first half of the semester. Students summarised the books in a weekly journal and orally in breakout room pairs. In the second half of the semester, students watched TED talks, which they summarised in their weekly journal and again orally in breakout room pairs. Students mainly kept their cameras off during class - except when I asked them to turn them on at the end to say goodbye. I tried to interact with each of the students in the class each week - with a check-in at the start of the class, and with questions directed to named students during the class. All class instructions, and links to e-readers and TED talks were stored on Moodle.
- Effective methods: I found it useful to use zoom, and WebClass for homework. For Zoom I found it useful to use the main session to explain the speaking activities and the breakout rooms for the students to practice these. During the lesson I would cycle between everyone together in the main session where I would either teach them the language point or feedback as a class to what they had discussed. I also found it useful to use a class Google Docs, which provided the framework for the lesson, and was used as a reference point along with the textbook.



- ・授業で習った英文をよく音読し、それを Moodle 内にある Pood11 というプラグインを用いて録音し、それを課題として提出させた。それを教員が後で聞いて、評点をつけたり、文字や音声でフィードバックをしたりした。音読の他に、モデル音声の後を少し遅れて文字を見ないで復唱していくシャドーイングの課題も与えたが、その録音音声に対して Pood11 の AI が文字化したものがフィードバックとして提示されるため、復唱した音声がどの程度英語話者に理解されるのかを理解するよい目安となった。この授業では英語録音音声の文字化を行ったが、様々な英語のバリエーションの他に、ドイツ語、フランス語、イタリア語や中国語、朝鮮語、アラビア語、ロシア語など、センターが授業を提供している外国語についても対応しているため、今後ますますの活用が期待される。

- ・Zoom で授業を配信する際、コンピュータ (Mac) と手元の iPad をつないでおき、共有画面として教員の PC 画面の他に iPad の画面も共有できるようにした。Zoom の共有画面に表示された iPad の画面上では Explain Everything というアプリを用いて、PDF 書類の中に動画や音声のメディアファイルを埋め込み、PDF 書類を表示しながらそれらのメディア素材を iPad の共有画面の中で必要に応じて再生する方式をとった。特に語学の授業では必要に応じてこうした音声や動画、ブラウザー画面等を瞬時に表示し、再生できるとたいへん便利である。これに加えて、このアプリのよいところは、その画面上に Apple Pencil で直接文字や線を書き込めるところで、通常の教室場面で教員がホワイトボードに書きながら解説するのと同様のことが行える。特にテキストの内容を検討する際には、画面上にテキスト画面が適切なサイズで表示された状態で音声を聞きながらテキストを読むことになるが、教員が検討箇所を色ペンで示しながら画面上に文字や線を書き込み、学生に質問しながら内容を検討していくことが可能である。こうした指導内容を Zoom で配信することになるが、クラウド上にその動画を録画しておき、後で LMS 上にその録画先のリンクを掲載し、授業後でもその内容が再度見られるようにした。Explain Everything のアプリでも、画面上で行うこうした解説は音声付きのまま録画可能ではあるが、できあがる動画の解像度が低くあまり鮮明ではないため、Zoom の録画機能を使用する方が現実的であった。なお、この方式ではコンピュータが Mac でなければならないが、Windows PC の場合には、iPad の代わりに Wacom One という液晶タブレットを接続し、その上で上記のアプリを利用すれば、同様のことが可能である。

# VIII スポーツ・健康科学センター

## 【スポーツ・健康科学 I・II】

・「教員への質問の機会は、不足なく設けられていた」に「そう思わない」と回答する履修者が一定数いたため、3回に1回の遠隔授業では、実技で感じた疑問・質問から教材を作成したり、zoom 授業でその質問に回答するような時間を設けた。

・「この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた」のポイントが低かったため、実技においてペアやチームで練習したり、戦術を考えたりするようなグループワークをより多く取り入れた。また、3回に1回の遠隔授業でも積極的に zoom 授業を取り入れ、学生同士で振り返りを行うような授業を展開するようにした。

(例) バスケットボール

- ✓ 対面授業時に録画したシュートフォームについて、ランダムにブレイクアウトルームに分かれ、グループで分析し、改善点を考えた。
- ✓ 対面授業時に録画したゲームについて、チームでブレイクアウトルームに分かれ、ゲームの分析を実施し、良かったこと・できなかったこと・次のゲームに向けての3点について話し合った。また、その内容を Google スプレッドシート (参考資料1) に記入していくことで、教員も他のチームの学生もリアルタイムで振り返りを確認することができ、双方向のコミュニケーションを図る機会を創出した。

### ※参考資料1

	オフェンス			ディフェンス		
	Good	Bad	Next	Good	Bad	Next
チーム版	皆、ボールを運べていた。	ボールを持った時上がるのが悪い	バスの時の声かけをしていく	リバウンドを取れていた	連続された時の戻りが早い	ボールを取られた後の走り出しを早くする
	積極的にシュートできていた	シュート距離でのミスが多かった	タイムを適宜確認していく	パスカットを積極的に行っていた	スクリーンされた時の声かけ	ボールパスアウト
	しっかりとパスが回っていた	狭いところに走り込みがちなシュートクロックへの意識	コートを広く使う!	一人一人が決めた人のマークをできていた	リバウンドの食らいつき	声かけですぐにチェンジ
巨人	コートを広く使っている	パスミス	セットプレーもっと積極的	マンツーマンでつけている	連続をやられている	戻りを早く
	ほとんどシュートで終わることが出来た	バスターンの走る方向に人が	オフェンスリバウンドを増やす	パスカットが出来ていた	カッティングされている	マッチアップ堅めに
	連続の数が多かった	足が止まっている	コートの覗いているスペースを活用	ディフェンスリバウンドとれてた	DFの軌道を追ってDFしている	シュートへのプレッシャーをかける
たんこ	オフェンスリバウンド	走る量が少ない	連続が滑りやすいように走る	みんな戻りがいい	シュートを決められてしまう	ハンズアップする
	連続が多かった	シュートに幅がある	全員シュートを打つ	ミスを送るディフェンス		プレッシャーをかける
	パスが回っていた	ドリブルが少ない	ノーマークを作るためにドリブルする			
シマダーズ	連続以外走れている	コートを広く使えていない	フォーメーションを意識する			
	積極的なシュートを狙えてた	リバウンド少ない	体力...	正力かけている	ノーマークで打たれていると	マークマン徹底
	連続が何度も決まっている	シュートがなかなか入らない	シュートミス減らす!	マークマンをつけている	ディフェンスカバーに入れない	カバーに入る!!
声が出てgood!!	パスミスが多いかな...	オフェンスリバウンドを頑張る!	ボールマンにディフェンスがOK	声あまり出ていなかった	声を掛け合う! 盛り上げよう!	
切り込んで行くことができた		オフェンスの脇のバスの距離UP	リバウンドが取れていた	オフェンスに比べて	プレッシャーをかける	
		逆襲に一本!	連続に対してディフェンスが戻っていた			
		スクリーンでフリーマンを作って攻撃				

・「この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした」のポイントが低かったため、実技内容を補うための動画コンテンツをLMSに掲載し、予習・復習のために使用できるようにした。

#### 【スポーツ・健康科学Ⅲ】

・「この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している」について「低すぎる」と回答した履修者が一定数いたため、感染症対策と並行しながら実技の内容を見直した。また、ゲームで学生がマスクを外した場合等も想定しながら、万が一陽性者が発覚した場合でも他の学生が濃厚接触者にあたらないような時間配分を検討して実施した。運動量の確保と感染症対策とを並行して考えることは非常に難しかったが、学生の満足度を向上するためには、避けて通れないと感じている。

## 第5章

### 資料集

(質問項目別基礎データクロス表)

Q1 私は履修登録時、シラバスなどを通して、この授業で身につけたいと思う知識や能力をイメージしていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	439 22.91%	1,028 53.65%	334 17.43%	86 4.49%	22 1.15%	7 0.37%	1,916 100.00%	3.93	0.827	3.93	0.257
外七	語学	1,320 26.68%	2,747 55.53%	674 13.62%	149 3.01%	42 0.85%	15 0.30%	4,947 100.00%	4.05	0.775	4.05	0.284
スポーツ	演習	320 39.90%	371 46.26%	80 9.98%	22 2.74%	4 0.50%	5 0.62%	802 100.00%	4.23	0.778	4.27	0.298
基礎教養	講義	1,288 32.02%	2,135 53.07%	457 11.36%	107 2.66%	18 0.45%	18 0.45%	4,023 100.00%	4.14	0.751	4.14	0.240
	演習	10 31.25%	18 56.25%	3 9.38%	1 3.13%	0 0.00%	0 0.00%	32 100.00%	4.16	0.723	4.14	0.426
	計	1,298 32.01%	2,153 53.09%	460 11.34%	108 2.66%	18 0.44%	18 0.44%	4,055 100.00%	4.14	0.750	4.14	0.244
法学部	講義	1,892 26.90%	3,925 55.81%	952 13.54%	165 2.35%	60 0.85%	39 0.55%	7,033 100.00%	4.06	0.758	4.07	0.210
	演習	232 39.66%	259 44.27%	67 11.45%	22 3.76%	3 0.51%	2 0.34%	585 100.00%	4.19	0.821	4.18	0.435
	計	2,124 27.88%	4,184 54.92%	1,019 13.38%	187 2.45%	63 0.83%	41 0.54%	7,618 100.00%	4.07	0.764	4.11	0.310
経済学部	講義	1,869 26.78%	3,705 53.08%	1,069 15.32%	225 3.22%	76 1.09%	36 0.52%	6,980 100.00%	4.02	0.807	4.03	0.242
	演習	128 53.56%	75 31.38%	26 10.88%	7 2.93%	2 0.84%	1 0.42%	239 100.00%	4.34	0.851	4.31	0.509
	計	1,997 27.66%	3,780 52.36%	1,095 15.17%	232 3.21%	78 1.08%	37 0.51%	7,219 100.00%	4.03	0.810	4.09	0.327
文学部	講義	1,307 25.43%	2,794 54.36%	733 14.26%	220 4.28%	64 1.25%	22 0.43%	5,140 100.00%	3.99	0.826	4.01	0.296
	演習	940 33.70%	1,432 51.34%	302 10.83%	86 3.08%	20 0.72%	9 0.32%	2,789 100.00%	4.15	0.784	4.18	0.301
	計	2,247 28.34%	4,226 53.30%	1,035 13.09%	306 3.86%	84 1.06%	31 0.39%	7,929 100.00%	4.04	0.815	4.10	0.310
理学部	講義	469 20.58%	1,250 54.85%	448 19.66%	84 3.69%	17 0.75%	11 0.48%	2,279 100.00%	3.91	0.783	3.92	0.260
	演習	158 27.10%	301 51.63%	86 14.75%	30 5.15%	8 1.37%	0 0.00%	583 100.00%	3.98	0.865	4.00	0.286
	計	627 21.91%	1,551 54.19%	534 18.66%	114 3.98%	25 0.87%	11 0.38%	2,862 100.00%	3.93	0.801	3.94	0.266
国際社会科学部	講義	580 28.94%	1,057 52.74%	255 12.72%	78 3.89%	11 0.55%	23 1.15%	2,004 100.00%	4.07	0.790	4.08	0.240
	演習	32 28.07%	42 36.84%	21 18.42%	16 14.04%	3 2.63%	0 0.00%	114 100.00%	3.74	1.097	3.75	0.537
	語学	170 31.37%	247 45.57%	80 14.76%	36 6.64%	7 1.29%	2 0.37%	542 100.00%	3.99	0.921	3.98	0.325
	計	782 29.40%	1,346 50.60%	356 13.38%	130 4.89%	21 0.79%	25 0.94%	2,660 100.00%	4.04	0.836	4.00	0.333
教職課程	講義	190 27.14%	344 49.14%	121 17.29%	39 5.57%	4 0.57%	2 0.29%	700 100.00%	3.97	0.849	4.06	0.313
	演習	161 27.38%	287 48.81%	111 18.88%	16 2.72%	10 1.70%	3 0.51%	588 100.00%	3.98	0.854	4.05	0.316
	計	351 27.25%	631 48.99%	232 18.01%	55 4.27%	14 1.09%	5 0.39%	1,288 100.00%	3.97	0.851	4.06	0.312
学芸員	講義	82 22.53%	230 63.19%	43 11.81%	8 2.20%	1 0.27%	0 0.00%	364 100.00%	4.05	0.674	4.09	0.235
	演習	2 33.33%	4 66.67%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.33	0.516	4.33	-
	計	84 22.70%	234 63.24%	43 11.62%	8 2.16%	1 0.27%	0 0.00%	370 100.00%	4.06	0.672	4.10	0.235
合計	11,589 27.81%	22,251 53.40%	5,862 14.07%	1,397 3.35%	372 0.89%	195 0.47%	41,666 100.00%	4.04	0.796	4.07	0.306	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	8,116 26.66%	16,468 54.10%	4,412 14.49%	1,012 3.32%	273 0.90%	158 0.52%	30,439 100.00%	4.03	0.792	4.03	0.266
演習	1,983 34.56%	2,789 48.61%	696 12.13%	200 3.49%	50 0.87%	20 0.35%	5,738 100.00%	4.13	0.819	4.17	0.358
語学	1,490 27.15%	2,994 54.55%	754 13.74%	185 3.37%	49 0.89%	17 0.31%	5,489 100.00%	4.04	0.790	4.04	0.291
合計	11,589 27.81%	22,251 53.40%	5,862 14.07%	1,397 3.35%	372 0.89%	195 0.47%	41,666 100.00%	4.04	0.796	4.07	0.306

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	4,925 25.45%	10,424 53.86%	2,998 15.49%	765 3.95%	185 0.96%	58 0.30%	19,355 100.00%	3.99	0.810
学部2年	3,554 26.61%	7,342 54.96%	1,854 13.88%	406 3.04%	102 0.76%	100 0.75%	13,358 100.00%	4.04	0.773
学部3年	2,346 34.56%	3,417 50.33%	768 11.31%	165 2.43%	63 0.93%	30 0.44%	6,789 100.00%	4.16	0.786
学部4年	702 34.86%	993 49.30%	229 11.37%	61 3.03%	22 1.09%	7 0.35%	2,014 100.00%	4.14	0.815

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,281 31.38%	3,892 51.24%	917 12.73%	246 3.41%	66 0.92%	24 0.33%	7,206 100.00%	4.09	0.809	4.11	0.348
26～50名	2,164 28.24%	4,087 53.33%	1,044 13.62%	262 3.42%	79 1.03%	27 0.35%	7,663 100.00%	4.05	0.805	4.07	0.305
51～100名	1,672 24.88%	3,607 53.68%	1,081 16.09%	263 3.91%	63 0.94%	33 0.49%	6,719 100.00%	3.98	0.808	3.98	0.246
101～200名	2,370 26.62%	4,811 54.04%	1,283 14.41%	312 3.50%	81 0.91%	45 0.51%	8,902 100.00%	4.02	0.797	4.04	0.214
201名以上	3,122 27.93%	6,054 54.17%	1,537 13.75%	314 2.81%	83 0.74%	66 0.59%	11,176 100.00%	4.06	0.772	4.06	0.172
合計	11,589 27.81%	22,251 53.40%	5,862 14.07%	1,397 3.35%	372 0.89%	195 0.47%	41,666 100.00%	4.04	0.796	4.07	0.306

Q2 私はこの授業に意欲的に取り組んだ(事前の準備や復習等を含む)

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	511 26.67%	1,020 53.24%	275 14.35%	73 3.81%	30 1.57%	7 0.37%	1,916 100.00%	4.00	0.841	4.00	0.271
外七	語学	1,838 37.15%	2,617 52.90%	371 7.50%	74 1.50%	33 0.67%	14 0.28%	4,947 100.00%	4.25	0.712	4.25	0.253
スポーツ	演習	428 53.37%	300 37.41%	55 6.86%	8 1.00%	4 0.50%	7 0.87%	802 100.00%	4.43	0.711	4.46	0.255
基礎教養	講義	1,291 32.09%	2,090 51.95%	452 11.24%	141 3.50%	29 0.72%	20 0.50%	4,023 100.00%	4.12	0.792	4.09	0.272
	演習	9 28.13%	18 56.25%	3 9.38%	2 6.25%	0 0.00%	0 0.00%	32 100.00%	4.06	0.801	4.05	0.434
	計	1,300 32.06%	2,108 51.99%	455 11.22%	143 3.53%	29 0.72%	20 0.49%	4,055 100.00%	4.12	0.792	4.09	0.275
法学部	講義	1,984 28.21%	3,623 51.51%	1,053 14.97%	275 3.91%	70 1.00%	28 0.40%	7,033 100.00%	4.02	0.825	4.02	0.234
	演習	304 51.97%	244 41.71%	31 5.30%	4 0.68%	1 0.17%	1 0.17%	585 100.00%	4.45	0.645	4.44	0.263
	計	2,288 30.03%	3,867 50.76%	1,084 14.23%	279 3.66%	71 0.93%	29 0.38%	7,618 100.00%	4.06	0.820	4.17	0.315
経済学部	講義	1,965 28.15%	3,550 50.86%	1,064 15.24%	282 4.04%	84 1.20%	35 0.50%	6,980 100.00%	4.01	0.841	4.02	0.245
	演習	148 61.92%	80 33.47%	10 4.18%	1 0.42%	0 0.00%	0 0.00%	239 100.00%	4.57	0.596	4.56	0.255
	計	2,113 29.27%	3,630 50.28%	1,074 14.88%	283 3.92%	84 1.16%	35 0.48%	7,219 100.00%	4.03	0.840	4.13	0.324
文学部	講義	1,470 28.60%	2,728 53.07%	655 12.74%	209 4.07%	57 1.11%	21 0.41%	5,140 100.00%	4.04	0.823	4.07	0.295
	演習	1,230 44.10%	1,334 47.83%	174 6.24%	34 1.22%	12 0.43%	5 0.18%	2,789 100.00%	4.34	0.689	4.36	0.265
	計	2,700 34.05%	4,062 51.23%	829 10.46%	243 3.06%	69 0.87%	26 0.33%	7,929 100.00%	4.15	0.791	4.22	0.313
理学部	講義	567 24.88%	1,247 54.72%	350 15.36%	98 3.77%	15 0.66%	14 0.61%	2,279 100.00%	4.00	0.785	4.00	0.286
	演習	244 41.85%	278 47.68%	43 7.38%	10 1.72%	6 1.03%	2 0.34%	583 100.00%	4.28	0.760	4.30	0.256
	計	811 28.34%	1,525 53.28%	393 13.73%	96 3.35%	21 0.73%	16 0.56%	2,862 100.00%	4.06	0.788	4.06	0.304
国際社会科学部	講義	572 28.54%	1,047 52.25%	244 12.18%	99 4.94%	21 1.05%	21 1.05%	2,004 100.00%	4.03	0.840	4.03	0.310
	演習	45 39.47%	57 50.00%	9 7.89%	3 2.63%	0 0.00%	0 0.00%	114 100.00%	4.26	0.717	4.28	0.323
	語学	255 47.05%	249 45.94%	30 5.54%	3 0.55%	2 0.37%	3 0.55%	542 100.00%	4.40	0.655	4.38	0.290
	計	872 32.78%	1,353 50.86%	283 10.64%	105 3.95%	23 0.86%	24 0.90%	2,660 100.00%	4.12	0.814	4.22	0.344
教職課程	講義	226 32.29%	343 49.00%	103 14.71%	22 3.14%	5 0.71%	1 0.14%	700 100.00%	4.09	0.808	4.17	0.265
	演習	209 35.54%	290 49.32%	62 10.54%	17 2.89%	8 1.36%	2 0.34%	588 100.00%	4.15	0.824	4.24	0.304
	計	435 33.77%	633 49.15%	165 12.81%	39 3.03%	13 1.01%	3 0.23%	1,288 100.00%	4.12	0.816	4.21	0.290
学芸員	講義	79 21.70%	231 63.46%	39 10.71%	14 3.85%	1 0.27%	0 0.00%	364 100.00%	4.02	0.710	4.05	0.165
	演習	2 33.33%	4 66.67%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.33	0.516	4.33	-
	計	81 21.89%	235 63.51%	39 10.54%	14 3.78%	1 0.27%	0 0.00%	370 100.00%	4.03	0.707	4.07	0.172
合計	13,377 32.11%	21,350 51.24%	5,023 12.06%	1,357 3.26%	378 0.91%	181 0.43%	41,666 100.00%	4.11	0.803	4.19	0.308	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	8,665 28.47%	15,879 52.17%	4,235 13.91%	1,201 3.95%	312 1.03%	147 0.48%	30,439 100.00%	4.04	0.822	4.04	0.273
演習	2,619 45.64%	2,605 45.40%	387 6.74%	79 1.38%	31 0.54%	17 0.30%	5,738 100.00%	4.35	0.714	4.38	0.279
語学	2,093 38.13%	2,866 52.21%	401 7.31%	77 1.40%	35 0.64%	17 0.31%	5,489 100.00%	4.26	0.708	4.26	0.262
合計	13,377 32.11%	21,350 51.24%	5,023 12.06%	1,357 3.26%	378 0.91%	181 0.43%	41,666 100.00%	4.11	0.803	4.19	0.308

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	6,043 31.22%	10,202 52.71%	2,299 11.88%	606 3.13%	150 0.77%	55 0.28%	19,355 100.00%	4.11	0.785
学部2年	4,107 30.75%	6,945 51.99%	1,637 12.25%	455 3.41%	129 0.97%	85 0.64%	13,358 100.00%	4.09	0.806
学部3年	2,441 35.96%	3,177 46.80%	844 12.43%	226 3.33%	67 0.99%	34 0.50%	6,789 100.00%	4.14	0.831
学部4年	726 36.05%	958 47.57%	227 11.27%	65 3.23%	31 1.54%	7 0.35%	2,014 100.00%	4.14	0.851

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,993 41.53%	3,541 49.14%	515 7.15%	92 1.28%	43 0.60%	22 0.31%	7,206 100.00%	4.30	0.709	4.31	0.296
26～50名	2,689 35.09%	3,932 51.31%	731 9.54%	217 2.83%	66 0.86%	28 0.37%	7,663 100.00%	4.17	0.781	4.19	0.310
51～100名	1,901 28.29%	3,518 52.36%	922 13.72%	253 3.77%	94 1.40%	31 0.46%	6,719 100.00%	4.03	0.836	4.01	0.270
101～200名	2,560 28.76%	4,558 51.20%	1,294 14.54%	370 4.16%	81 0.91%	39 0.44%	8,902 100.00%	4.03	0.827	4.04	0.223
201名以上	3,234 28.94%	5,801 51.91%	1,561 13.97%	425 3.80%	94 0.84%	61 0.55%	11,176 100.00%	4.05	0.811	4.04	0.184
合計	13,377 32.11%	21,350 51.24%	5,023 12.06%	1,357 3.26%	378 0.91%	181 0.43%	41,666 100.00%	4.11	0.803	4.19	0.308

Q3 私はこの授業に、毎週、一定の時間を確保して取り組んだ

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	594 31.00%	938 48.96%	230 12.00%	108 5.64%	42 2.19%	4 0.21%	1,916 100.00%	4.01	0.925	3.99	0.344
外七	語学	1,844 37.28%	2,592 52.40%	324 6.55%	130 2.63%	41 0.83%	16 0.32%	4,947 100.00%	4.23	0.753	4.22	0.282
スポーツ	演習	343 42.77%	280 34.91%	94 11.72%	38 4.74%	40 4.99%	7 0.87%	802 100.00%	4.07	1.091	4.11	0.390
基礎教養	講義	1,201 29.85%	1,977 49.14%	539 13.40%	225 5.59%	66 1.64%	15 0.37%	4,023 100.00%	4.00	0.898	3.96	0.295
	演習	8 25.00%	12 37.50%	8 25.00%	3 9.38%	1 3.13%	0 0.00%	32 100.00%	3.72	1.054	3.61	0.893
	計	1,209 29.82%	1,989 49.05%	547 13.49%	228 5.62%	67 1.65%	15 0.37%	4,055 100.00%	4.00	0.900	3.95	0.323
法学部	講義	1,984 28.21%	3,493 49.67%	985 14.01%	434 6.17%	112 1.59%	25 0.36%	7,033 100.00%	3.97	0.902	3.96	0.256
	演習	307 52.48%	232 39.66%	25 4.27%	15 2.56%	2 0.34%	4 0.68%	585 100.00%	4.42	0.726	4.43	0.303
	計	2,291 30.07%	3,725 48.90%	1,010 13.26%	449 5.89%	114 1.50%	29 0.38%	7,618 100.00%	4.01	0.898	4.12	0.351
経済学部	講義	2,028 29.05%	3,359 48.12%	1,036 14.84%	409 5.86%	112 1.60%	36 0.52%	6,980 100.00%	3.98	0.906	3.98	0.266
	演習	137 57.32%	82 34.31%	18 7.53%	2 0.84%	0 0.00%	0 0.00%	239 100.00%	4.48	0.673	4.46	0.266
	計	2,165 29.99%	3,441 47.67%	1,054 14.80%	411 5.69%	112 1.55%	36 0.50%	7,219 100.00%	3.99	0.904	4.08	0.324
文学部	講義	1,410 27.43%	2,612 50.82%	703 13.68%	307 5.97%	91 1.77%	17 0.33%	5,140 100.00%	3.96	0.901	3.96	0.348
	演習	1,171 41.99%	1,296 46.47%	216 7.74%	72 2.58%	28 1.00%	6 0.22%	2,789 100.00%	4.26	0.790	4.28	0.331
	計	2,581 32.55%	3,908 49.29%	919 11.59%	379 4.78%	119 1.50%	23 0.29%	7,929 100.00%	4.07	0.875	4.12	0.374
理学部	講義	586 25.71%	1,240 54.41%	303 13.30%	114 5.00%	24 1.05%	12 0.53%	2,279 100.00%	3.99	0.830	3.98	0.328
	演習	257 44.08%	280 44.60%	45 7.72%	12 2.06%	7 1.20%	2 0.34%	583 100.00%	4.29	0.793	4.31	0.272
	計	843 29.45%	1,500 52.41%	348 12.16%	128 4.40%	31 1.08%	14 0.49%	2,862 100.00%	4.05	0.831	4.04	0.344
国際社会科学部	講義	600 29.94%	976 48.70%	249 12.43%	124 6.19%	37 1.85%	18 0.90%	2,004 100.00%	4.00	0.919	3.99	0.332
	演習	37 32.46%	55 48.25%	13 11.40%	6 5.26%	3 2.63%	0 0.00%	114 100.00%	4.03	0.945	4.03	0.377
	語学	262 48.34%	238 43.91%	37 6.83%	3 0.55%	2 0.37%	0 0.00%	542 100.00%	4.39	0.673	4.38	0.258
	計	899 33.80%	1,269 47.71%	299 11.24%	133 5.00%	42 1.58%	18 0.68%	2,660 100.00%	4.08	0.890	4.18	0.359
教職課程	講義	222 31.71%	316 45.14%	111 15.86%	38 5.43%	12 1.71%	1 0.14%	700 100.00%	4.00	0.922	4.04	0.217
	演習	166 28.23%	269 45.75%	105 17.86%	34 5.78%	12 2.04%	2 0.34%	588 100.00%	3.93	0.935	4.02	0.354
	計	388 30.12%	585 45.42%	216 16.77%	72 5.59%	24 1.86%	3 0.23%	1,288 100.00%	3.97	0.928	4.03	0.305
学芸員	講義	85 23.35%	215 59.07%	39 10.71%	20 5.49%	4 1.10%	1 0.27%	364 100.00%	3.98	0.814	4.01	0.239
	演習	2 33.33%	4 66.67%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.33	0.516	4.33	-
	計	87 23.51%	219 59.19%	39 10.54%	20 5.41%	4 1.08%	1 0.27%	370 100.00%	3.99	0.811	4.02	0.244
合計	13,244 31.79%	20,446 49.07%	5,080 12.19%	2,094 5.03%	636 1.53%	166 0.40%	41,666 100.00%	4.05	0.883	4.12	0.346	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	8,710 28.61%	15,126 49.69%	4,195 13.78%	1,779 5.84%	500 1.64%	129 0.42%	30,439 100.00%	3.98	0.899	3.97	0.309
演習	2,428 42.31%	2,490 43.39%	524 9.13%	182 3.17%	93 1.62%	21 0.37%	5,738 100.00%	4.22	0.861	4.25	0.362
語学	2,106 38.37%	2,830 51.56%	361 6.58%	133 2.42%	43 0.78%	16 0.29%	5,489 100.00%	4.25	0.747	4.25	0.284
合計	13,244 31.79%	20,446 49.07%	5,080 12.19%	2,094 5.03%	636 1.53%	166 0.40%	41,666 100.00%	4.05	0.883	4.12	0.346

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	6,071 31.37%	9,632 49.76%	2,301 11.89%	1,008 5.21%	287 1.48%	287 0.29%	19,355 100.00%	4.05	0.880
学部2年	4,183 31.31%	6,741 50.46%	1,594 11.93%	581 4.35%	187 1.40%	72 0.54%	13,358 100.00%	4.07	0.856
学部3年	2,279 33.57%	3,094 45.57%	893 13.15%	387 5.70%	107 1.58%	29 0.43%	6,789 100.00%	4.04	0.916
学部4年	655 32.52%	915 45.43%	272 13.51%	109 5.41%	54 2.68%	9 0.45%	2,014 100.00%	4.00	0.961

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,876 39.91%	3,421 47.47%	600 8.33%	191 2.65%	96 1.33%	22 0.31%	7,206 100.00%	4.22	0.813	4.23	0.352
26～50名	2,605 33.99%	3,787 49.42%	782 10.20%	357 4.66%	102 1.33%	30 0.39%	7,663 100.00%	4.11	0.860	4.11	0.351
51～100名	1,923 28.62%	3,389 50.44%	900 13.39%	356 5.30%	131 1.95%	20 0.30%	6,719 100.00%	3.99	0.900	3.96	0.313
101～200名	2,557 28.72%	4,311 48.43%	1,296 14.56%	550 6.18%	150 1.69%	38 0.43%	8,902 100.00%	3.97	0.913	3.98	0.249
201名以上	3,283 29.38%	5,538 49.55%	1,502 13.44%	640 5.73%	157 1.40%	56 0.50%	11,176 100.00%	4.00	0.888	4.00	0.185
合計	13,244 31.79%	20,446 49.07%	5,080 12.19%	2,094 5.03%	636 1.53%	166 0.40%	41,666 100.00%	4.05	0.883	4.12	0.346

Q3-2 私がこの授業に使った時間(受講時間、予習・復習、課題作成等を合わせて)は、1週間あたり平均で

【部門別・形態別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満						
計セ	講義	54 3.0%	138 7.83%	287 16.29%	432 24.52%	279 15.83%	572 32.4%	1,762 100.0%	2.37	1.099	2.29	0.569
外セ	語学	100 2.10%	274 5.76%	900 18.81%	800 28.19%	1,342 28.19%	777 30.82%	1,467 4,760 100.0%	2.26	1.008	2.26	0.493
スホ健	演習	11 1.53%	4 0.56%	18 2.51%	229 31.94%	205 28.59%	250 34.87%	717 100.0%	1.69	0.792	1.68	0.392
基礎教養	講義	35 0.94%	134 3.61%	454 12.21%	1,107 29.78%	748 20.12%	1,239 33.33%	3,717 100.0%	2.03	0.910	2.03	0.333
	演習	0 0.00%	0 0.00%	4 14.29%	8 28.57%	5 17.86%	11 39.29%	28 100.0%	1.94	0.748	2.04	0.370
	計	35 0.93%	134 3.58%	458 12.23%	1,115 29.77%	753 20.11%	1,250 33.38%	3,745 100.0%	2.03	0.909	2.03	0.332
法学部	講義	160 2.48%	284 4.39%	828 12.81%	1,836 28.41%	1,223 18.93%	2,131 32.98%	6,462 100.0%	2.15	1.023	2.20	0.433
	演習	58 10.28%	66 11.70%	83 14.72%	97 17.20%	57 10.11%	203 35.99%	564 100.0%	2.92	1.313	2.87	0.914
	計	218 3.10%	350 4.98%	911 12.97%	1,933 27.51%	1,280 18.22%	2,334 33.22%	7,026 100.0%	2.21	1.068	2.43	0.714
経済学部	講義	198 3.08%	305 4.75%	874 13.61%	1,739 27.07%	1,100 17.13%	2,207 34.36%	6,423 100.0%	2.23	1.061	2.24	0.437
	演習	19 8.02%	24 10.13%	39 16.46%	54 22.78%	24 10.13%	77 32.49%	237 100.0%	2.75	1.229	2.61	0.701
	計	217 3.26%	329 4.94%	913 13.71%	1,793 26.92%	1,124 16.88%	2,284 34.29%	6,660 100.0%	2.25	1.072	2.31	0.517
文学部	講義	57 1.21%	193 4.08%	604 12.78%	1,537 32.53%	912 19.30%	1,422 30.10%	4,725 100.0%	2.08	0.918	2.09	0.418
	演習	160 5.96%	250 9.32%	466 17.37%	675 25.16%	305 11.37%	827 30.82%	2,683 100.0%	2.61	1.163	2.60	0.638
	計	217 2.93%	443 5.98%	1,070 14.44%	2,212 29.86%	1,217 16.43%	2,249 30.36%	7,408 100.0%	2.27	1.045	2.36	0.599
理学部	講義	93 4.37%	184 8.64%	385 18.08%	653 25.87%	233 10.94%	681 31.99%	2,129 100.0%	2.55	1.100	2.58	0.641
	演習	148 26.33%	53 9.43%	65 11.57%	62 11.03%	46 8.19%	188 33.45%	562 100.0%	3.52	1.455	3.65	0.850
	計	241 8.96%	237 8.81%	450 16.72%	715 22.95%	279 10.37%	869 32.29%	2,691 100.0%	2.75	1.244	2.80	0.810
国際社会科学部	講義	39 2.14%	109 5.97%	271 14.85%	553 28.55%	295 16.16%	590 32.33%	1,825 100.0%	2.25	1.016	2.21	0.379
	演習	4 3.81%	7 6.67%	15 14.29%	25 23.81%	7 6.67%	47 44.76%	105 100.0%	2.59	1.077	2.65	0.577
	語学	36 6.70%	68 12.66%	84 15.64%	111 20.67%	56 10.43%	182 33.89%	537 100.0%	2.77	1.221	2.72	0.636
計	79 3.20%	184 7.46%	370 15.00%	657 26.63%	358 14.51%	819 33.20%	2,467 100.0%	2.37	1.086	2.50	0.587	
教職課程	講義	15 2.31%	26 4.01%	92 14.18%	204 31.43%	120 18.49%	192 29.58%	649 100.0%	2.15	0.983	2.16	0.326
	演習	22 4.07%	29 5.37%	69 12.78%	161 29.81%	102 18.89%	157 29.07%	540 100.0%	2.24	1.101	2.23	0.531
	計	37 3.11%	55 4.63%	161 13.54%	365 30.70%	222 18.67%	349 29.35%	1,189 100.0%	2.19	1.039	2.21	0.459
学芸員	講義	0 0.00%	15 4.42%	44 12.98%	104 30.68%	62 24.19%	94 27.73%	339 100.0%	1.97	0.872	2.01	0.384
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	3 50.00%	3 16.67%	1 33.33%	7 100.0%	1.75	0.500	1.75	-
	計	0 0.00%	15 4.35%	44 12.75%	107 31.01%	65 24.06%	95 27.83%	345 100.0%	1.96	0.868	1.99	0.378
合計	1,209 3.12%	2,163 5.58%	5,482 14.14%	10,800 27.86%	6,577 16.96%	12,539 32.34%	38,770 100.0%	2.26	1.066	2.32	0.613	

【形態別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					形態別 平均	形態別 標準偏差
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満						
講義		651 2.32%	1,388 4.95%	3,839 13.70%	8,033 28.66%	4,992 17.81%	9,128 32.56%	28,031 100.0%	2.19	1.017	2.21	0.488
演習		422 7.75%	433 7.98%	759 13.95%	1,314 24.15%	752 13.92%	1,762 32.39%	5,442 100.0%	2.58	1.255	2.52	0.801
語学		136 2.57%	342 6.46%	884 16.69%	1,453 27.42%	833 15.73%	1,649 31.12%	5,297 100.0%	2.31	1.041	2.32	0.539
合計		1,209 3.12%	2,163 5.58%	5,482 14.14%	10,800 27.86%	6,577 16.96%	12,539 32.34%	38,770 100.0%	2.26	1.066	2.32	0.613

【学部生・学年別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
		5	4	3	2	1				
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満				
学部1年		439 2.44%	947 5.26%	2,566 14.25%	5,085 28.24%	3,008 16.71%	5,959 33.10%	18,004 100.0%	2.23	1.026
学部2年		369 2.95%	756 6.04%	1,843 14.72%	3,701 29.57%	2,090 16.70%	3,759 30.03%	12,518 100.0%	2.27	1.049
学部3年		297 4.74%	362 5.78%	837 13.36%	1,522 24.29%	1,095 17.48%	2,153 34.36%	6,266 100.0%	2.33	1.168
学部4年		92 4.99%	90 4.89%	211 11.45%	460 24.97%	361 19.60%	628 34.09%	1,842 100.0%	2.25	1.178

【総履修者数ランク別】

		回答者ベース					無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1					平均	標準偏差
		4.5時間 以上	3時間以上 4.5時間未満	2時間以上 3時間未満	90分以上 2時間未満	90分未満						
25名以下		277 4.02%	493 7.15%	1,065 15.44%	1,829 26.52%	1,031 14.95%	2,202 31.92%	6,897 100.0%	2.39	1.115	2.39	0.672
26~50名		327 4.56%	451 6.29%	1,068 14.89%	1,909 26.61%	1,155 16.10%	1,909 31.56%	7,174 100.0%	2.37	1.134	2.35	0.659
51~100名		228 3.67%	393 6.33%	890 14.33%	1,770 28.49%	991 15.95%	1,940 31.23%	6,212 100.0%	2.32	1.089	2.29	0.539
101~200名		165 2.02%	384 4.70%	1,041 12.75%	2,365 28.97%	1,565 19.17%	2,644 32.39%	8,164 100.0%	2.13	1.001	2.12	0.336
201名以上		212 2.05%	442 4.28%	1,418 13.74%	2,927 28.35%	1,835 17.78%	3,489 33.80%	10,323 100.0%	2.16	0.994	2.15	0.292
合計		1,209 3.12%	2,163 5.58%	5,482 14.14%	10,800 27.86%	6,577 16.96%	12,539 32.34%	38,770 100.0%	2.26	1.066	2.32	0.613



**Q4 授業方法や、シラバスの記載内容(計画、準備学習、成績評価の方法・基準など)の変更についての教員からの説明は適切だった**

**【部門別・形態別】**

		回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
		5	4	3	2	1	無回答				部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
計セ	講義	454 23.70%	1,109 57.88%	262 13.67%	59 3.08%	21 1.10%	11 0.57%	1,916 100.00%	4.01	0.774	4.02	0.251
	外セ	1,518 30.69%	2,721 55.00%	496 10.03%	146 2.95%	42 0.85%	24 0.49%	4,947 100.00%	4.12	0.768	4.12	0.327
基礎教養	演習	328 40.90%	405 50.50%	49 6.11%	12 1.50%	0 0.00%	8 1.00%	802 100.00%	4.32	0.658	4.35	0.240
	講義	1,317 32.74%	2,240 55.68%	362 9.00%	58 1.44%	22 0.55%	24 0.60%	4,023 100.00%	4.19	0.700	4.20	0.235
法学部	演習	10 31.25%	19 59.38%	1 3.13%	1 3.13%	1 3.13%	0 0.00%	32 100.00%	4.13	0.871	4.09	0.570
	計	1,327 32.73%	2,259 55.71%	363 8.95%	59 1.45%	23 0.57%	24 0.59%	4,055 100.00%	4.19	0.702	4.19	0.246
経済学部	講義	2,118 30.12%	3,906 55.54%	738 10.49%	150 2.13%	85 1.21%	36 0.51%	7,033 100.00%	4.12	0.768	4.08	0.309
	演習	271 46.32%	265 45.30%	35 5.98%	6 1.03%	3 0.51%	5 0.85%	585 100.00%	4.37	0.692	4.37	0.285
文学部	計	2,389 31.36%	4,171 54.75%	773 10.15%	156 2.05%	88 1.16%	41 0.54%	7,618 100.00%	4.14	0.765	4.18	0.332
	講義	2,095 30.01%	3,766 53.95%	830 11.89%	164 2.35%	77 1.10%	48 0.69%	6,980 100.00%	4.10	0.779	4.11	0.261
経済学部	演習	131 54.81%	98 41.00%	8 3.35%	8 0.42%	0 0.00%	1 0.42%	239 100.00%	4.51	0.586	4.50	0.235
	計	2,226 30.64%	3,864 53.53%	838 11.61%	165 2.29%	77 1.07%	49 0.68%	7,219 100.00%	4.12	0.776	4.18	0.300
理学部	講義	1,622 31.56%	2,815 54.77%	457 8.89%	160 3.11%	56 1.09%	30 0.58%	5,140 100.00%	4.13	0.783	4.13	0.360
	演習	1,039 37.25%	1,457 52.24%	224 8.03%	45 1.61%	14 0.50%	10 0.36%	2,789 100.00%	4.25	0.710	4.26	0.291
国際社会科学部	計	2,661 33.56%	4,272 53.88%	681 8.59%	205 2.59%	70 0.88%	40 0.50%	7,929 100.00%	4.17	0.760	4.19	0.332
	講義	510 22.38%	1,332 58.45%	319 14.00%	77 3.38%	26 1.14%	15 0.66%	2,279 100.00%	3.98	0.778	3.98	0.310
教職課程	演習	151 25.90%	315 54.03%	82 14.07%	25 4.29%	7 1.20%	3 0.51%	583 100.00%	4.00	0.827	4.02	0.321
	計	661 23.10%	1,647 57.55%	401 14.01%	102 3.56%	33 1.15%	18 0.63%	2,862 100.00%	3.98	0.788	3.99	0.311
学芸員	講義	596 29.74%	1,099 54.84%	206 10.28%	58 2.89%	22 1.10%	23 1.15%	2,004 100.00%	4.11	0.782	4.10	0.337
	演習	35 30.70%	62 54.39%	11 9.65%	5 4.39%	1 0.88%	0 0.00%	114 100.00%	4.10	0.809	4.09	0.372
学芸員	語学	169 31.18%	279 51.48%	47 8.67%	35 6.46%	12 2.21%	0 0.00%	542 100.00%	4.03	0.926	4.02	0.410
	計	800 30.08%	1,440 54.14%	264 9.92%	98 3.68%	35 1.32%	23 0.86%	2,660 100.00%	4.09	0.815	4.06	0.377
学芸員	講義	200 28.57%	362 54.57%	91 13.00%	18 2.57%	6 0.86%	3 0.43%	700 100.00%	4.08	0.770	4.14	0.258
	演習	169 28.74%	301 51.19%	86 14.63%	17 2.89%	9 1.53%	6 1.02%	588 100.00%	4.04	0.833	4.10	0.336
学芸員	計	369 28.65%	663 53.03%	177 13.74%	35 2.72%	15 1.16%	9 0.70%	1,288 100.00%	4.06	0.799	4.11	0.306
	講義	87 23.90%	240 65.93%	29 7.97%	6 1.65%	2 0.55%	0 0.00%	364 100.00%	4.11	0.651	4.13	0.179
学芸員	演習	4 66.67%	2 33.33%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.67	0.516	4.67	-
	計	91 24.59%	242 65.41%	29 7.84%	6 1.62%	2 0.54%	0 0.00%	370 100.00%	4.12	0.652	4.16	0.210
合計	講義	12,824 30.78%	22,813 54.75%	4,333 10.40%	1,043 2.50%	406 0.97%	247 0.59%	41,666 100.00%	4.13	0.766	4.14	0.326

**【形態別】**

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5	4	3	2	1				無回答	形態別 平均	形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
講義	講義	8,999 29.56%	16,889 55.48%	3,294 10.82%	750 2.46%	317 1.04%	190 0.62%	30,439 100.00%	4.11	0.767	4.09	0.308
	演習	2,138 37.26%	2,924 50.96%	496 8.64%	112 1.95%	35 0.61%	33 0.58%	5,738 100.00%	4.23	0.737	4.27	0.310
語学	語学	1,687 30.73%	3,000 54.65%	543 9.89%	181 3.30%	54 0.98%	24 0.44%	5,489 100.00%	4.11	0.785	4.11	0.341
	合計	12,824 30.78%	22,813 54.75%	4,333 10.40%	1,043 2.50%	406 0.97%	247 0.59%	41,666 100.00%	4.13	0.766	4.14	0.326

**【学部生・学年別】**

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	
		5	4	3	2	1				無回答
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
学部1年	学部1年	5,644 29.16%	10,871 56.17%	2,099 10.84%	496 2.56%	167 0.86%	78 0.40%	19,355 100.00%	4.11	0.756
	学部2年	4,037 30.22%	7,387 55.30%	1,364 10.21%	330 2.47%	134 1.00%	106 0.79%	13,358 100.00%	4.12	0.764
学部3年	学部3年	2,343 34.51%	3,505 51.63%	664 9.78%	155 2.28%	76 1.12%	46 0.68%	6,789 100.00%	4.17	0.782
	学部4年	748 37.14%	984 48.86%	186 9.24%	55 2.73%	26 1.29%	15 0.74%	2,014 100.00%	4.19	0.812

**【総履修者数ランク別】**

		回答者ベース					計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
		5	4	3	2	1				無回答	平均	標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない						
25名以下	25名以下	2,467 34.24%	3,828 53.12%	622 8.63%	191 2.65%	68 0.94%	30 0.42%	7,206 100.00%	4.18	0.769	4.19	0.359
	26～50名	2,389 31.16%	4,198 54.78%	766 10.00%	206 2.69%	61 0.80%	44 0.57%	7,663 100.00%	4.13	0.759	4.15	0.312
51～100名	51～100名	1,783 26.54%	3,815 56.78%	779 11.59%	212 3.16%	85 1.27%	45 0.67%	6,719 100.00%	4.05	0.789	4.04	0.312
	101～200名	2,698 30.31%	4,870 54.71%	970 10.90%	220 2.47%	89 1.00%	55 0.62%	8,902 100.00%	4.12	0.769	4.11	0.248
201名以上	201名以上	3,488 31.21%	6,102 54.60%	1,196 10.70%	214 1.91%	103 0.92%	73 0.65%	11,176 100.00%	4.14	0.750	4.14	0.226
	合計	12,824 30.78%	22,813 54.75%	4,333 10.40%	1,043 2.50%	406 0.97%	247 0.59%	41,666 100.00%	4.13	0.766	4.14	0.326

Q5 この授業で配付された教材(動画や音声の外部リンク等も含む)は、学習を進めるのに役立った

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	628 32.78%	960 50.10%	206 10.75%	87 4.54%	27 1.41%	8 0.42%	1,916 100.00%	4.09	0.860	4.11	0.333
外七	語学	1,686 34.08%	2,661 53.79%	446 9.02%	100 2.02%	36 0.73%	18 0.36%	4,947 100.00%	4.19	0.737	4.19	0.294
スポーツ	演習	284 35.41%	381 47.51%	116 14.46%	11 1.37%	2 0.25%	8 1.00%	802 100.00%	4.18	0.743	4.18	0.262
基礎教養	講義	1,565 38.90%	2,065 51.33%	302 7.51%	56 1.39%	13 0.32%	22 0.55%	4,023 100.00%	4.28	0.689	4.25	0.236
	演習	9 28.13%	20 62.50%	2 6.25%	0 0.00%	1 3.13%	0 0.00%	32 100.00%	4.13	0.793	4.11	0.374
	計	1,574 38.82%	2,085 51.42%	304 7.50%	56 1.38%	14 0.35%	22 0.54%	4,055 100.00%	4.28	0.690	4.25	0.240
法学部	講義	2,386 33.93%	3,579 50.89%	779 11.08%	188 2.67%	72 1.02%	29 0.41%	7,033 100.00%	4.14	0.794	4.13	0.296
	演習	296 50.60%	227 38.80%	48 8.21%	10 1.71%	2 0.34%	2 0.34%	585 100.00%	4.38	0.739	4.38	0.341
	計	2,682 35.21%	3,806 49.96%	827 10.86%	198 2.60%	74 0.97%	31 0.41%	7,618 100.00%	4.16	0.793	4.22	0.332
経済学部	講義	2,350 33.67%	3,441 49.30%	842 12.06%	222 3.18%	83 1.19%	42 0.60%	6,980 100.00%	4.12	0.826	4.13	0.291
	演習	116 48.54%	96 40.17%	18 7.53%	4 1.67%	3 1.26%	2 0.84%	239 100.00%	4.34	0.795	4.34	0.358
	計	2,466 34.16%	3,537 49.00%	860 11.91%	226 3.13%	86 1.19%	44 0.61%	7,219 100.00%	4.12	0.826	4.17	0.315
文学部	講義	1,910 37.16%	2,582 50.23%	442 8.80%	139 2.70%	44 0.86%	23 0.45%	5,140 100.00%	4.21	0.777	4.21	0.344
	演習	1,106 39.68%	1,392 49.91%	224 8.03%	49 1.78%	11 0.39%	7 0.25%	2,789 100.00%	4.27	0.715	4.27	0.328
	計	3,016 38.04%	3,974 50.12%	666 8.40%	188 2.37%	55 0.69%	30 0.38%	7,929 100.00%	4.23	0.756	4.24	0.337
理学部	講義	853 28.65%	1,161 51.82%	300 13.16%	93 4.08%	40 1.76%	12 0.53%	2,779 100.00%	4.02	0.862	4.02	0.388
	演習	199 34.13%	279 47.86%	74 12.69%	21 3.60%	7 1.20%	3 0.51%	583 100.00%	4.11	0.845	4.11	0.318
	計	852 29.77%	1,460 51.01%	374 13.07%	114 3.98%	47 1.64%	15 0.52%	2,862 100.00%	4.04	0.859	4.04	0.375
国際社会科学部	講義	698 34.83%	1,012 50.50%	167 8.33%	88 4.39%	20 1.00%	19 0.95%	2,004 100.00%	4.15	0.826	4.13	0.347
	演習	30 26.32%	47 41.23%	26 22.81%	10 8.77%	1 0.88%	0 0.00%	114 100.00%	3.83	0.949	3.84	0.494
	語学	192 35.42%	261 48.15%	63 11.62%	19 3.51%	5 0.92%	2 0.37%	542 100.00%	4.14	0.823	4.14	0.356
	計	920 34.59%	1,320 49.62%	256 9.62%	117 4.40%	26 0.98%	21 0.79%	2,660 100.00%	4.13	0.833	4.10	0.377
教職課程	講義	213 30.43%	309 44.14%	128 18.29%	40 5.71%	10 1.43%	0 0.00%	700 100.00%	3.96	0.919	4.09	0.376
	演習	162 27.55%	296 50.34%	91 15.48%	23 3.91%	11 1.87%	5 0.85%	588 100.00%	3.99	0.873	4.06	0.410
	計	375 29.11%	605 46.97%	219 17.00%	63 4.89%	21 1.63%	5 0.39%	1,288 100.00%	3.97	0.898	4.07	0.394
学芸員	講義	105 28.85%	231 63.46%	18 4.95%	7 1.92%	1 0.27%	2 0.55%	364 100.00%	4.19	0.637	4.23	0.226
	演習	2 33.33%	4 66.67%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.33	0.516	4.33	-
	計	107 28.92%	235 63.51%	18 4.86%	7 1.89%	1 0.27%	2 0.54%	370 100.00%	4.20	0.635	4.24	0.222
合計	14,590 35.02%	21,024 50.46%	4,292 10.30%	1,167 2.80%	389 0.93%	204 0.49%	41,666 100.00%	4.16	0.791	4.18	0.331	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	10,508 34.52%	15,360 50.46%	3,184 10.46%	920 3.02%	310 1.02%	157 0.52%	30,439 100.00%	4.15	0.802	4.15	0.330
演習	2,204 38.41%	2,742 47.79%	599 10.44%	128 2.23%	38 0.66%	27 0.47%	5,738 100.00%	4.22	0.771	4.23	0.351
語学	1,878 34.21%	2,922 53.23%	509 9.27%	119 2.17%	41 0.75%	20 0.36%	5,489 100.00%	4.18	0.746	4.18	0.303
合計	14,590 35.02%	21,024 50.46%	4,292 10.30%	1,167 2.80%	389 0.93%	204 0.49%	41,666 100.00%	4.16	0.791	4.18	0.331

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	6,564 33.91%	9,977 51.55%	2,007 10.37%	567 2.93%	170 0.88%	70 0.36%	19,355 100.00%	4.15	0.787
学部2年	4,464 33.42%	6,946 52.00%	1,374 10.29%	350 2.62%	133 1.00%	91 0.68%	13,358 100.00%	4.15	0.783
学部3年	2,670 39.33%	3,161 46.56%	687 10.12%	179 2.64%	60 0.88%	32 0.47%	6,789 100.00%	4.21	0.798
学部4年	835 41.46%	881 43.74%	198 9.83%	63 3.13%	26 1.29%	11 0.55%	2,014 100.00%	4.22	0.844

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,630 36.50%	3,829 50.36%	695 9.64%	177 2.46%	50 0.69%	25 0.35%	7,206 100.00%	4.20	0.765	4.21	0.350
26~50名	2,738 35.73%	3,904 50.95%	740 9.66%	184 2.40%	60 0.78%	37 0.48%	7,663 100.00%	4.19	0.766	4.20	0.324
51~100名	2,186 32.53%	3,378 50.28%	769 11.45%	251 3.74%	100 1.49%	35 0.52%	6,719 100.00%	4.09	0.848	4.09	0.345
101~200名	3,090 34.71%	4,452 50.01%	978 10.99%	259 2.91%	79 0.89%	44 0.49%	8,902 100.00%	4.15	0.796	4.15	0.261
201名以上	3,946 35.31%	5,661 50.65%	1,110 9.93%	296 2.65%	100 0.89%	63 0.56%	11,176 100.00%	4.17	0.782	4.17	0.244
合計	14,590 35.02%	21,024 50.46%	4,292 10.30%	1,167 2.80%	389 0.93%	204 0.49%	41,666 100.00%	4.16	0.791	4.18	0.331

Q6 この授業に関する教員への質問の機会は、不足なく設けられていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	508 26.51%	891 46.50%	351 18.32%	129 6.73%	28 1.46%	9 0.47%	1,916 100.00%	3.90	0.919	3.89	0.362
外七	語学	1,726 34.89%	2,386 48.23%	560 11.32%	202 4.08%	50 1.01%	23 0.46%	4,947 100.00%	4.12	0.839	4.13	0.399
スポーツ	演習	363 45.26%	338 42.14%	74 9.23%	15 1.87%	3 0.37%	9 1.12%	802 100.00%	4.32	0.750	4.35	0.300
基礎教養	講義	1,389 34.53%	1,809 44.97%	577 14.34%	195 4.85%	32 0.80%	21 0.52%	4,023 100.00%	4.08	0.867	4.08	0.388
	演習	10 31.25%	14 43.75%	6 18.75%	0 0.00%	2 6.25%	0 0.00%	32 100.00%	3.94	1.045	3.92	0.698
	計	1,399 34.50%	1,823 44.96%	583 14.38%	195 4.81%	34 0.84%	21 0.52%	4,055 100.00%	4.08	0.868	4.08	0.396
法学部	講義	1,951 27.74%	3,309 47.05%	1,184 16.83%	420 5.97%	133 1.89%	36 0.51%	7,033 100.00%	3.93	0.925	3.95	0.415
	演習	321 54.87%	207 35.38%	36 6.15%	17 2.91%	1 0.17%	3 0.51%	585 100.00%	4.43	0.752	4.46	0.378
	計	2,272 29.82%	3,516 46.15%	1,220 16.01%	437 5.74%	134 1.76%	39 0.51%	7,618 100.00%	3.97	0.922	4.12	0.469
経済学部	講義	1,954 27.99%	3,134 44.90%	1,346 19.28%	363 5.20%	143 2.05%	40 0.57%	6,980 100.00%	3.92	0.930	3.97	0.422
	演習	164 68.62%	67 28.03%	6 2.51%	1 0.42%	0 0.00%	1 0.42%	239 100.00%	4.66	0.550	4.65	0.194
	計	2,118 29.34%	3,201 44.34%	1,352 18.73%	364 5.04%	143 1.98%	41 0.57%	7,219 100.00%	3.95	0.929	4.10	0.473
文学部	講義	1,869 36.36%	2,364 45.99%	577 11.23%	240 4.67%	68 1.32%	22 0.43%	5,140 100.00%	4.12	0.878	4.13	0.420
	演習	1,228 44.03%	1,263 45.29%	219 7.85%	53 1.90%	18 0.65%	8 0.29%	2,789 100.00%	4.31	0.750	4.33	0.320
	計	3,097 39.06%	3,627 45.74%	796 10.04%	293 3.70%	86 1.08%	30 0.38%	7,929 100.00%	4.18	0.840	4.23	0.384
理学部	講義	582 25.54%	1,111 48.75%	411 18.03%	125 5.48%	36 1.58%	14 0.61%	2,279 100.00%	3.92	0.892	3.94	0.378
	演習	227 38.94%	259 44.43%	88 11.66%	23 3.95%	4 0.69%	2 0.34%	583 100.00%	4.17	0.836	4.21	0.314
	計	809 28.27%	1,370 47.87%	479 16.74%	148 5.17%	40 1.40%	16 0.56%	2,862 100.00%	3.97	0.887	3.99	0.382
国際社会科学部	講義	639 31.89%	943 47.06%	254 12.67%	113 5.64%	33 1.65%	22 1.10%	2,004 100.00%	4.03	0.910	4.05	0.416
	演習	53 46.49%	47 41.23%	9 9.65%	3 2.63%	0 0.00%	0 0.00%	114 100.00%	4.32	0.756	4.31	0.371
	語学	261 48.15%	229 42.25%	30 5.54%	14 2.58%	6 1.11%	2 0.37%	542 100.00%	4.34	0.791	4.34	0.354
	計	953 35.83%	1,219 45.83%	295 11.09%	130 4.89%	39 1.47%	24 0.90%	2,660 100.00%	4.11	0.890	4.22	0.407
教職課程	講義	211 30.14%	321 45.86%	120 17.14%	44 6.29%	4 0.57%	0 0.00%	700 100.00%	3.99	0.881	4.04	0.435
	演習	193 32.82%	275 46.77%	88 14.97%	20 3.40%	9 1.53%	3 0.51%	588 100.00%	4.06	0.868	4.14	0.387
	計	404 31.37%	596 46.27%	208 16.15%	64 4.97%	13 1.01%	3 0.23%	1,288 100.00%	4.02	0.876	4.10	0.406
学芸員	講義	98 26.92%	184 50.55%	52 14.29%	29 7.97%	0 0.00%	1 0.27%	364 100.00%	3.97	0.857	4.03	0.428
	演習	4 66.67%	2 33.33%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.67	0.516	4.67	-
	計	102 27.57%	186 50.27%	52 14.05%	29 7.84%	0 0.00%	1 0.27%	370 100.00%	3.98	0.856	4.06	0.440
合計	13,751 33.00%	19,153 45.97%	5,970 14.33%	2,006 4.81%	570 1.37%	216 0.52%	41,666 100.00%	4.05	0.889	4.14	0.415	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	9,201 30.23%	14,066 46.21%	4,872 16.01%	1,658 5.45%	477 1.57%	165 0.54%	30,439 100.00%	3.99	0.909	4.02	0.413
演習	2,563 44.67%	2,472 43.08%	508 8.85%	132 2.30%	37 0.64%	26 0.45%	5,738 100.00%	4.29	0.776	4.34	0.346
語学	1,987 36.20%	2,615 47.64%	590 10.75%	216 3.94%	56 1.02%	25 0.46%	5,489 100.00%	4.15	0.837	4.16	0.400
合計	13,751 33.00%	19,153 45.97%	5,970 14.33%	2,006 4.81%	570 1.37%	216 0.52%	41,666 100.00%	4.05	0.889	4.14	0.415

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	6,110 31.57%	9,105 47.04%	2,805 14.49%	1,017 5.25%	246 1.27%	72 0.37%	19,355 100.00%	4.03	0.887
学部2年	4,305 32.23%	6,203 46.44%	1,919 14.37%	643 4.81%	192 1.44%	96 0.72%	13,358 100.00%	4.04	0.890
学部3年	2,504 36.88%	2,957 43.56%	949 13.98%	254 3.74%	90 1.33%	35 0.52%	6,789 100.00%	4.12	0.877
学部4年	777 38.58%	820 40.72%	276 13.70%	87 4.32%	41 2.04%	13 0.65%	2,014 100.00%	4.10	0.935

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	3,038 42.16%	3,209 44.53%	667 9.26%	199 2.76%	64 0.89%	29 0.40%	7,206 100.00%	4.25	0.804	4.27	0.410
26～50名	2,683 35.01%	3,587 46.81%	938 12.24%	339 4.42%	77 1.00%	39 0.51%	7,663 100.00%	4.11	0.855	4.13	0.397
51～100名	2,016 30.00%	3,137 46.69%	1,070 15.92%	358 5.33%	100 1.49%	38 0.57%	6,719 100.00%	3.99	0.901	3.98	0.396
101～200名	2,818 31.66%	4,093 45.98%	1,331 14.95%	483 5.43%	134 1.51%	43 0.48%	8,902 100.00%	4.01	0.907	4.02	0.373
201名以上	3,196 28.60%	5,127 45.88%	1,964 17.57%	627 5.61%	195 1.74%	67 0.60%	11,176 100.00%	3.95	0.919	3.96	0.355
合計	13,751 33.00%	19,153 45.97%	5,970 14.33%	2,006 4.81%	570 1.37%	216 0.52%	41,666 100.00%	4.05	0.889	4.14	0.415

Q7 この授業に関する履修者同士の意見交換の機会は、不足なく設けられていた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	155 8.09%	420 21.92%	584 30.48%	467 24.37%	283 14.77%	7 0.37%	1,916 100.00%	2.84	1.165	2.88	0.483
外七	語学	1,563 31.59%	1,827 36.93%	811 16.39%	481 9.72%	244 4.93%	21 0.42%	4,947 100.00%	3.81	1.132	3.83	0.707
スポーツ	演習	363 45.26%	300 37.41%	103 12.84%	22 2.74%	7 0.87%	7 0.87%	802 100.00%	4.25	0.847	4.28	0.414
基礎教養	講義	797 19.81%	1,068 26.55%	1,015 25.23%	702 17.45%	418 10.39%	23 0.57%	4,023 100.00%	3.28	1.257	3.37	0.693
	演習	7 21.88%	15 46.88%	6 18.75%	2 6.25%	2 6.25%	0 0.00%	32 100.00%	3.72	1.085	3.72	0.721
	計	804 19.83%	1,083 26.71%	1,021 25.18%	704 17.36%	420 10.36%	23 0.57%	4,055 100.00%	3.28	1.256	3.38	0.693
法学部	講義	903 12.84%	1,762 25.05%	2,039 28.99%	1,496 21.27%	799 11.36%	34 0.48%	7,033 100.00%	3.07	1.197	3.06	0.424
	演習	301 51.45%	195 33.33%	45 7.69%	31 5.30%	10 1.71%	3 0.51%	585 100.00%	4.28	0.940	4.34	0.554
	計	1,204 15.80%	1,957 25.69%	2,084 27.36%	1,527 20.04%	809 10.62%	37 0.49%	7,618 100.00%	3.16	1.223	3.50	0.769
経済学部	講義	908 13.01%	1,697 24.31%	2,292 32.84%	1,277 18.30%	773 11.07%	33 0.47%	6,980 100.00%	3.10	1.177	3.18	0.482
	演習	172 71.97%	48 20.08%	14 5.86%	4 1.67%	0 0.00%	1 0.42%	239 100.00%	4.63	0.673	4.62	0.313
	計	1,080 14.96%	1,745 24.17%	2,306 31.94%	1,281 17.74%	773 10.71%	34 0.47%	7,219 100.00%	3.15	1.196	3.45	0.731
文学部	講義	1,057 20.56%	1,477 28.74%	1,263 24.57%	936 18.21%	387 7.53%	20 0.39%	5,140 100.00%	3.37	1.210	3.54	0.723
	演習	1,128 40.44%	1,005 36.03%	403 14.45%	1,113 6.35%	59 2.47%	7 0.25%	2,789 100.00%	4.06	1.012	4.11	0.606
	計	2,185 27.56%	2,482 31.30%	1,666 21.01%	2,049 14.04%	446 5.75%	27 0.34%	7,929 100.00%	3.61	1.191	3.83	0.722
理学部	講義	302 13.25%	797 34.97%	899 30.67%	831 14.52%	136 5.97%	14 0.61%	2,279 100.00%	3.35	1.071	3.36	0.401
	演習	223 38.25%	234 40.14%	86 14.75%	24 4.12%	14 2.40%	2 0.34%	583 100.00%	4.08	0.953	4.13	0.434
	計	525 18.34%	1,031 36.02%	785 27.43%	355 12.40%	150 5.24%	16 0.56%	2,862 100.00%	3.50	1.089	3.51	0.511
国際社会科学部	講義	388 19.36%	592 29.54%	458 22.85%	338 16.87%	209 10.43%	19 0.95%	2,004 100.00%	3.31	1.256	3.32	0.635
	演習	59 51.75%	38 33.33%	11 9.65%	4 3.51%	2 1.75%	0 0.00%	114 100.00%	4.30	0.911	4.28	0.609
	語学	292 53.87%	197 36.35%	37 6.83%	13 2.40%	3 0.55%	0 0.00%	542 100.00%	4.41	0.788	4.40	0.327
	計	739 27.78%	827 31.09%	506 19.02%	355 13.35%	214 8.05%	19 0.71%	2,660 100.00%	3.58	1.249	3.93	0.733
教職課程	講義	246 35.14%	222 31.71%	112 16.00%	76 10.86%	43 6.14%	1 0.14%	700 100.00%	3.79	1.208	3.60	0.863
	演習	197 33.50%	216 36.73%	102 17.35%	48 8.16%	22 3.74%	3 0.51%	588 100.00%	3.89	1.080	3.90	0.666
	計	443 34.39%	438 34.01%	214 16.61%	124 9.63%	65 5.05%	4 0.31%	1,288 100.00%	3.83	1.152	3.78	0.761
学芸員	講義	51 14.01%	94 25.82%	89 24.45%	86 23.63%	44 12.09%	0 0.00%	364 100.00%	3.06	1.241	3.22	0.757
	演習	3 50.00%	3 50.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.50	0.548	4.50	-
	計	54 14.59%	97 26.22%	89 24.05%	86 23.24%	44 11.89%	0 0.00%	370 100.00%	3.08	1.245	3.28	0.789
合計	9,115 21.88%	12,207 29.30%	10,169 24.41%	6,515 15.64%	3,465 8.32%	195 0.47%	41,666 100.00%	3.41	1.224	3.69	0.743	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	4,807 15.79%	8,129 26.71%	8,551 28.09%	5,709 18.76%	3,092 10.16%	151 0.50%	30,439 100.00%	3.19	1.209	3.29	0.627
演習	2,453 42.75%	2,054 35.80%	770 13.42%	312 5.44%	126 2.20%	23 0.40%	5,738 100.00%	4.12	0.983	4.18	0.576
語学	1,855 33.79%	2,024 36.87%	848 15.45%	494 9.00%	247 4.50%	21 0.38%	5,489 100.00%	3.87	1.116	3.91	0.696
合計	9,115 21.88%	12,207 29.30%	10,169 24.41%	6,515 15.64%	3,465 8.32%	195 0.47%	41,666 100.00%	3.41	1.224	3.69	0.743

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	4,161 21.50%	5,830 30.12%	4,649 24.02%	3,006 15.53%	1,642 8.48%	67 0.35%	19,355 100.00%	3.41	1.223
学部2年	2,608 19.52%	3,959 29.64%	3,351 25.09%	2,205 16.51%	1,149 8.60%	86 0.64%	13,358 100.00%	3.35	1.214
学部3年	1,794 26.43%	1,823 26.85%	1,671 24.61%	989 14.57%	478 7.04%	34 0.50%	6,789 100.00%	3.51	1.224
学部4年	511 25.37%	564 28.00%	453 22.49%	288 14.30%	190 9.43%	8 0.40%	2,014 100.00%	3.46	1.270

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	2,876 39.91%	2,565 35.60%	1,046 14.52%	490 6.80%	208 2.89%	21 0.29%	7,206 100.00%	4.03	1.038	4.05	0.670
26～50名	2,131 27.81%	2,552 33.30%	1,519 19.82%	954 12.45%	471 6.15%	36 0.47%	7,663 100.00%	3.64	1.187	3.66	0.746
51～100名	1,122 16.70%	1,964 29.23%	1,815 27.01%	1,177 17.52%	607 9.03%	34 0.51%	6,719 100.00%	3.27	1.196	3.28	0.587
101～200名	1,415 15.90%	2,324 26.11%	2,440 27.41%	1,761 19.78%	922 10.36%	40 0.45%	8,902 100.00%	3.17	1.219	3.20	0.526
201名以上	1,571 14.06%	2,802 25.07%	3,349 29.97%	2,133 19.09%	1,257 11.25%	64 0.57%	11,176 100.00%	3.12	1.204	3.13	0.442
合計	9,115 21.88%	12,207 29.30%	10,169 24.41%	6,515 15.64%	3,465 8.32%	195 0.47%	41,666 100.00%	3.41	1.224	3.69	0.743

Q8 教員は学習内容を理解しやすい形で伝えるよう工夫していた

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		強くそう思う	そう思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	487 25.42%	990 51.67%	277 14.46%	113 5.90%	37 1.93%	12 0.63%	1,916 100.00%	3.93	0.900	3.97	0.363
外七	語学	1,728 34.93%	2,612 52.80%	408 8.25%	126 2.55%	52 1.05%	21 0.42%	4,947 100.00%	4.19	0.773	4.18	0.370
スポーツ	演習	390 48.63%	360 44.89%	43 5.36%	2 0.25%	0 0.00%	7 0.87%	802 100.00%	4.43	0.607	4.46	0.229
基礎教養	講義	1,453 36.12%	2,105 52.32%	358 8.90%	65 1.62%	23 0.57%	19 0.47%	4,023 100.00%	4.22	0.720	4.21	0.278
	演習	10 31.25%	18 56.25%	3 9.38%	0 0.00%	1 3.13%	0 0.00%	32 100.00%	4.13	0.833	4.14	0.449
	計	1,463 36.08%	2,123 52.36%	361 8.90%	65 1.60%	24 0.59%	19 0.47%	4,055 100.00%	4.22	0.721	4.21	0.282
法学部	講義	2,192 31.17%	3,588 51.02%	868 12.34%	253 3.60%	98 1.39%	34 0.48%	7,033 100.00%	4.07	0.838	4.03	0.334
	演習	298 50.94%	231 39.49%	36 6.15%	16 2.74%	3 0.51%	1 0.17%	585 100.00%	4.38	0.765	4.39	0.433
	計	2,490 32.69%	3,819 50.13%	904 11.87%	269 3.53%	101 1.33%	35 0.46%	7,618 100.00%	4.10	0.837	4.15	0.407
経済学部	講義	2,149 30.79%	3,405 48.78%	964 13.81%	299 4.28%	119 1.70%	44 0.63%	6,980 100.00%	4.03	0.880	4.05	0.354
	演習	145 60.67%	81 33.89%	11 4.60%	1 0.42%	0 0.00%	1 0.42%	239 100.00%	4.55	0.605	4.55	0.264
	計	2,294 31.78%	3,486 48.29%	975 13.51%	300 4.18%	119 1.65%	45 0.62%	7,219 100.00%	4.05	0.877	4.15	0.391
文学部	講義	1,831 35.62%	2,552 49.65%	507 9.86%	161 3.13%	66 1.28%	23 0.45%	5,140 100.00%	4.16	0.821	4.19	0.405
	演習	1,186 42.52%	1,289 46.22%	213 7.64%	96 2.37%	24 0.86%	11 0.39%	2,789 100.00%	4.28	0.775	4.28	0.364
	計	3,017 38.05%	3,841 48.44%	720 9.08%	257 2.86%	90 1.14%	34 0.43%	7,929 100.00%	4.20	0.807	4.24	0.387
理学部	講義	549 24.09%	1,176 51.69%	359 15.75%	128 5.53%	53 2.32%	14 0.61%	2,279 100.00%	3.90	0.908	3.90	0.419
	演習	173 29.67%	311 53.34%	66 11.32%	20 3.43%	9 1.54%	4 0.69%	583 100.00%	4.07	0.829	4.08	0.308
	計	722 25.23%	1,489 52.03%	425 14.85%	148 5.10%	62 2.17%	18 0.63%	2,862 100.00%	3.94	0.895	3.94	0.405
国際社会科学部	講義	634 31.64%	1,025 51.15%	189 9.43%	93 4.64%	38 1.90%	25 1.25%	2,004 100.00%	4.07	0.878	4.04	0.409
	演習	48 42.11%	48 42.11%	8 7.02%	8 7.02%	2 1.75%	0 0.00%	114 100.00%	4.16	0.955	4.19	0.505
	語学	242 44.65%	221 40.77%	37 6.83%	27 4.98%	14 2.58%	1 0.18%	542 100.00%	4.20	0.954	4.19	0.477
	計	924 34.74%	1,294 48.65%	234 8.80%	128 4.81%	54 2.03%	26 0.98%	2,660 100.00%	4.10	0.899	4.13	0.455
教職課程	講義	213 30.43%	336 48.00%	104 14.86%	36 5.14%	11 1.57%	0 0.00%	700 100.00%	4.01	0.895	4.11	0.391
	演習	180 30.61%	285 48.47%	85 14.46%	24 4.08%	10 1.70%	4 0.68%	588 100.00%	4.03	0.879	4.11	0.443
	計	393 30.51%	621 48.21%	189 14.67%	60 4.66%	21 1.63%	4 0.31%	1,288 100.00%	4.02	0.888	4.11	0.420
学芸員	講義	102 28.02%	226 62.09%	27 7.42%	9 2.47%	0 0.00%	0 0.00%	364 100.00%	4.16	0.656	4.22	0.229
	演習	4 66.67%	2 33.33%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.67	0.516	4.67	-
	計	106 28.65%	228 61.62%	27 7.30%	9 2.43%	0 0.00%	0 0.00%	370 100.00%	4.16	0.656	4.24	0.244
合計	14,014 33.63%	20,863 50.07%	4,563 10.95%	1,445 3.47%	560 1.34%	221 0.53%	41,666 100.00%	4.12	0.834	4.17	0.395	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	9,610 31.57%	15,405 50.61%	3,653 12.00%	1,155 3.79%	445 1.46%	171 0.56%	30,439 100.00%	4.08	0.847	4.08	0.384
演習	2,434 42.42%	2,625 45.75%	465 8.10%	137 2.39%	49 0.85%	28 0.49%	5,738 100.00%	4.27	0.779	4.31	0.379
語学	1,970 35.89%	2,833 51.61%	445 8.11%	153 2.79%	66 1.20%	22 0.40%	5,489 100.00%	4.19	0.792	4.18	0.386
合計	14,014 33.63%	20,863 50.07%	4,563 10.95%	1,445 3.47%	560 1.34%	221 0.53%	41,666 100.00%	4.12	0.834	4.17	0.395

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	6,241 32.24%	9,937 51.34%	2,151 11.11%	709 3.66%	242 1.25%	75 0.39%	19,355 100.00%	4.10	0.828
学部2年	4,332 32.43%	6,830 51.13%	1,456 10.90%	459 3.44%	179 1.34%	102 0.76%	13,358 100.00%	4.11	0.828
学部3年	2,554 37.62%	3,160 46.55%	723 10.65%	216 3.18%	101 1.49%	35 0.52%	6,789 100.00%	4.16	0.849
学部4年	828 41.11%	876 43.50%	205 10.18%	58 2.88%	38 1.89%	9 0.45%	2,014 100.00%	4.20	0.874

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,897 40.20%	3,448 47.85%	559 7.76%	195 2.71%	82 1.14%	25 0.35%	7,206 100.00%	4.24	0.798	4.25	0.414
26～50名	2,721 35.51%	3,839 50.10%	735 9.59%	242 3.16%	85 1.11%	41 0.54%	7,663 100.00%	4.16	0.809	4.18	0.381
51～100名	1,923 28.62%	3,429 51.03%	897 13.35%	304 4.52%	126 1.88%	40 0.60%	6,719 100.00%	4.01	0.880	4.00	0.389
101～200名	2,855 32.07%	4,455 50.04%	1,084 12.18%	332 3.73%	130 1.46%	46 0.52%	8,902 100.00%	4.08	0.849	4.08	0.307
201名以上	3,618 32.37%	5,692 50.93%	1,288 11.52%	372 3.33%	137 1.23%	69 0.62%	11,176 100.00%	4.11	0.822	4.11	0.290
合計	14,014 33.63%	20,863 50.07%	4,563 10.95%	1,445 3.47%	560 1.34%	221 0.53%	41,666 100.00%	4.12	0.834	4.17	0.395

Q9 この授業のボリューム(学ぶ内容の量)に満足している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	462 24.11%	982 51.25%	280 14.61%	140 7.31%	42 2.19%	10 0.52%	1,916 100.00%	3.88	0.932	3.90	0.371
外七	語学	1,595 32.24%	2,672 54.01%	403 8.15%	199 4.02%	62 1.25%	16 0.32%	4,947 100.00%	4.12	0.815	4.12	0.315
スポーツ	演習	407 50.75%	345 43.02%	38 4.74%	5 0.62%	0 0.00%	7 0.87%	802 100.00%	4.45	0.618	4.48	0.231
基礎教養	講義	1,347 33.48%	2,147 53.37%	353 8.77%	132 3.28%	26 0.65%	18 0.45%	4,023 100.00%	4.16	0.767	4.14	0.278
	演習	11 34.38%	16 50.00%	3 9.38%	1 3.13%	0 0.00%	1 3.13%	32 100.00%	4.19	0.749	4.19	0.392
	計	1,358 33.49%	2,163 53.34%	356 8.78%	133 3.28%	26 0.64%	19 0.47%	4,055 100.00%	4.16	0.767	4.14	0.280
法学部	講義	2,055 29.22%	3,641 51.77%	835 11.87%	372 5.29%	103 1.46%	27 0.38%	7,033 100.00%	4.02	0.870	3.99	0.327
	演習	283 48.38%	239 40.85%	36 6.15%	18 3.08%	8 1.37%	1 0.17%	585 100.00%	4.32	0.832	4.34	0.410
	計	2,338 30.69%	3,880 50.93%	871 11.43%	390 5.12%	111 1.46%	28 0.37%	7,618 100.00%	4.05	0.871	4.11	0.394
経済学部	講義	1,991 28.52%	3,571 51.16%	955 13.68%	318 4.56%	102 1.46%	43 0.62%	6,980 100.00%	4.01	0.860	4.03	0.287
	演習	146 61.09%	79 33.05%	12 5.02%	2 0.84%	0 0.00%	0 0.00%	239 100.00%	4.54	0.633	4.54	0.264
	計	2,137 29.60%	3,650 50.56%	967 13.40%	320 4.43%	102 1.41%	43 0.60%	7,219 100.00%	4.03	0.859	4.13	0.346
文学部	講義	1,735 33.75%	2,665 51.85%	449 8.74%	205 3.99%	61 1.19%	25 0.49%	5,140 100.00%	4.14	0.822	4.16	0.356
	演習	1,093 39.19%	1,350 48.40%	233 8.35%	90 3.23%	20 0.72%	3 0.11%	2,789 100.00%	4.22	0.788	4.24	0.340
	計	2,828 35.67%	4,015 50.64%	682 8.60%	295 3.72%	81 1.02%	28 0.35%	7,929 100.00%	4.17	0.811	4.20	0.350
理学部	講義	501 21.99%	1,267 55.59%	343 15.05%	119 5.22%	39 1.71%	10 0.44%	2,279 100.00%	3.91	0.854	3.91	0.343
	演習	163 27.96%	296 50.77%	74 12.69%	37 6.35%	11 1.89%	2 0.34%	583 100.00%	3.97	0.913	3.98	0.349
	計	664 23.20%	1,563 54.61%	417 14.57%	156 5.45%	50 1.75%	12 0.42%	2,862 100.00%	3.92	0.866	3.93	0.344
国際社会科学部	講義	607 30.29%	1,023 51.05%	215 10.73%	112 5.59%	28 1.40%	19 0.95%	2,004 100.00%	4.04	0.875	4.00	0.348
	演習	39 34.21%	50 43.86%	13 11.40%	10 8.77%	2 1.75%	0 0.00%	114 100.00%	4.00	0.987	4.01	0.461
	語学	216 39.85%	218 40.22%	51 9.41%	46 8.49%	10 1.85%	1 0.18%	542 100.00%	4.08	0.998	4.06	0.434
	計	862 32.41%	1,291 48.53%	279 10.49%	168 6.32%	40 1.50%	20 0.75%	2,660 100.00%	4.05	0.906	4.03	0.401
教職課程	講義	218 31.14%	345 49.29%	96 13.71%	31 4.43%	8 1.14%	2 0.29%	700 100.00%	4.05	0.854	4.12	0.378
	演習	164 27.89%	314 53.40%	79 13.44%	21 3.57%	7 1.19%	3 0.51%	588 100.00%	4.04	0.816	4.10	0.365
	計	382 29.66%	659 51.16%	175 13.59%	52 4.04%	15 1.16%	5 0.39%	1,288 100.00%	4.05	0.837	4.11	0.368
学芸員	講義	93 25.55%	234 64.29%	27 7.42%	9 2.47%	1 0.27%	0 0.00%	364 100.00%	4.12	0.663	4.16	0.204
	演習	2 33.33%	3 50.00%	1 16.67%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.17	0.753	4.17	-
	計	95 25.68%	237 64.05%	28 7.57%	9 2.43%	1 0.27%	0 0.00%	370 100.00%	4.12	0.663	4.16	0.198
合計	13,128 31.51%	21,457 51.50%	4,496 10.79%	1,867 4.48%	530 1.27%	188 0.45%	41,666 100.00%	4.08	0.845	4.12	0.361	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	9,009 29.60%	15,875 52.15%	3,553 11.67%	1,438 4.72%	410 1.35%	154 0.51%	30,439 100.00%	4.04	0.851	4.04	0.345
演習	2,308 40.22%	2,692 46.92%	489 8.52%	184 3.21%	48 0.84%	17 0.30%	5,738 100.00%	4.23	0.801	4.27	0.366
語学	1,811 32.99%	2,890 52.65%	454 8.27%	245 4.46%	72 1.31%	17 0.31%	5,489 100.00%	4.12	0.835	4.12	0.334
合計	13,128 31.51%	21,457 51.50%	4,496 10.79%	1,867 4.48%	530 1.27%	188 0.45%	41,666 100.00%	4.08	0.845	4.12	0.361

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	5,786 29.89%	10,235 52.88%	2,075 10.72%	961 4.97%	236 1.22%	62 0.32%	19,355 100.00%	4.06	0.845
学部2年	4,053 30.34%	6,996 52.37%	1,472 11.02%	561 4.20%	191 1.43%	85 0.64%	13,358 100.00%	4.07	0.843
学部3年	2,443 35.98%	3,260 48.02%	712 10.49%	266 3.92%	78 1.15%	30 0.44%	6,789 100.00%	4.14	0.841
学部4年	793 39.37%	899 44.64%	214 10.63%	73 3.62%	24 1.19%	11 0.55%	2,014 100.00%	4.18	0.851

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,698 37.44%	3,557 49.36%	569 7.90%	288 4.00%	73 1.01%	21 0.29%	7,206 100.00%	4.19	0.820	4.20	0.388
26~50名	2,555 33.34%	3,970 51.81%	701 9.15%	314 4.10%	91 1.19%	32 0.42%	7,663 100.00%	4.12	0.826	4.13	0.343
51~100名	1,840 27.39%	3,483 51.84%	877 13.05%	373 5.55%	117 1.74%	29 0.43%	6,719 100.00%	3.98	0.887	3.97	0.337
101~200名	2,663 29.91%	4,551 51.12%	1,090 12.24%	428 4.81%	130 1.46%	40 0.45%	8,902 100.00%	4.04	0.865	4.04	0.274
201名以上	3,372 30.17%	5,896 52.76%	1,259 11.27%	464 4.15%	119 1.06%	66 0.59%	11,176 100.00%	4.07	0.821	4.07	0.254
合計	13,128 31.51%	21,457 51.50%	4,496 10.79%	1,867 4.48%	530 1.27%	188 0.45%	41,666 100.00%	4.08	0.845	4.12	0.361

Q9-2 授業のボリュームについて、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース			
		5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		多い	少ない						
計七	講義	166 91.21%	14 7.69%	2 1.10%	182 100.00%	-	-	-	-
外七	語学	165 63.22%	88 33.72%	8 3.07%	261 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	1 20.00%	4 80.00%	0 0.00%	5 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	114 72.15%	37 23.42%	7 4.43%	158 100.00%	-	-	-	-
	演習	1 100.00%	0 0.00%	0 0.00%	1 100.00%	-	-	-	-
	計	115 72.33%	37 23.27%	7 4.40%	159 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	405 85.26%	63 13.26%	7 1.47%	475 100.00%	-	-	-	-
	演習	23 88.46%	2 7.69%	1 3.85%	26 100.00%	-	-	-	-
	計	428 85.43%	65 12.97%	8 1.60%	501 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	340 80.95%	70 16.67%	10 2.38%	420 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	2 100.00%	0 0.00%	2 100.00%	-	-	-	-
	計	340 80.57%	72 17.06%	10 2.37%	422 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	189 71.05%	68 25.56%	9 3.38%	266 100.00%	-	-	-	-
	演習	86 78.18%	22 20.00%	2 1.82%	110 100.00%	-	-	-	-
	計	275 73.14%	90 23.94%	11 2.93%	378 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	127 80.38%	29 18.35%	2 1.27%	158 100.00%	-	-	-	-
	演習	42 87.50%	6 12.50%	0 0.00%	48 100.00%	-	-	-	-
	計	169 82.04%	35 16.99%	2 0.97%	206 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	105 75.00%	28 20.00%	7 5.00%	140 100.00%	-	-	-	-
	演習	8 66.67%	3 25.00%	1 8.33%	12 100.00%	-	-	-	-
	語学	33 58.93%	23 41.07%	0 0.00%	56 100.00%	-	-	-	-
	計	146 70.19%	54 25.96%	8 3.85%	208 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	23 58.97%	11 28.21%	5 12.82%	39 100.00%	-	-	-	-
	演習	8 28.57%	19 67.86%	1 3.57%	28 100.00%	-	-	-	-
	計	31 46.27%	30 44.78%	6 8.96%	67 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	5 50.00%	5 50.00%	0 0.00%	10 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 -	0 -	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	5 50.00%	5 50.00%	0 0.00%	10 100.00%	-	-	-	-
合計	1,841 76.80%	494 20.61%	62 2.59%	2,397 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース				科目ベース	
	5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
講義	1,474 79.76%	325 17.59%	49 2.65%	1,848 100.00%	-	-
演習	169 72.84%	58 25.00%	5 2.16%	232 100.00%	-	-
語学	198 62.46%	111 35.02%	8 2.52%	317 100.00%	-	-
合計	1,841 76.80%	494 20.61%	62 2.59%	2,397 100.00%	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	無回答	計		
学部1年	926 77.36%	238 19.88%	33 2.76%	1,197 100.00%	-	-
学部2年	589 78.32%	142 18.88%	21 2.79%	752 100.00%	-	-
学部3年	272 79.07%	65 18.90%	7 2.03%	344 100.00%	-	-
学部4年	49 50.52%	47 48.45%	1 1.03%	97 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	無回答	計		
25名以下	252 69.81%	102 28.25%	7 1.94%	361 100.00%	-	-
26~50名	287 70.86%	103 25.43%	15 3.70%	405 100.00%	-	-
51~100名	391 79.80%	90 18.37%	9 1.84%	490 100.00%	-	-
101~200名	441 79.03%	99 17.74%	18 3.23%	558 100.00%	-	-
201名以上	470 80.62%	100 17.15%	13 2.23%	583 100.00%	-	-
合計	1,841 76.80%	494 20.61%	62 2.59%	2,397 100.00%	-	-



Q10 この授業の水準に満足している

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース		計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		5	4	3	2	1	無回答	形 態 別 平 均	形 態 別 標 準 偏 差					
計七	講義	441 23.02%	1,050 54.80%	290 15.14%	102 5.32%	25 1.30%	8 0.42%	1,916 100.00%	3.93	0.843	3.96	0.367		
外七	語学	1,568 31.70%	2,712 54.82%	484 9.78%	116 2.34%	43 0.87%	24 0.49%	4,947 100.00%	4.15	0.754	4.14	0.296		
スポーツ	演習	404 50.37%	356 44.39%	30 3.74%	4 0.50%	0 0.00%	8 1.00%	802 100.00%	4.46	0.596	4.49	0.242		
基礎教養	講義	1,329 33.04%	2,215 55.06%	365 9.07%	68 1.69%	20 0.50%	26 0.65%	4,023 100.00%	4.19	0.707	4.17	0.295		
	演習	10 31.25%	18 56.25%	1 3.13%	3 9.38%	0 0.00%	0 0.00%	32 100.00%	4.09	0.856	4.13	0.510		
	計	1,339 33.02%	2,233 55.07%	366 9.03%	71 1.75%	20 0.49%	26 0.64%	4,055 100.00%	4.19	0.708	4.17	0.300		
法学部	講義	2,025 28.79%	3,736 53.12%	893 12.70%	249 3.54%	84 1.19%	46 0.65%	7,033 100.00%	4.05	0.816	4.02	0.305		
	演習	270 46.15%	254 43.42%	31 5.30%	21 3.59%	3 0.51%	6 1.03%	585 100.00%	4.32	0.779	4.33	0.407		
	計	2,295 30.13%	3,990 52.38%	924 12.13%	270 3.54%	87 1.14%	52 0.68%	7,618 100.00%	4.08	0.816	4.13	0.372		
経済学部	講義	1,937 27.75%	3,648 52.26%	1,056 15.13%	196 2.81%	94 1.35%	49 0.70%	6,980 100.00%	4.03	0.816	4.04	0.306		
	演習	147 61.51%	81 33.89%	10 4.18%	0 0.00%	0 0.00%	1 0.42%	239 100.00%	4.58	0.574	4.56	0.252		
	計	2,084 28.87%	3,729 51.66%	1,066 14.77%	196 2.72%	94 1.30%	50 0.69%	7,219 100.00%	4.05	0.815	4.14	0.361		
文学部	講義	1,669 32.47%	2,739 53.29%	527 10.25%	128 2.49%	43 0.84%	34 0.66%	5,140 100.00%	4.15	0.764	4.18	0.347		
	演習	1,085 38.90%	1,411 50.59%	202 7.24%	60 2.15%	17 0.61%	14 0.50%	2,789 100.00%	4.26	0.735	4.27	0.333		
	計	2,754 34.73%	4,150 52.34%	729 9.19%	188 2.37%	60 0.76%	48 0.61%	7,929 100.00%	4.19	0.756	4.23	0.342		
理学部	講義	483 21.19%	1,235 54.19%	377 16.54%	117 5.13%	43 1.89%	24 1.05%	2,279 100.00%	3.89	0.865	3.90	0.350		
	演習	171 29.33%	316 54.20%	60 10.29%	20 3.43%	15 2.57%	11 0.17%	583 100.00%	4.04	0.875	4.06	0.310		
	計	654 22.85%	1,551 54.19%	437 15.27%	137 4.79%	58 2.03%	25 0.87%	2,862 100.00%	3.92	0.869	3.93	0.347		
国際社会科学部	講義	566 28.24%	1,101 54.94%	214 10.68%	74 3.69%	25 1.25%	24 1.20%	2,004 100.00%	4.07	0.808	4.02	0.345		
	演習	38 33.33%	54 47.37%	15 13.16%	5 4.39%	0 0.00%	2 1.75%	114 100.00%	4.12	0.803	4.13	0.425		
	語学	209 38.56%	244 45.02%	52 9.59%	31 5.72%	5 0.92%	1 0.18%	542 100.00%	4.15	0.880	4.14	0.425		
	計	813 30.56%	1,399 52.59%	281 10.56%	110 4.14%	30 1.13%	27 1.02%	2,660 100.00%	4.08	0.824	4.09	0.395		
教職課程	講義	206 29.43%	357 51.00%	116 16.57%	16 2.29%	4 0.57%	1 0.14%	700 100.00%	4.07	0.775	4.15	0.356		
	演習	168 28.57%	314 53.40%	79 13.44%	16 2.72%	7 1.19%	4 0.68%	588 100.00%	4.06	0.799	4.11	0.333		
	計	374 29.04%	671 52.10%	195 15.14%	32 2.48%	11 0.85%	5 0.39%	1,288 100.00%	4.06	0.785	4.13	0.340		
学芸員	講義	99 27.20%	225 61.81%	30 8.24%	5 1.37%	1 0.27%	4 1.10%	364 100.00%	4.16	0.645	4.20	0.173		
	演習	2 33.33%	4 66.67%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.33	0.516	4.33	-		
	計	101 27.30%	229 61.89%	30 8.11%	5 1.35%	1 0.27%	4 1.08%	370 100.00%	4.16	0.643	4.21	0.171		
合計	12,827 30.79%	22,070 52.97%	4,832 11.60%	1,231 2.95%	429 1.03%	277 0.66%	41,666 100.00%	4.10	0.793	4.15	0.353			

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース		計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形 態 別 平 均	形 態 別 標 準 偏 差
	5	4	3	2	1	無回答	形 態 別 平 均	形 態 別 標 準 偏 差					
講義	8,755 28.76%	16,306 53.57%	3,868 12.71%	955 3.14%	339 1.11%	216 0.71%	30,439 100.00%	4.06	0.801	4.07	0.344		
演習	2,295 40.00%	2,808 48.94%	428 7.46%	129 2.25%	42 0.73%	36 0.63%	5,738 100.00%	4.26	0.753	4.30	0.353		
語学	1,777 32.37%	2,956 53.85%	536 9.76%	147 2.68%	48 0.87%	25 0.46%	5,489 100.00%	4.15	0.767	4.14	0.316		
合計	12,827 30.79%	22,070 52.97%	4,832 11.60%	1,231 2.95%	429 1.03%	277 0.66%	41,666 100.00%	4.10	0.793	4.15	0.353		

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	5,601 28.94%	10,640 54.97%	2,212 11.43%	638 3.30%	170 0.88%	94 0.49%	19,355 100.00%	4.08	0.781
学部2年	3,964 29.68%	7,106 53.20%	1,639 12.27%	374 2.80%	169 1.27%	106 0.79%	13,358 100.00%	4.08	0.802
学部3年	2,415 35.57%	3,342 49.23%	738 10.87%	171 2.52%	67 0.99%	56 0.82%	6,789 100.00%	4.17	0.794
学部4年	787 39.08%	918 45.58%	218 10.82%	47 2.33%	23 1.14%	21 1.04%	2,014 100.00%	4.20	0.813

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,683 37.23%	3,654 50.71%	598 8.30%	183 2.54%	50 0.69%	38 0.53%	7,206 100.00%	4.22	0.758	4.23	0.370
26～50名	2,518 32.86%	4,045 52.79%	758 9.89%	212 2.77%	69 0.90%	61 0.80%	7,663 100.00%	4.15	0.776	4.16	0.333
51～100名	1,784 26.55%	3,579 53.27%	950 14.14%	273 4.06%	97 1.44%	36 0.54%	6,719 100.00%	4.00	0.839	3.99	0.342
101～200名	2,560 28.76%	4,725 53.08%	1,164 13.08%	284 3.19%	107 1.20%	62 0.70%	8,902 100.00%	4.06	0.810	4.06	0.283
201名以上	3,282 29.37%	6,067 54.29%	1,362 12.19%	279 2.50%	106 0.95%	80 0.72%	11,176 100.00%	4.09	0.772	4.09	0.256
合計	12,827 30.79%	22,070 52.97%	4,832 11.60%	1,231 2.95%	429 1.03%	277 0.66%	41,666 100.00%	4.10	0.793	4.15	0.353



Q10-2 授業の水準について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース				科目ベース			
		5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		高すぎる	低すぎる						
計七	講義	108 85.04%	17 13.39%	2 1.57%	127 100.00%	-	-	-	-
外七	語学	83 52.20%	69 43.40%	7 4.40%	159 100.00%	-	-	-	-
スポ健	演習	1 25.00%	3 75.00%	0 0.00%	4 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	58 65.91%	24 27.27%	6 6.82%	88 100.00%	-	-	-	-
	演習	2 66.67%	0 0.00%	1 33.33%	3 100.00%	-	-	-	-
	計	60 65.93%	24 26.37%	7 7.69%	91 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	272 81.68%	48 14.41%	13 3.90%	333 100.00%	-	-	-	-
	演習	17 70.83%	5 20.83%	2 8.33%	24 100.00%	-	-	-	-
	計	289 80.95%	53 14.85%	15 4.20%	357 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	196 67.59%	87 30.00%	7 2.41%	290 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	196 67.59%	87 30.00%	7 2.41%	290 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	113 66.06%	51 29.82%	7 4.09%	171 100.00%	-	-	-	-
	演習	54 70.13%	18 23.38%	5 6.49%	77 100.00%	-	-	-	-
	計	167 67.34%	69 27.82%	12 4.84%	248 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	125 78.13%	32 20.00%	3 1.88%	160 100.00%	-	-	-	-
	演習	32 91.43%	3 8.57%	0 0.00%	35 100.00%	-	-	-	-
	計	157 80.51%	35 17.95%	3 1.54%	195 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	66 66.67%	27 27.27%	6 6.06%	99 100.00%	-	-	-	-
	演習	3 60.00%	2 40.00%	0 0.00%	5 100.00%	-	-	-	-
	語学	16 44.44%	18 50.00%	2 5.56%	36 100.00%	-	-	-	-
	計	85 60.71%	47 33.57%	8 5.71%	140 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	7 35.00%	10 50.00%	3 15.00%	20 100.00%	-	-	-	-
	演習	2 8.70%	19 82.61%	2 8.70%	23 100.00%	-	-	-	-
	計	9 20.93%	29 67.44%	5 11.63%	43 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	3 50.00%	2 33.33%	1 16.67%	6 100.00%	-	-	-	-
	演習	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	-	-	-	-
	計	3 50.00%	2 33.33%	1 16.67%	6 100.00%	-	-	-	-
合計	1,158 69.76%	435 26.20%	67 4.04%	1,660 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

	回答者ベース				科目ベース			
	5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
高すぎる	低すぎる							
講義	948 73.26%	298 23.03%	48 3.71%	1,294 100.00%	-	-	-	-
演習	111 64.91%	50 29.24%	10 5.85%	171 100.00%	-	-	-	-
語学	99 50.77%	87 44.62%	9 4.62%	195 100.00%	-	-	-	-
合計	1,158 69.76%	435 26.20%	67 4.04%	1,660 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース				学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	無回答	計		
高すぎる	低すぎる					
学部1年	593 73.39%	185 22.90%	30 3.71%	808 100.00%	-	-
学部2年	370 68.14%	147 27.07%	26 4.79%	543 100.00%	-	-
学部3年	162 68.07%	66 27.73%	10 4.20%	238 100.00%	-	-
学部4年	33 47.14%	36 51.43%	1 1.43%	70 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース				科目ベース			
	5	4	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
高すぎる	低すぎる							
25名以下	134 57.51%	90 38.63%	9 3.86%	233 100.00%	-	-	-	-
26～50名	187 66.55%	77 27.40%	17 6.05%	281 100.00%	-	-	-	-
51～100名	287 77.57%	74 20.00%	9 2.43%	370 100.00%	-	-	-	-
101～200名	285 72.89%	88 22.51%	18 4.60%	391 100.00%	-	-	-	-
201名以上	265 68.83%	106 27.53%	14 3.64%	385 100.00%	-	-	-	-
合計	1,158 69.76%	435 26.20%	67 4.04%	1,660 100.00%	-	-	-	-

Q11 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	430 22.44%	968 50.52%	354 18.48%	117 6.11%	37 1.93%	10 0.52%	1,916 100.00%	3.86	0.901	3.89	0.315
外七	語学	1,487 30.06%	2,636 53.28%	605 12.23%	146 2.95%	51 1.03%	22 0.44%	4,947 100.00%	4.09	0.793	4.09	0.324
スポーツ	演習	348 43.39%	337 42.02%	92 11.47%	16 2.00%	3 0.37%	6 0.75%	802 100.00%	4.27	0.771	4.31	0.288
基礎教養	講義	1,635 40.64%	2,003 49.79%	293 7.28%	56 1.39%	15 0.37%	21 0.52%	4,023 100.00%	4.30	0.696	4.26	0.249
	演習	12 37.50%	17 53.13%	2 6.25%	1 3.13%	0 0.00%	0 0.00%	32 100.00%	4.25	0.718	4.25	0.496
	計	1,647 40.62%	2,020 49.82%	295 7.27%	57 1.41%	15 0.37%	21 0.52%	4,055 100.00%	4.30	0.696	4.26	0.255
法学部	講義	2,170 30.85%	3,726 52.98%	831 11.82%	186 2.64%	75 1.07%	45 0.64%	7,033 100.00%	4.11	0.788	4.11	0.272
	演習	292 49.91%	237 40.51%	40 6.84%	9 1.54%	2 0.34%	5 0.85%	585 100.00%	4.39	0.715	4.39	0.347
	計	2,462 32.32%	3,963 52.02%	871 11.43%	195 2.56%	77 1.01%	50 0.66%	7,618 100.00%	4.13	0.787	4.21	0.328
経済学部	講義	1,900 27.22%	3,577 51.25%	1,117 16.00%	249 3.57%	95 1.36%	42 0.60%	6,980 100.00%	4.00	0.838	4.03	0.286
	演習	146 61.09%	87 36.40%	5 2.09%	1 0.42%	0 0.00%	0 0.00%	239 100.00%	4.58	0.558	4.57	0.254
	計	2,046 28.34%	3,664 50.75%	1,122 15.54%	250 3.46%	95 1.32%	42 0.58%	7,219 100.00%	4.02	0.836	4.14	0.351
文学部	講義	1,964 38.21%	2,562 49.84%	416 8.09%	121 2.35%	43 0.84%	34 0.66%	5,140 100.00%	4.23	0.764	4.25	0.328
	演習	1,211 43.42%	1,318 47.26%	180 6.45%	57 2.04%	12 0.43%	11 0.39%	2,789 100.00%	4.32	0.722	4.33	0.318
	計	3,175 40.04%	3,880 48.93%	596 7.52%	178 2.24%	55 0.69%	45 0.57%	7,929 100.00%	4.26	0.751	4.29	0.325
理学部	講義	551 24.18%	1,226 53.80%	359 15.71%	108 4.65%	26 1.14%	12 0.53%	2,279 100.00%	3.96	0.830	3.97	0.334
	演習	199 34.13%	286 49.06%	70 12.01%	21 3.60%	4 0.69%	3 0.51%	583 100.00%	4.13	0.809	4.15	0.318
	計	750 26.21%	1,512 52.83%	428 14.95%	127 4.44%	30 1.05%	15 0.52%	2,862 100.00%	3.99	0.829	4.00	0.338
国際社会科学部	講義	624 31.14%	1,076 53.69%	182 9.08%	74 3.69%	29 1.45%	19 0.95%	2,004 100.00%	4.10	0.822	4.06	0.333
	演習	40 35.09%	52 45.61%	15 13.16%	5 4.39%	2 1.75%	0 0.00%	114 100.00%	4.08	0.904	4.11	0.482
	語学	191 35.24%	251 46.31%	67 12.36%	28 5.17%	2 0.37%	3 0.55%	542 100.00%	4.12	0.841	4.11	0.303
	計	855 32.14%	1,379 51.84%	264 9.92%	107 4.02%	33 1.24%	22 0.83%	2,660 100.00%	4.11	0.830	4.09	0.336
教職課程	講義	246 35.14%	340 48.57%	90 12.86%	17 2.43%	3 0.43%	4 0.57%	700 100.00%	4.16	0.771	4.26	0.336
	演習	188 31.97%	294 50.00%	75 12.76%	20 3.40%	9 1.53%	2 0.34%	588 100.00%	4.08	0.848	4.15	0.359
	計	434 33.70%	634 49.22%	165 12.81%	37 2.87%	12 0.93%	6 0.47%	1,288 100.00%	4.12	0.808	4.19	0.352
学芸員	講義	118 32.42%	219 60.16%	19 5.22%	6 1.65%	1 0.27%	1 0.27%	364 100.00%	4.23	0.645	4.29	0.212
	演習	4 66.67%	2 33.33%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.67	0.516	4.67	-
	計	122 32.97%	221 59.73%	19 5.14%	6 1.62%	1 0.27%	1 0.27%	370 100.00%	4.24	0.645	4.30	0.223
合計	13,756 33.01%	21,214 50.91%	4,811 11.55%	1,236 2.97%	409 0.98%	240 0.58%	41,666 100.00%	4.13	0.800	4.16	0.343	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	9,638 31.66%	15,697 51.57%	3,660 12.02%	932 3.06%	324 1.06%	188 0.62%	30,439 100.00%	4.10	0.805	4.12	0.331
演習	2,440 42.52%	2,630 45.83%	479 8.35%	130 2.27%	32 0.56%	27 0.47%	5,738 100.00%	4.28	0.757	4.32	0.337
語学	1,678 30.57%	2,887 52.60%	672 12.24%	174 3.17%	53 0.97%	25 0.46%	5,489 100.00%	4.09	0.798	4.09	0.321
合計	13,756 33.01%	21,214 50.91%	4,811 11.55%	1,236 2.97%	409 0.98%	240 0.58%	41,666 100.00%	4.13	0.800	4.16	0.343

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	6,001 31.00%	10,069 52.02%	2,425 12.53%	609 3.15%	174 0.90%	77 0.40%	19,355 100.00%	4.10	0.797
学部2年	4,199 31.43%	6,966 52.15%	1,560 11.68%	386 2.89%	147 1.10%	100 0.75%	13,358 100.00%	4.11	0.799
学部3年	2,603 38.34%	3,258 47.99%	629 9.26%	186 2.74%	61 0.90%	52 0.77%	6,789 100.00%	4.21	0.792
学部4年	883 43.84%	864 42.90%	179 8.89%	50 2.48%	27 1.34%	11 0.55%	2,014 100.00%	4.26	0.827

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	平均	標準偏差
25名以下	2,681 37.21%	3,543 49.17%	711 9.87%	186 2.58%	54 0.75%	31 0.43%	7,206 100.00%	4.20	0.777	4.22	0.362
26~50名	2,673 34.88%	3,816 49.80%	829 10.82%	239 3.12%	66 0.86%	40 0.52%	7,663 100.00%	4.15	0.800	4.16	0.344
51~100名	2,020 30.06%	3,450 51.35%	857 12.75%	271 4.03%	83 1.24%	38 0.57%	6,719 100.00%	4.06	0.838	4.04	0.335
101~200名	2,936 32.98%	4,543 51.03%	1,014 11.39%	243 2.73%	105 1.18%	61 0.69%	8,902 100.00%	4.13	0.805	4.13	0.253
201名以上	3,446 30.83%	5,862 52.45%	1,400 12.53%	297 2.66%	101 0.90%	70 0.63%	11,176 100.00%	4.10	0.784	4.10	0.244
合計	13,756 33.01%	21,214 50.91%	4,811 11.55%	1,236 2.97%	409 0.98%	240 0.58%	41,666 100.00%	4.13	0.800	4.16	0.343

Q12 この授業によって、自らの知識や能力が向上したと感じる

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
		5	4	3	2	1	無回答	計					
計七	講義	600 31.32%	1,037 54.12%	199 10.39%	49 2.56%	25 1.30%	6 0.31%	1,916 100.00%	4.12	0.790	4.14	0.263	
外七	語学	1,583 32.00%	2,685 54.28%	457 9.24%	155 3.13%	44 0.89%	23 0.46%	4,947 100.00%	4.14	0.776	4.14	0.322	
スポーツ	演習	365 45.51%	359 44.76%	54 6.73%	13 1.62%	2 0.25%	9 1.12%	802 100.00%	4.35	0.702	4.38	0.279	
基礎教養	講義	1,440 35.79%	2,129 52.92%	343 8.53%	72 1.79%	18 0.45%	21 0.52%	4,023 100.00%	4.22	0.712	4.20	0.233	
	演習	11 34.38%	17 53.13%	3 9.38%	0 0.00%	1 3.13%	0 0.00%	32 100.00%	4.16	0.847	4.17	0.500	
	計	1,451 35.78%	2,146 52.92%	346 8.53%	72 1.78%	19 0.47%	21 0.52%	4,055 100.00%	4.22	0.714	4.20	0.240	
法学部	講義	2,124 30.20%	3,826 54.40%	790 11.23%	190 2.70%	73 1.04%	30 0.43%	7,033 100.00%	4.10	0.779	4.10	0.263	
	演習	284 48.55%	265 45.30%	27 4.62%	3 0.51%	3 0.51%	3 0.51%	585 100.00%	4.42	0.655	4.42	0.272	
	計	2,408 31.61%	4,091 53.70%	817 10.72%	193 2.53%	76 1.00%	33 0.43%	7,618 100.00%	4.13	0.775	4.21	0.306	
経済学部	講義	1,927 27.61%	3,731 53.45%	952 13.64%	242 3.47%	89 1.28%	39 0.56%	6,980 100.00%	4.03	0.818	4.05	0.262	
	演習	137 57.32%	91 38.08%	10 4.18%	0 0.00%	1 0.42%	0 0.00%	239 100.00%	4.52	0.621	4.50	0.266	
	計	2,064 28.59%	3,822 52.94%	962 13.33%	242 3.35%	90 1.25%	39 0.54%	7,219 100.00%	4.05	0.817	4.14	0.317	
文学部	講義	1,720 33.46%	2,756 53.62%	475 9.24%	131 2.55%	39 0.76%	19 0.37%	5,140 100.00%	4.17	0.756	4.19	0.303	
	演習	1,231 44.14%	1,330 47.69%	175 6.27%	39 1.40%	9 0.32%	5 0.18%	2,789 100.00%	4.34	0.688	4.34	0.299	
	計	2,951 37.22%	4,086 51.53%	650 8.20%	170 2.14%	48 0.61%	24 0.30%	7,929 100.00%	4.23	0.737	4.27	0.310	
理学部	講義	545 23.91%	1,292 56.69%	319 13.95%	81 3.55%	26 1.14%	17 0.75%	2,279 100.00%	3.99	0.793	4.00	0.320	
	演習	183 31.39%	324 55.75%	55 9.43%	13 2.23%	5 0.86%	3 0.51%	583 100.00%	4.15	0.746	4.18	0.254	
	計	728 25.44%	1,616 56.46%	373 13.03%	94 3.28%	31 1.08%	20 0.70%	2,862 100.00%	4.03	0.786	4.04	0.316	
国際社会科学部	講義	624 31.14%	1,059 52.84%	192 9.58%	80 3.99%	24 1.20%	25 1.25%	2,004 100.00%	4.10	0.821	4.09	0.263	
	演習	35 30.70%	63 55.26%	9 7.89%	4 3.51%	2 1.75%	1 0.88%	114 100.00%	4.11	0.828	4.14	0.387	
	語学	213 39.30%	250 46.13%	52 9.59%	21 3.87%	6 1.11%	0 0.00%	542 100.00%	4.19	0.843	4.19	0.359	
	計	872 32.78%	1,372 51.58%	253 9.51%	105 3.95%	32 1.20%	26 0.98%	2,660 100.00%	4.12	0.826	4.14	0.326	
教職課程	講義	212 30.29%	353 50.43%	106 15.14%	23 3.29%	4 0.57%	2 0.29%	700 100.00%	4.07	0.797	4.15	0.303	
	演習	174 29.59%	291 49.49%	90 15.31%	24 4.08%	7 1.19%	2 0.34%	588 100.00%	4.03	0.850	4.11	0.331	
	計	386 29.97%	644 50.00%	196 15.22%	47 3.65%	11 0.85%	4 0.31%	1,288 100.00%	4.05	0.822	4.13	0.318	
学芸員	講義	101 27.75%	230 63.19%	26 7.14%	5 1.37%	0 0.00%	2 0.55%	364 100.00%	4.18	0.612	4.22	0.177	
	演習	3 50.00%	3 50.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.50	0.548	4.50	-	
	計	104 28.11%	233 62.97%	26 7.03%	5 1.35%	0 0.00%	2 0.54%	370 100.00%	4.18	0.612	4.24	0.183	
合計	13,512 32.43%	22,091 53.02%	4,333 10.40%	1,145 2.75%	378 0.91%	207 0.50%	41,666 100.00%	4.14	0.777	4.18	0.317		

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース		学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	計					
講義	9,293 30.53%	16,413 53.92%	3,401 11.17%	873 2.87%	298 0.98%	161 0.53%	30,439 100.00%	4.11	0.782	4.12	0.286	
演習	2,423 42.23%	2,743 47.80%	423 7.37%	96 1.67%	30 0.52%	23 0.40%	5,738 100.00%	4.30	0.723	4.33	0.309	
語学	1,796 32.72%	2,935 53.47%	509 9.27%	176 3.21%	50 0.91%	23 0.42%	5,489 100.00%	4.14	0.783	4.14	0.328	
合計	13,512 32.43%	22,091 53.02%	4,333 10.40%	1,145 2.75%	378 0.91%	207 0.50%	41,666 100.00%	4.14	0.777	4.18	0.317	

【学部生・学年別】

	回答者ベース						学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	6,086 31.44%	10,544 54.48%	1,956 10.11%	543 2.81%	164 0.85%	62 0.32%	19,355 100.00%	4.13	0.767
学部2年	4,071 30.48%	7,204 53.93%	1,481 11.09%	363 2.72%	134 1.00%	105 0.79%	13,358 100.00%	4.11	0.779
学部3年	2,469 36.37%	3,370 49.64%	684 10.08%	180 2.65%	53 0.78%	33 0.49%	6,789 100.00%	4.19	0.780
学部4年	824 40.91%	914 45.38%	186 9.24%	56 2.78%	27 1.34%	7 0.35%	2,014 100.00%	4.22	0.829

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース		
	5	4	3	2	1	無回答			平均	標準偏差	
25名以下	2,727 37.84%	3,663 50.83%	561 7.79%	170 2.36%	55 0.76%	30 0.42%	7,206 100.00%	4.23	0.754	4.25	0.344
26～50名	2,685 35.04%	4,002 52.22%	693 9.04%	197 2.57%	51 0.67%	35 0.46%	7,663 100.00%	4.19	0.755	4.19	0.311
51～100名	2,016 30.00%	3,612 53.76%	790 11.76%	187 2.78%	82 1.22%	32 0.48%	6,719 100.00%	4.09	0.796	4.07	0.282
101～200名	2,751 30.90%	4,731 53.15%	987 11.09%	292 3.28%	98 1.10%	43 0.48%	8,902 100.00%	4.10	0.802	4.11	0.239
201名以上	3,333 29.82%	6,083 54.43%	1,302 11.65%	299 2.68%	92 0.82%	67 0.60%	11,776 100.00%	4.10	0.767	4.09	0.209
合計	13,512 32.43%	22,091 53.02%	4,333 10.40%	1,145 2.75%	378 0.91%	207 0.50%	41,666 100.00%	4.14	0.777	4.18	0.317

Q13 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【部門別・形態別】

		回答者ベース						科目ベース				
		5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	部門別・ 形態別 平均	部門別・ 形態別 標準偏差
計七	講義	438 22.86%	1,060 55.32%	296 15.45%	81 4.23%	32 1.67%	9 0.47%	1,916 100.00%	3.94	0.838	3.96	0.233
外七	語学	1,666 33.68%	2,621 52.98%	471 9.52%	126 2.55%	49 0.99%	14 0.28%	4,947 100.00%	4.16	0.774	4.16	0.344
スポーツ	演習	421 52.49%	338 42.14%	32 3.99%	1 0.12%	2 0.25%	8 1.00%	802 100.00%	4.48	0.607	4.52	0.265
基礎教養	講義	1,468 36.49%	2,093 52.03%	353 8.77%	70 1.74%	20 0.50%	19 0.47%	4,023 100.00%	4.23	0.719	4.21	0.288
	演習	13 40.63%	16 50.00%	2 6.25%	0 0.00%	1 3.13%	0 0.00%	32 100.00%	4.25	0.842	4.26	0.418
	計	1,481 36.52%	2,109 52.01%	355 8.75%	70 1.73%	21 0.52%	19 0.47%	4,055 100.00%	4.23	0.720	4.21	0.289
法学部	講義	2,148 30.54%	3,654 51.96%	883 12.56%	225 3.20%	86 1.22%	37 0.53%	7,033 100.00%	4.08	0.816	4.06	0.351
	演習	302 51.62%	232 39.66%	37 6.32%	9 1.54%	2 0.34%	3 0.51%	585 100.00%	4.41	0.710	4.42	0.370
	計	2,450 32.16%	3,886 51.01%	920 12.08%	234 3.07%	88 1.16%	40 0.53%	7,618 100.00%	4.11	0.813	4.18	0.396
経済学部	講義	2,040 29.23%	3,530 50.57%	1,028 14.73%	244 3.50%	105 1.50%	33 0.47%	6,980 100.00%	4.03	0.847	4.04	0.341
	演習	157 65.69%	74 30.96%	8 3.35%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	239 100.00%	4.62	0.550	4.61	0.242
	計	2,197 30.43%	3,604 49.92%	1,036 14.35%	244 3.38%	105 1.45%	33 0.46%	7,219 100.00%	4.05	0.845	4.15	0.394
文学部	講義	1,740 33.85%	2,656 51.67%	523 10.18%	149 2.90%	56 1.09%	16 0.31%	5,140 100.00%	4.15	0.797	4.16	0.402
	演習	1,214 43.53%	1,304 46.76%	185 6.63%	60 2.15%	19 0.68%	7 0.25%	2,789 100.00%	4.31	0.746	4.33	0.339
	計	2,954 37.26%	3,960 49.94%	708 8.93%	209 2.64%	75 0.95%	23 0.29%	7,929 100.00%	4.20	0.783	4.25	0.379
理学部	講義	558 24.48%	1,219 53.49%	362 15.88%	90 3.95%	38 1.67%	12 0.53%	2,279 100.00%	3.96	0.845	3.96	0.379
	演習	187 32.08%	315 54.03%	62 10.63%	12 2.06%	6 1.03%	1 0.17%	583 100.00%	4.14	0.764	4.16	0.303
	計	745 26.03%	1,534 53.60%	424 14.81%	102 3.56%	44 1.54%	13 0.45%	2,862 100.00%	3.99	0.832	4.00	0.373
国際社会科学部	講義	582 29.04%	1,067 53.24%	211 10.53%	83 4.14%	36 1.80%	25 1.25%	2,004 100.00%	4.05	0.854	4.02	0.378
	演習	36 31.58%	54 47.37%	12 10.53%	11 9.65%	1 0.88%	0 0.00%	114 100.00%	3.99	0.945	4.02	0.470
	語学	213 39.30%	240 44.28%	58 10.70%	22 4.06%	8 1.48%	1 0.18%	542 100.00%	4.16	0.879	4.15	0.408
	計	831 31.24%	1,361 51.17%	281 10.56%	116 4.36%	45 1.69%	26 0.98%	2,660 100.00%	4.07	0.865	4.08	0.405
教職課程	講義	225 32.14%	320 45.71%	115 16.43%	32 4.57%	6 0.86%	2 0.29%	700 100.00%	4.04	0.864	4.13	0.362
	演習	185 31.46%	278 47.28%	84 14.29%	33 5.61%	6 1.02%	2 0.34%	588 100.00%	4.03	0.881	4.11	0.408
	計	410 31.83%	598 46.43%	199 15.45%	65 5.05%	12 0.93%	4 0.31%	1,288 100.00%	4.04	0.872	4.12	0.388
学芸員	講義	95 26.10%	228 62.64%	33 9.07%	7 1.92%	0 0.00%	1 0.27%	364 100.00%	4.13	0.643	4.19	0.231
	演習	3 50.00%	3 50.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	4.50	0.548	4.50	-
	計	98 26.49%	231 62.43%	33 8.92%	7 1.89%	0 0.00%	1 0.27%	370 100.00%	4.14	0.643	4.21	0.234
合計	13,691 32.86%	21,302 51.13%	4,755 11.41%	1,255 3.01%	473 1.14%	190 0.46%	41,666 100.00%	4.12	0.809	4.17	0.379	

【形態別】

	回答者ベース						科目ベース				
	5	4	3	2	1	無回答	計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	形態別 平均	形態別 標準偏差
講義	9,294 30.53%	15,827 52.00%	3,804 12.50%	981 3.22%	379 1.25%	154 0.51%	30,439 100.00%	4.08	0.818	4.08	0.368
演習	2,518 43.88%	2,614 45.56%	422 7.35%	126 2.20%	37 0.64%	21 0.37%	5,738 100.00%	4.30	0.754	4.35	0.362
語学	1,879 34.23%	2,861 52.12%	529 9.64%	148 2.70%	57 1.04%	15 0.27%	5,489 100.00%	4.16	0.785	4.16	0.353
合計	13,691 32.86%	21,302 51.13%	4,755 11.41%	1,255 3.01%	473 1.14%	190 0.46%	41,666 100.00%	4.12	0.809	4.17	0.379

【学部生・学年別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答			
学部1年	5,996 30.98%	10,289 53.16%	2,232 11.53%	589 3.04%	184 0.95%	65 0.34%	19,355 100.00%	4.11	0.790
学部2年	4,225 31.63%	6,853 51.30%	1,630 12.20%	400 2.99%	171 1.28%	79 0.59%	13,358 100.00%	4.10	0.817
学部3年	2,527 37.22%	3,261 48.03%	678 9.99%	200 2.95%	89 1.31%	34 0.50%	6,789 100.00%	4.17	0.825
学部4年	878 43.59%	840 41.71%	196 9.73%	61 3.03%	28 1.39%	11 0.55%	2,014 100.00%	4.24	0.853

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース						計	学生回答 単純集計 平均	学生回答 単純集計 標準偏差	科目ベース	
	5	4	3	2	1	無回答				平均	標準偏差
25名以下	2,878 39.94%	3,481 48.31%	595 8.26%	162 2.25%	64 0.89%	26 0.36%	7,206 100.00%	4.25	0.771	4.26	0.397
26~50名	2,693 35.14%	3,881 50.65%	762 9.94%	222 2.90%	77 1.00%	28 0.37%	7,663 100.00%	4.16	0.795	4.17	0.363
51~100名	1,891 28.14%	3,500 52.09%	936 13.93%	267 3.97%	98 1.46%	27 0.40%	6,719 100.00%	4.02	0.845	4.01	0.362
101~200名	2,733 30.70%	4,608 51.76%	1,095 12.30%	302 3.39%	120 1.35%	44 0.49%	8,902 100.00%	4.08	0.827	4.08	0.310
201名以上	3,496 31.28%	5,832 52.18%	1,367 12.23%	302 2.70%	114 1.02%	65 0.58%	11,176 100.00%	4.11	0.792	4.10	0.276
合計	13,691 32.86%	21,302 51.13%	4,755 11.41%	1,255 3.01%	473 1.14%	190 0.46%	41,666 100.00%	4.12	0.809	4.17	0.379

Q14 この授業の実施方法(オンデマンド型など)について、どのように感じましたか

【部門別・形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5 今回のままでよい	4 対面授業の回数を増やしてほしい	3 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	2 オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	部門別・形態別平均	部門別・形態別標準偏差
計七	講義	1,607 83.87%	185 9.66%	66 3.44%	49 2.56%	9 0.47%	1,916 100.00%	-	-	-	-
外七	語学	3,587 72.51%	828 16.74%	162 3.27%	342 6.91%	28 0.57%	4,947 100.00%	-	-	-	-
スホ健	演習	618 77.06%	156 19.45%	2 0.25%	18 2.24%	8 1.00%	802 100.00%	-	-	-	-
基礎教養	講義	3,266 81.18%	468 11.63%	131 3.28%	133 3.31%	25 0.62%	4,023 100.00%	-	-	-	-
	演習	23 0.58%	0 0.00%	2 0.50%	7 1.75%	0 0.00%	32 100.00%	-	-	-	-
	計	3,289 81.11%	468 11.54%	133 3.28%	140 3.45%	25 0.62%	4,055 100.00%	-	-	-	-
法学部	講義	5,225 74.29%	1,100 15.64%	211 3.00%	465 6.61%	32 0.46%	7,033 100.00%	-	-	-	-
	演習	427 72.99%	136 23.25%	7 1.20%	14 2.39%	1 0.17%	585 100.00%	-	-	-	-
	計	5,652 74.19%	1,236 16.22%	218 2.86%	479 6.29%	33 0.43%	7,618 100.00%	-	-	-	-
経済学部	講義	5,505 78.87%	838 12.01%	200 2.87%	396 5.67%	41 0.59%	6,980 100.00%	-	-	-	-
	演習	203 84.94%	30 12.55%	3 1.26%	3 0.84%	1 0.42%	239 100.00%	-	-	-	-
	計	5,708 79.07%	868 12.02%	203 2.81%	399 5.51%	42 0.58%	7,219 100.00%	-	-	-	-
文学部	講義	3,909 76.05%	697 13.56%	182 3.54%	321 6.25%	31 0.60%	5,140 100.00%	-	-	-	-
	演習	2,172 77.88%	418 14.99%	78 2.80%	110 3.94%	11 0.39%	2,789 100.00%	-	-	-	-
	計	6,081 76.69%	1,115 14.06%	260 3.28%	431 5.44%	42 0.53%	7,929 100.00%	-	-	-	-
理学部	講義	1,700 74.59%	323 14.17%	88 3.88%	151 6.63%	17 0.75%	2,279 100.00%	-	-	-	-
	演習	449 77.02%	82 14.07%	12 2.06%	12 6.35%	3 0.51%	583 100.00%	-	-	-	-
	計	2,149 75.09%	405 14.15%	100 3.49%	188 6.57%	20 0.70%	2,862 100.00%	-	-	-	-
国際社会科学部	講義	1,383 69.01%	299 14.92%	146 7.29%	157 7.83%	19 0.95%	2,004 100.00%	-	-	-	-
	演習	58 50.88%	50 43.86%	1 0.88%	5 4.39%	0 0.00%	114 100.00%	-	-	-	-
	語学	312 57.56%	190 35.06%	5 0.92%	32 5.90%	3 0.55%	542 100.00%	-	-	-	-
	計	1,753 65.90%	539 20.26%	152 5.71%	194 7.29%	22 0.83%	2,660 100.00%	-	-	-	-
教職課程	講義	536 76.57%	92 13.14%	24 3.43%	41 5.86%	7 1.00%	700 100.00%	-	-	-	-
	演習	428 72.79%	90 15.31%	26 4.42%	38 6.46%	6 1.02%	588 100.00%	-	-	-	-
	計	964 74.84%	182 14.13%	50 3.88%	79 6.13%	13 1.01%	1,288 100.00%	-	-	-	-
学芸員	講義	267 73.35%	64 17.58%	24 6.59%	8 2.20%	1 0.27%	364 100.00%	-	-	-	-
	演習	6 100.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	6 100.00%	-	-	-	-
	計	273 73.78%	64 17.30%	24 6.49%	8 2.16%	1 0.27%	370 100.00%	-	-	-	-
合計	31,681 76.04%	6,046 14.51%	1,370 3.29%	2,326 5.58%	243 0.58%	41,666 100.00%	-	-	-	-	

【形態別】

		回答者ベース					科目ベース				
		5 今回のままでよい	4 対面授業の回数を増やしてほしい	3 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	2 オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答	計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	形態別平均	形態別標準偏差
講義		23,398 76.87%	4,066 13.38%	1,072 3.52%	1,721 5.65%	182 0.60%	30,439 100.00%	-	-	-	-
演習		4,384 76.40%	962 16.77%	131 2.28%	231 4.03%	30 0.52%	5,738 100.00%	-	-	-	-
語学		3,899 71.03%	1,018 18.55%	167 3.04%	374 6.81%	31 0.56%	5,489 100.00%	-	-	-	-
合計		31,681 76.04%	6,046 14.51%	1,370 3.29%	2,326 5.58%	243 0.58%	41,666 100.00%	-	-	-	-

【学部生・学年別】

	回答者ベース					計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差
	5 今回のままでよい	4 対面授業の回数を増やしてほしい	3 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	2 オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答			
学部1年	14,443 74.62%	3,135 16.20%	597 3.08%	1,108 5.72%	72 0.37%	19,355 100.00%	-	-
学部2年	10,202 76.37%	1,801 13.48%	451 3.38%	791 5.92%	113 0.85%	13,358 100.00%	-	-
学部3年	5,343 78.70%	854 12.58%	211 3.11%	339 4.99%	42 0.62%	6,789 100.00%	-	-
学部4年	1,577 78.30%	234 11.62%	103 5.11%	86 4.27%	14 0.70%	2,014 100.00%	-	-

【総履修者数ランク別】

	回答者ベース					計	学生回答単純集計平均	学生回答単純集計標準偏差	平均	標準偏差
	5 今回のままでよい	4 対面授業の回数を増やしてほしい	3 同時配信型の授業の回数を増やしてほしい	2 オンデマンド型の授業の回数を増やしてほしい	無回答					
25名以下	5,348 74.22%	1,259 17.47%	188 2.61%	381 5.29%	30 0.42%	7,206 100.00%	-	-	-	-
26～50名	5,707 74.47%	1,258 16.42%	243 3.17%	407 5.31%	48 0.63%	7,663 100.00%	-	-	-	-
51～100名	5,239 72.97%	807 12.01%	235 3.50%	389 5.79%	49 0.73%	6,719 100.00%	-	-	-	-
101～200名	8,790 76.27%	1,174 13.19%	349 3.92%	537 6.03%	52 0.58%	8,902 100.00%	-	-	-	-
201名以上	8,597 76.92%	1,548 13.85%	355 3.18%	612 5.48%	64 0.57%	11,176 100.00%	-	-	-	-
合計	31,681 76.04%	6,046 14.51%	1,370 3.29%	2,326 5.58%	243 0.58%	41,666 100.00%	-	-	-	-

## ファカルティ・ディベロップメント推進委員会委員一覧

		令和3年度	令和4年度
委員長	副学長	山本政人	山本政人
委員	学生センター所長	村主道美	草間博之
委員	学長室部長	宮澤文玄	尾浪英人
委員	法学部	櫻井敬子	麦山亮太
委員	経済学部	守島基博	和光純
委員	文学部	前田直子	岩崎淳
委員	理学部	宇田川将文	糺谷浩
委員	国際社会科学部	ガルシア, クレマンス 山崎 泉	玉置えみ
委員	法務研究科	原 恵美	尾形 健
委員	スポーツ・健康科学センター	羽田雄一	北村麻衣
委員	計算機センター	申 吉浩	久保山哲二
委員	外国語教育研究センター	中竹真依子	熊井信弘
委員	教職課程	宮盛邦友	山崎準二
委員	学芸員課程委員会	島尾新	島尾新

学習院大学  
令和3（2021）年度「授業評価アンケート」報告書

令和4（2022）年11月

編集 学習院大学ファカルティ・ディベロップメント推進委員会  
発行 学習院大学  
〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1  
TEL 03(5992)9537  
お問合せ先：学長室経営企画課